

ココマⅡ

LIXIL 乾式腰壁タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※タイプによって参照する取付説明書が異なります。下記を参照した後に施工を行なってください。

タイプ	略図	参照取付説明書
サイドスルータイプ		ココマⅡ 乾式腰壁タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書 (E414) 【施工終了】
ガーデンルームタイプ		ココマⅡ 乾式腰壁タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書 (E414) ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書 (E418) 【施工終了】

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>


警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- 垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者が行なってください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品ヘシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「施工補助部材」を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

🔑 ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
 - 必要に応じて、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
 - 垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
 - 垂木LED照明を取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
 - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
 - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
 - ココマIIはタイプ(仕様)によって専用の手順が存在します。
- 本書では、タイプ(仕様)専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》

タイプ	 GR	：ガーデンルームタイプ	土間	 基本	：床既設置仕様
	 ST	：サイドスルータイプ		 ベース	：ベース材仕様(後土間仕上げ)
腰壁	 前	：前面腰壁	柱固定	 固定	：柱固定ベース仕様
	 L	：L字腰壁		 埋込	：柱埋め込み仕様
床	 デッキ	：デッキ仕様	地域	 一般地域	：一般地域仕様
	 土間	：土間仕様		 積雪地域	：積雪地域仕様

《手順内記載例》

例 1 :

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
 GR		 デッキ			

※上記は、『ガーデンルームタイプでデッキ仕様』専用の施工手順を示しています。

例 2 :

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ(仕様)で行なう作業です。					

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<仕上げ材（タイル）施工のご注意>

⚠ 警告

- モルタルにてタイル張りする「モルタル張り工法」は絶対に行なわないでください。はく離や脱落してケガに至るおそれがあります。またヒビ割れが発生することにより、躯体内部に雨水が浸入して躯体を劣化させるおそれがあります。

⚠ 注意

- 本工事は、専用乾式下地に専用タイルを専用接着剤で張付ける「接着剤張り工法」を採用しています。この工法以外では仕上げ材施工を行なわないでください。
- 取付説明書の順序通りに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、はく離や脱落してケガに至る場合があります。

🔑ポイント

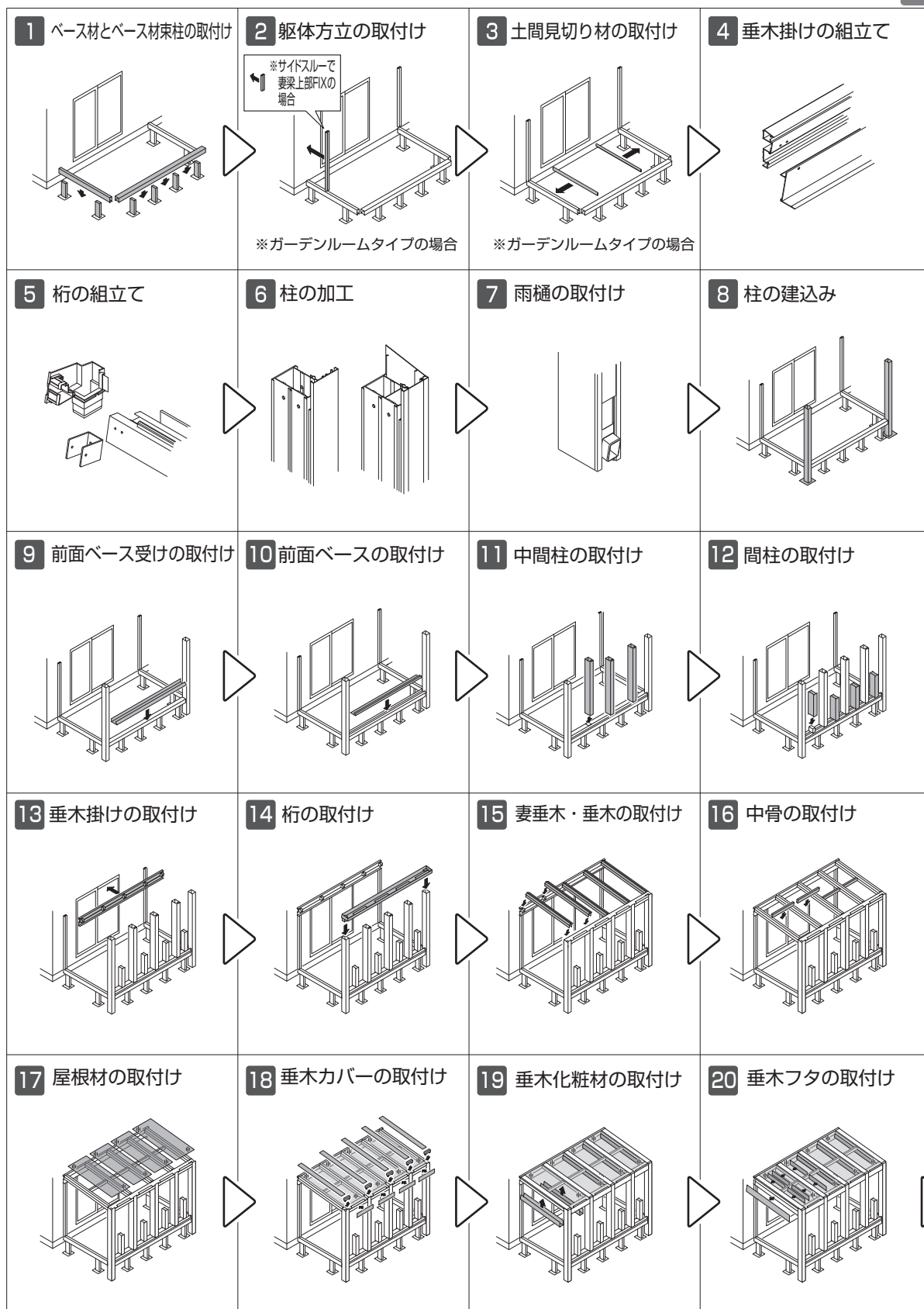
- 正しく施工していただくため、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工にあたっては、必ず使用する材料に付属する注意書きや取付説明書にしたがってください。
- ガーデンルームタイプの屋外に外壁タイルを張る場合、接着剤硬化までの間、臭気が残ることがありますので、通気を十分確保してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

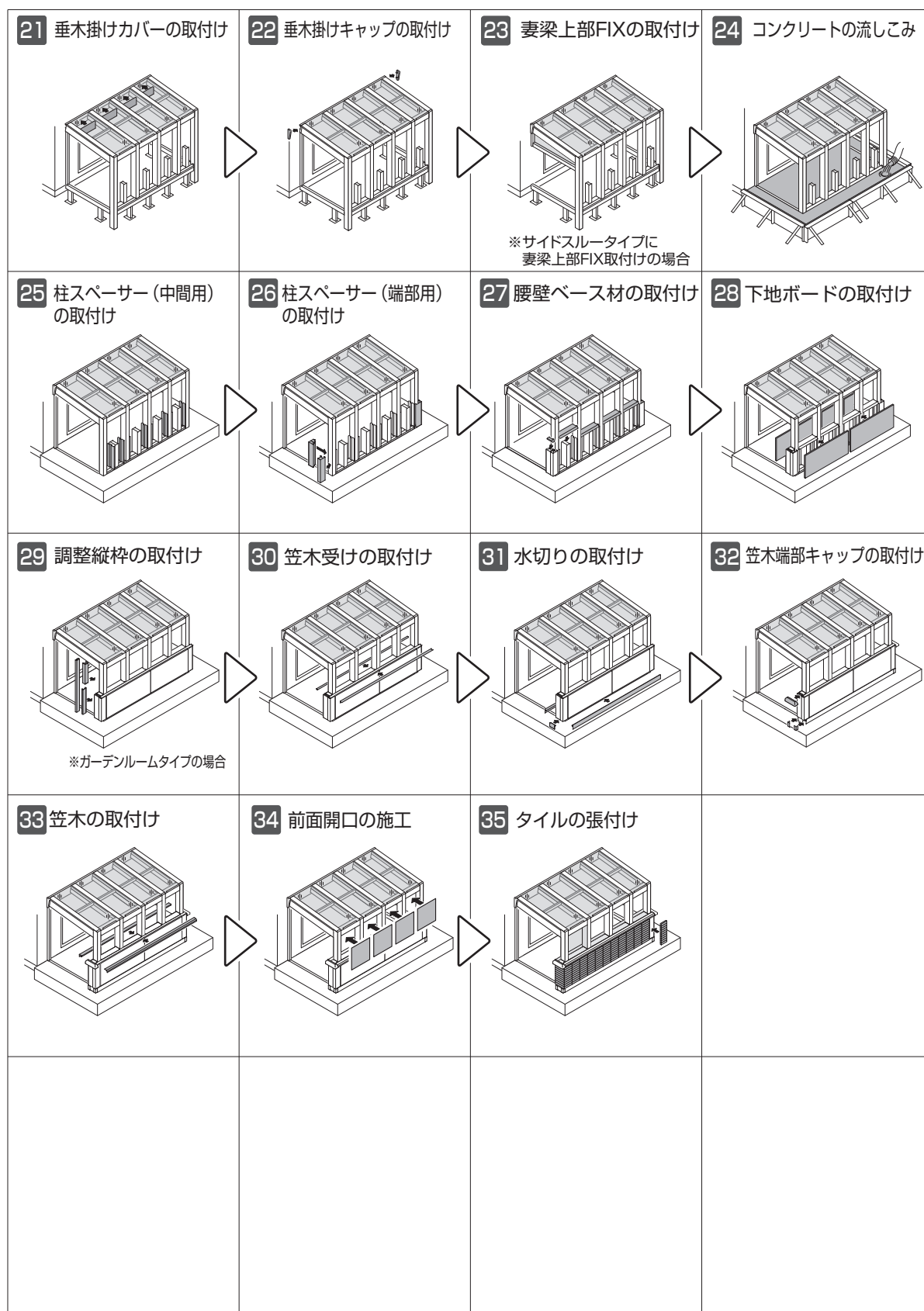
1	施工工程一覧	5	12.	中骨の取付け	93
2	各部の名称	9	13.	屋根材の取付け	94
1.	フレーム部	9	14.	垂木カバーの取付け	95
2.	前面腰壁部	10	15.	垂木化粧材の取付け	100
3.	L字腰壁部	11	16.	垂木フタの取付け	105
3	施工前の重要確認事項	12	17.	垂木掛けカバーの取付け	106
1.	フレーム、腰壁部の施工について	12	18.	垂木掛けキャップの取付け	107
2.	開口部の施工について	20	19.	妻梁上部FIXの取付け	108
4	梱包明細表	22	20.	雪下ろし指示シールの貼付け	112
5	基本寸法	40	21.	コンクリートの流し込み	113
1.	ガーデンルームタイプ	40	22.	雨樋の取付け	113
2.	サイドスルータイプ	42	14	腰壁部の施工を行なう前に	114
3.	L字腰壁タイプ	44	1.	前面腰壁の場合	114
6	断面納まり図	46	2.	L字腰壁の場合	115
1.	ガーデンルームタイプ	46	3.	シーリング処理	116
2.	サイドスルータイプ	50	15	前面腰壁の施工	117
7	開口部納まり図	54	1.	柱スペーサー(中間用)の取付け	117
1.	腰壁FIXパネル	54	2.	柱スペーサー(端部用)の取付け	118
2.	上げ下げ窓	55	3.	腰壁ベース材の取付け	120
8	柱の位置出し	56	4.	下地ボード(前面用)の取付け	122
1.	単体仕様	56	5.	調整縦枠の取付け	123
2.	連棟仕様	56	6.	笠木受けの取付け	124
9	施工前の準備	57	7.	笠木カバーと水切りの取付け	126
1.	水盛遣方・水糸張り	57	8.	笠木端部キャップの取付け	128
2.	配線工事 オプション	58	9.	笠木の取付け	129
10	位置決め施工	60	16	L字腰壁の施工	130
1.	ベース材とベース材束柱の取付け	60	1.	柱スペーサー(中間用)の取付け	130
2.	躯体方立の取付け	62	2.	柱スペーサー、コーナー柱の取付け	132
3.	土間見切り材の取付け	64	3.	腰壁ベース材の取付け	136
11	部材の組立て	66	4.	下地ボードの取付け	138
1.	垂木掛けの組立て	66	5.	調整縦枠の取付け	140
2.	桁の組立て	68	6.	笠木受けの取付け	142
12	柱の建込み	70	7.	L字部の笠木カバーの取付け	144
1.	施工手順の確認	70	8.	笠木カバーと水切りの取付け	146
2.	柱の加工	72	9.	キャップ類の取付け	148
3.	雨樋の取付け	76	10.	笠木の取付け	150
4.	柱スリーブの取付け	78	17	ガーデンルームプラスタイプのカバーの施工	152
5.	柱取付金具の取付け	79	1.	テラス用上枠、柱カバー、笠木カバーの取付け	152
6.	柱の建込み	80	18	前面開口の施工	153
7.	入隅の場合	82	1.	腰壁FIXパネルの取付け	153
13	フレーム施工	83	2.	上げ下げ窓の取付け	157
1.	前面ベース受けの取付け	83	3.	シーリング処理	161
2.	前面ベースの取付け	84	19	タイルの張付け	162
3.	見切り材の取付け	84	1.	梱包明細表	162
4.	側面ベース受けの取付け	85	2.	施工フロー	164
5.	側面ベースの取付け	85	3.	施工面の確認	165
6.	中間柱スリーブの取付け	86	4.	ジョイントテープの貼付け	166
7.	中間柱の建込み	86	5.	はるかベタイルの施工	168
8.	間柱の建込み	87	6.	エコカラットの施工	176
9.	垂木掛けの取付け	88	7.	点検・仕上げ	181
10.	桁の取付け	91	8.	タイル切断寸法一覧	182
11.	妻垂木・垂木の取付け	92	9.	施工が完了したら	192

1 施工行程一覧

前面腰壁ガーデンルームタイプ、前面腰壁サイドスルータイプ



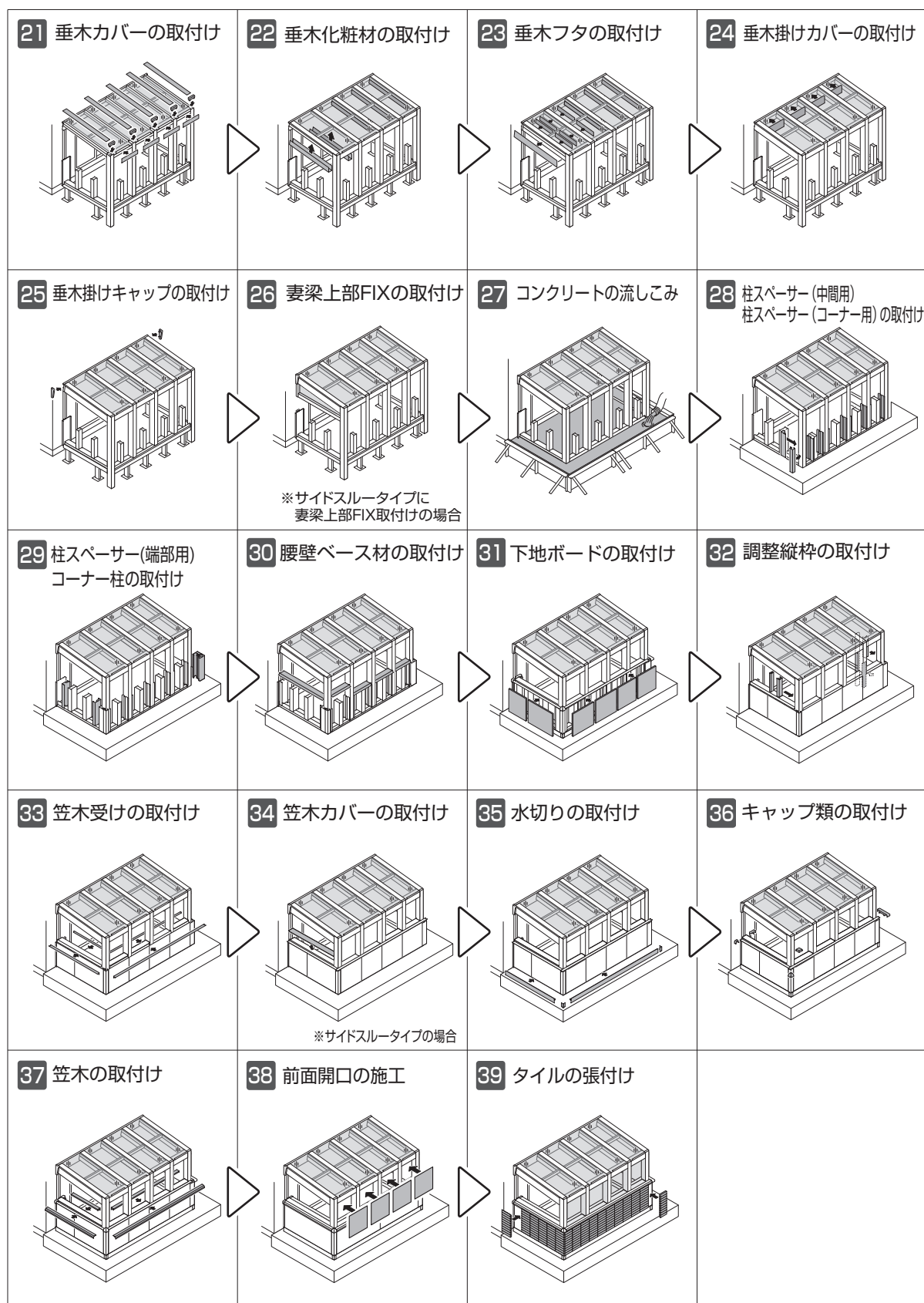
次のページ
21 へ続く



L字腰壁ガーデンルームタイプ、L字腰壁サイドスルータイプ

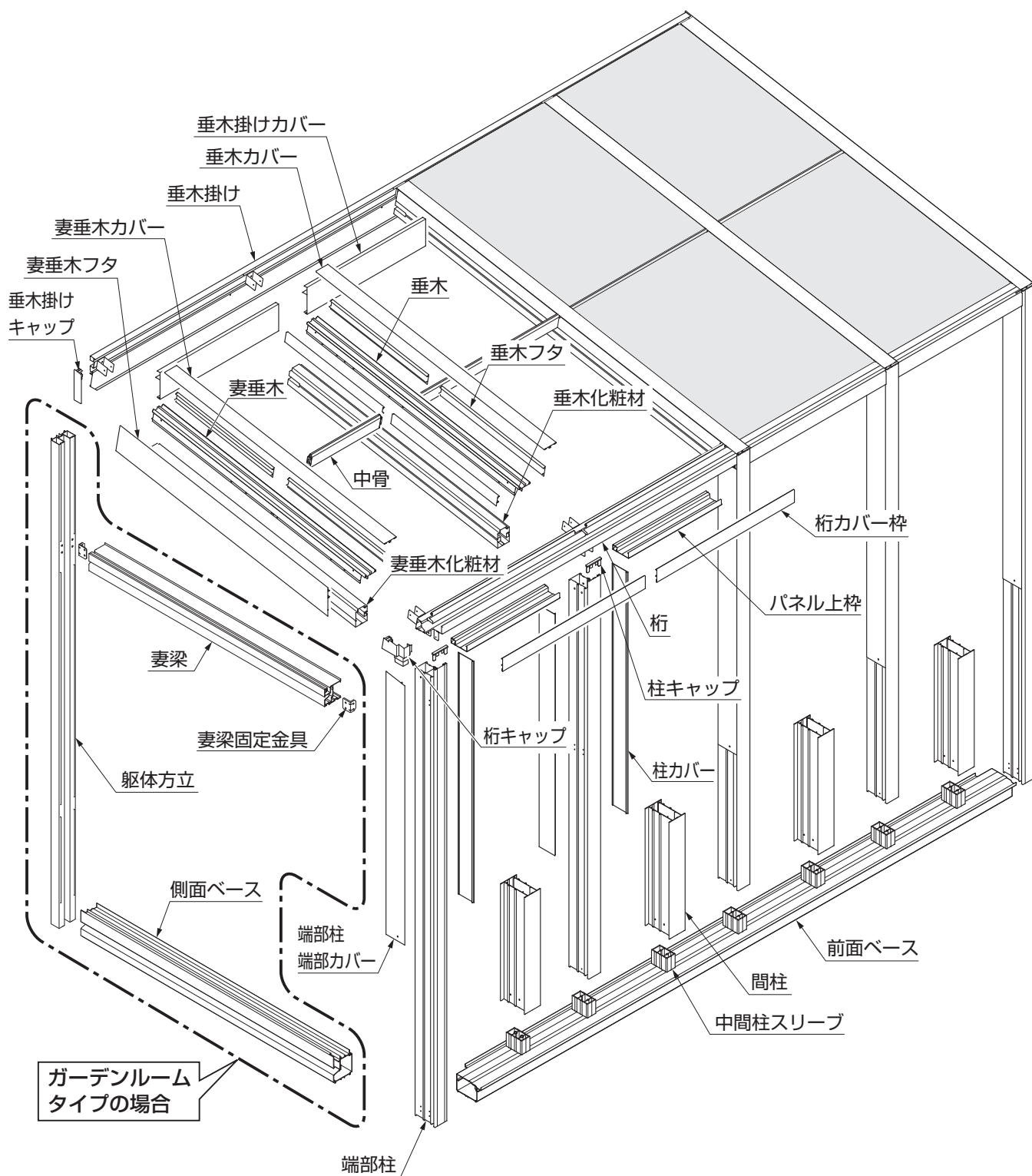


1 ベース材とベース材束柱の取付け 	2 躯体方立の取付け ※サイドスルーで妻梁上部FIXの場合 ※ガーデンルームタイプの場合	3 土間見切り材の取付け ※ガーデンルームタイプの場合	4 垂木掛けの組立て 	
5 桁の組立て 	6 柱の加工 	7 雨樋の取付け 	8 柱の建込み 	
9 前面ベース受けの取付け 	10 前面ベースの取付け 	11 見切り材の取付け 	12 側面ベース受けの取付け 	
13 側面ベースの取付け 	14 中間柱の取付け 	15 間柱の取付け 	16 垂木掛けの取付け 	
17 桁の取付け 	18 妻垂木・垂木の取付け 	19 中骨の取付け 	20 屋根材の取付け 	

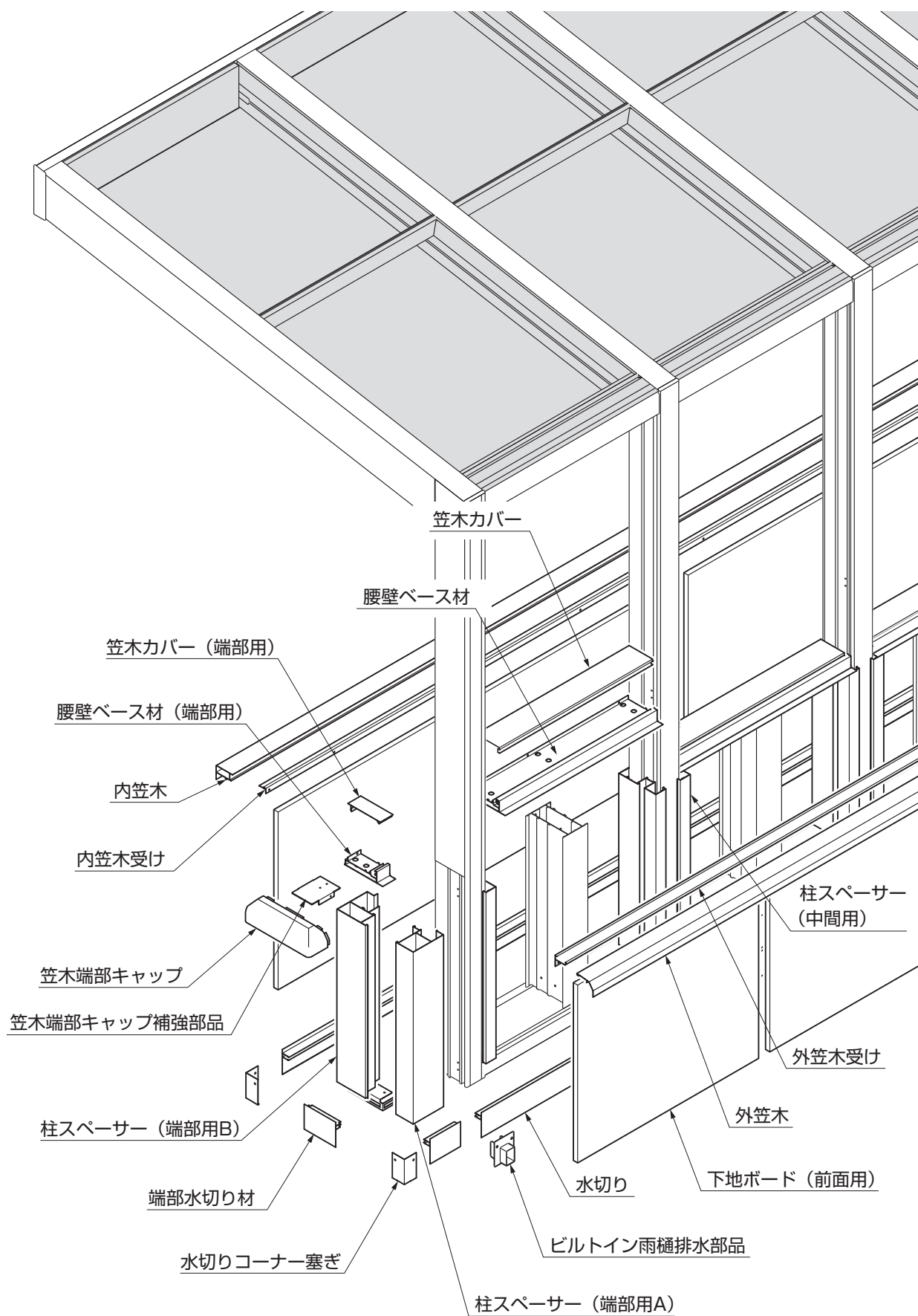


2 各部の名称

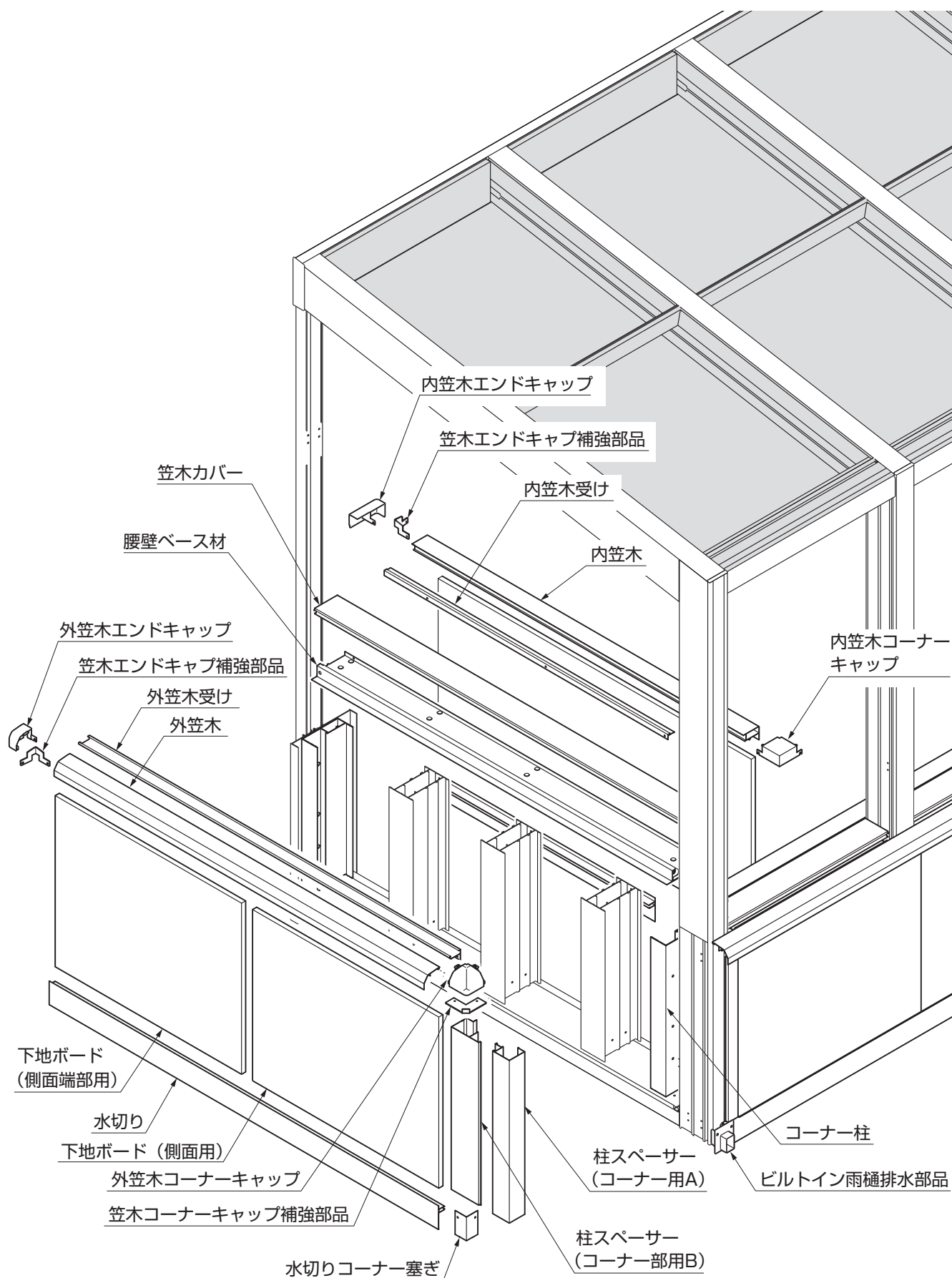
1. フレーム部



2. 前面腰壁部



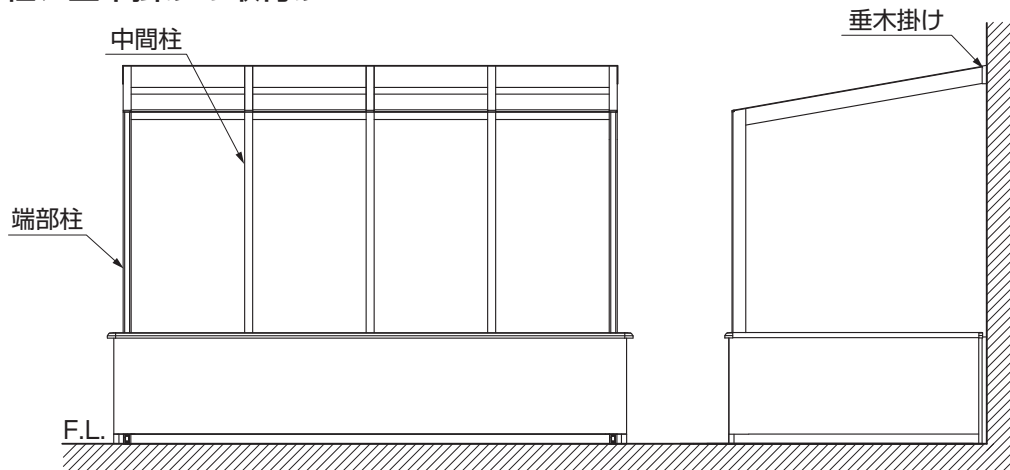
3. L字腰壁部（側面）



3 施工前の重要確認事項

1. フレーム、腰壁部の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

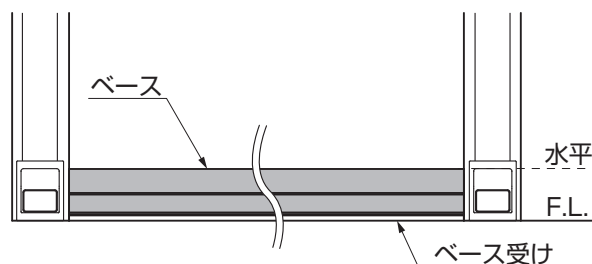
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

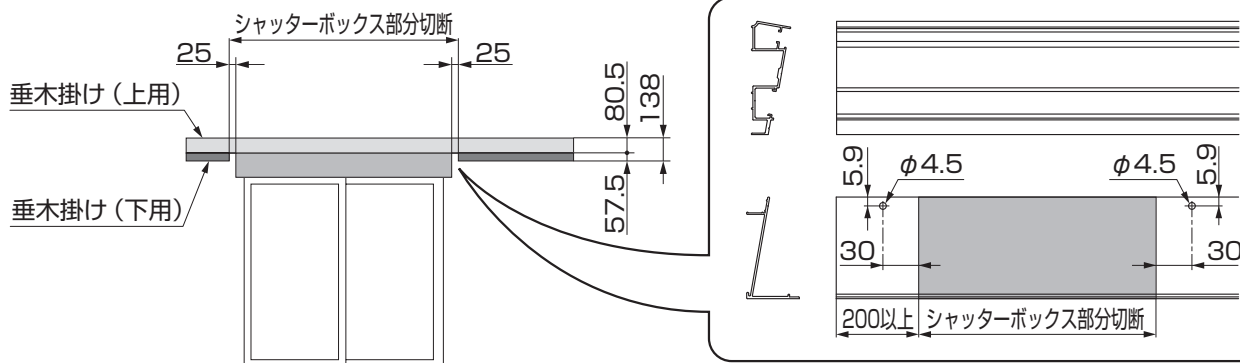


ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 垂木掛けの分割利用について

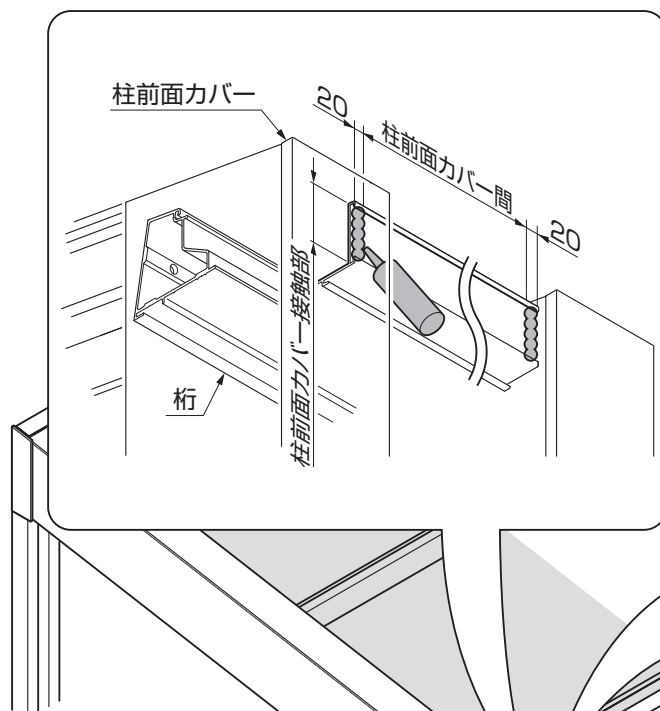
※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。



ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け（下用）は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け（下用）が必要です。

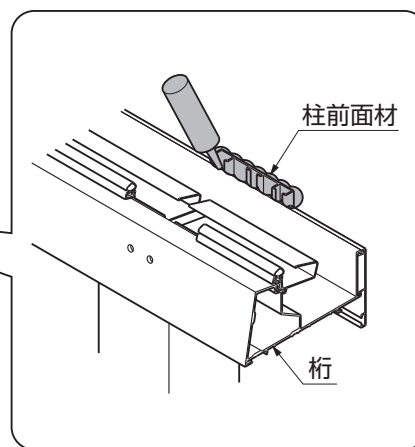
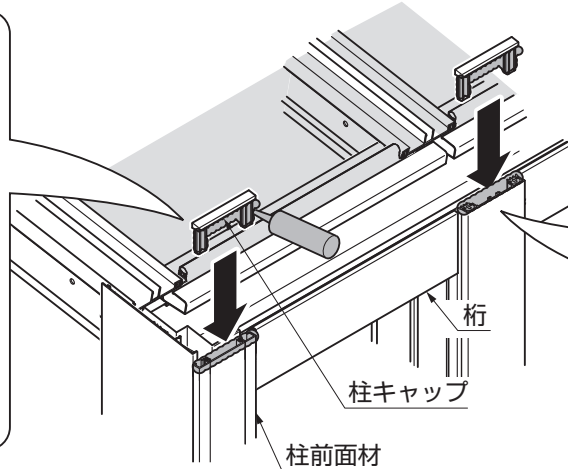
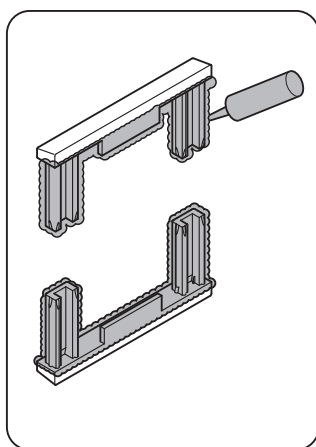
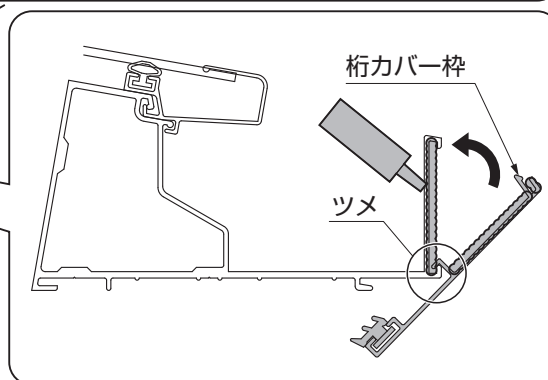
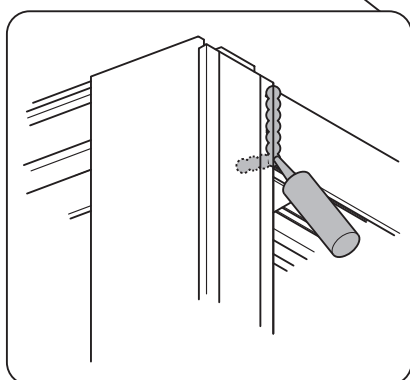
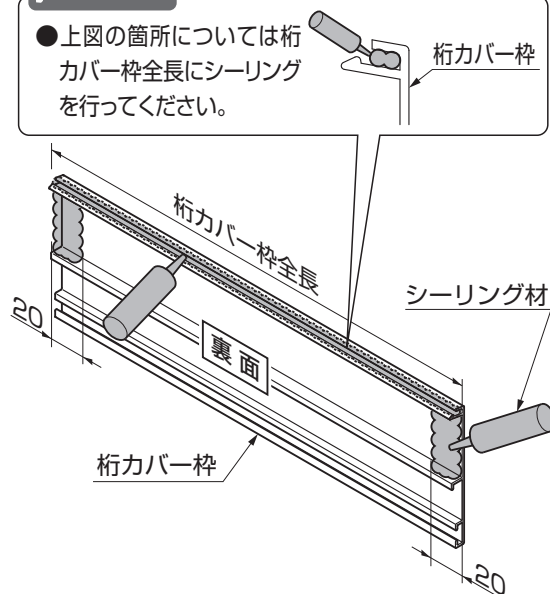
1-4 シーリング処理



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。

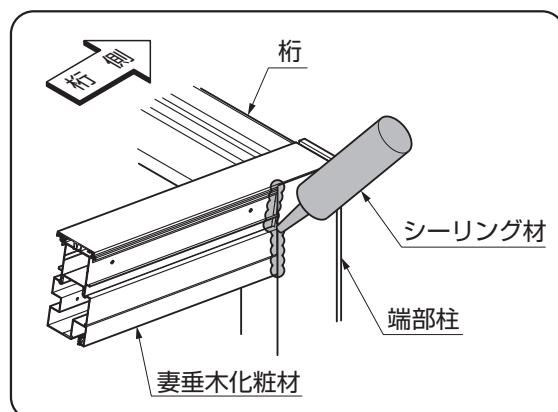
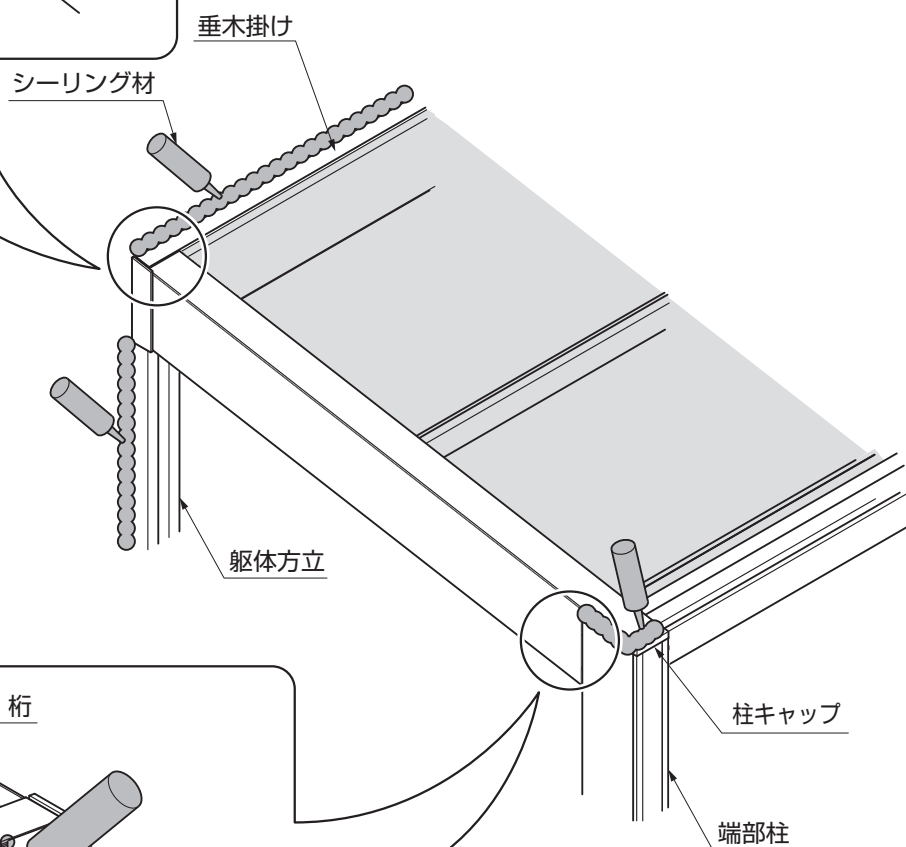
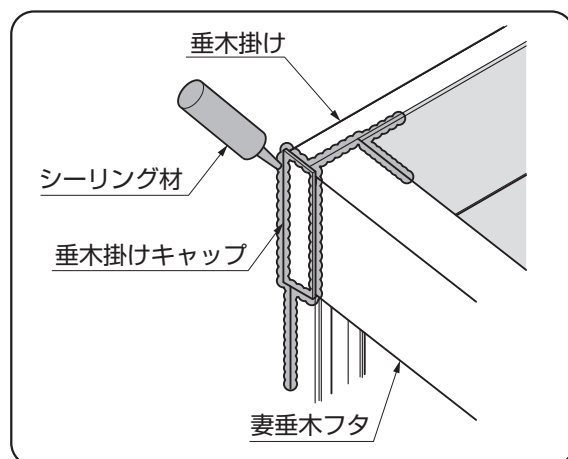


ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-4 (つづき)



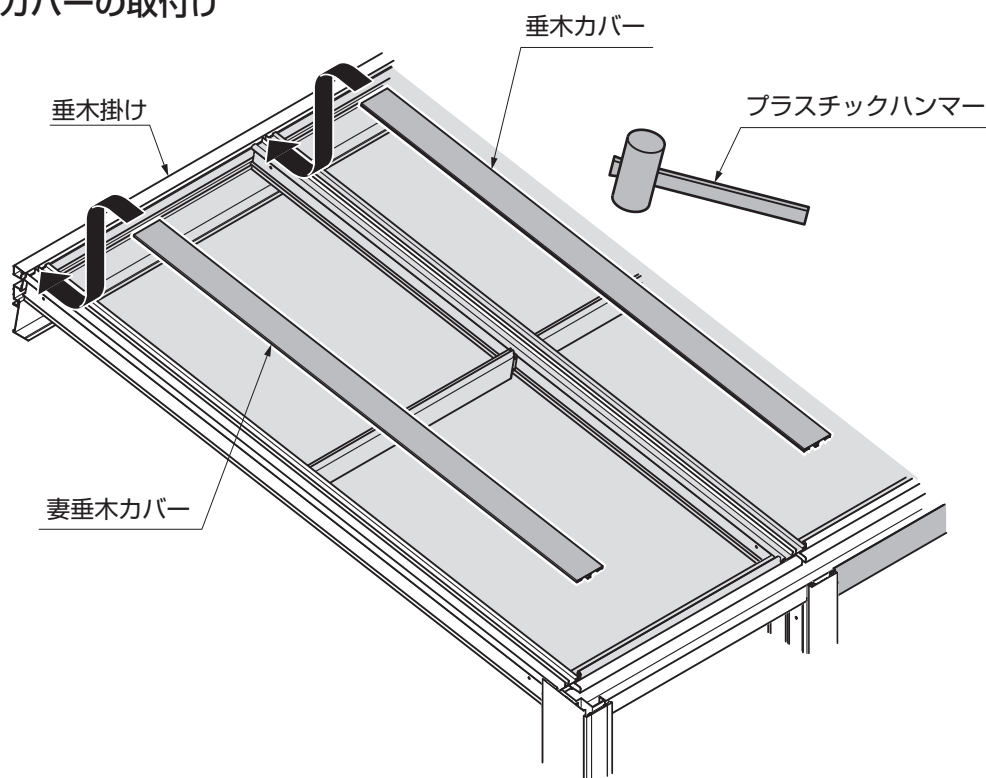
ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1-5 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.62	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.68	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.69	2-2 連棟の場合 (2) 桁の連結	連結用桁キャップ
P.82	7.入隅の場合	外壁と端部柱
P.83	1.前面ベース受けの取付け	前面ベース受け端部
P.88	9-1 垂木掛けの取付け	φ5躯体穴、垂木掛け・躯体接触部、パネル飲み込み部
P.90	9-2 連棟、垂木LED照明、入隅の場合 (1) 連棟の場合	垂木掛け連結部
P.91	10.桁の取付け	桁キャップの縁
P.99	(3) 垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.112	19-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部
P.116	3.シーリング処理	ベース受け
P.117	1.柱スペーサー (中間用) の取付け	入隅縦枠、躯体の取合い部
P.134	2-3 コーナー柱の取付け 【内面立上げの場合】	見切り材と内面塞ぎ材B
P.136	3-1 腰壁ベース材の取付け	腰壁ベース材と躯体枠、端部柱の取合せ部

1-6 垂木カバーの取付け



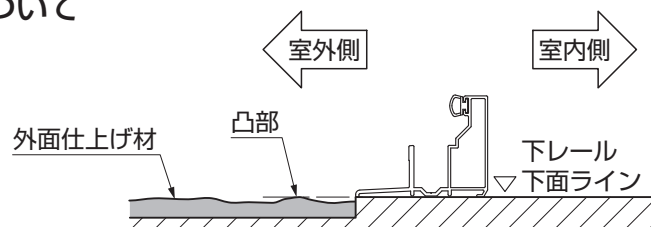
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1. (つづき)

- 1-7 下レールの取付け** ※図は折戸用です。引戸、クリアウォール、カスタムウォールの場合も同様です。
※ガーデンルームタイプの作業です。

(1) 外面仕上げについて



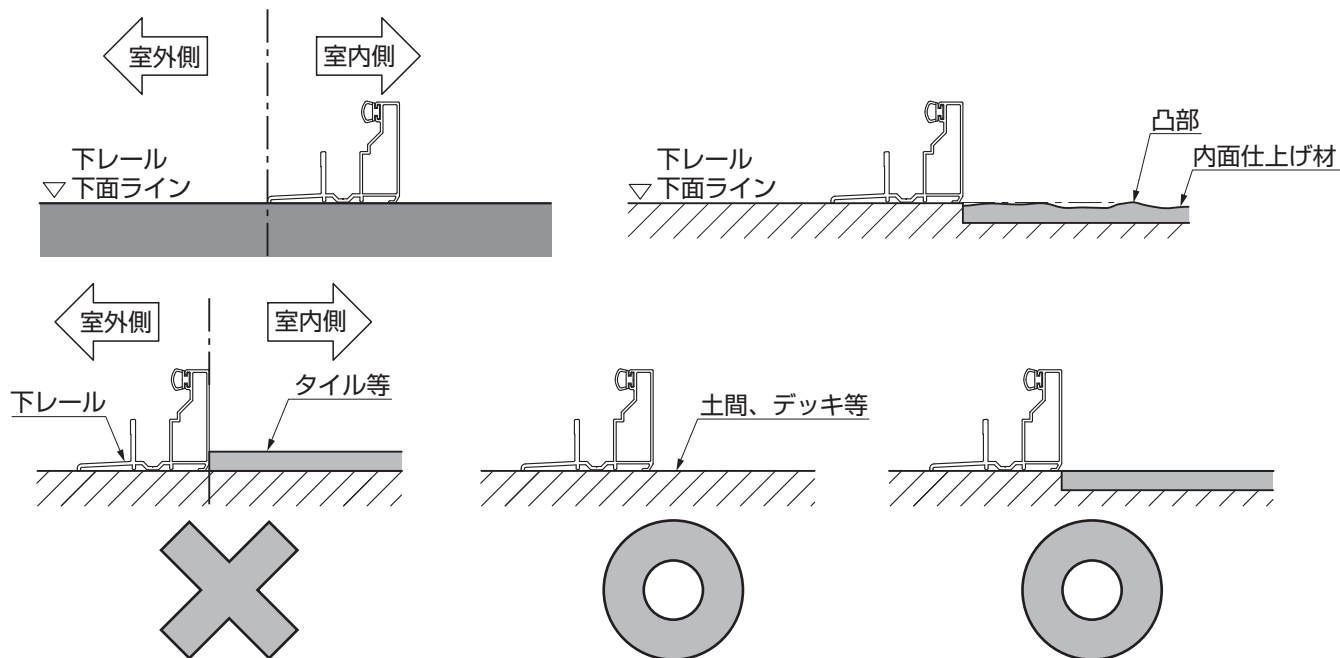
① 室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くなるように仕上げてください。

(2) フラット施工の内面仕上げについて

[] : 土間 (タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



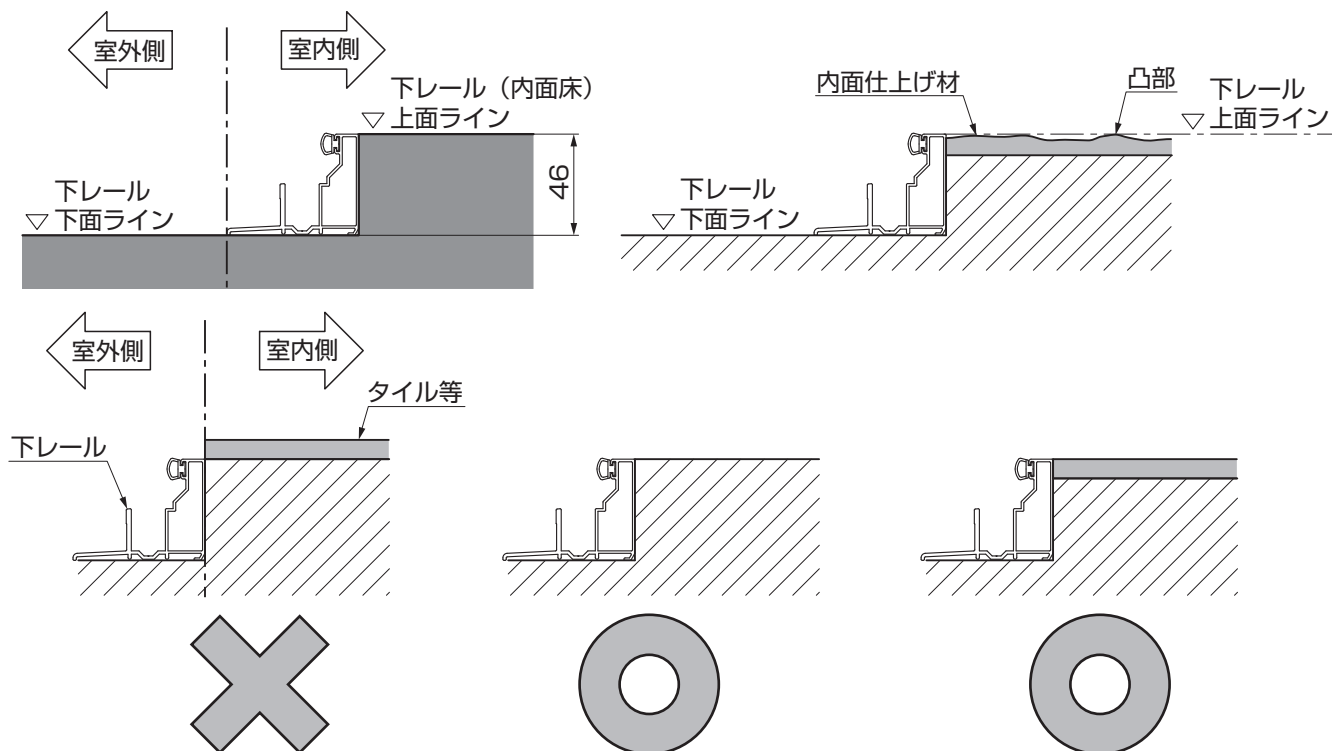
① 室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くなるように仕上げてください。

(3) 内面立上げ施工の内面仕上げについて

■：土間（タイル等含む）デッキの仕上げ範囲

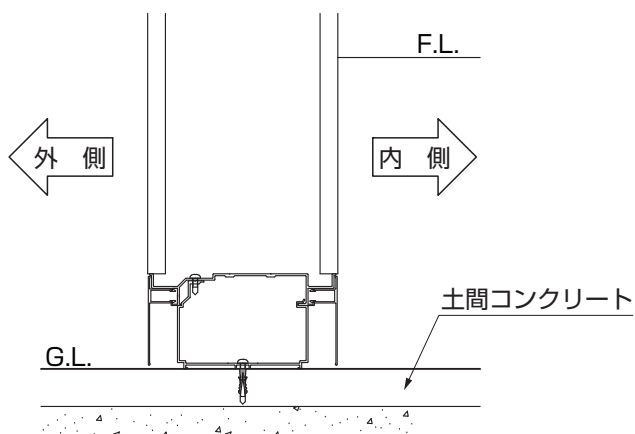


①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面（内面外高さ）より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くないように仕上げてください。

1-8 ベース受けの取付け ※腰壁下延長の場合の作業です



ポイント

- 腰壁下延長でG.L.面に固定する場合は、土間コンクリートが水平になっていることを確認し、水平になっていない場合は水平に仕上げてください。

1. (つづき)

1-9 土間仕上り寸法 ※ガーデンルームタイプの作業です

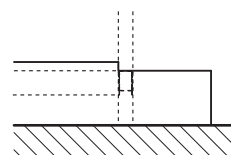
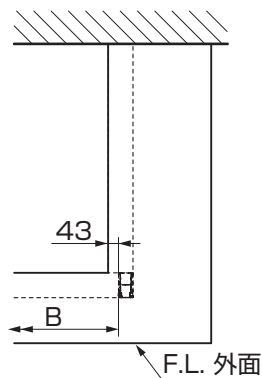
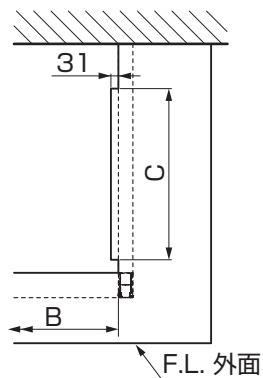
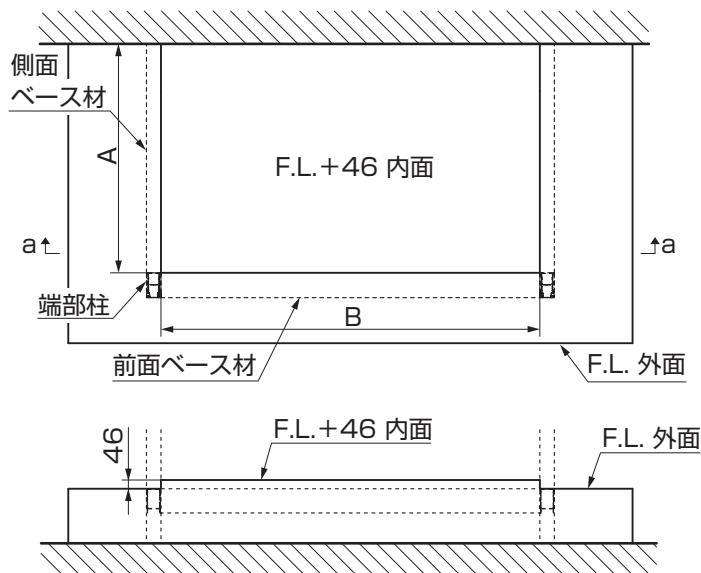


図1-1
引戸の場合

図1-2
L字腰壁の場合

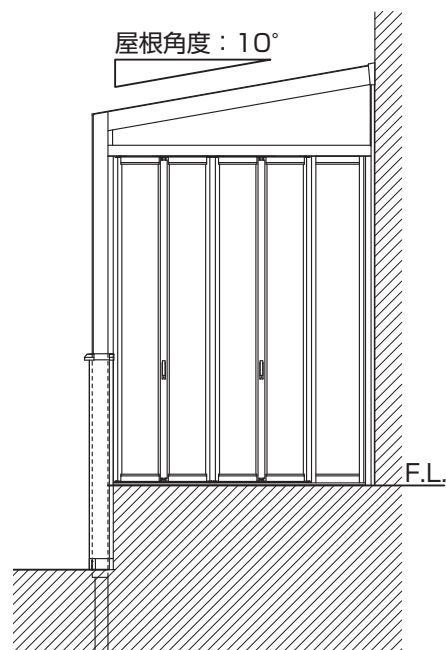
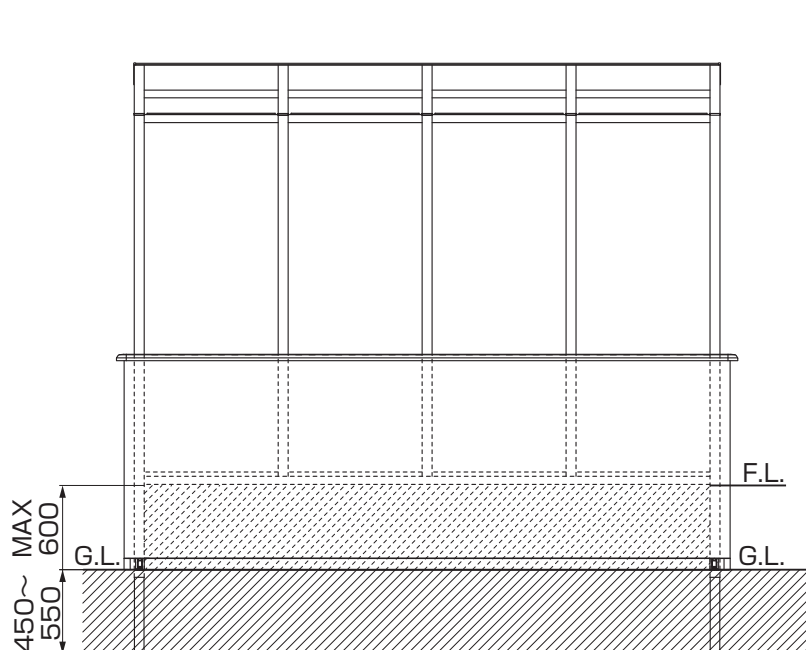
	A
4尺	1205
6尺	1805
8尺	2405
10尺	3005

	B		B		B		B
1.0間	1760	2.5間	4490	4.0間	7220	5.5間	9950
1.5間	2670	3.0間	5400	4.5間	8130	6.0間	10860
2.0間	3580	3.5間	6310	5.0間	9040		

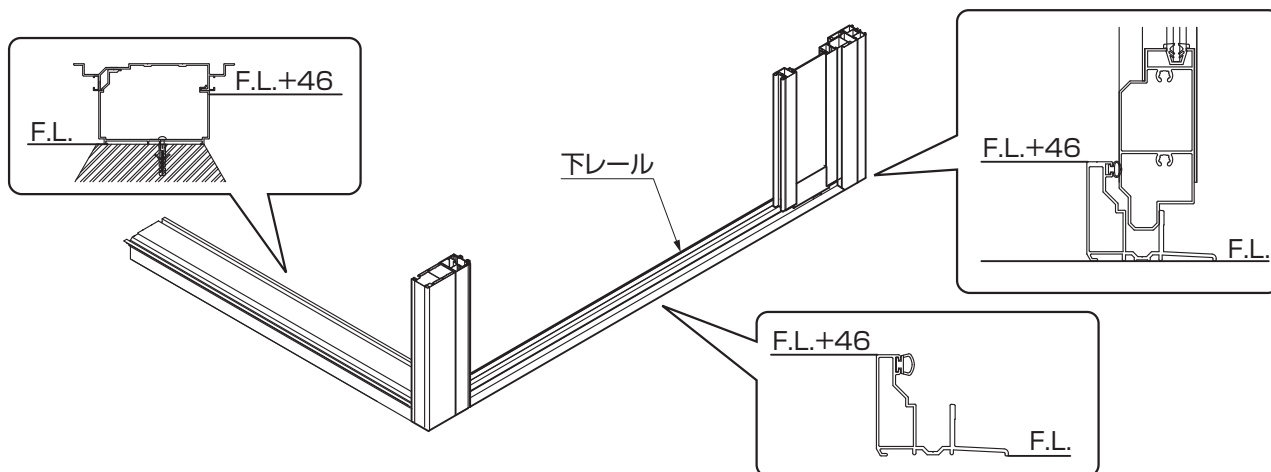
	C
4尺	—
6尺	1427
8尺	1777
10尺	1777

※表のB寸法は折戸の場合（土間見切り材：片側12mmを含む）です。
引戸の場合は片側面あたり31mm、L字腰壁の場合は片側面あたり43mm 上記B寸法より引いてください。

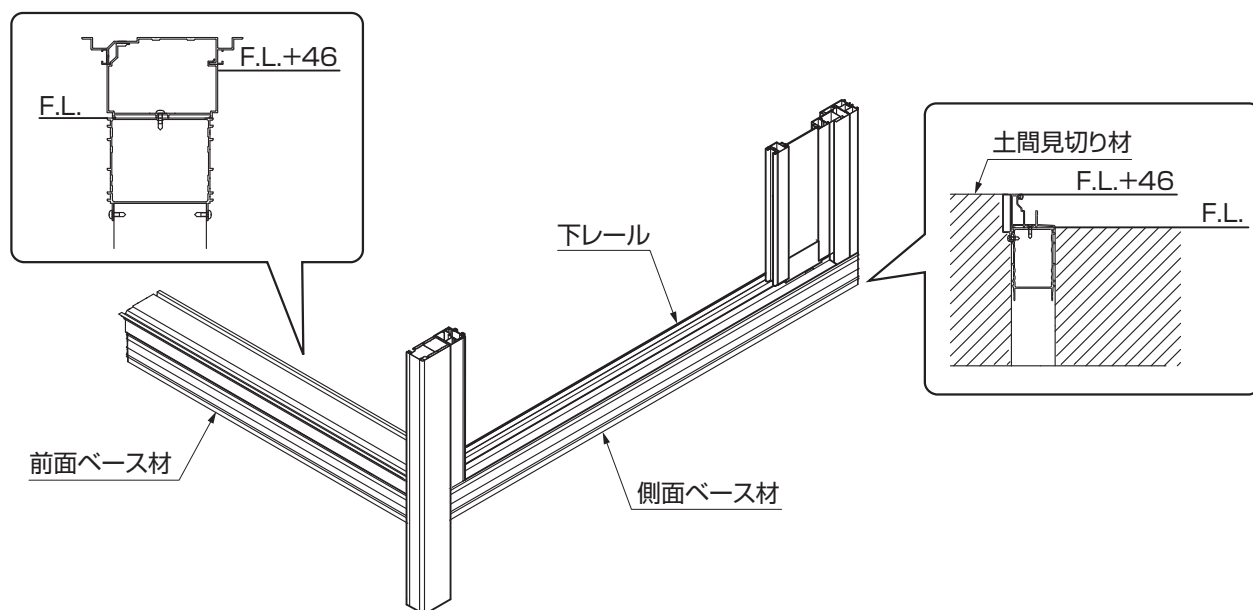
1-10 代表的な施工例について 土間施工 外面床なし仕様（インナーデッキ仕様など）



1-11 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-12 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



1-13 オプションを取付ける場合

ポイント

●ココマII本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も併せて確認し、取付けてください。

対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手 順
E377 ロールスクリーン	P.105	16. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード	P.105	16. 垂木フタの取付け
E269 内部日除け	P.106	17. 垂木掛けカバーの取付け
E368 カウンターテーブル	P.162	19. タイルの張付け

2. 開口部の施工について

2-1 開口部の調整

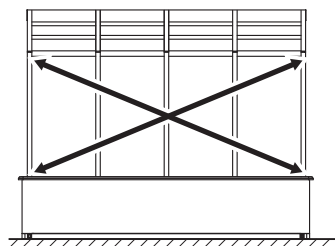


図2-1 対角の調整

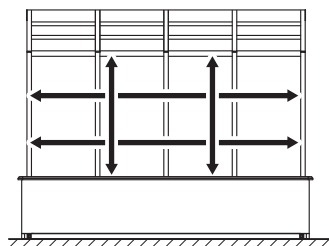


図2-2 W・H寸法の調整

ポイント

- 開口部の対角およびW・H寸法がでていないと開口部材が取付けられなくなるおそれがありますので、調整してください。

2-2 シーリング処理

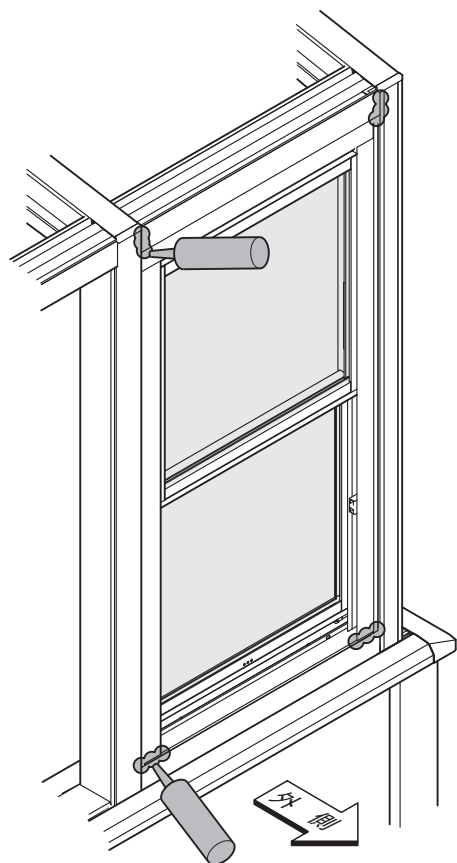


表2-1 シーリング箇所

ページ	タイトル
P.161	2-7 シーリング処理

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

2-3 FIXパネルの取付け

ポリカパネル種類		耐候面	取付け向きの指定
前面FIXパネル	クリア	両面耐候	—
	クールマット	両面耐候	マット面を内側
妻梁上部FIXパネル	クリア	片面耐候	ラベル面を外側
	クリアマット	片面耐候	マット面を内側
	熱線吸収	片面耐候	ラベル面を外側
	熱線吸収アクア	片面耐候	ラベル面を外側

ポイント

- 一部FIXパネルには耐候面（裏表）があります。パネル表側のラベルを確認の上、取付け間違いのないように注意してください。
- マット調のパネルはマット面（ガラガラした面）が室内側になるように取付けてください。

2-4 ガラスパネルの取扱い

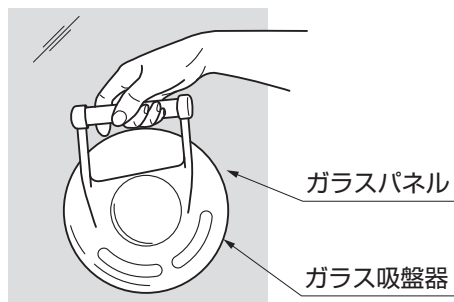


図2-3

ポイント

- 強化ガラス、現場入れガラスを取付けるときには、市販のガラス吸盤器を使用してください。また、ポリカーボネートの前面FIXパネルについても養生シートは、はがさずにガラス吸盤器を使用すると取付けが容易になります。
- 強化ガラス、現場入れガラス取付けの際にガラスの端部とアルミ型材がこすれたり、引っ掛けたりしないように、養生テープでアルミ型材を保護してください。
- ガラスとアルミが直接触れないように、本説明書の指示の通り、同梱のセッティングブロック、セッティングシートは、必ず使用してください。
- 強化ガラス、現場入れガラス等、大判のガラス取付け作業の際は、二人作業を推奨します。
- 強化ガラス、現場入れガラス等は、入れ込み箇所のすぐそばで作業の直前に開梱してください。
- ガラスの角をぶつけると、割れ等の破損のおそれがありますので特に注意してください。

2-5 後付けビード材の取付け

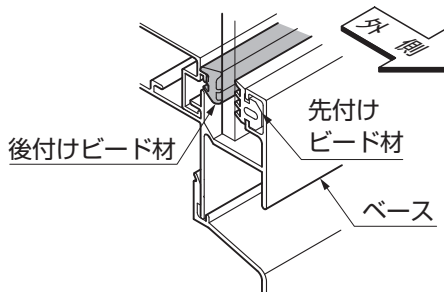


図2-4

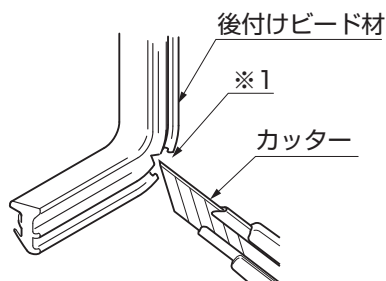


図2-5

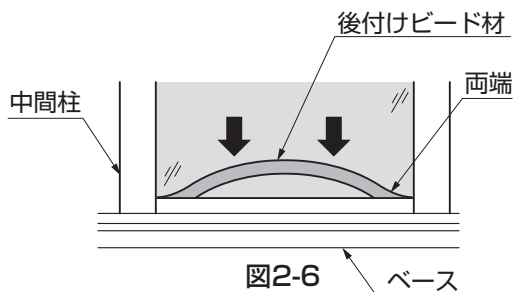


図2-6

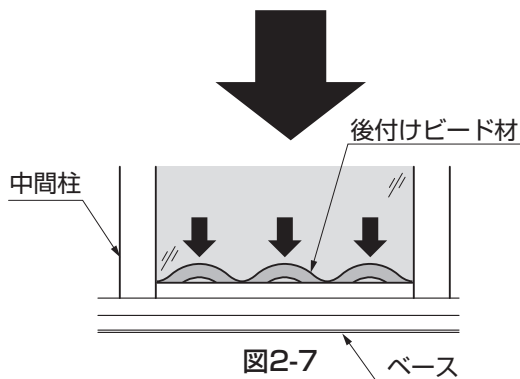


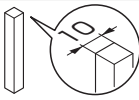
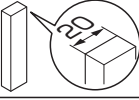
図2-7

ポイント

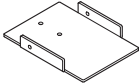
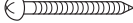
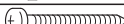
- 後付けビード材には取付ける向きがあります。(図2-4参照)
- 後付けビード材を折曲げる箇所(※1)にカッター等で切欠きを入れてください。(図2-5参照)
- 後付けビード材を取付ける際は、図2-6のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1~2箇所を先に押し込み、図2-7のようにたるみ部分の中心から広げるように押し込んでいきます。
- 後付けビード材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

4 梱包明細表

【1】 部品箱（乾式腰壁 ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）

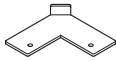
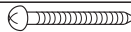
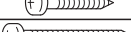
名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		3	5	7	9	11
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
セッティングブロック (H10)		8	12	16	20	24
セッティングブロック (H20)		—	2	4	6	8
セッティングブロック (H2)		4	4	4	4	4
ビルトイン雨樋排水部品		2	2	2	2	2
ベース材端部排水テープ		4	6	8	10	12
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップL		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップR		1	1	1	1	1
垂木取付金具		6	8	10	12	14

【1】 部品箱（乾式腰壁 ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
水切りコーナー塞ぎ		4	4	4	4	4
端部水切り固定金具		2	2	2	2	2
端部水切り材		2	2	2	2	2
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱コーナー塞ぎ		2	2	2	2	2
柱取付金具		4	6	8	10	12
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2
アンカー棒（φ9×150）		2	2	2	2	2
MDペンダントライト電気工事説明書 取付説明書<R011>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 開口部編<E393>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 乾式腰壁タイプ編<E391>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ デッキ編（樹ら楽ステージ）乾式腰壁タイプ 取付説明書<E388>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書<E418>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 乾式腰壁タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書<E414>	—	1	1	1	1	1
【1-1】 30 フィッシャープラグ S6 小袋入		5	7	9	12	15
【1-2】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-3】 φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	12	15
【1-4】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-6】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		17	21	26	30	34
【1-7】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2 〔※〕		145(12)	198(12)	252(12)	305(12)	356(12)
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12	15
【1-9】 φ4×25サラドリルネジ D=8		39	59	79	99	118
【1-10】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		21	28	34	41	48
【1-11】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	12	15
【1-12】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	10	14	18	22
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-14】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
【1-15】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27

※（ ）内本数については、シャイングレー：生地色、アイボリーホワイト：ホワイト色

【1】 部品箱 （乾式 L字腰壁用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
中間柱スリーブ		3	5	7	9
内面塞ぎ材B		1	1	1	1
笠木コーナーキャップ補強部品		1	1	1	1
笠木エンドキャップ補強部品		2	2	2	2
躯体方立キャップ		1	1	1	1
【1-1】 30 フィッシャープラグ S6 小袋入		3	5	6	8
【1-3】 $\phi 4.1 \times 63$ 丸木ネジ		4	6	6	8
【1-6】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		3	3	3	3
【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		58	80	93	115
【1-8】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ D=8.2		3	5	6	8
【1-9】 $\phi 4 \times 25$ サラドリルネジ D=8		39	59	79	99
【1-10】 $\phi 4 \times 25$ ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		10	15	19	24
【1-11】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種		3	5	6	8
【1-12】 $\phi 4 \times 75$ ナベタッピンネジ1種 D=7		6	10	15	19
【1-13】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=10 【※】		1	1	1	1

※シャイングレー：生地色、アイボリーホワイト：ホワイト色

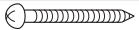
【1】 部品箱 （乾式腰壁 正面下延長用）

名 称	略 図	員 数
デッキベース材固定金具		2
【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		39
【1-9】 $\phi 4 \times 25$ サラドリルネジ D=8		79
【1-18】 $\phi 4 \times 40$ ナベドリルネジ D=8.2		4

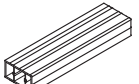
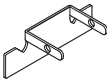
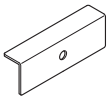
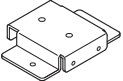
【1】 部品箱 （乾式 L字腰壁下延長用）

名 称	略 図	員 数
内面塞ぎ材A		1
内面立上げスペーサー受け金具		1
【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		7
【1-9】 $\phi 4 \times 25$ サラドリルネジ D=8		66

【1】 部品箱 （乾式腰壁 横延長用）

名 称	略 図	員 数
中間柱スリーブ		3
【1-1】 30 フィッシャープラグ S6 小袋入		5
【1-3】 $\phi 4.1 \times 63$ 丸木ネジ		5
【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		44
【1-8】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ D=8.2		5
【1-9】 $\phi 4 \times 25$ サラドリルネジ D=8		39
【1-10】 $\phi 4 \times 25$ ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		8
【1-11】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種		5
【1-12】 $\phi 4 \times 75$ ナベタッピンネジ1種 D=7		6
【1-17】 腰壁ベース材 取付ボルト		4

【2】 部品箱セット（積雪タイプ3000-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）		2	3	4	5	6
柱スリーブベース金具		3	4	5	6	7
【2-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【2-2】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		20	30	40	50	60
【2-3】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		33	49	66	82	99
【2-4】 $\phi 4 \times 8$ トラスタッピンネジ3種		2	3	4	5	6
【2-5】 $\phi 5 \times 75$ ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【2-6】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26
【2-7】 $\phi 5 \times 50$ ナベタッピンネジ1種		6	8	10	12	14

【3】 端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱外固定ベース		1
【3-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッパアンカー		6
【3-2】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ		6
【3-3】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		2

【4】 端部柱内固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱内固定ベース		1
【4-1】 $\phi 5 \times 35$ セルフタッパアンカー		6
【4-2】 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ		6
【4-3】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		2

【5】 中間柱セット (基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

【6】 端部柱セット (基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
端部柱		左右各1
端部柱端部カバー		左右各1
雨樋受け取付部品		2
雨樋受け部品 (下排水用)		2
雨樋受け部品 (前排水用)		2
角横エルボ		2
角樋		2

【7】 乾式腰壁間柱セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
乾式腰壁 間柱		2	3

【8】 連棟柱セット (基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品 (下排水用)		1
雨樋受け部品 (前排水用)		1
角横エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連結用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【8-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ D=8.2		2
【8-2】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		6
【8-3】 $\phi 5 \times 8$ トラスタッピンネジ3種		2

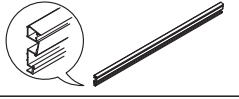
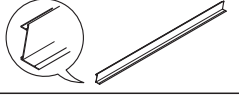
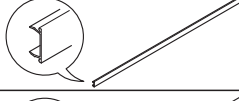
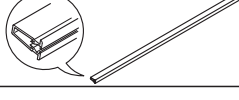
【9】 躯体方立セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【9-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピンネジ3種 D=8		1

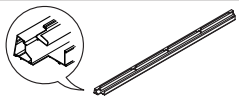
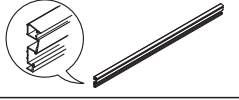
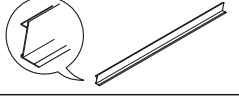
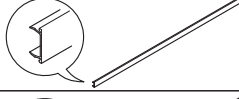
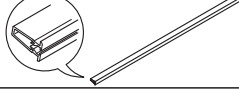
【10】 躯体方立 (延長) セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立 (延長用)		1

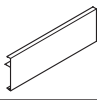
【11】 桁垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

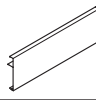
【12】 桁垂木掛けセット（3000タイプ）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

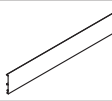
【13】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

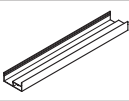
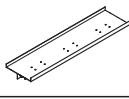
【14】 垂木掛けカバーセット（3000タイプ）

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

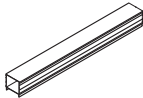
【15】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

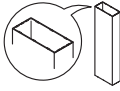
【16】 躯体見切り材セット（乾式腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		2
見切り材		1

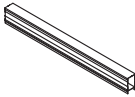
【17】 前面デッキベース材セット

名 称	略 図	員 数
前面ベース材		1
ベース材固定金具		2
【17-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4

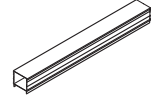
【18】 ベース材束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【18-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6	18
【18-2】 φ5×35セルフタッパアンカー		3	8

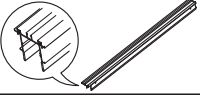
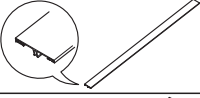
【19】 側面デッキベース材セット（基本タイプ用）

名 称	略 図	員 数
側面ベース材		1

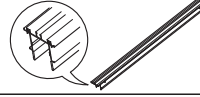
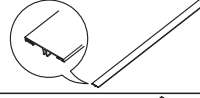
【20】 側面デッキベース材セット（乾式腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
腰壁用側面ベース材		1

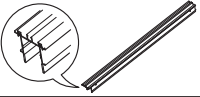
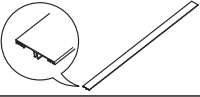
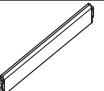
【21】 妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右 各1	左右 各1	左右 各1	左右 各1
妻垂木カバー		左右 各1	左右 各1	左右 各1	左右 各1
中骨		—	1	1	2
雪下ろし 指示シール		1	1	1	1

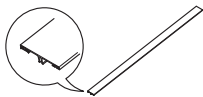
【22】 積雪用妻垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右 各1	左右 各1	左右 各1
妻垂木カバー		左右 各1	左右 各1	左右 各1
中骨		1	2	3
雪下ろし指示シール		1	1	1

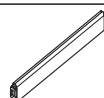
【23】 垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		—	1	1	2	—	3	3	6

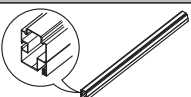
【24】 積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

【25】 サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

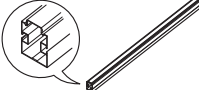
【26】 妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

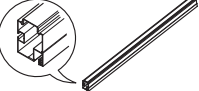
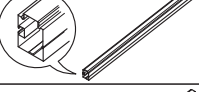
【27】 垂木化粧材セット（600タイプ）

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

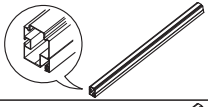
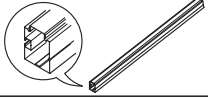
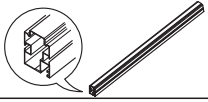
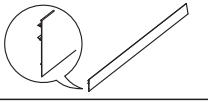
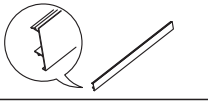
【28】 垂木化粧材セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

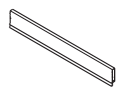
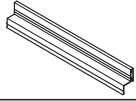
【29】 妻垂木化粧材セット（600プラスタイプ用）（右入または左入）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		4	8	8	12

【30】妻垂木化粧材セット（1500・3000-プラスタイプ用）（右入または左入）

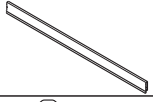
名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		8	12	16

【31】引戸用土間見切り材セット

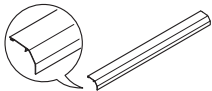
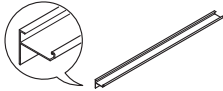
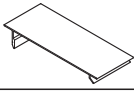
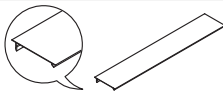
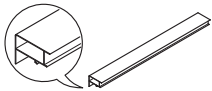
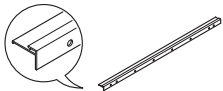
名 称	略 図	員 数		
		6尺	8尺	10尺
土間見切り材 躯体側		1	1	1
土間見切り材 柱側（※）		1	1	1
土間見切り材（引戸用）		1	1	1
土間見切り材小口キャップ（引戸用）		2	2	2
【31-1】φ4×25ナベタッピンネジ2種 D=7		5	5	5
【31-2】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		11	14	16

（※）腰壁仕様時は使用しません。

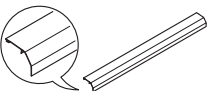
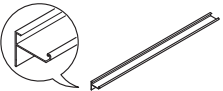
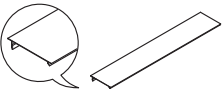
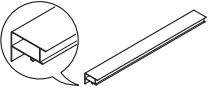
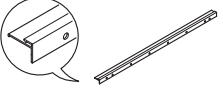
【32】土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
土間見切り材		1	1	1	1
【32-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12

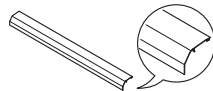
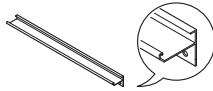
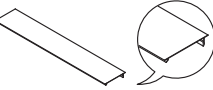
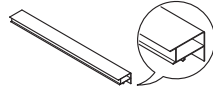
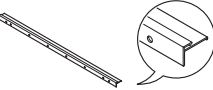
【33】 前面笠木セット（乾式腰壁-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
外笠木		1	1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1	1
笠木カバー（端部用）		2	2	2	2	2
笠木カバー		2	3	4	5	6
内笠木		1	1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1	1

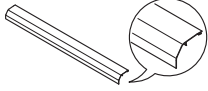
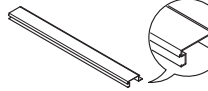
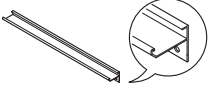
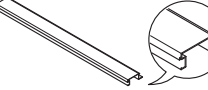
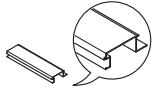
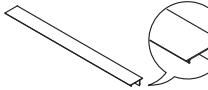
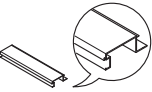
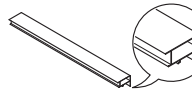
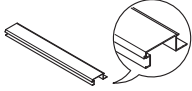
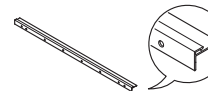
【34】 前面笠木セット（乾式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
		1.0間延長
外笠木		1
外笠木受け		1
笠木カバー		1
内笠木		1
内笠木受け		1

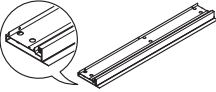
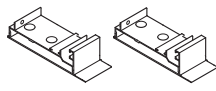
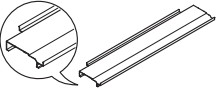
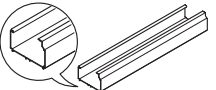
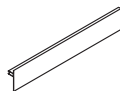
【35】 側面笠木セット（サイドスルータイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
笠木カバー		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

【36】側面笠木セット（ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺			4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1	側面笠木カバーA L=749		—	1	—	2
外笠木受け		1	1	1	1	側面笠木カバーA L=949		—	—	1	—
側面笠木カバーA L=224		1	1	1	1	側面笠木カバーB		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=269		1	2	—	—	内笠木		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=469		1	—	2	2	内笠木受け		1	1	1	1

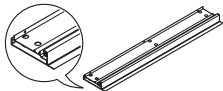
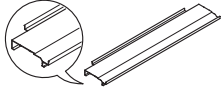
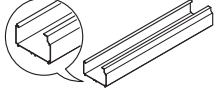
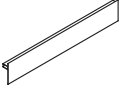
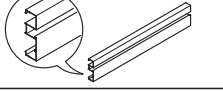
【37】前面ベース材セット（乾式腰壁・サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース材（中間用）		2	3	4	5	6
腰壁ベース材（端部用）		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
前面ベース		1	1	1	1	1
前面ベース受け		1	1	1	1	1
水切り		2	2	2	2	2

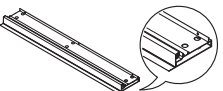
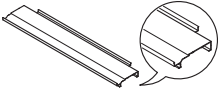
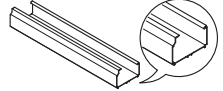
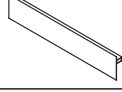
4

梱包明細表

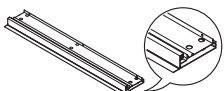
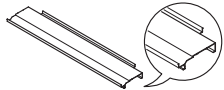
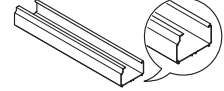
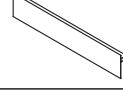
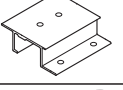
【38】 前面ベース材セット（乾式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
		1.0間延長
腰壁ベース材（延長用）		1
前面ベース		1
前面ベース受け		1
水切り		2
柱スペーサー（中間用）		2

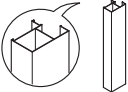
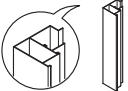
【39】 側面ベース材セット（乾式腰壁-サイドスルータイプ用）（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4R	6R	8R	10R
腰壁ベース材		1	1	1	1
側面ベース		1	1	1	1
側面ベース受け		1	1	1	1
水切り（内用）		1	1	1	1
水切り（外用）		1	1	1	1

【40】 側面ベース材セット（乾式腰壁-ガーデンルームタイプ用）（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4R	6R	8R	10R
腰壁ベース材		1	1	1	1
側面ベース		1	1	1	1
側面ベース受け		1	1	1	1
水切り（内用）		1	1	1	1
水切り（外用）		1	1	1	1
腰壁ベーススリーブ 台座（側面）		2	3	3	4
セッティング ブロック（H10）		12	16	16	20

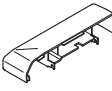
【41】 乾式腰壁柱スペーサーセット（端部用）

名 称	略 図	員 数
柱スペーサー（端部用A）		1
柱スペーサー（端部用B）		1

【42】 乾式腰壁柱スペーサーセット（コーナー用）

名 称	略 図	員 数
柱スペーサー（コーナー用A）		1
柱スペーサー（コーナー用B）		1

【43】 腰壁前面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		1

【44】 腰壁側面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
外笠木エンドキャップ		1
内笠木エンドキャップ		1
外笠木コーナーキャップ		1
内笠木コーナーキャップ		1

【45】 乾式腰壁柱スペーサーセット（中間用）

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
柱スペーサー（中間用）		4	6

【46】 乾式腰壁下地ボードセット（前面用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（前面用）		1

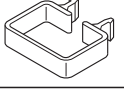
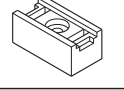
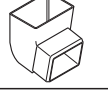
【47】 乾式腰壁下地ボードセット（側面端部用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（側面端部用）		1

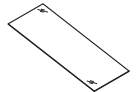
【48】 乾式腰壁下地ボードセット（側面用）

名 称	略 図	員 数
下地ボード（側面用）		1

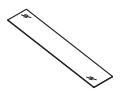
【49】 角樋セット

名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

【50】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

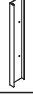
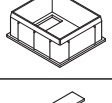
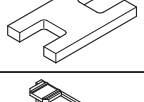
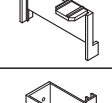
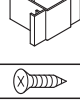
【51】 屋根材セット（3000）

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

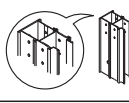
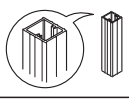
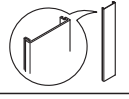
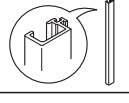
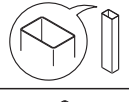
【52】 妻梁上部FIXパネル（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル		1

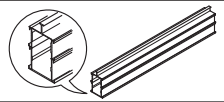
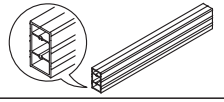
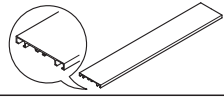
【53】 折戸用縦枠 腰壁用共通

名 称	略 図	員 数
折戸用縦枠戸当部材		1
調整FIX縦枠戸当部材		1
調整縦枠受けA		1
調整縦枠受けB		1
折戸用縦枠B		1
調整FIX受け		1
調整FIX調整縦枠		1
調整FIX調整材キャップ		2
調整縦枠スペーサー (1mm)		10
調整縦枠スペーサー (5mm)		2
調整縦枠連結部品		1
調整FIX受けキャップ		1
【53-1】 φ4×10サラタツピンネジ1種 D=6		1
【53-2】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		21
【53-3】 φ4×40ナベドリルネジ D=8.2		4
【53-4】 φ4×25ナベドリルネジ		2
【53-5】 φ4.1×45丸木ネジ D=8.2		4
【53-6】 フィッシャープラグ S6		4

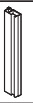
【54】 乾式腰壁下延長用端部柱セット

名 称	略 図	員 数
端部柱 (延長用)		1
端部柱スリーブ (延長用)		1
端部柱前面カバー (延長用)		1
端部柱前面材 (延長用)		2
角樋 (延長用)		1
角樋ジョイナー		1
【54-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

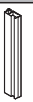
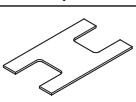
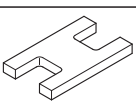
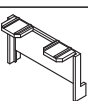
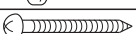
【55】 乾式腰壁下延長用中間柱セット

名 称	略 図	員 数
中間柱 (延長用)		1
中間柱スリーブ (延長用)		1
中間柱前面材 (延長用)		1
【55-1】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		16

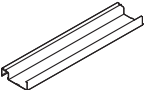
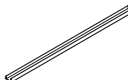
【56】 柱側FIX縦枠セット 55ミリ用 L字腰壁

名 称	略 図	員 数
調整縦枠		1
調整縦枠受けA		1
【56-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6

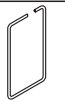
【57】 柱側FIX縦枠セット 55ミリ用 腰壁

名 称	略 図	員 数
調整縦枠		1
調整縦枠受けA		1
調整縦枠受けB		1
調整縦枠スペーサー (1mm)		10
調整縦枠スペーサー (5mm)		2
調整縦枠連結部品		1
【57-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6
【57-2】 φ4×40ナベドリルネジ D=8.2		4
【57-3】 φ4.1×45丸木ネジ D=8.2		4
【57-4】 フィッシャープラグ S6		4

【58】 前面横枠セット (サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数
パネル上枠		1
ネジ隠しフタ		1

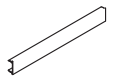
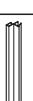
【59】 前面FIXパネル縦枠セット (腰壁用)

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2
後付けビード材		1

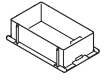
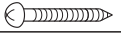
【60】 前面FIXパネル上段セット (ポリカーボネート板)

名 称	略 図	員 数
前面FIXパネル 上段		1

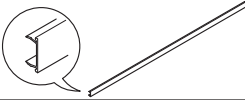
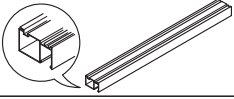
【61】 前面上げ下げ窓セット

名 称	略 図	員 数
上げ下げ窓		1
ネジ隠しフタ		1
上げ下げ窓上枠カバー		1
正面開口受け縦枠		2
【61-1】 φ4×40サラドリルネジ D=8		8
【61-2】 φ4×35ナベドリルネジ		3

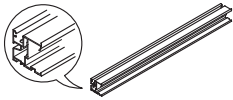
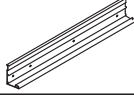
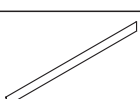
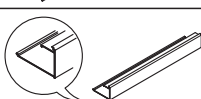
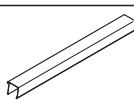
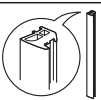
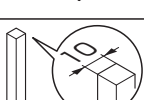
【62】 入隅用縦枠セット

名 称	略 図	員 数
入隅用縦枠		1
縦枠キャップ		1
【62-1】 φ4.1×45丸木ネジ		2

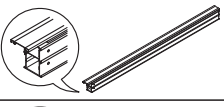
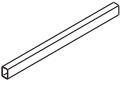
【63】妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【63-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	8

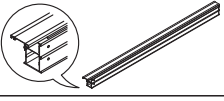
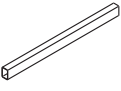
【64】妻梁セット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁カバー		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビード材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX取付金具		—	—	—	2
セッティングブロック（H10）		4	4	4	4
【64-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【64-2】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	17

【65】 端部柱セット オープンテラス（標準・ロング）1本入

名 称	略 図	員 数 標準・ロング
端部柱		1
端部柱端部カバー		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
雨樋受け部品（前排水用）		1
角横エルボ		1
角樋		1

【66】 端部柱セット 基本（H20・H22・H24）1本入

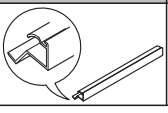
名 称	略 図	員 数 H20・H22・H24
端部柱		1
端部柱端部カバー		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
雨樋受け部品（前排水用）		1
角横エルボ		1
角樋		1
先付けビート材		1

【67】 前面テラス縦枠セット（プラス用）

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2

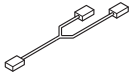
【68】 妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

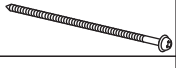
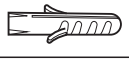
【69】 渡り配線セット

オプション

名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

【70】 トランス電源ユニット35W 屋外用

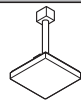
オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W（屋外用）本体		1
【70-1】 φ4×50十字穴付 フランジ付タッピンネジ		2（※）
【70-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2（※）
【70-3】 スペーサー		1（※）
【70-4】 結束バンド		2（※）
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

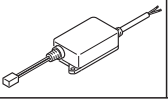
【71】 LEDスクエアライトセット

オプション

名 称	略 図	員 数
LED照明		1

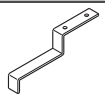
【72】 ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

【73】 ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【73-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2

5 基本寸法

1. ガーデンルームタイプ

1-1 前面腰壁仕様 (単体)

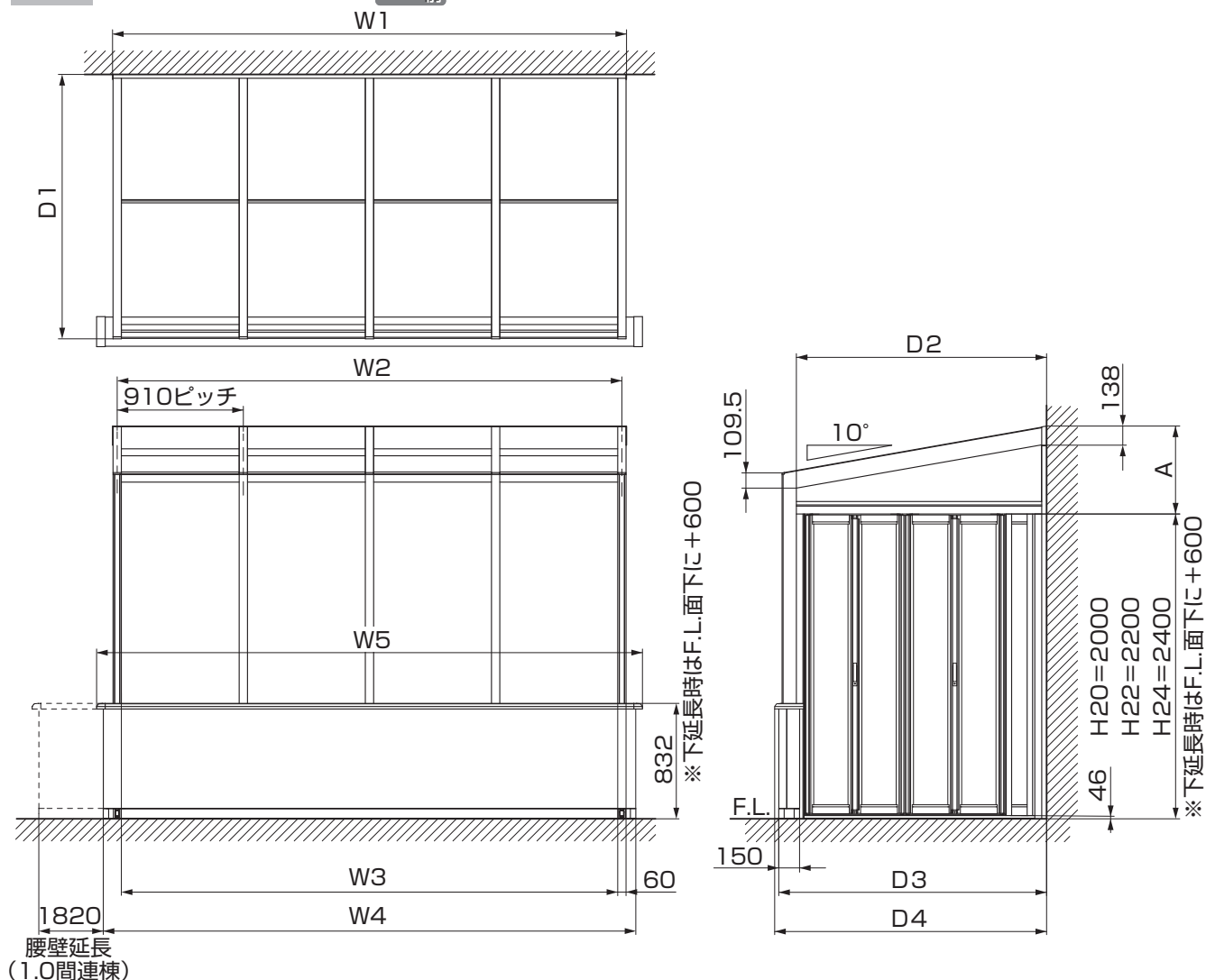


表1-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2	
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3	
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4	
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5	
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6	

表1-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846



間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7	
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8	
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9	
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10	
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11	
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12	

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

2. サイドスルータイプ

2-1 前面腰壁仕様 (単体)

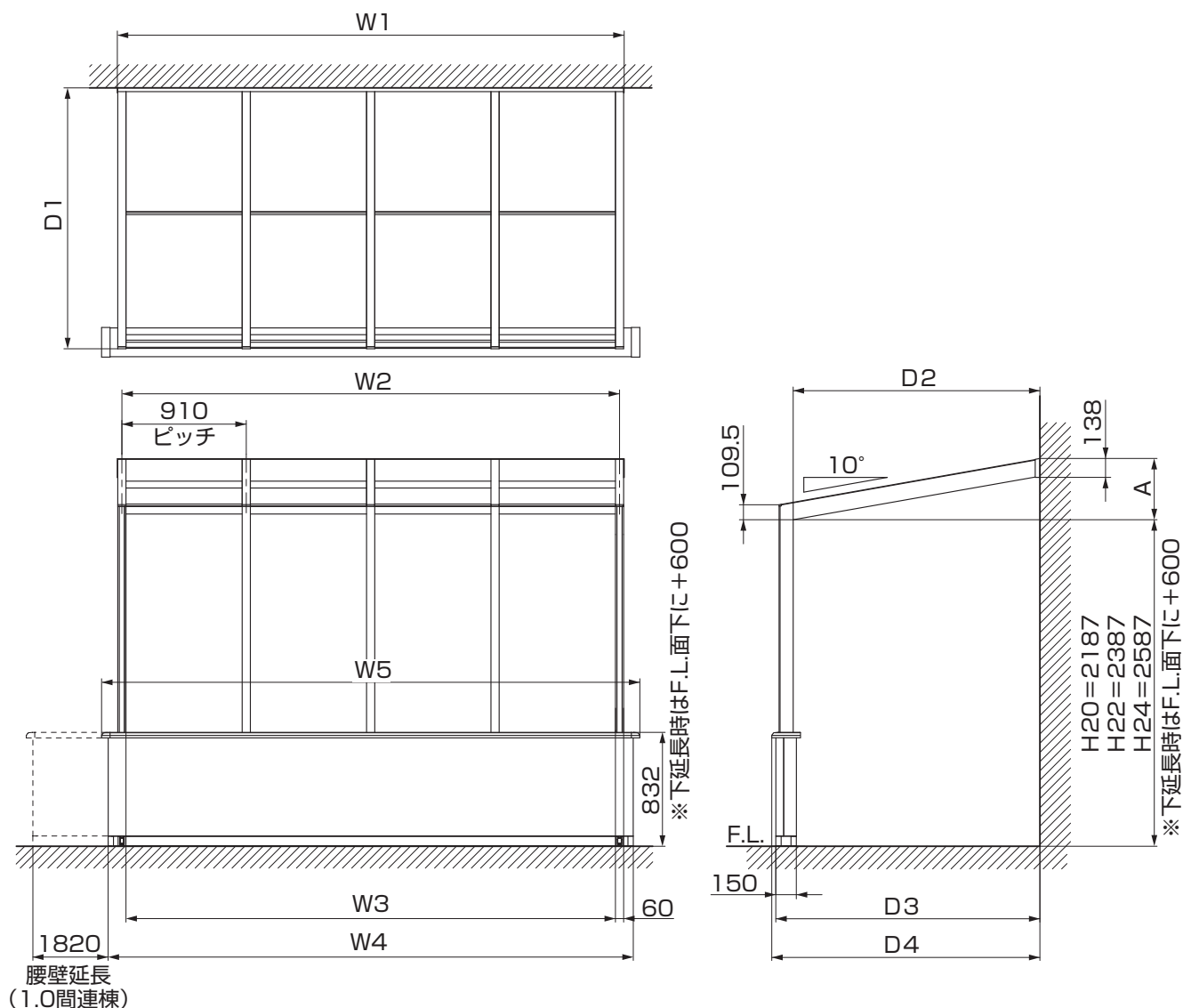


表2-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2	
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3	
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4	
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5	
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6	

表2-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

2-2 前面乾式腰壁（連棟）

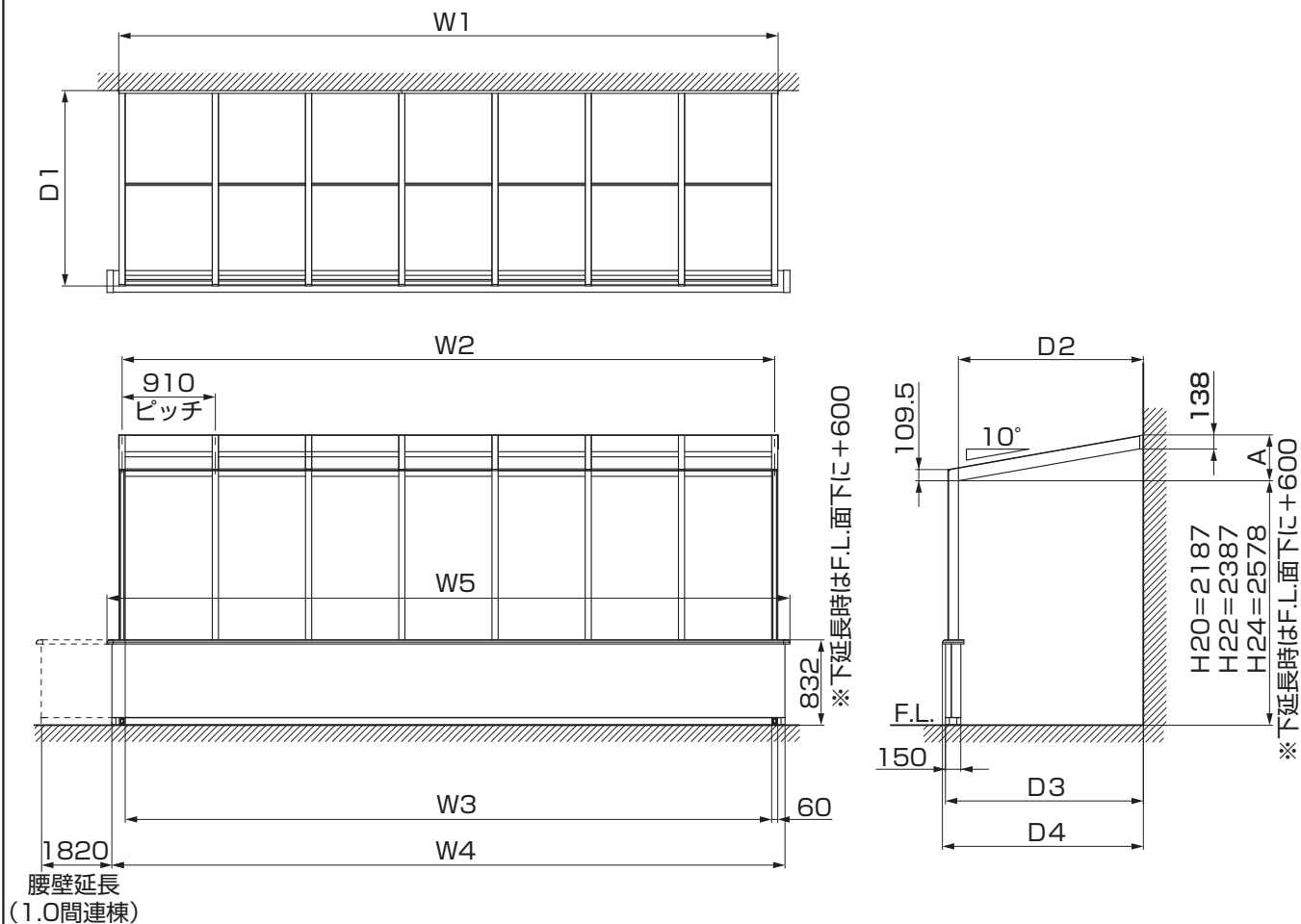


表2-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7	
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8	
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9	
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10	
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11	
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12	

表2-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4R	1308	1205	1332	1362	342
6R	1908	1805	1932	1962	448
8R	2508	2405	2532	2562	554
10R	3108	3005	3132	3162	659

3-2 連棟仕様

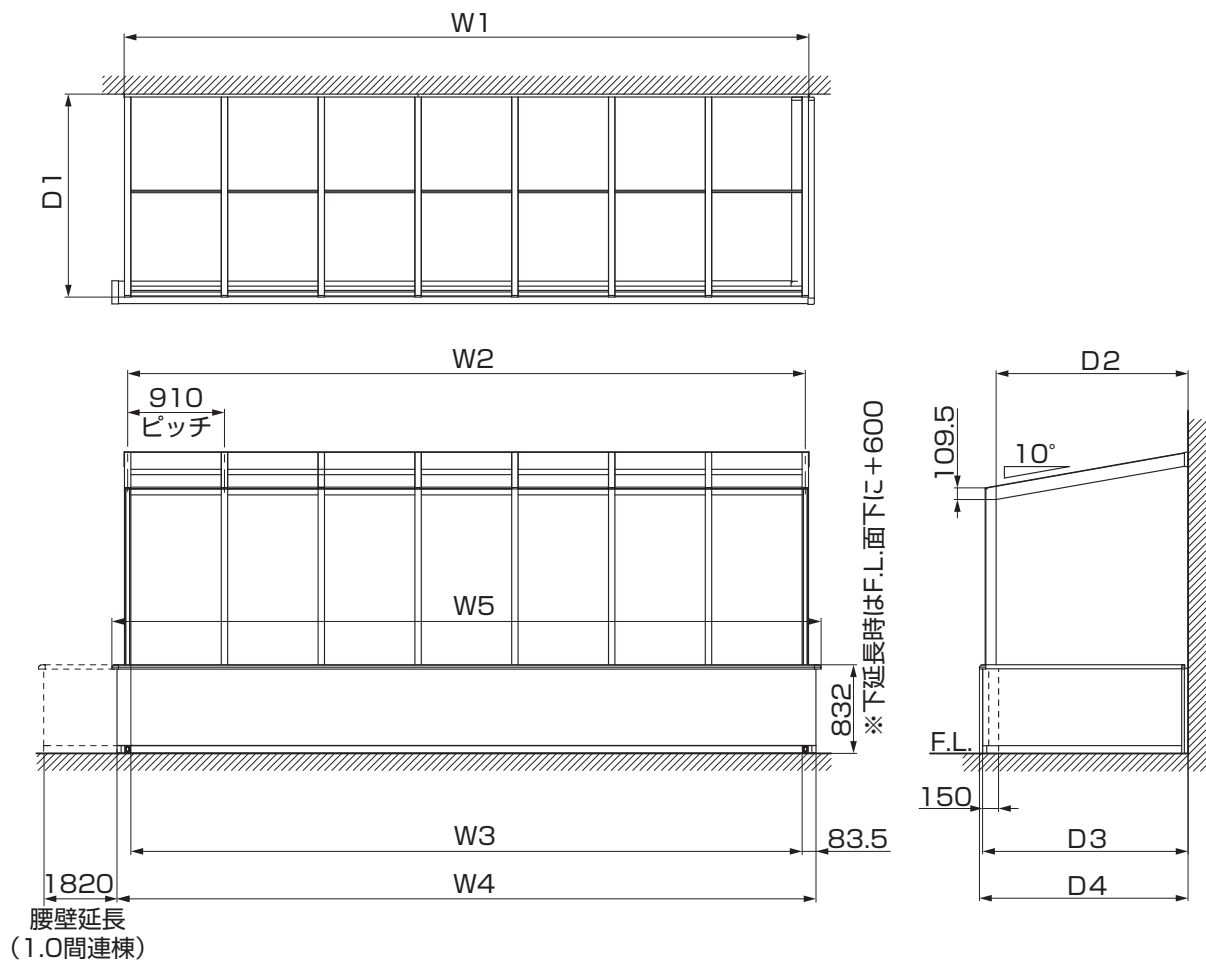


表2-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7	
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8	
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9	
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10	
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11	
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12	

表2-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸
4R	1308	1205	1332	1362
6R	1908	1805	1932	1962
8R	2508	2405	2532	2562
10R	3108	3005	3132	3162

6 断面納まり図

1. ガーデンルームタイプ

1-1 間口断面納まり図

●土間仕様の場合

●デッキ仕様の場合

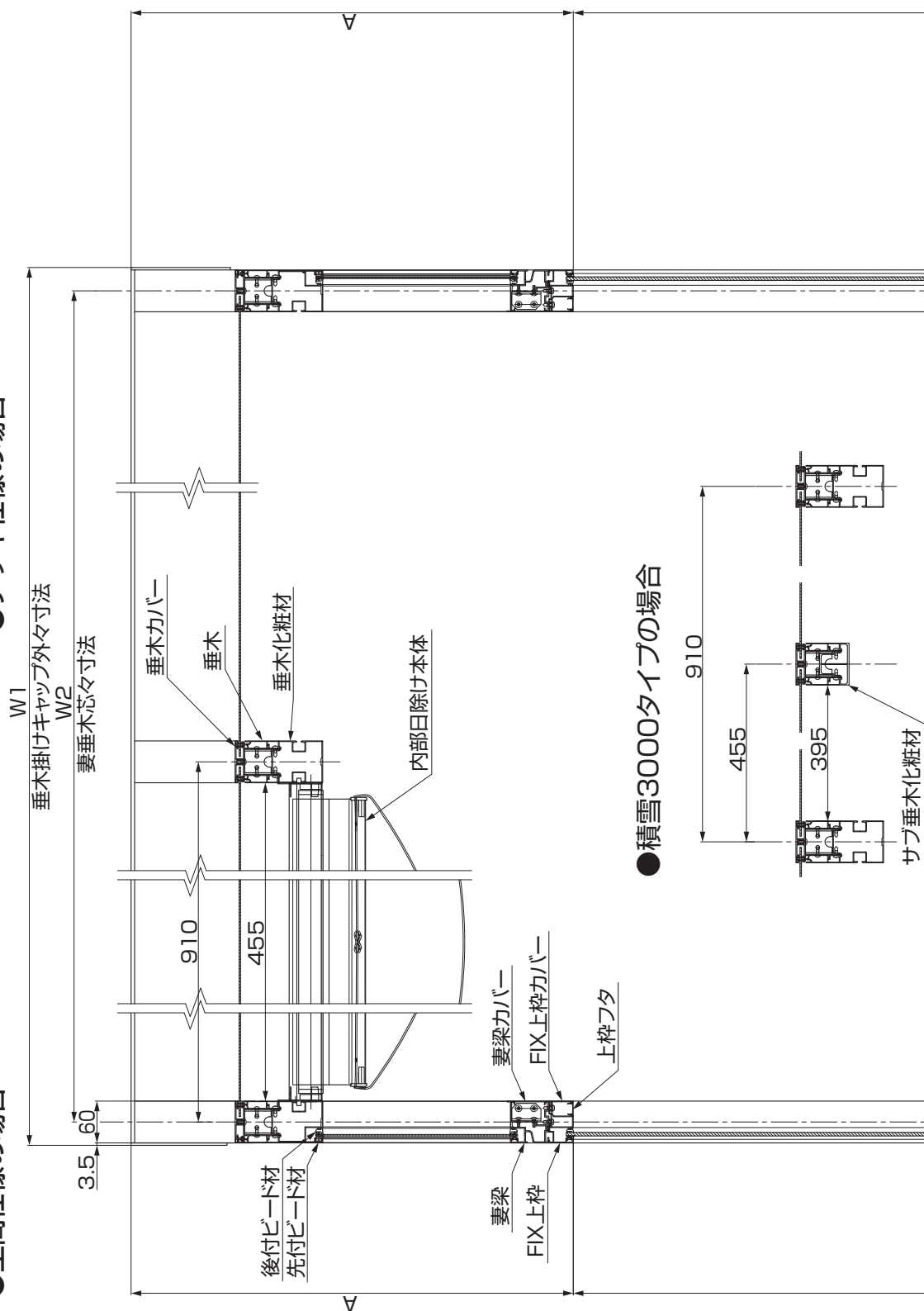




表 1-2

間口 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

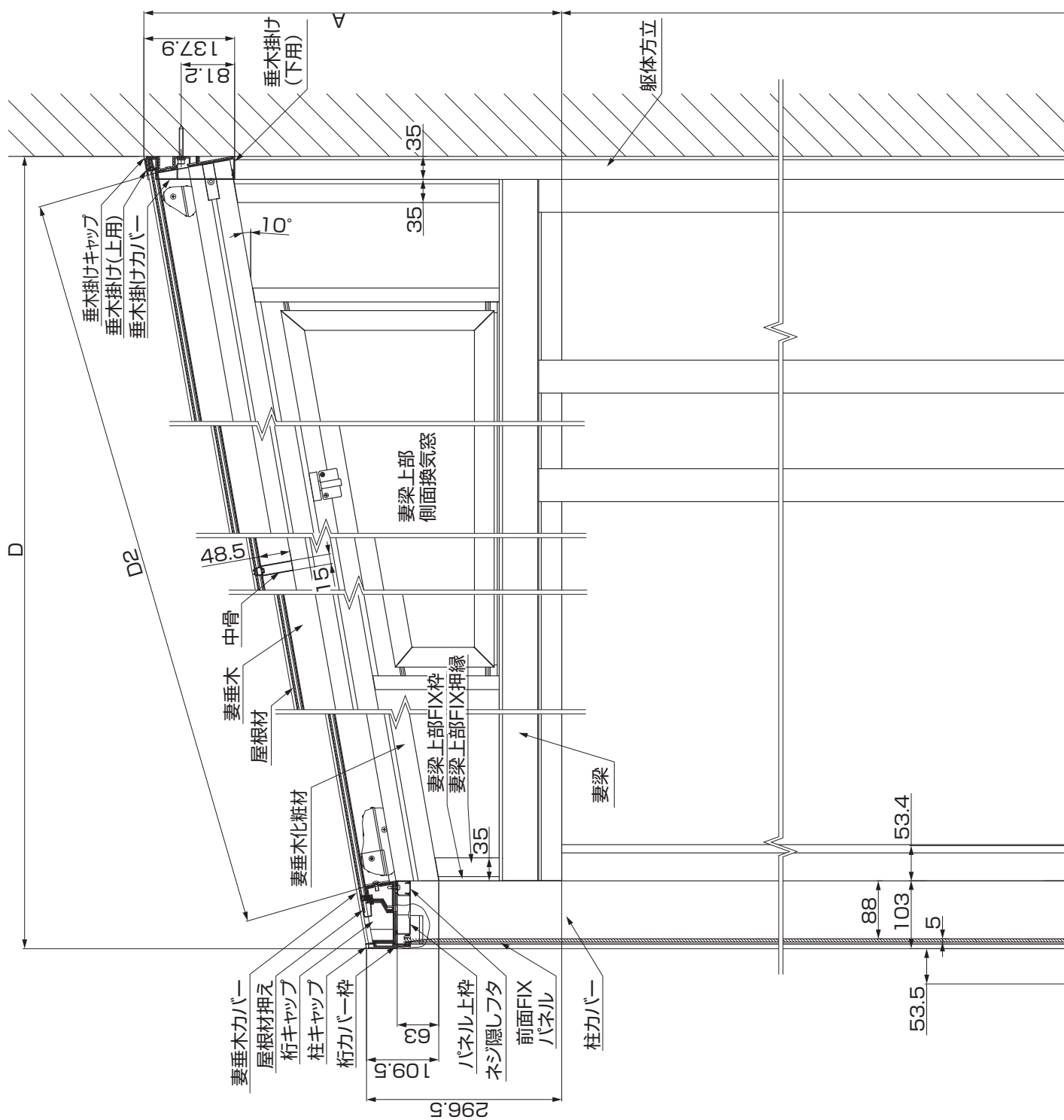
表 1-3

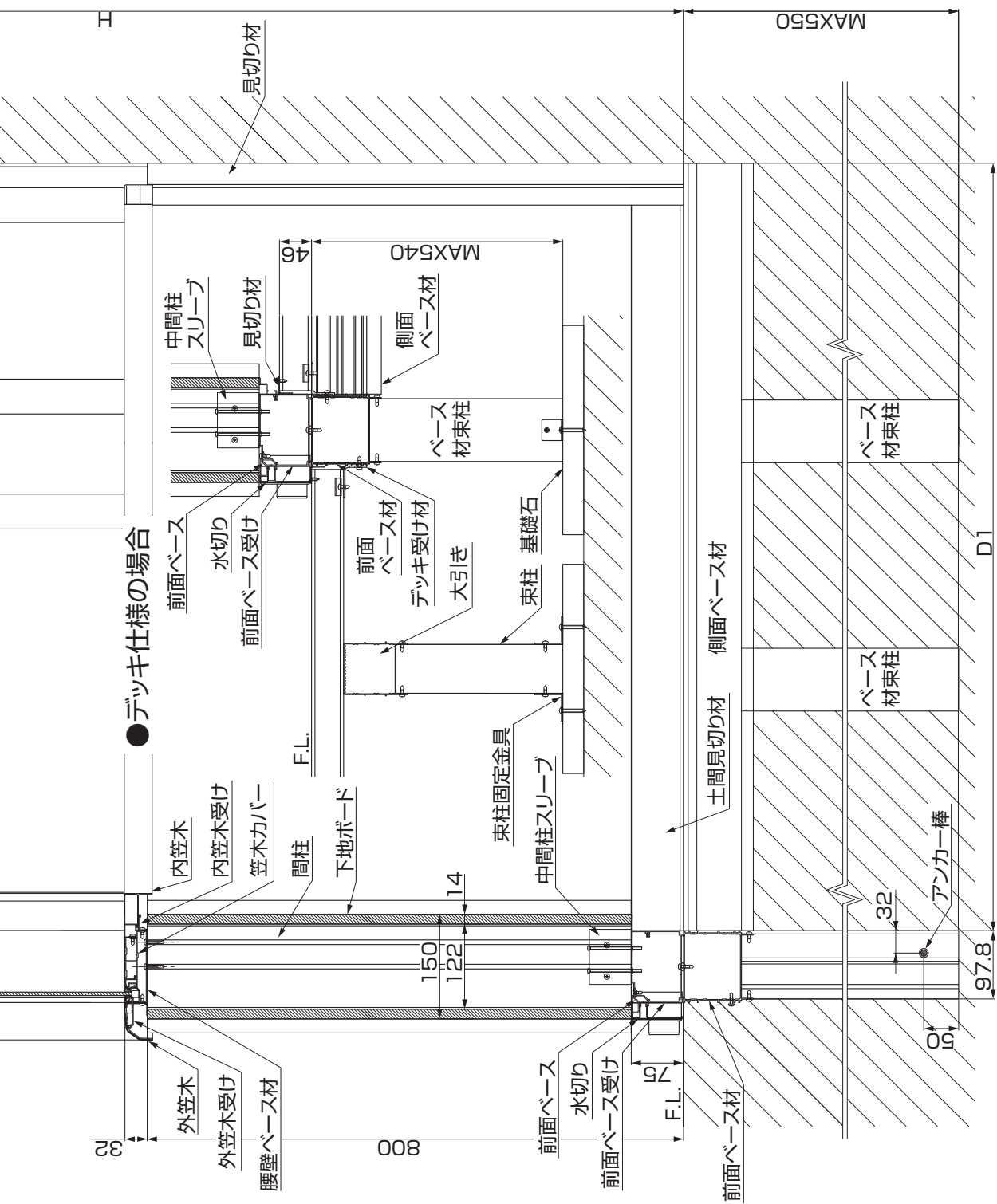
出幅		4尺	6尺	8尺	10尺
高寸法					
	A	529	635	741	846

1. (つづき)

1-2 出幅断面納まり図

●土間仕様の場合





●デッキ仕様の場合

表1-4

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-5

間口	出幅寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
		D	D1	D2	
	D	1308	1908	2508	3108
	D1	1205	1805	2405	3005
	D2	1207.5	1816.5	2426	3035

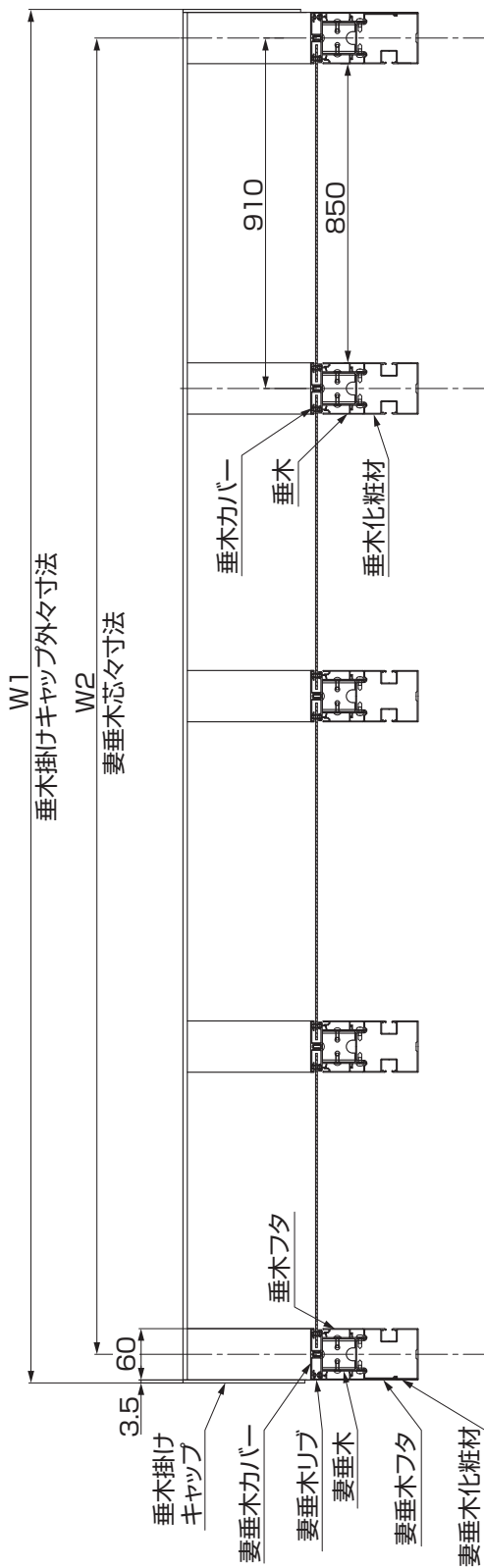
表1-6

高さ寸法	A	4尺	6尺	8尺	10尺
		出幅			
	A	529	635	741	846

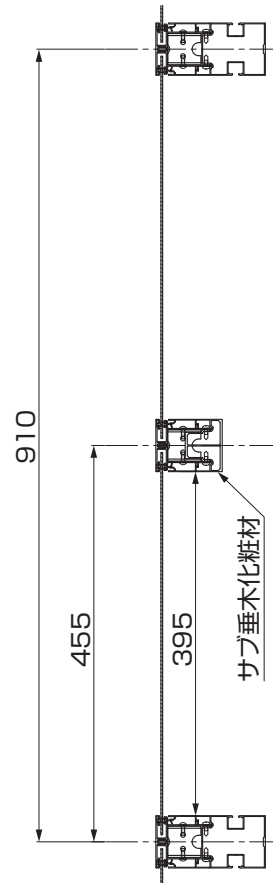
2. サイドスルータイプ

2-1 間口断面納まり図

●L字乾式腰壁仕様の場合



●積雪3000タイプの場合



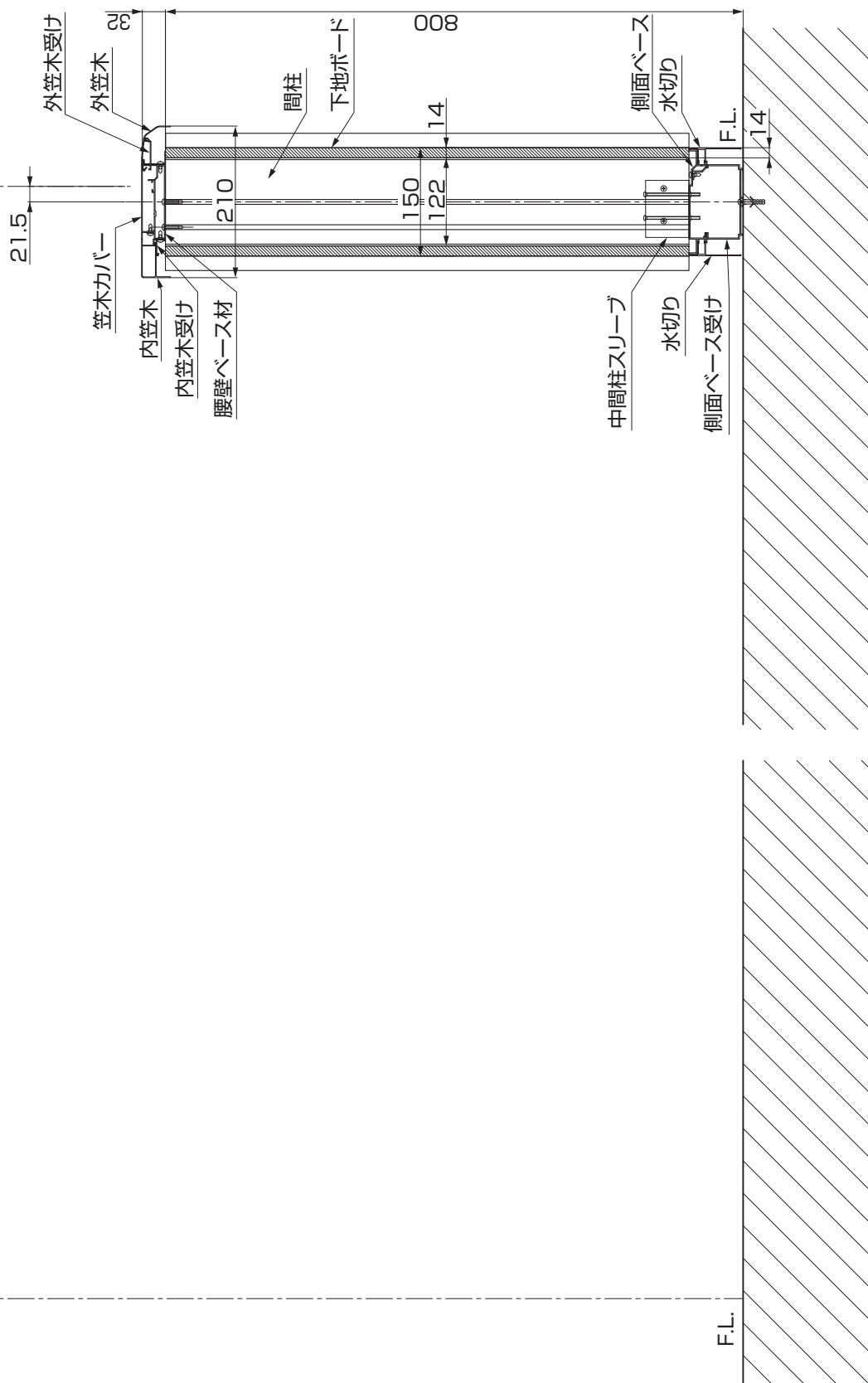
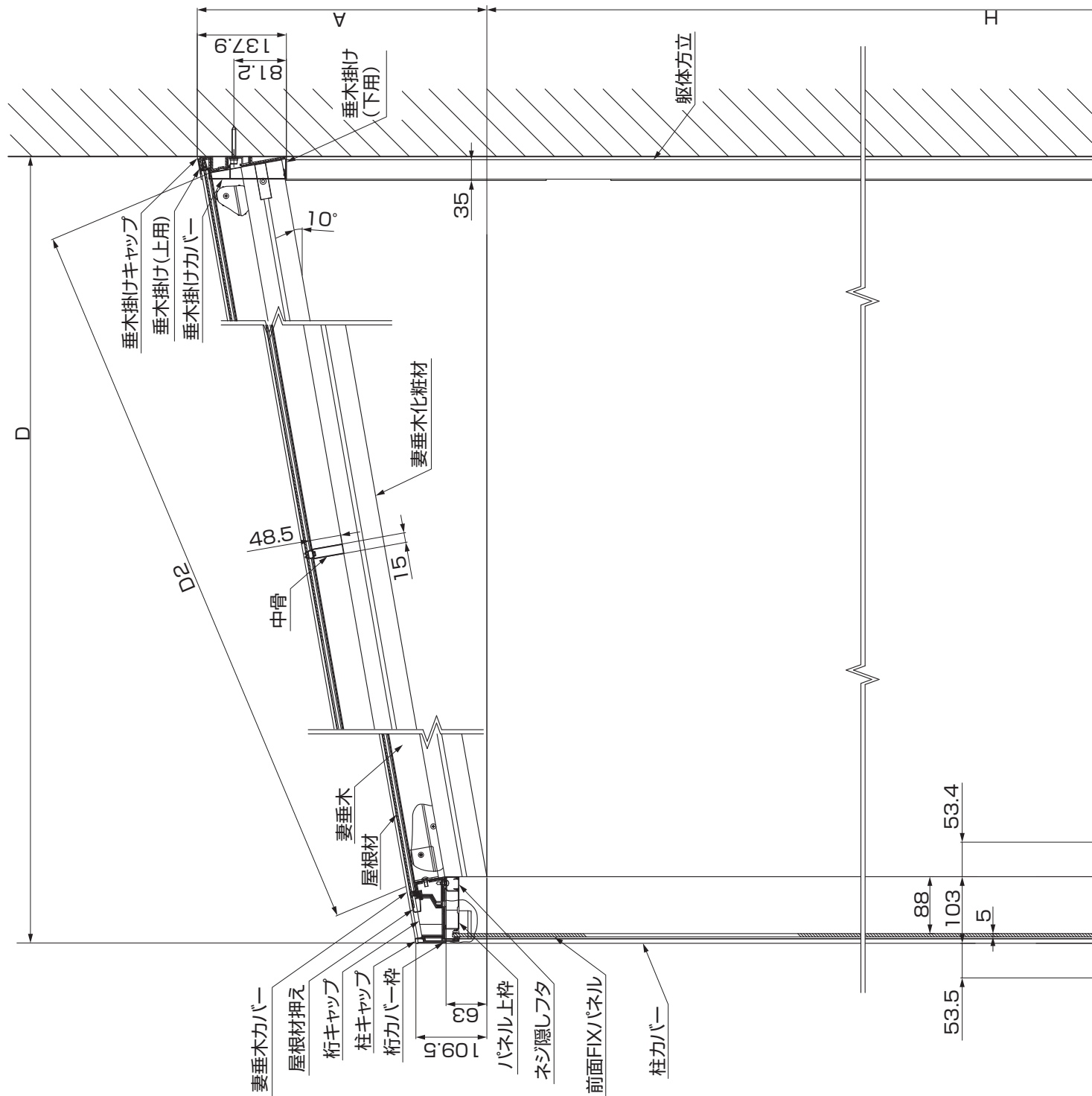


表2-1

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
間口寸法					
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

2. (つづき)

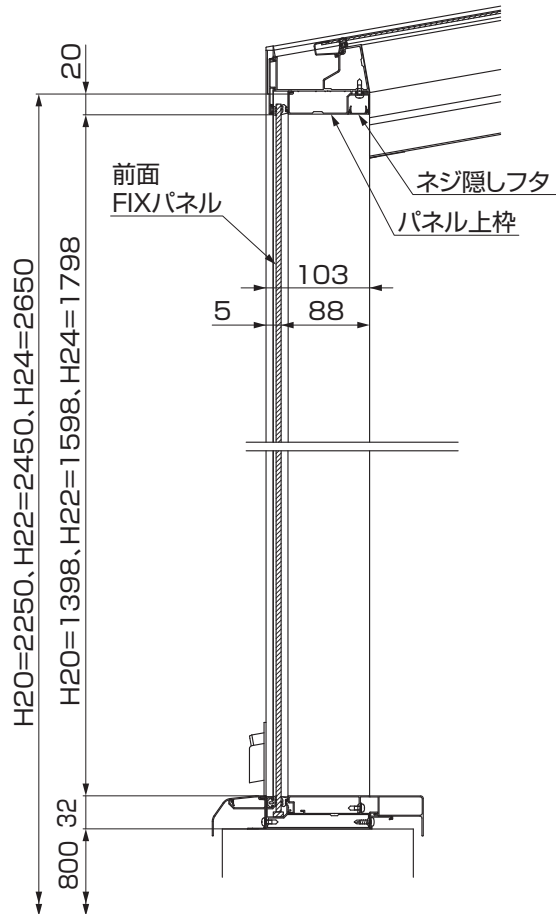
2-2 出幅断面納まり図



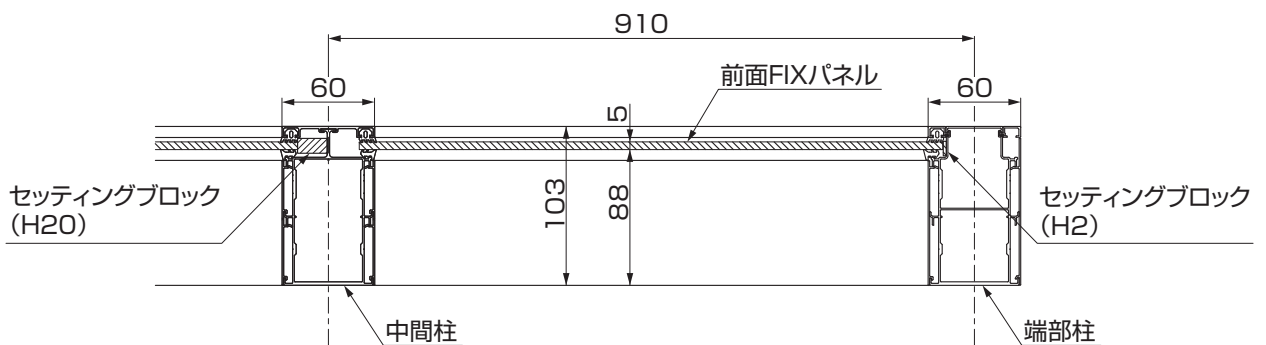
7 開口部 納まり図

1. 腰壁FIXパネル

1-1 縦断面図

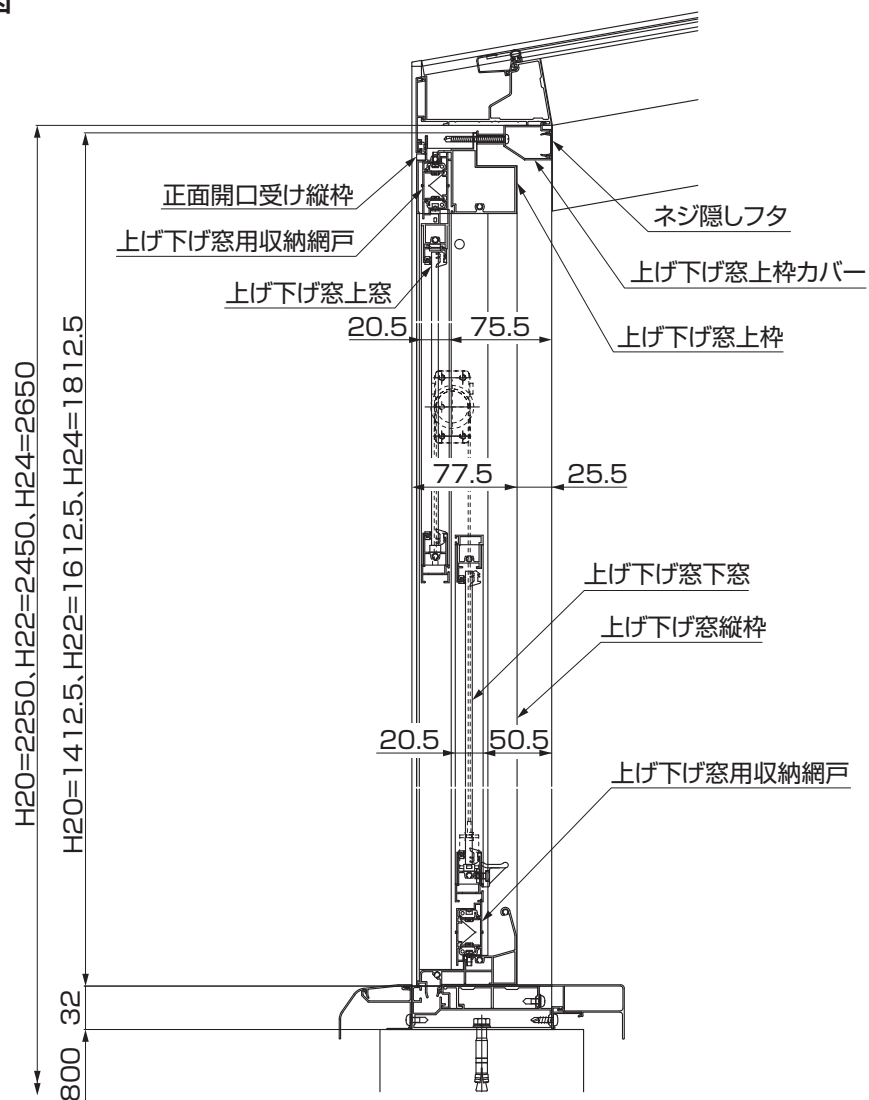


1-2 横断面図

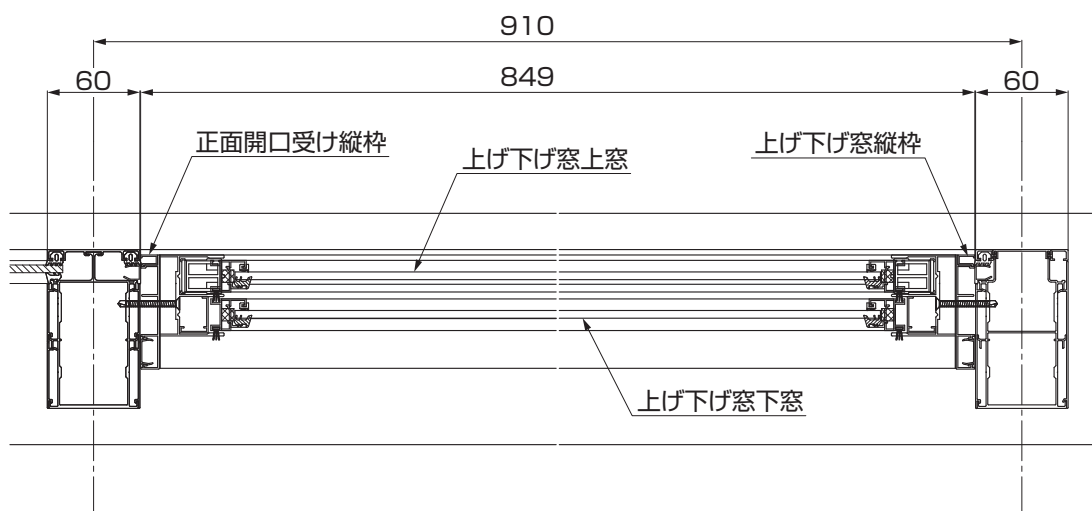


2. 上げ下げ窓

2-1 縦断面図



2-2 横断面図



8 柱の位置出し

1. 単体仕様

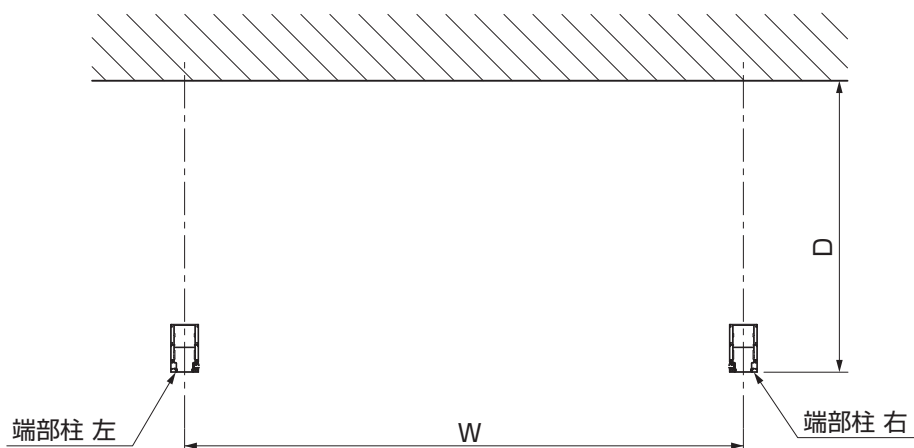


表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

2. 連棟仕様

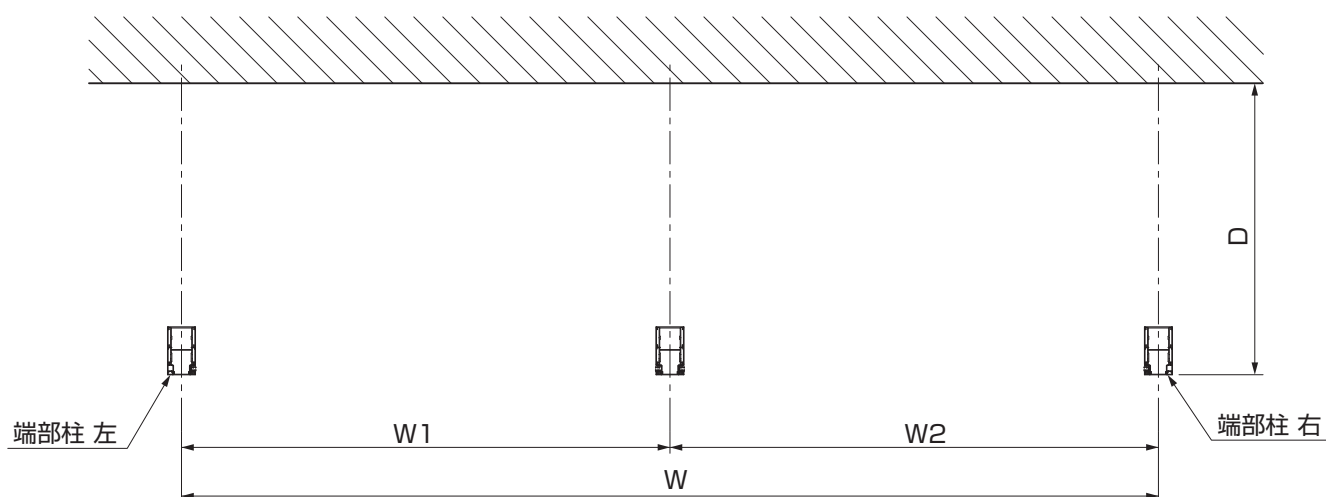


表2-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表2-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

9 施工前の準備

1. 水盛遣方・水系張り

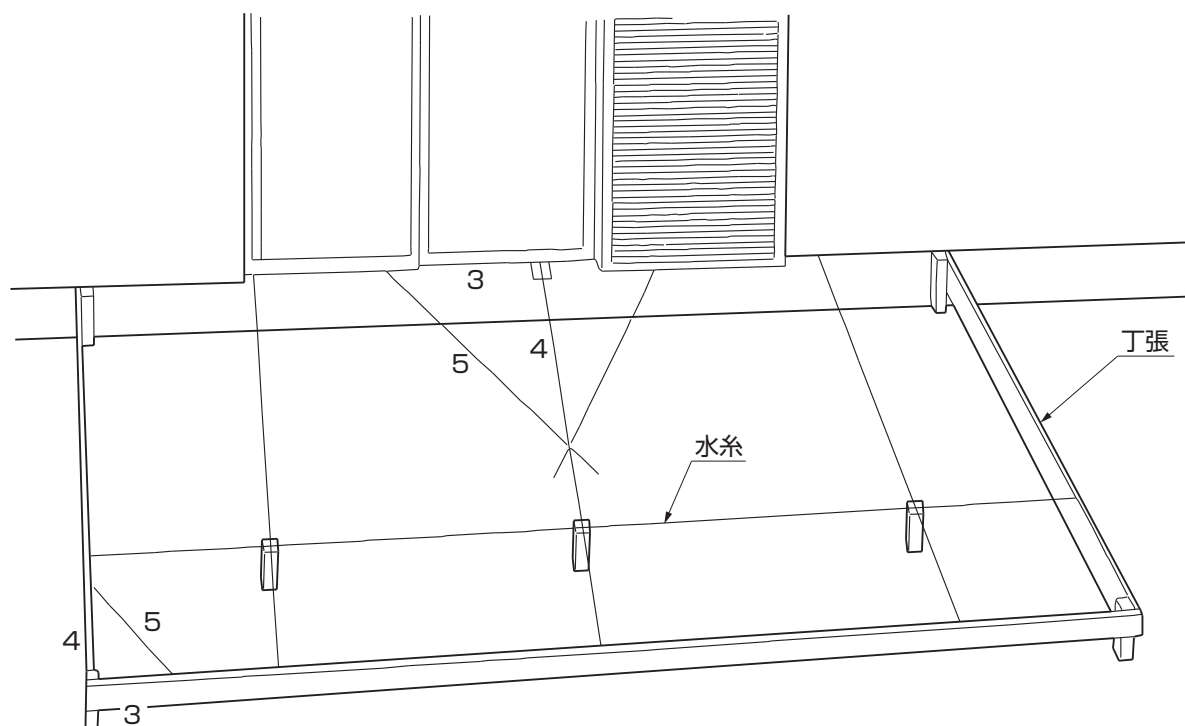


図1-1

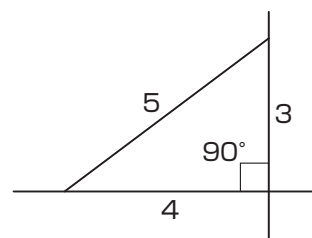


図1-2 直角出し寸法

- ①「**5 基本寸法**」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

補足

●束柱の位置については「**ココマⅡ デッキ編 乾式腰壁タイプ(E388)**」の基礎伏図を参照ください。

ポイント

- ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 **オプション** ※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LED照明配線のとりまわし

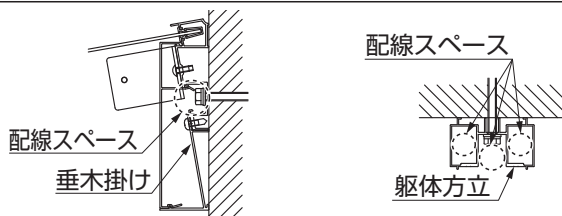
⚠ 注意

●AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）

🔑 ポイント

【垂木掛けや躯体方立の溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

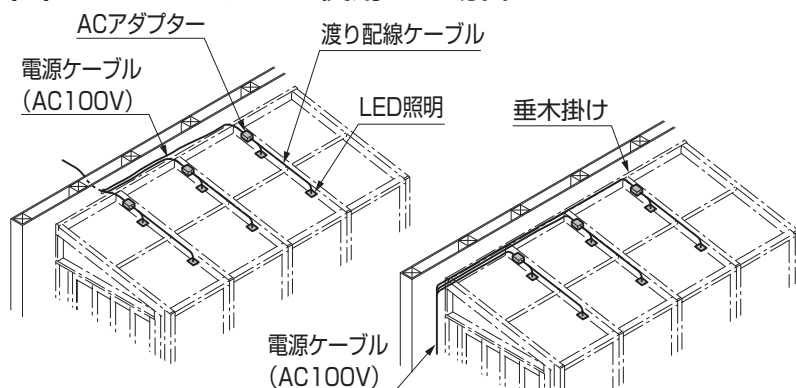


図2-1

躯体に穴をあけて配線する場合

図2-2

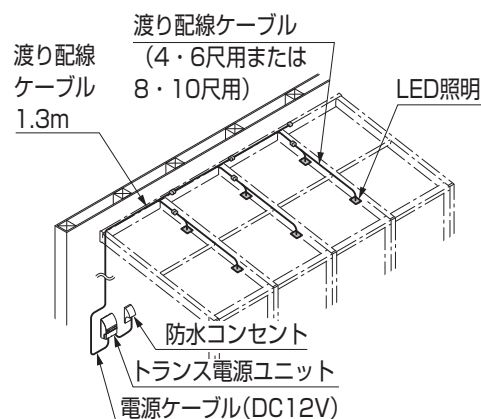
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

(2) トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

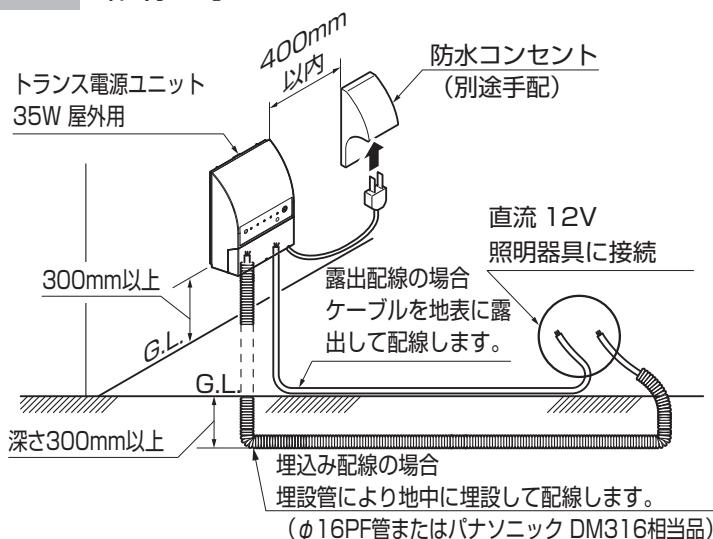


①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



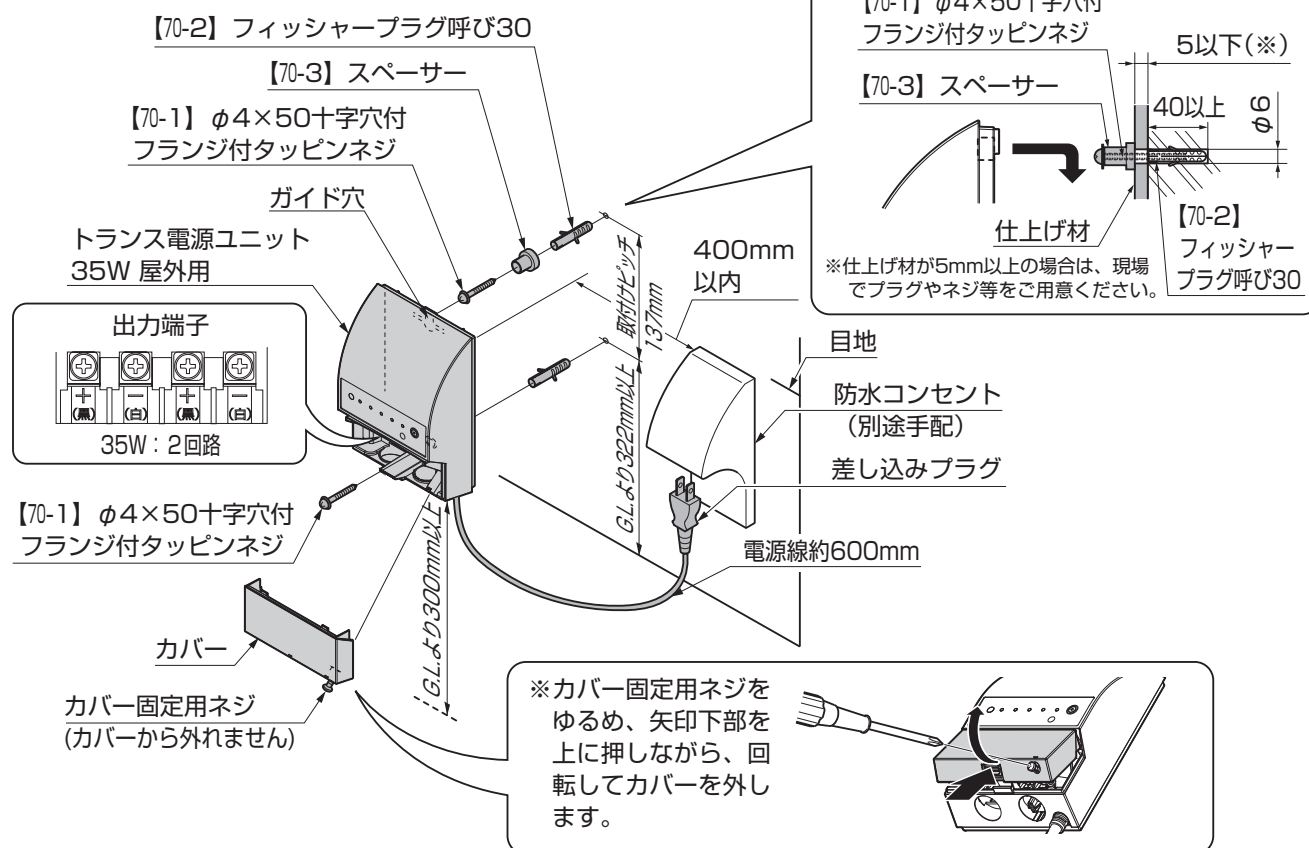
✎ 補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

🔑 ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

2-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



⚠ 警告

- トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

🔑 ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上押ししながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③【70-2】を下穴に埋め込んでください。
- ④【70-1】で【70-3】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W 裏面上部のガイド穴に【70-3】をはめ込み、【70-1】で壁に固定してください。

10 位置決め施工

1. ベース材とベース材束柱の取付け

※ベース材仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域

ポイント

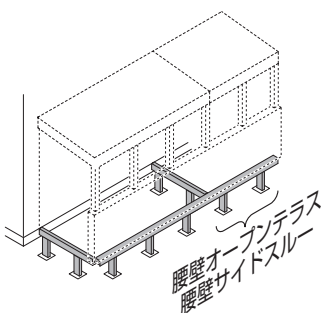
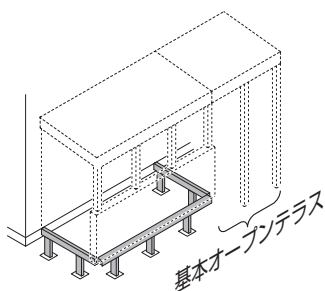
- ベース材とベース材束柱は施工するタイプにより設置箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ 		サイドスルータイプ 	
前面腰壁	L字腰壁	前面腰壁	L字腰壁

補足

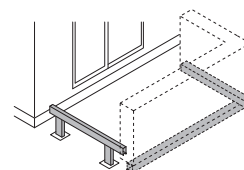
【ガーデンルームプラスタイプの場合】

- ベース材とベース材束柱は腰壁部および側面開口部に設置してください。



【腰壁下延長の場合】

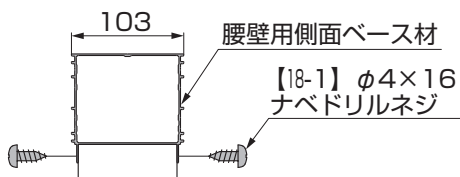
- ベース材は側面開口部のみ設置してください。
- 腰壁面にベース材を設置する場合、側面開口部ベース材とは設置高さが異なります。



1-1 ベース材束柱の取付け

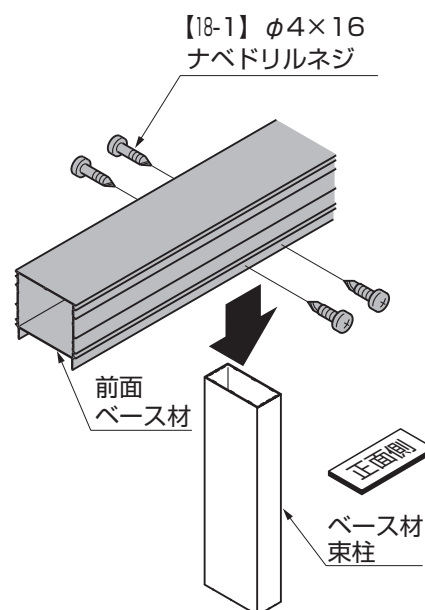
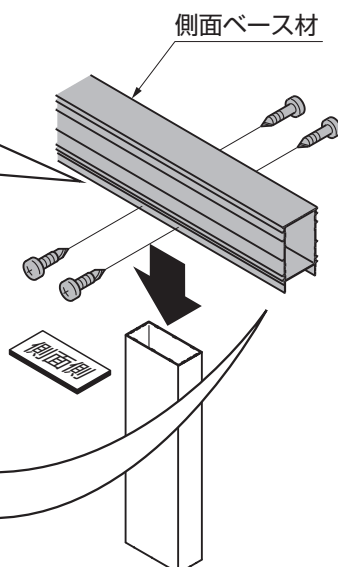
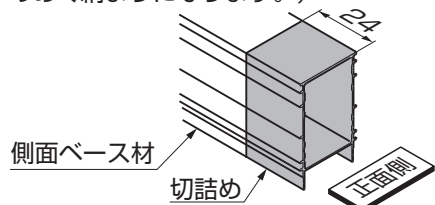
【L字腰壁の場合】

- 腰壁用側面ベース材を使用してください。



【腰壁下延長の場合】

- 正面側を24mm切詰めてください。
(端部柱、または中間柱と24mmすき間のあく納まりになります。)

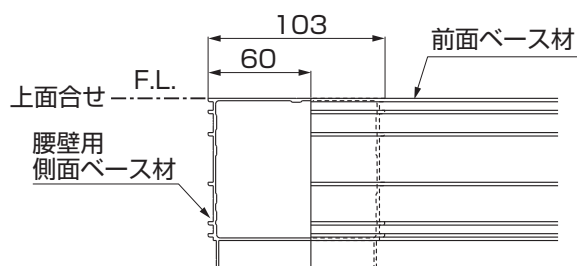
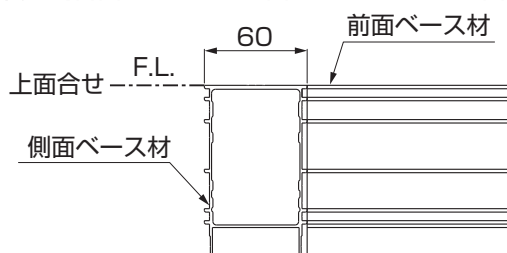


①前面ベース材、側面ベース材をベース材束柱に【18-1】で取付けてください。

1-2 ベース材の取付け

ポイント

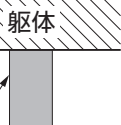
- 側面ベース材と前面ベース材は上面をF.L.面に合わせて取付けてください。
なお、腰壁下延長の場合は側面開口部ベース材のみF.L.面に合わせてください。
- 腰壁用側面ベース材は前面ベース材と同じ断面形状のものです。



ポイント

- 側面ベース材は
躯体に接して取
付けてください。

側面ベース材



【L字腰壁の場合】

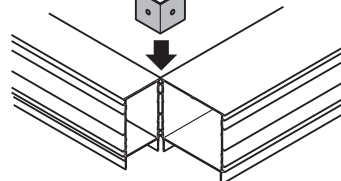


※腰壁下延長の場合は不要です。

【17-1】φ4×16ナベドリルネジ

ベース材固定金具

揃える

側面ベース材
腰壁用側面ベース材

58.6

V溝

前面
ベース材ベース材固定金具
※V溝を目安に取付け

ポイント

【固定の前に】

- 水準器などで水平を確認してください。

水準器

側面ベース材

ベース材束柱

前面ベース材

【18-2】φ5×35
セルフタップアンカー

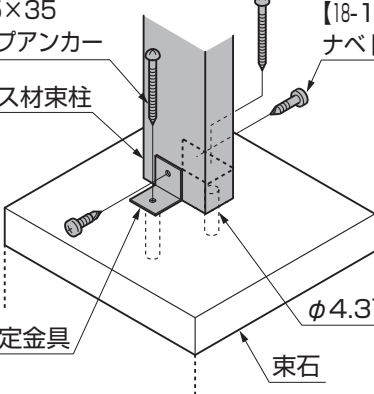
ベース材束柱

【18-1】φ4×16
ナベドリルネジ

束柱固定金具

φ4.3下穴

束石

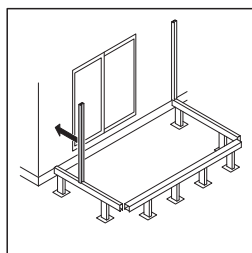


- ①束柱固定金具を取付ける箇所にφ4.3の下穴をあけてください。
- ②ベース材束柱を土間もしくは束石の上に束柱固定金具と【18-1】、【18-2】で取付けてください。
- ③L字腰壁の場合、前面ベース材と側面ベース材の上面が揃うようベース材固定金具を【17-1】で取付けてください。

2. 躯体方立の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

※サイドスルータイプでL字腰壁または妻梁上部FIXがある場合も必要な作業です。

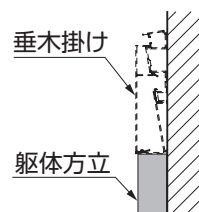


ポイント

- 入隅側には不要です。
- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

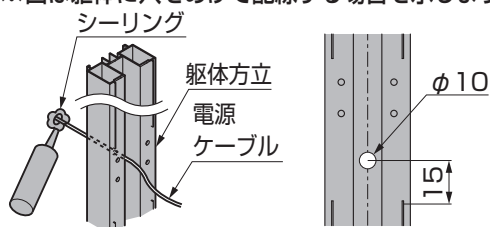
ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



【プラスマクスター オプション】を取付ける場合

※図は躯体に穴をあけて配線する場合を示します。

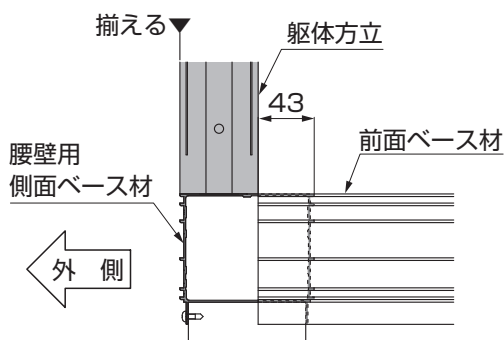


ポイント

- 躯体にあけた穴はシーリングなどで必ず防水処理を行なってください。

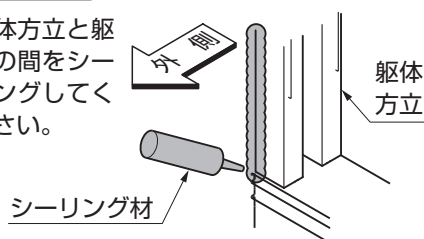
ポイント

- L字腰壁の場合は、躯体方立は腰壁用側面ベース材と外面を揃えて取付けてください。

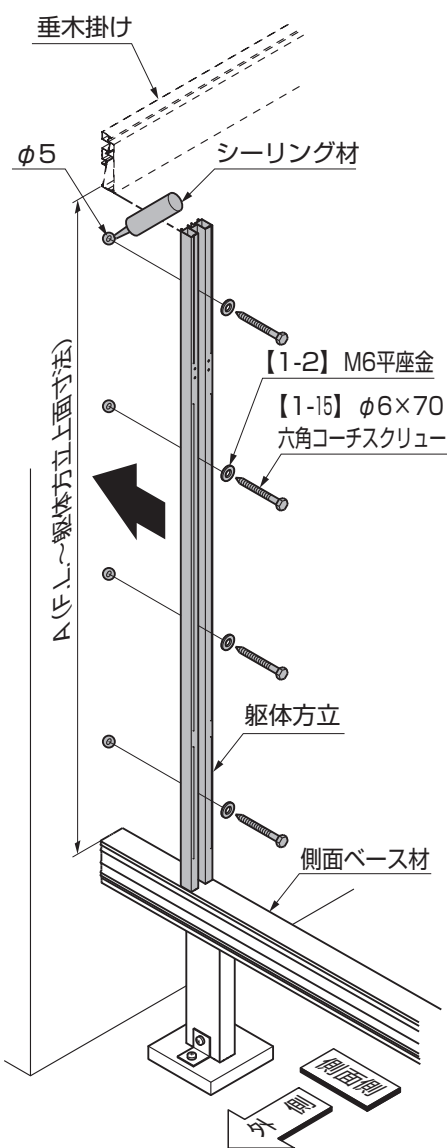


ポイント

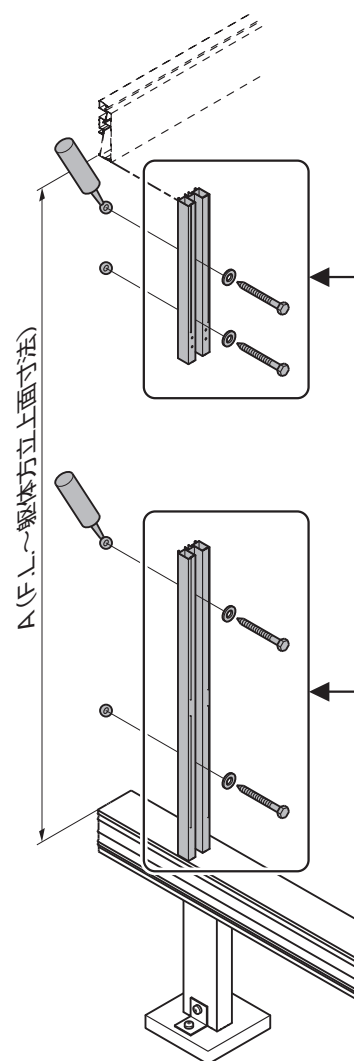
- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



〔ガーデンルームタイプの場合〕



〔サイドスルータイプの場合〕



- ①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③躯体方立を躯体に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

表2-1

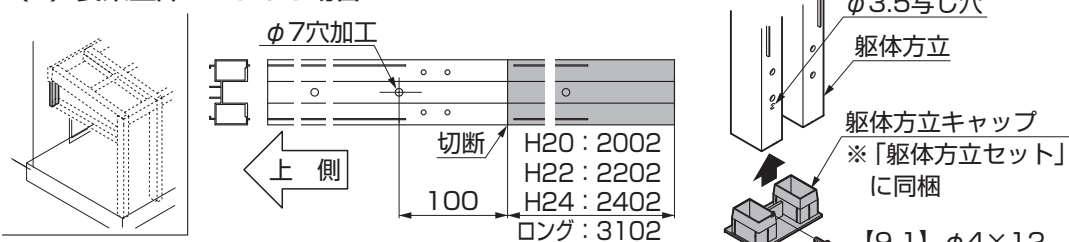
高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

【サイドスルータイプの場合】

補足

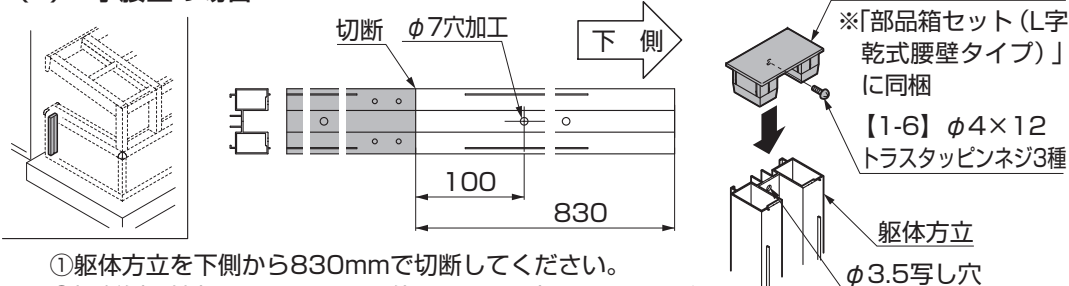
●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。

(1) 妻梁上部FIXがある場合



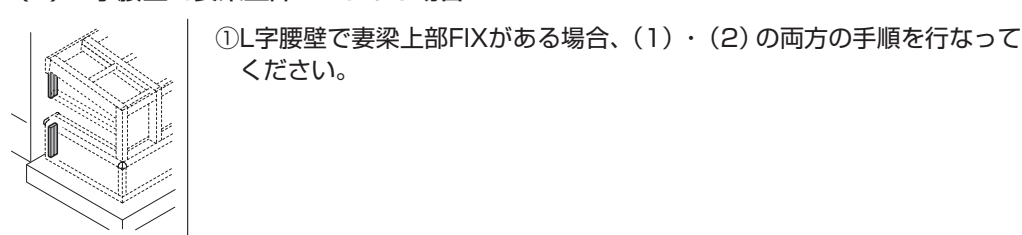
- ① 躯体方立を下側から切断してください。
- ② 切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③ 躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④ 躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【9-1】で取付けてください。

(2) L字腰壁の場合



- ① 躯体方立を下側から830mmで切断してください。
- ② 切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③ 躯体方立の上側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④ 躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【1-6】で取付けてください。

(3) L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合

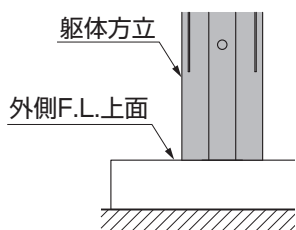


① L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合、(1)・(2)の両方の手順を行なってください。

妻梁上部FIX
がある場合

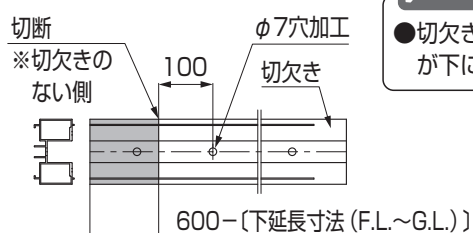
L字腰壁の場合

【ベース材を使用しない場合】



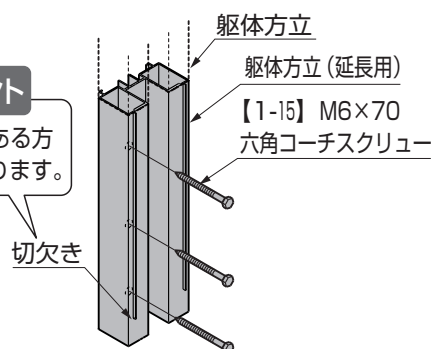
【腰壁下延長の場合】

●躯体方立（延長用）を加工し、下に継ぎ足して取付けてください。



ポイント

●切欠きがある方が下になります。



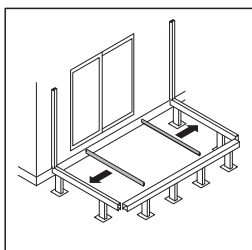
3. 土間見切り材の取付け

※ガーデンルームタイプの土間仕様でベース材仕様の場合の作業です。

※L字腰壁の場合は開口部側のみに取付けてください。

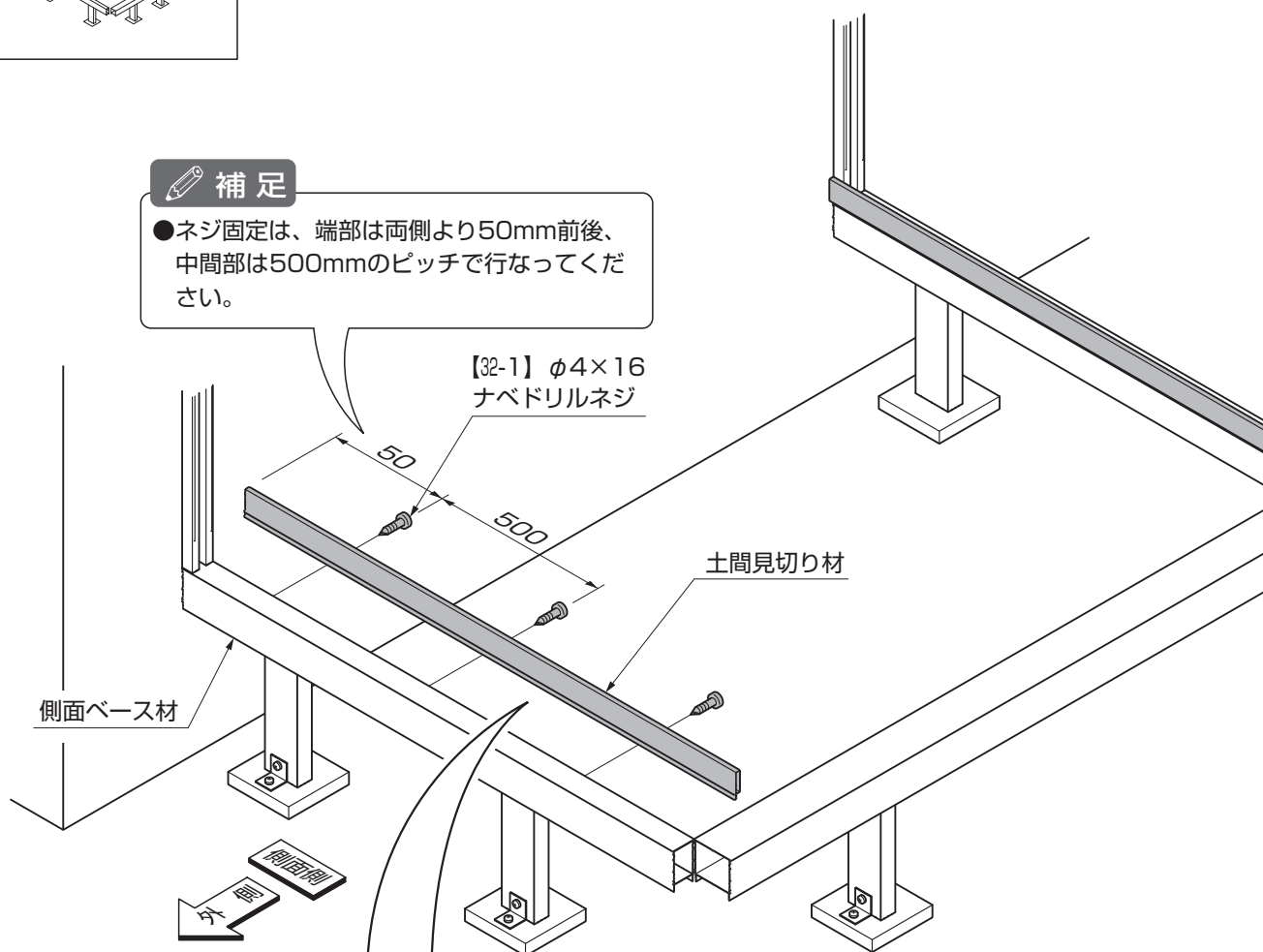
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
GR		土間	ベース		

3-1 「折戸」「FIX」「カスタムウォール」の土間見切り材の取付け



補足

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



【32-1】φ4×16ナベドリルネジ

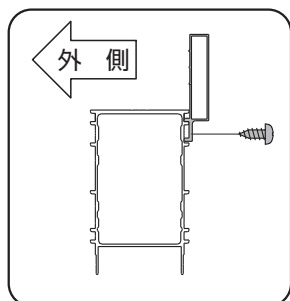
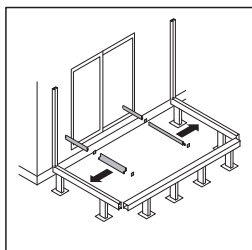
土間見切り材

側面ベース材

外側

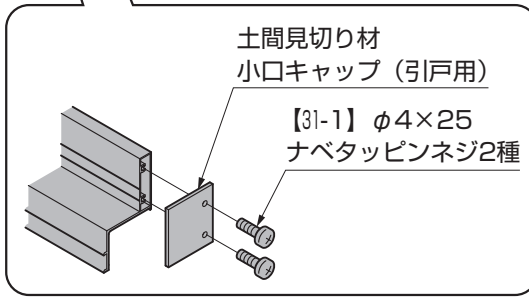
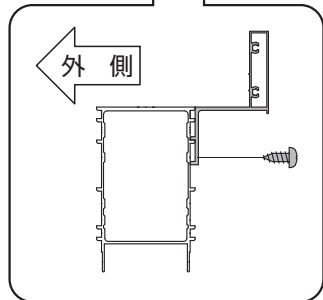
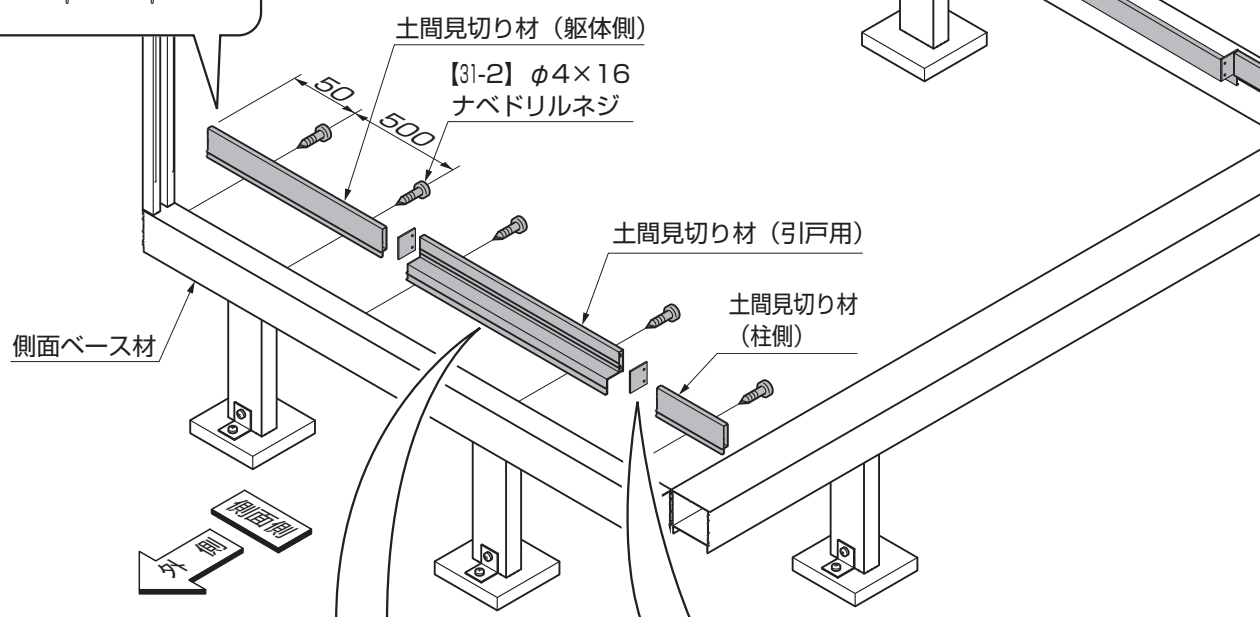
①土間見切り材を側面ベース材に【32-1】で取付けてください。

3-2 「引戸」の土間見切り材の取付け



補足

- ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



- ①土間見切り材小口キャップ (引戸用) を土間見切り材 (引戸用) の両端に【31-1】で取付けてください。
- ②土間見切り材 (躯体側) を側面ベース材に【31-2】で取付けてください。

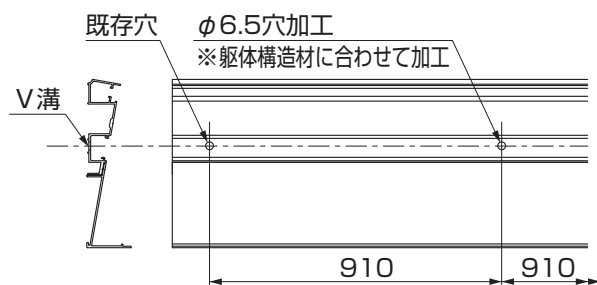
11 部材の組立て

1. 垂木掛けの組立て

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

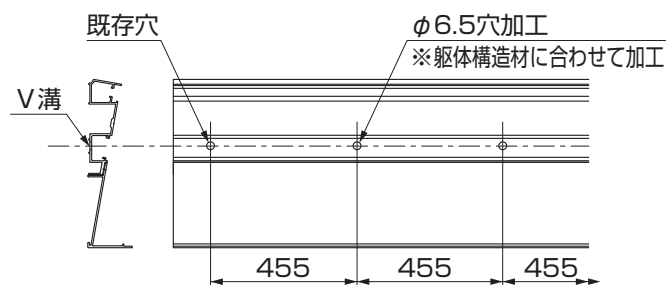
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



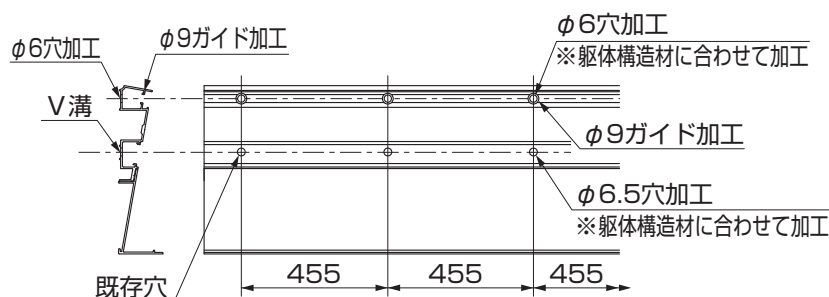
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



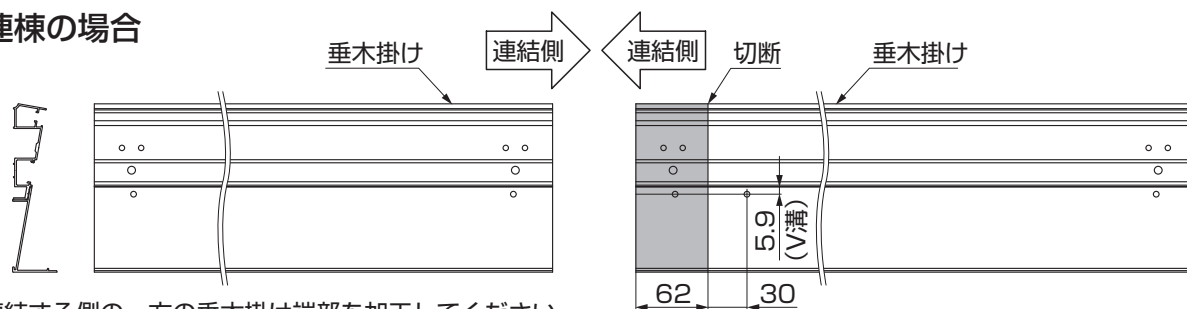
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域（積雪地域3000N（100cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合

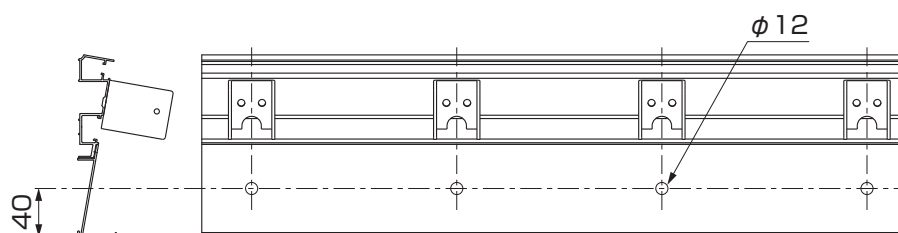


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

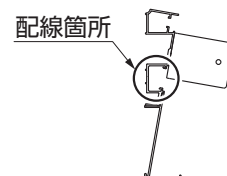
(5) 垂木LED照明 **オプション** を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



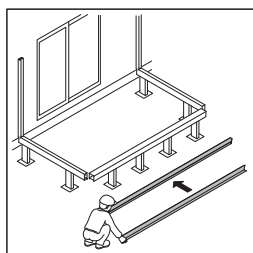
①垂木掛けに穴加工をしてください。

補足

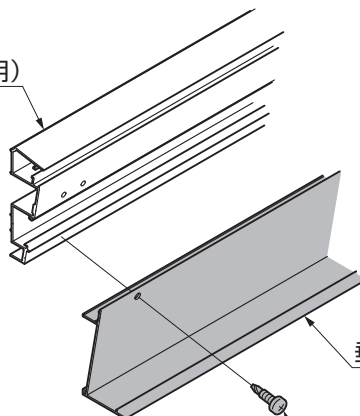
●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。



1-2 垂木掛けの組立て



垂木掛け（上用）

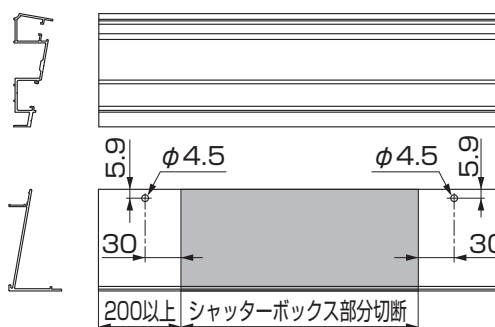
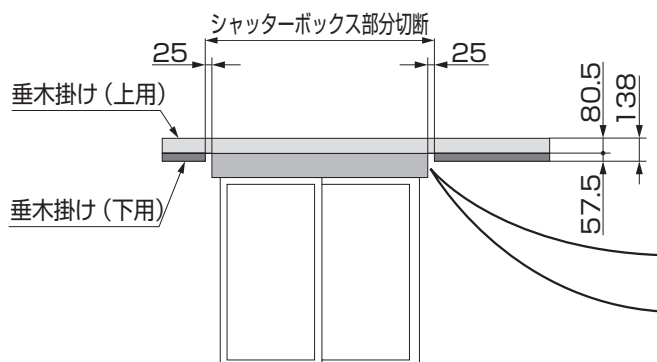


垂木掛け（下用）

【1-7】φ4×13ナベドリルネジ

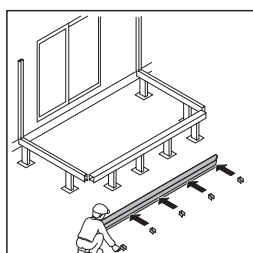
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け（下用）は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け（下用）が必要です。

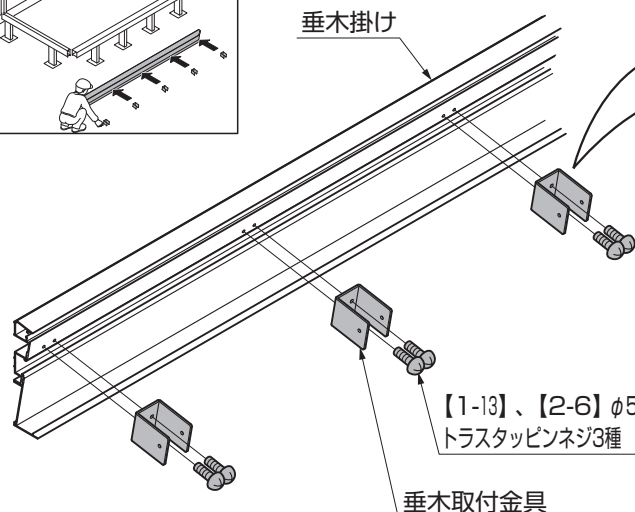


- ①垂木掛け（下用）を垂木掛け（上用）に【1-7】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



垂木掛け


【1-13】、【2-6】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

垂木取付金具

【連棟の場合】

垂木掛け

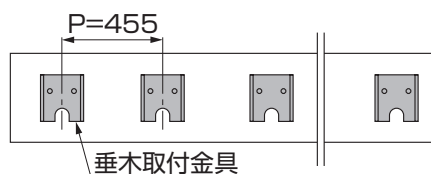
垂木取付金具

【1-13】、【2-6】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

ポイント

【積雪地域】（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

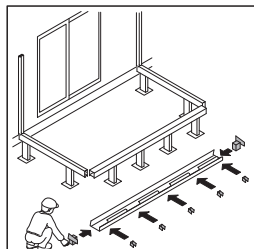


- ①垂木取付金具を垂木掛けに【1-13】、【2-6】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

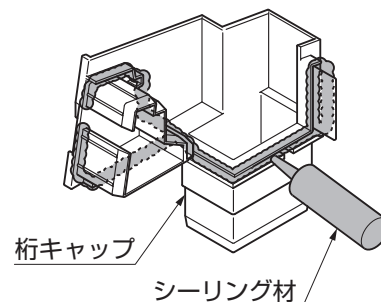
2. 桁の組立て

2-1 桁の組立て



ポイント

- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



桁キャップ

【1-13】、【2-6】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

垂木取付金具

【1-4】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ1種

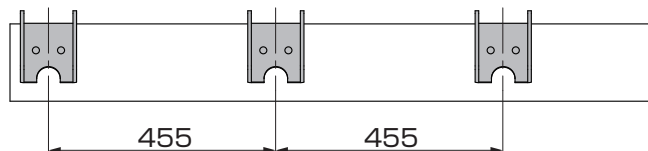
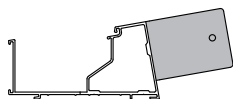
桁



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ①垂木取付金具を桁に【1-13】、【2-6】で取付けてください。
- ②桁キャップをシーリングしてください。

ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

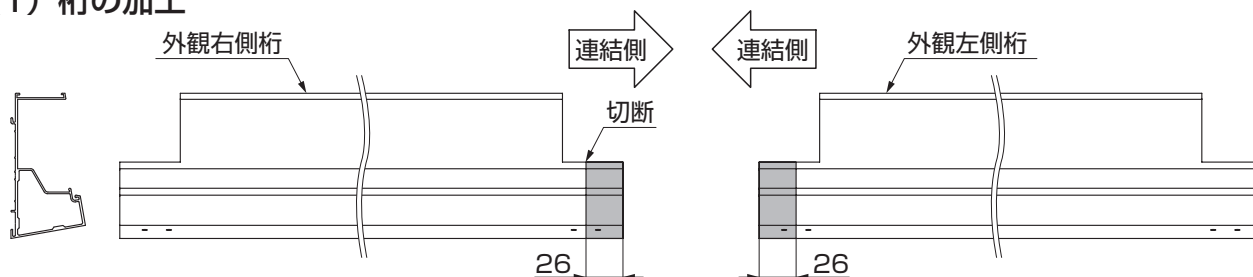
- ③桁キャップを桁に【1-4】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

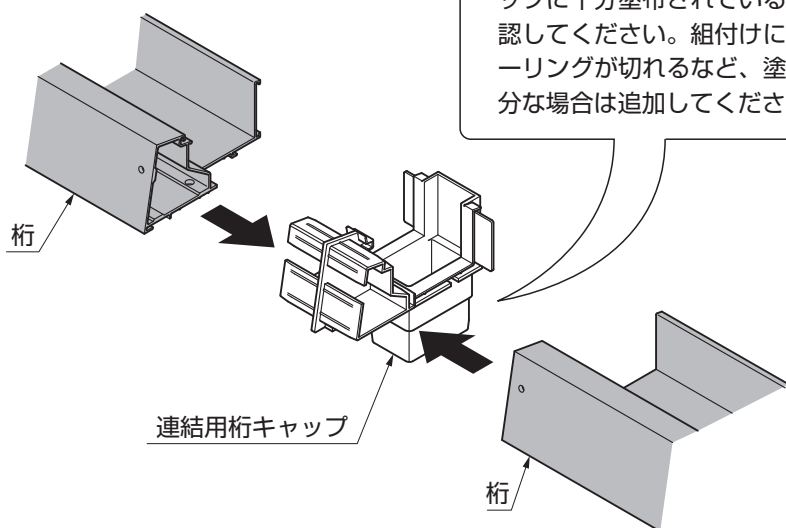
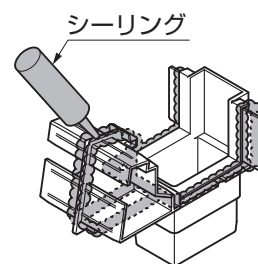
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

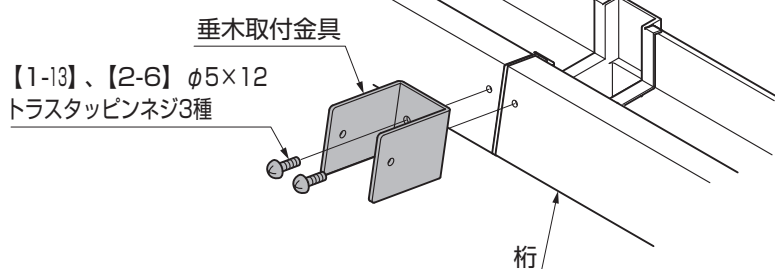
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。



③垂木取付金具を、連結した桁に【1-13】、【2-6】で取付けてください。

12 柱の建込み

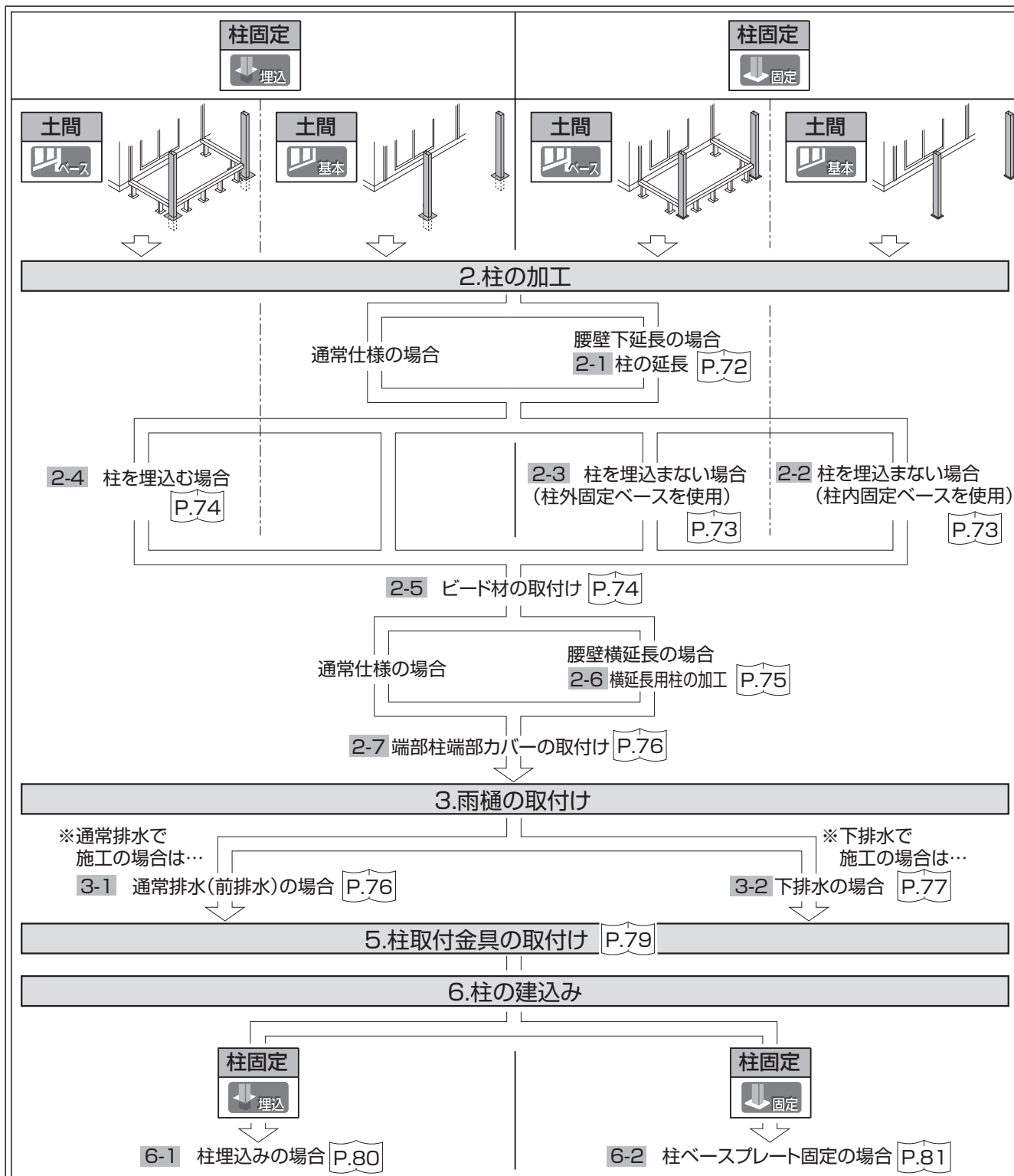
1. 施工手順の確認

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

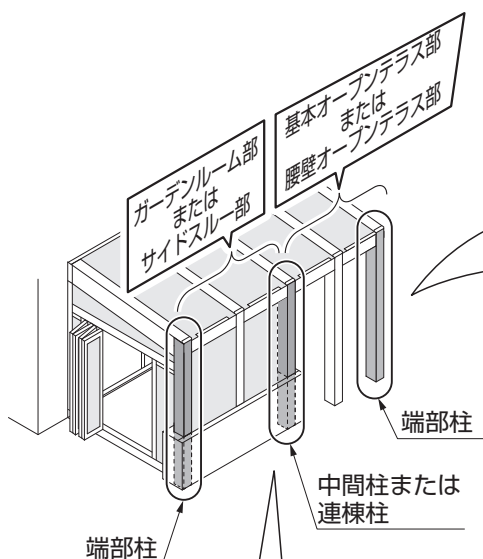
1-1 施工手順の確認

ポイント

●柱の建込み方法は下記の方法があります。必ず施工方法を確認の上、説明ページを参照してください。



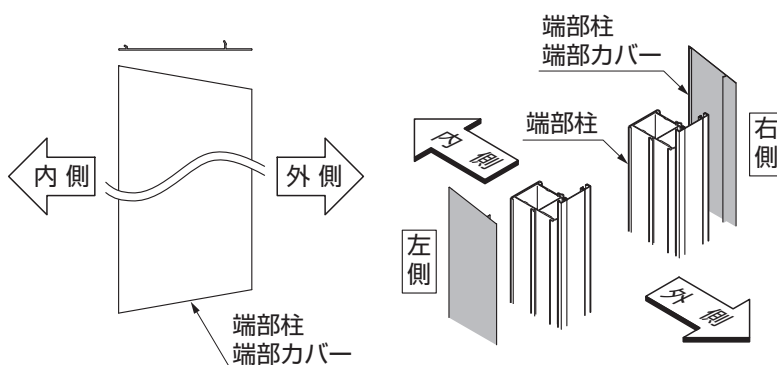
1-2 ガーデンルームプラスでオープンテラスを接続する場合の柱について



ポイント

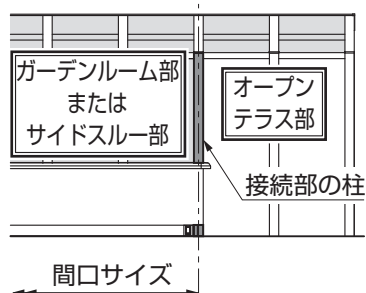
【プラス用の端部柱（1本入）を使用する場合】

- 端部柱端部カバーは取付けする側に合わせて向きを確認してください。

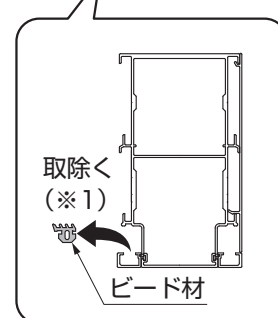
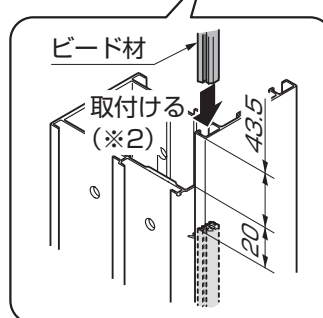
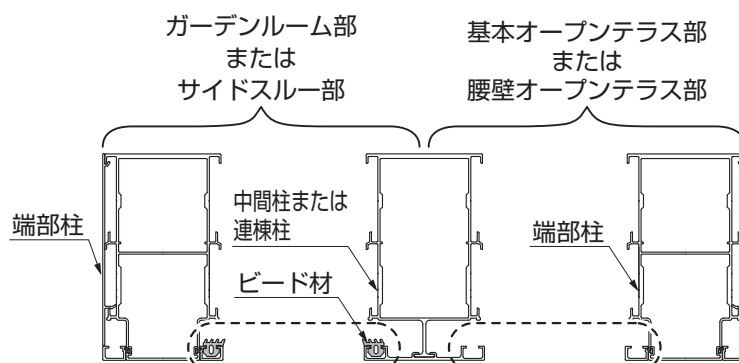


ポイント

- ガーデンルーム・サイドスルーとオープンテラスの接続部に中間柱または連棟柱が必要です。



間口サイズ	接続部の柱
3.0間以下	中間柱
3.5間以上	連棟柱



- ①オープンテラス側の柱からビード材を取除いてください。

補足

- ビード材がない場合は不要です。（※1）

- ②ガーデンルームまたはサイドスルー側の柱にビード材を、市販の瞬間接着剤で取付けてください。

補足

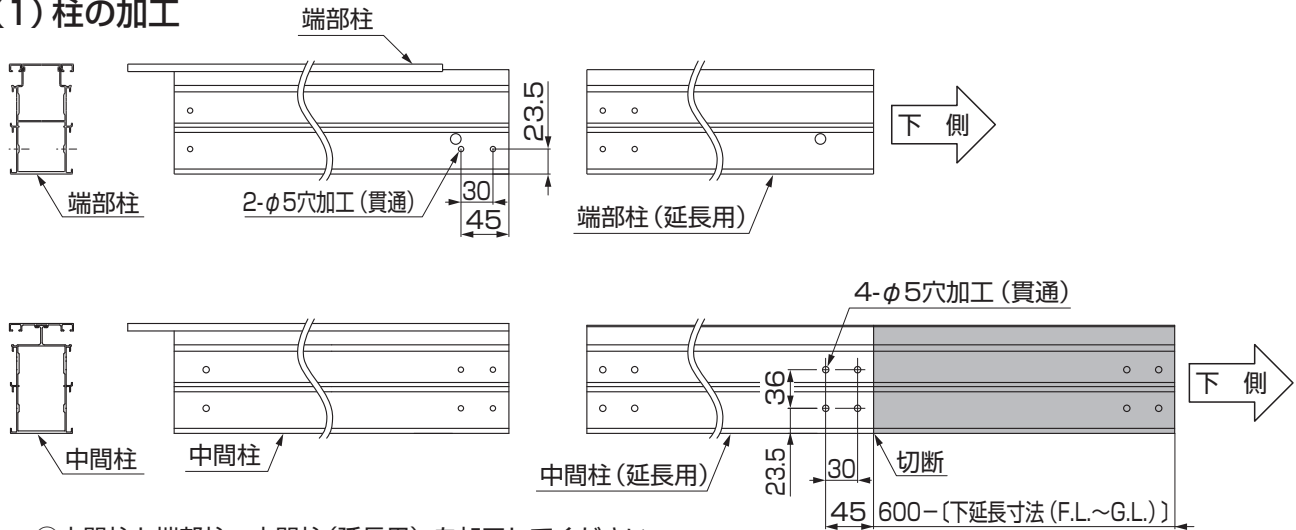
- ビード材がある場合は不要です。（※2）

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

2. 柱の加工

2-1 柱の延長 ※下延長する場合

(1) 柱の加工



①中間柱と端部柱、中間柱（延長用）を加工してください。

ポイント

●中間柱（延長用）の切断は下側から行なってください。

(2) 延長用柱の取付け

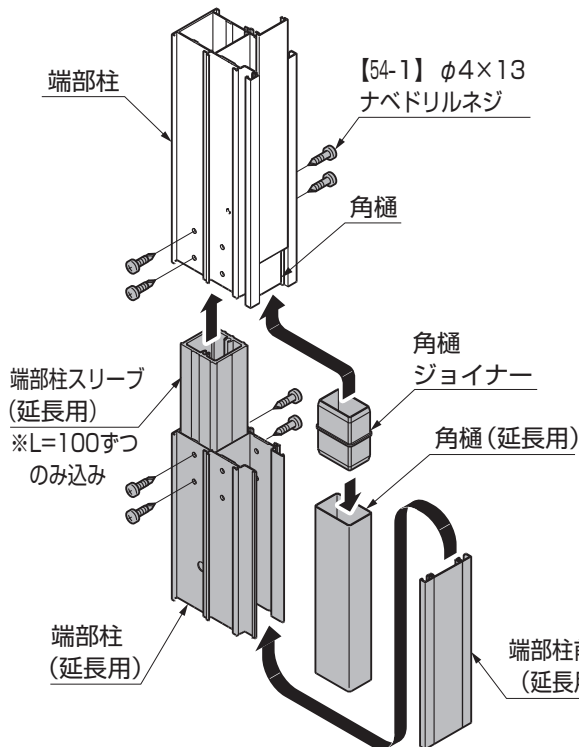


図2-1 端部柱

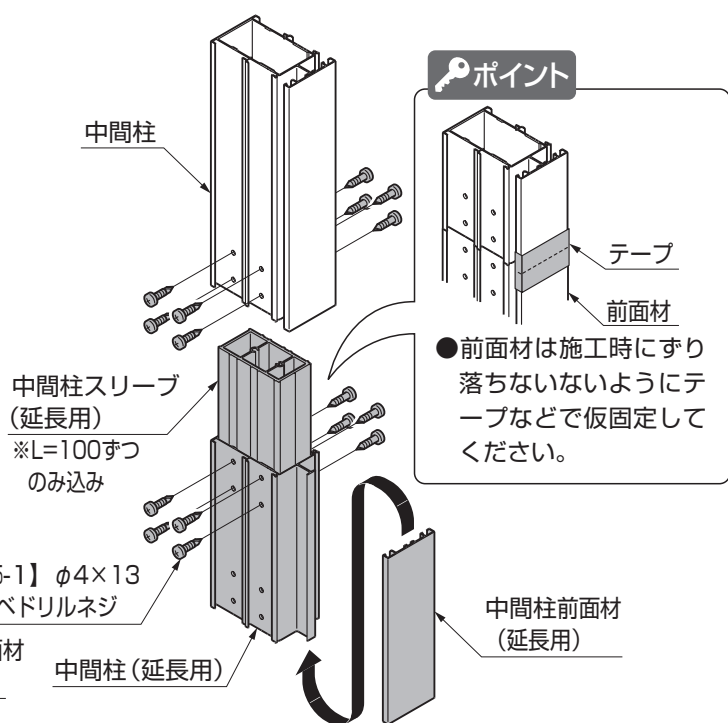


図2-2 中間柱

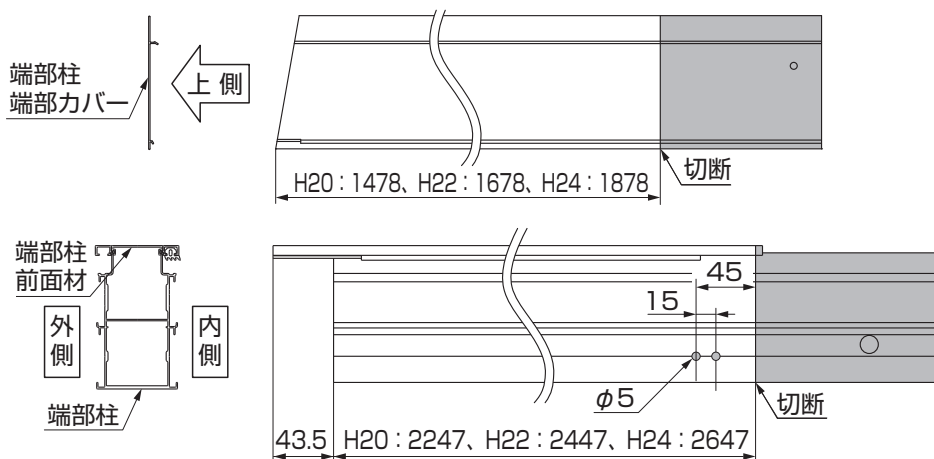
- ①延長用柱に柱スリーブ（延長用）を【54-1】、【55-1】で取付けてください。
- ②柱に延長用柱を【54-1】、【55-1】で取付けてください。
- ③端部柱の角樋に角樋ジョイナーと角樋（延長用）を取付けてください。
- ④前面材（延長用）を延長用柱に取付けてください。

ポイント

- 柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。
- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 角樋を端部柱から引き抜いて切断してください。

2-2 柱を埋込まない場合（柱内固定ベース： を使用）

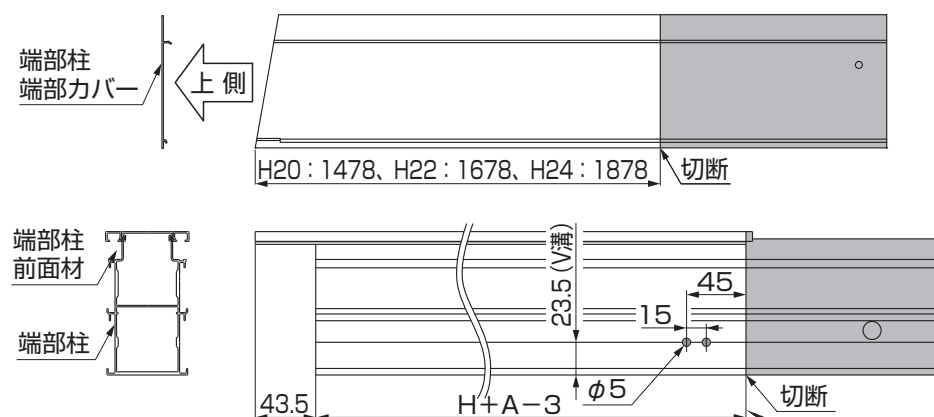
※柱をF.L.でベースプレート固定する場合



- ①角樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

2-3 柱を埋込まない場合（柱外固定ベース： を使用）

※柱をF.L.またはG.L.でベースプレート固定する場合



- ①角樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

ポイント

- 端部柱前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。

補足

- ガーデンルームプラスで基本オープンテラスを接続する場合は、接続部の端部柱端部カバーを「端部カバー長さ寸法＝端部柱長さ寸法＋57」で切断してください。



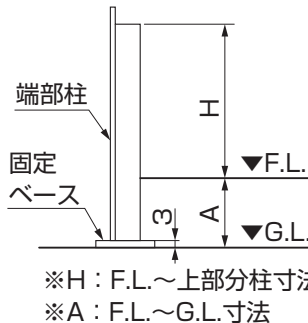
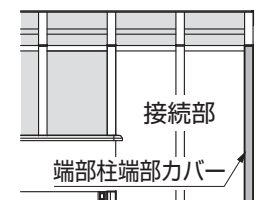
（参考）F.L.～上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く
※ベースプレートの厚みを含む

補足

- ガーデンルームプラスで基本オープンテラスを接続する場合は、接続部の端部柱端部カバーを「端部カバー長さ寸法＝H+A+57」で切断してください。



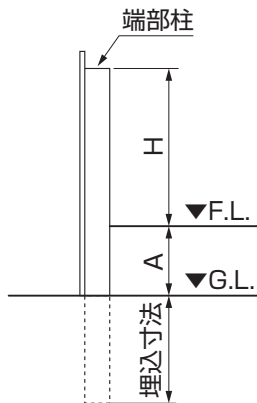
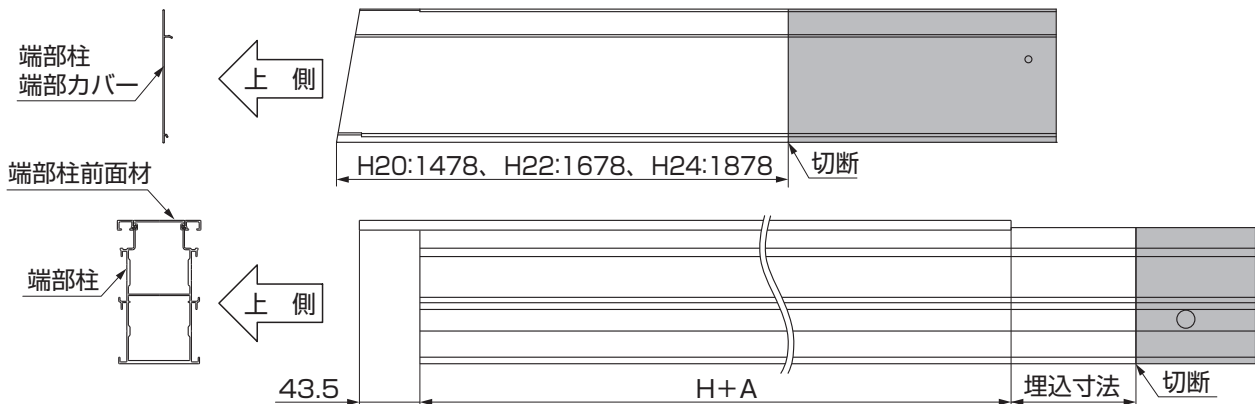
サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く

※H：F.L.～上部分柱寸法
※A：F.L.～G.L.寸法

2. (つづき)

2-4 柱を埋込む場合



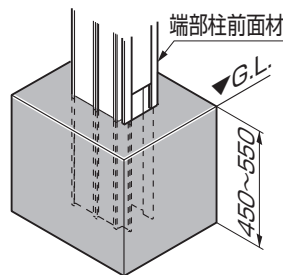
※H：F.L.～上部分柱寸法
※A：F.L.～G.L.寸法

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部
43.5mmは除く

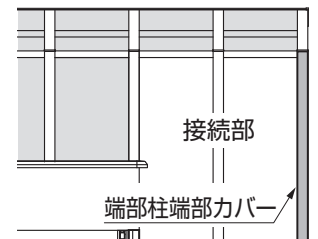
ポイント

- 現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
- 端部柱前面材はG.L.までです。
- 端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。



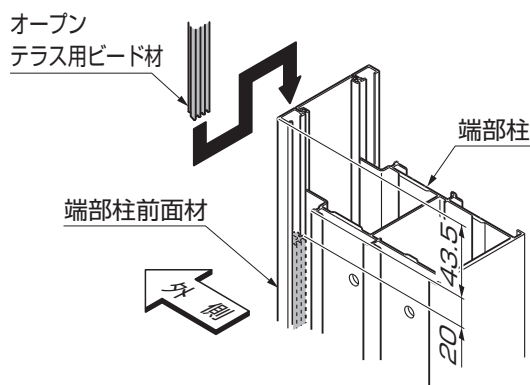
補足

- ガーデンルームプラスで基本オープンテラスを接続する場合は、接続部の端部柱端部カバーを「端部カバー長さ寸法＝H+A+埋込寸法+110」で切断してください。



- ①角樋を端部柱から引抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差込んでください。

2-5 ビード材の取付け ※オープンテラス用柱をガーデンルーム用として使用する場合



オープンテラス用ビード材長さ寸法

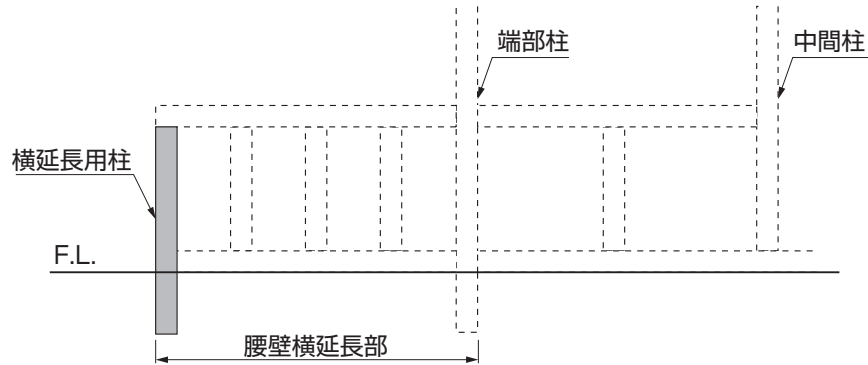
サイズ	長さ寸法
H20	2155
H22	2355
H24	2555

- ①オープンテラス用ビード材を切断してください。
- ②オープンテラス用ビード材上端部が端部柱上面から20mm下げた位置になるように、端部柱前面材に取付けてください。
- ③オープンテラス用ビード材上部を市販の瞬間接着剤で端部柱前面材に接着してください。

2-6 横延長用柱の加工

※腰壁横延長する場合の作業です。

※横延長用柱は「連棟柱セット」の連棟柱を加工してください。



(1) 柱を埋込む場合

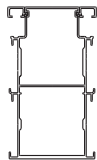


図2-3

通常納まりの場合

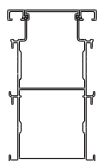
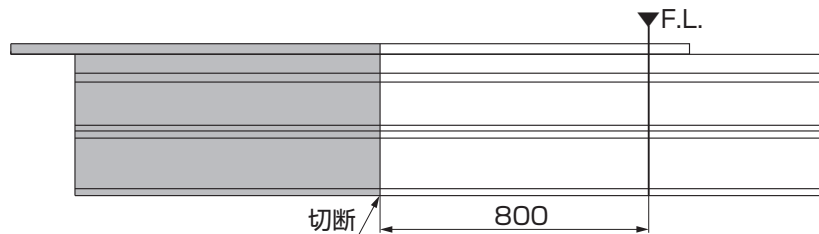


図2-4

下延長する場合



①横延長用柱を切断加工してください。

(2) 柱を埋込まない場合（ベースプレートを使用）

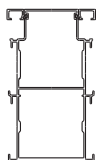


図2-5

通常納まりの場合

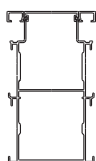
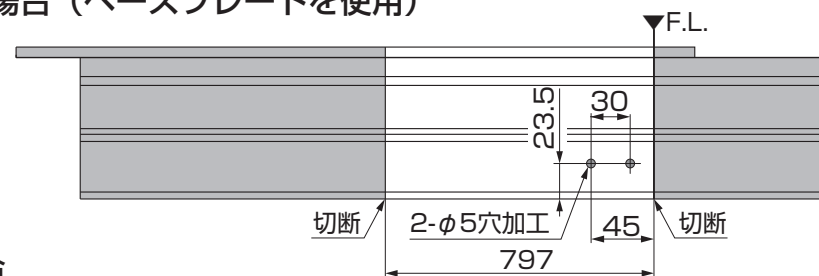
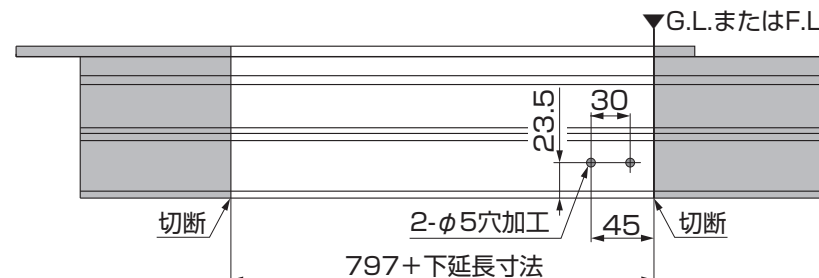


図2-6

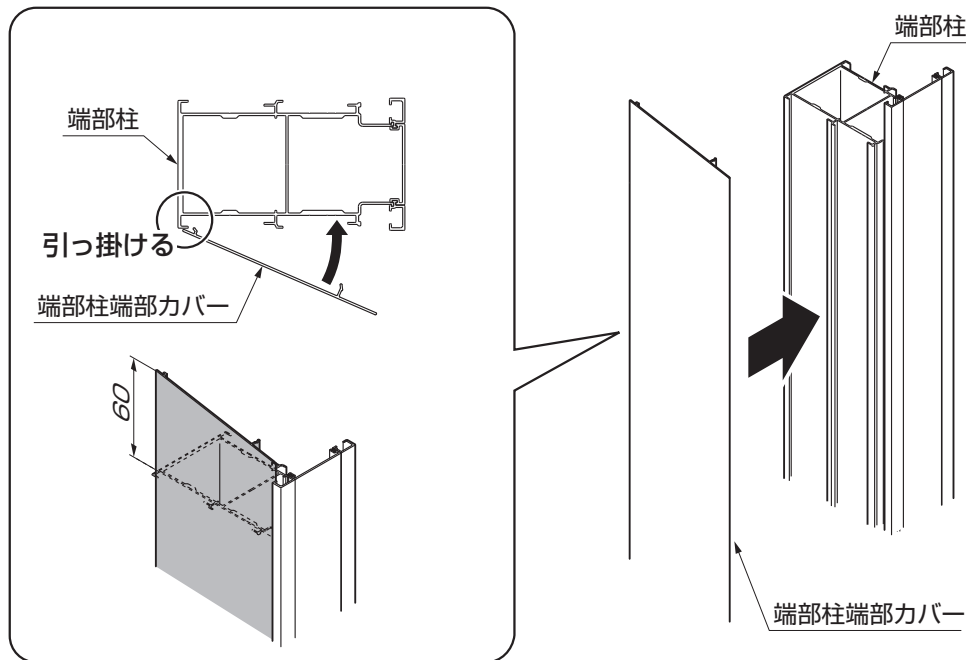
下延長する場合



①横延長用柱を切断加工してください。

2. (つづき)

2-7 端部柱端部カバーの取付け

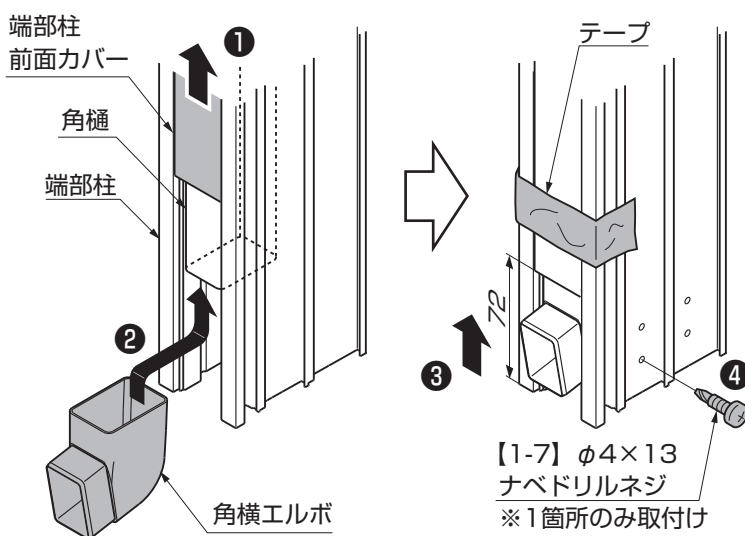


①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

3. 雨樋の取付け

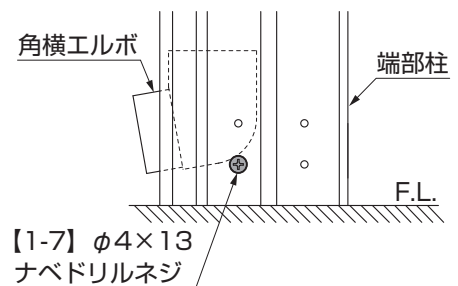
3-1 通常排水（前排水）の場合



- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②角横エルボを持ち上げながら、【1-7】を端部柱に取付けてください。

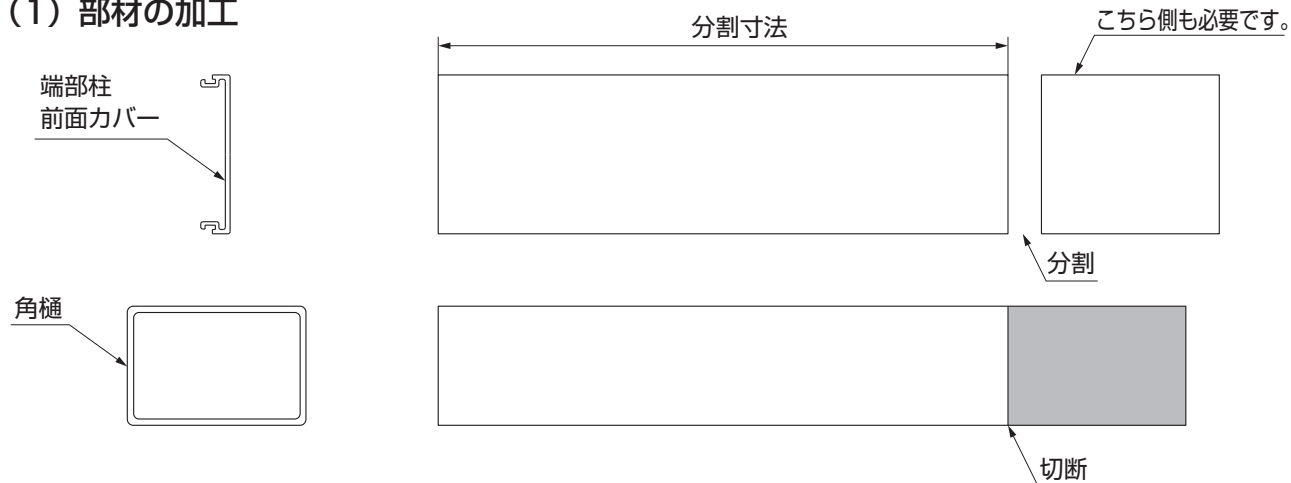
ポイント

- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。
- 【1-7】は下図の1箇所のみ取付けてください。
- 【1-7】を固定する際は、角横エルボが破損しないように取付けてください。



3-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

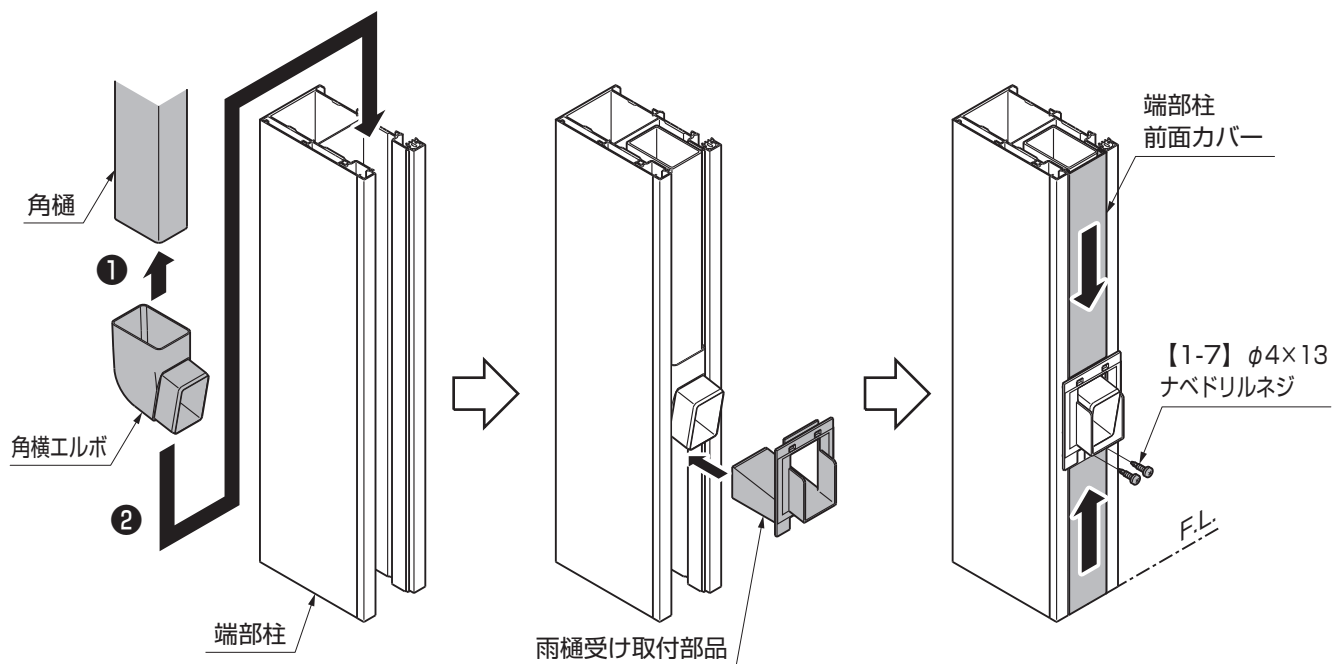


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

- 排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
- 排水位置の下限は腰壁（F.L.から832mm）より上の位置までです。
- 端部柱内角樋のL寸は、「（切断前の角樋長さ）－（端部柱前面カバー分割寸法）」より求められます。

(2) 排水口の高さ調整

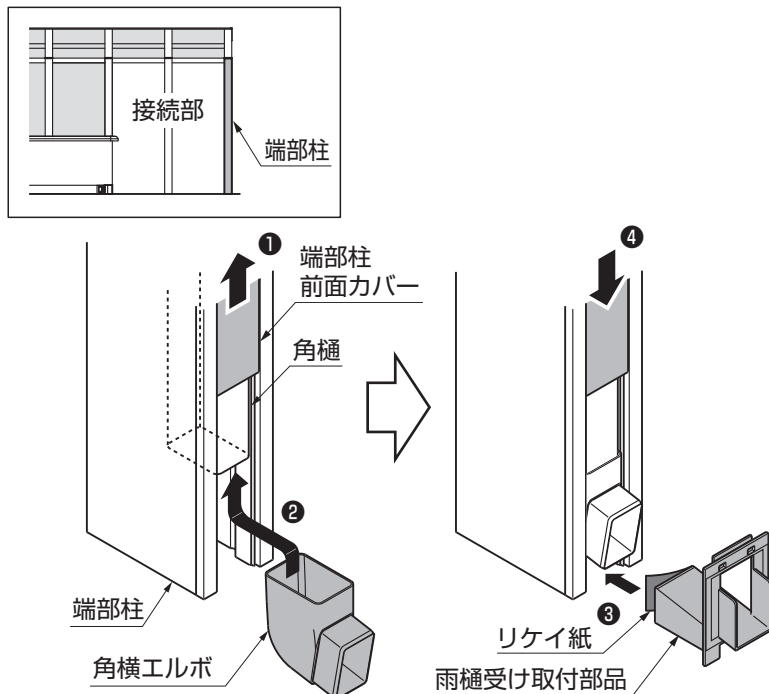


- ①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
- ②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。（ネジ固定はしないでください。）
- ③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさみ、下側のカバー下端がF.L.ラインになるようにしてください。
- ④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-7】で固定してください。

3. (つづき)

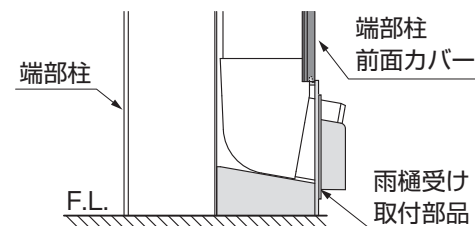
3-3 ガーデンルームプラスタイプで基本オープンテラスを接続する場合

※接続する基本オープンテラス端部柱の作業です。

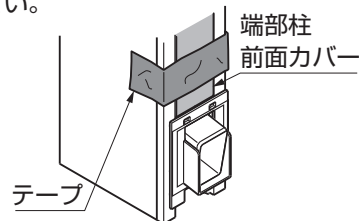


- ① 端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ② 雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
- ③ 端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

- 雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。
- 雨樋受け取付部品下端がF.L.ラインになるように取付けてください。



- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。

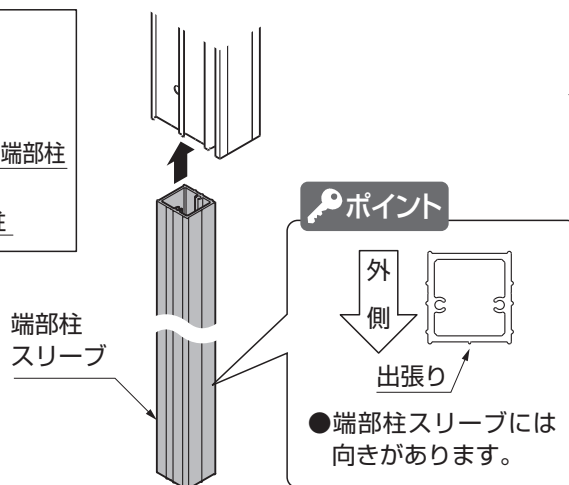
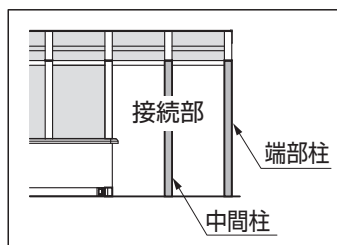


4. 柱スリーブの取付け

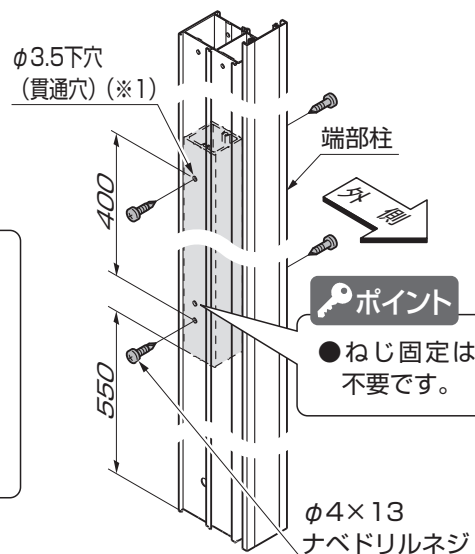
※積雪3000Nの場合です。

※ガーデンルームプラスタイプで基本オープンテラスを接続する場合の中間柱・端部柱の作業です。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
				積雪地域



- ① 端部柱、中間柱にφ3.5下穴（貫通穴）（※1）をあけてください。
- ② 端部柱に端部柱スリーブを差込み、【φ4×13ナベドリルネジ】で取付けてください。
- ③ 中間柱に中間柱スリーブを差込み、【φ4×13ナベドリルネジ】で取付けてください。

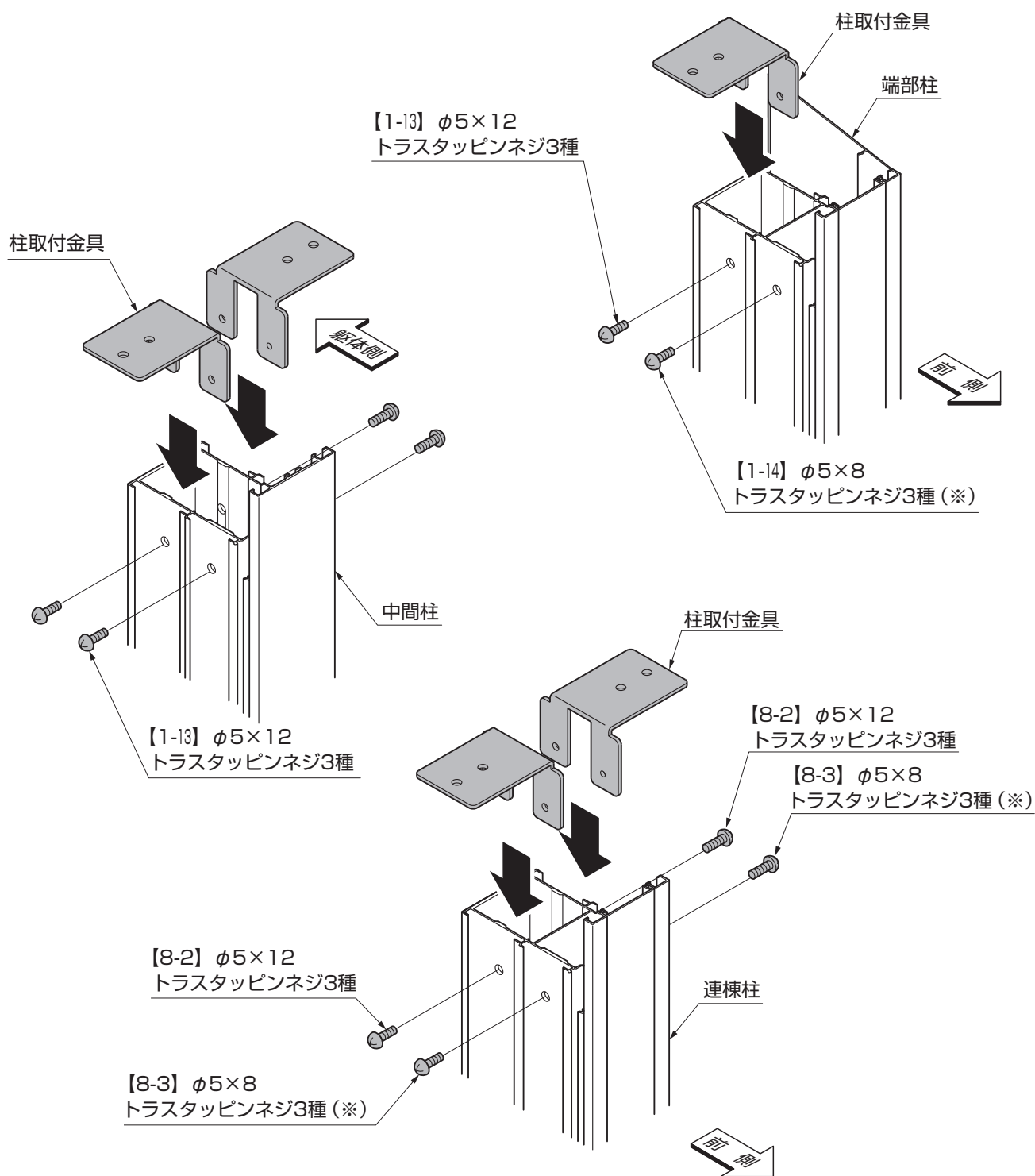


タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

5. 柱取付金具の取付け

ポイント

●図は右側を示しています。左側は左右対称です。



①柱取付金具を柱に、【1-13】、【1-14】、【8-2】、【8-3】で取付けてください。

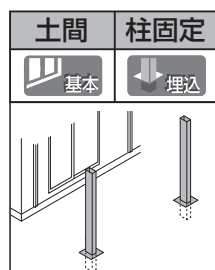
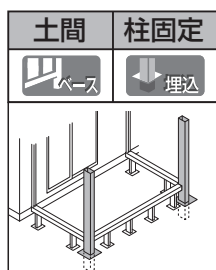
ポイント

●端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう【1-14】、【8-3】を使用してください。（※）

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

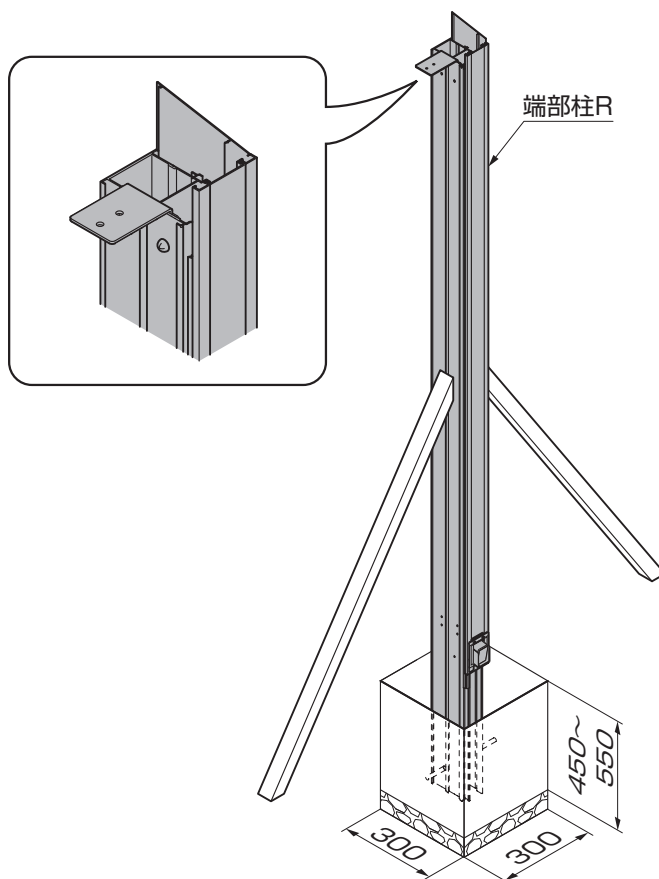
6. 柱の建込み

6-1 柱埋込みの場合



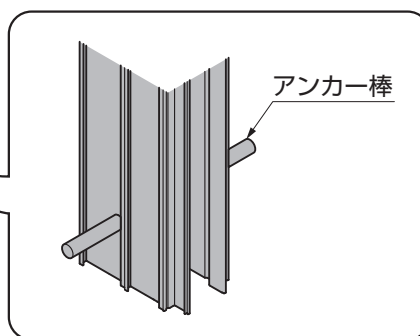
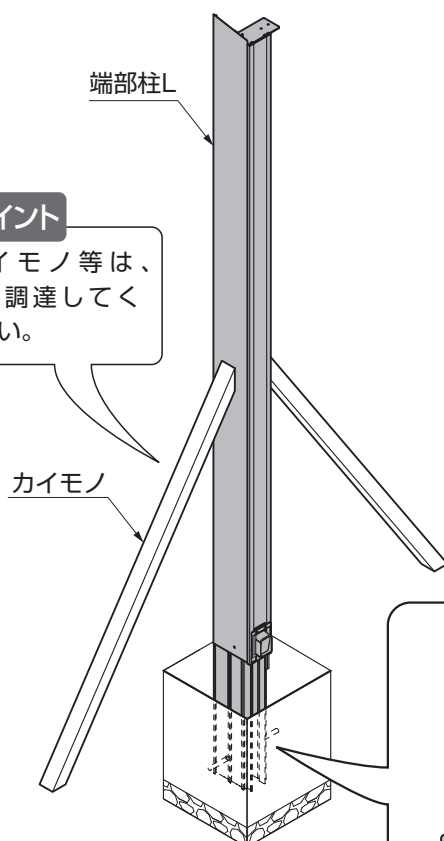
ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。



ポイント

●カイモノ等は、現場調達してください。



- ①端部柱にアンカー棒を差込み、「8 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

6-2 柱ベースプレート固定の場合

※図は端部柱を示します。

ガーデンルームプラスの中間柱も同様の取付けとなります。

(1) 柱固定ベースの取付け

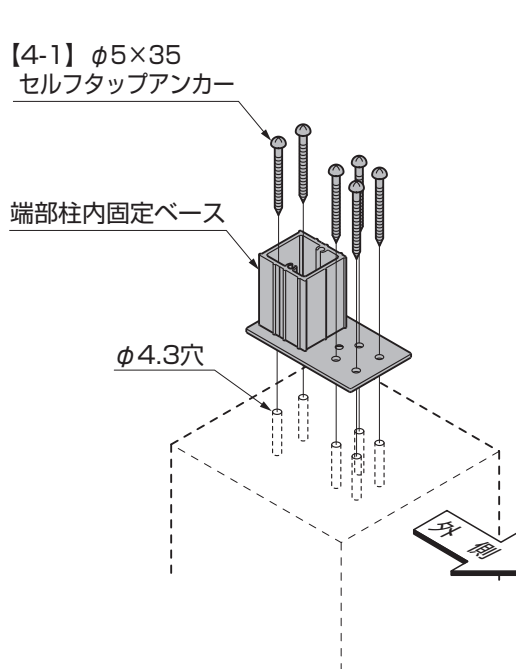


図6-1 端部柱内固定ベース

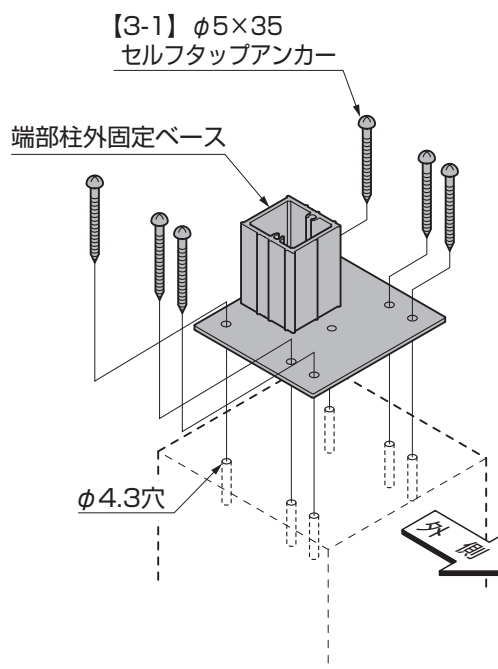
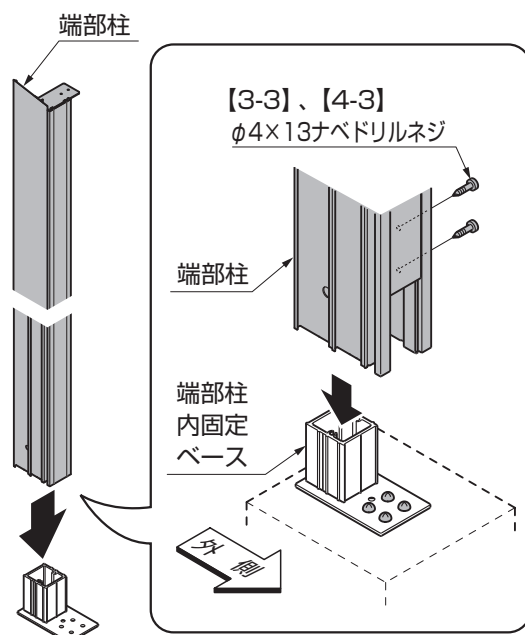
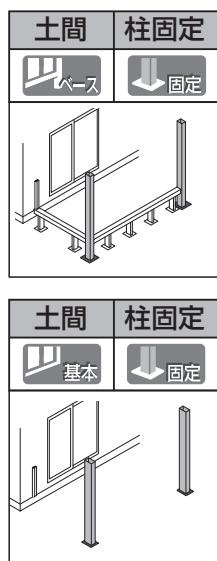


図6-2 端部柱外固定ベース

- ①端部柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ②端部柱固定ベースを【4-1】または【3-1】で取付けてください。

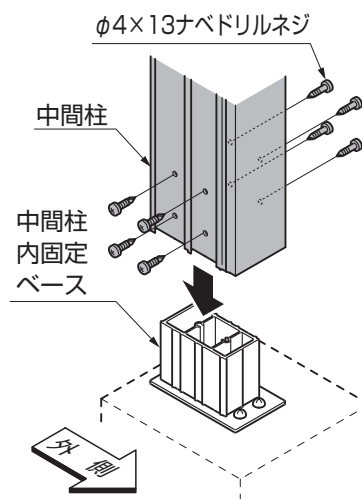
(2) 柱の建込み

※柱固定ベース仕様の作業です。



ポイント

【プラスタイプで中間柱を使用する場合】



- ①端部柱を端部柱固定ベースに【3-3】、【4-3】で取付けてください。

7. 入隅の場合

※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

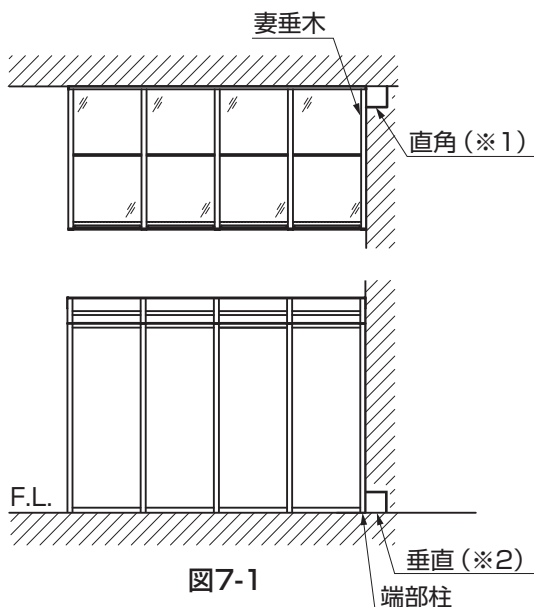


図7-1

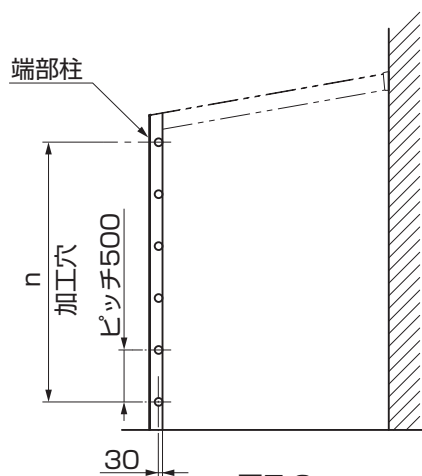


図7-2

表7-1

	加工穴n
H20	5
H22	5
H24	6

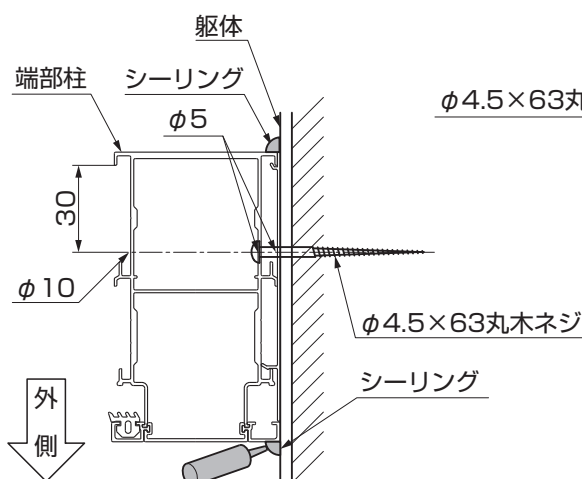


図7-3

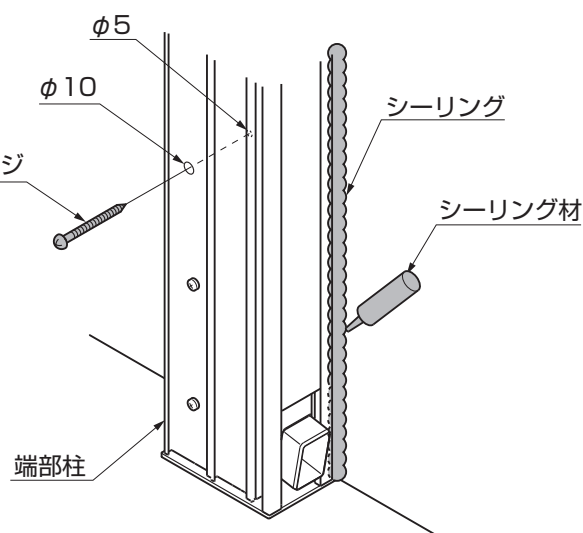


図7-4

ポイント

- 躯体外壁の直角度（※1）、垂直度（※2）に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。（図7-1参照）

- ①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。（図7-2、図7-3、表7-1参照）
- ②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。（図7-3、図7-4参照）

ポイント

- 「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。（図7-4参照）

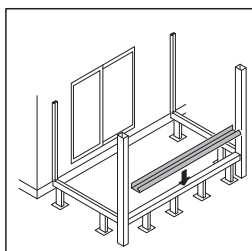
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

13 フレーム施工

1. 前面ベース受けの取付け

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					



ポイント

- 前面ベース受けは施工するタイプにより取付け箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ GR		サイドスルータイプ ST	
前面腰壁	L字腰壁	前面腰壁	L字腰壁

ポイント

- 前面ベース受けは図の位置に合わせて取付けてください。

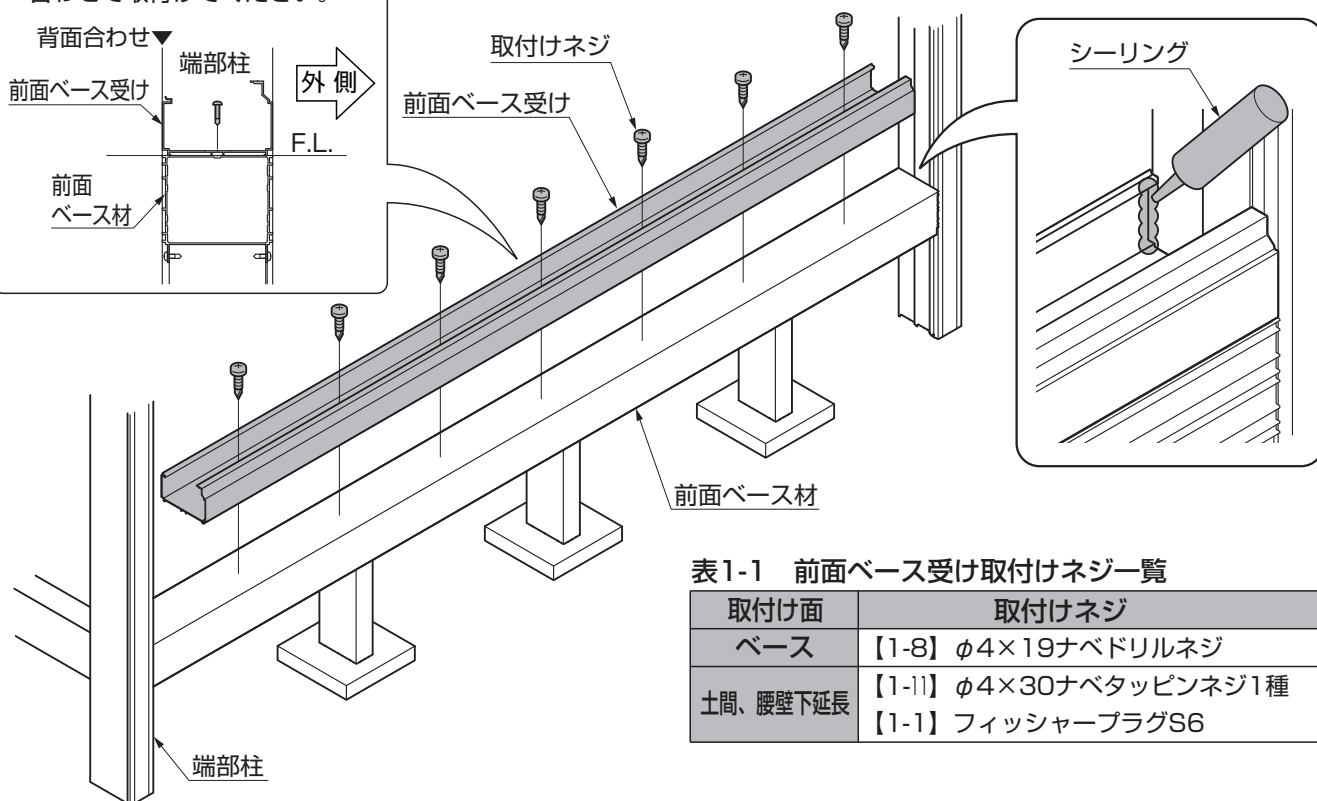
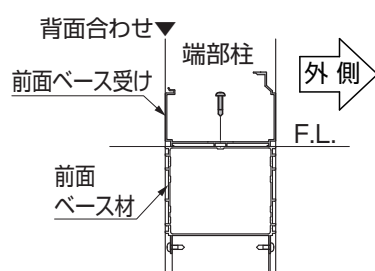


表1-1 前面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ
土間、腰壁下延長	【1-11】 φ4×30ナベタッピンネジ1種 【1-1】 フィッシャープラグS6

- ①前面ベース受けを床に【1-1】、【1-8】、【1-11】で取付けてください。

ポイント

- 前面ベース受けの背面を端部柱の背面に揃えて取付けてください。
- 前面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。
- 乾式腰壁はフラットデッキには施工できません。

- ②端部柱と前面ベース受けにシーリングをしてください。

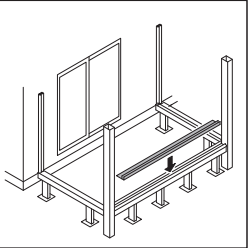
ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2. 前面ベースの取付け

※図はL字腰壁仕様を示します。

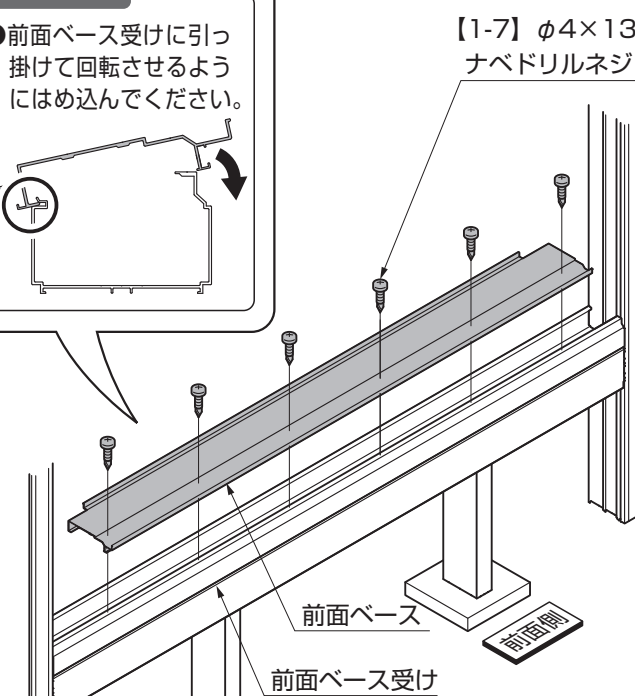
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					



【1-7】φ4×13 ナベドリルネジ

前面ベース
前面ベース受け

ポイント
●前面ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。



【1-7】φ4×13 ナベドリルネジ

前面ベース
前面ベース受け

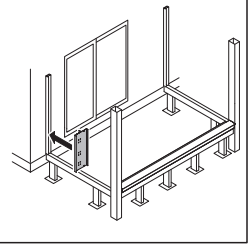
ポイント
【ガーデンルームタイプの場合】
●開口部側面用ベースの取付けは「ココマII-側面開口部編-取付説明書(E418)」を参照してください。

①前面ベースを前面ベース受けに【1-7】で取付けてください。

3. 見切り材の取付け

※L字腰壁タイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



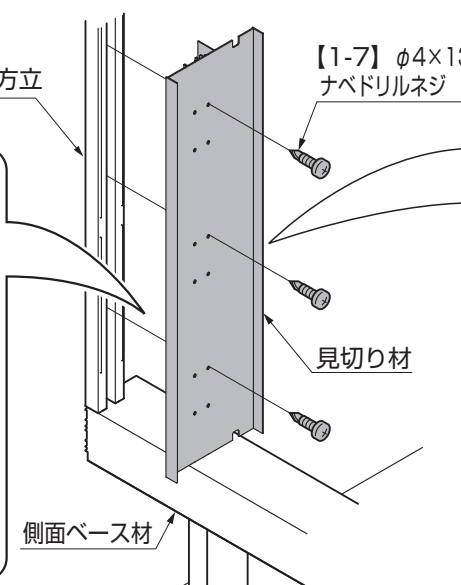
リブが躯体方立に接する

V溝

リブ

内側

ポイント
●見切り材の取付けは、リブに近い方の穴で取付けてください。



躯体方立

【1-7】φ4×13 ナベドリルネジ

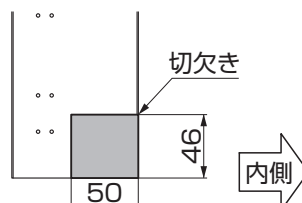
見切り材

側面ベース材

ポイント
●見切り材は、L字腰壁部のみに取付けてください。

ポイント
●以下の場合見切り材を切欠き加工してください。

【内面立上げの場合】



切欠き

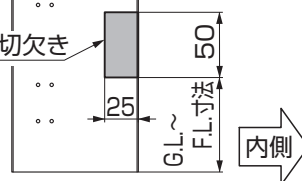
46

50

下側

内側

【下延長で内面にデッキを施工する場合】



切欠き

50

25

下側

内側

①見切り材を躯体方立に【1-7】で取付けてください。

4. 側面ベース受けの取付け

※L字腰壁の場合の作業です。

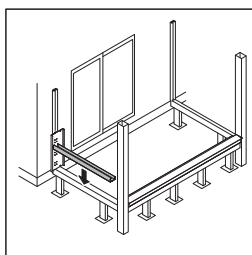
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定
				

表4-1 側面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【1-8】 $\phi 4 \times 19$ ナベドリルネジ
土間	【1-11】 $\phi 4 \times 30$ ナベタッピンネジ1種 【1-1】 フィッシャープラグS6

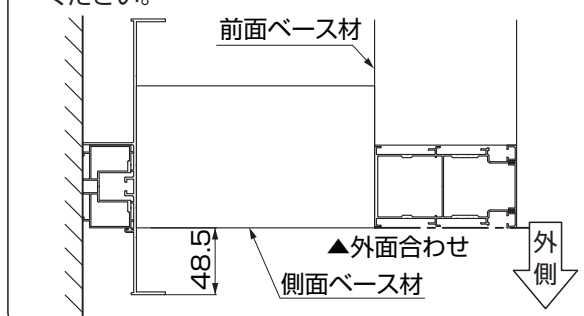
ポイント

- 側面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。
- フラットデッキには施工できません。

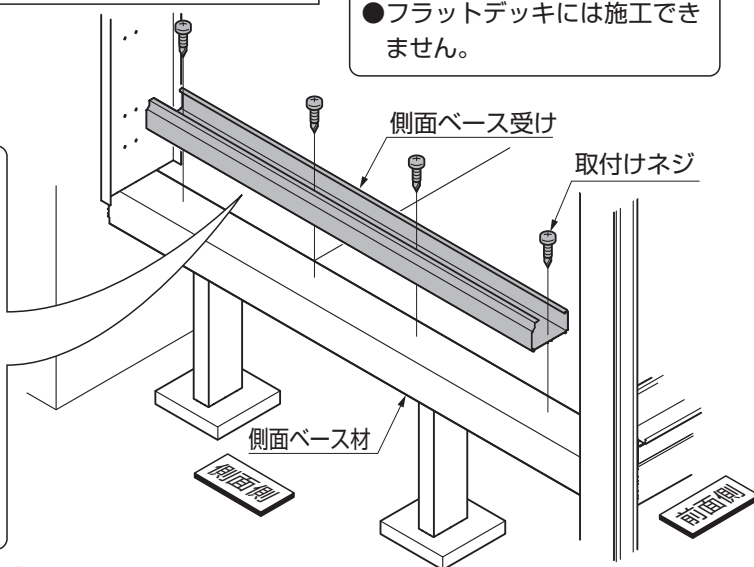


ポイント

- 側面ベース受けは図の位置に合わせて固定してください。



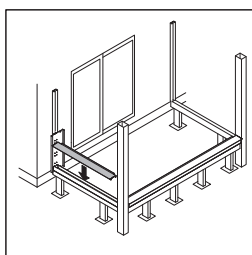
①側面ベース受けを床に【1-1】、【1-8】、【1-11】で取付けてください。



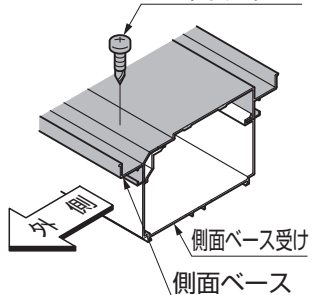
5. 側面ベースの取付け

※L字腰壁の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定
				

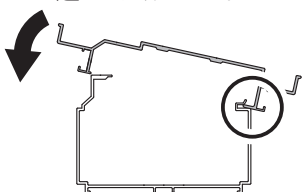


【2-1】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

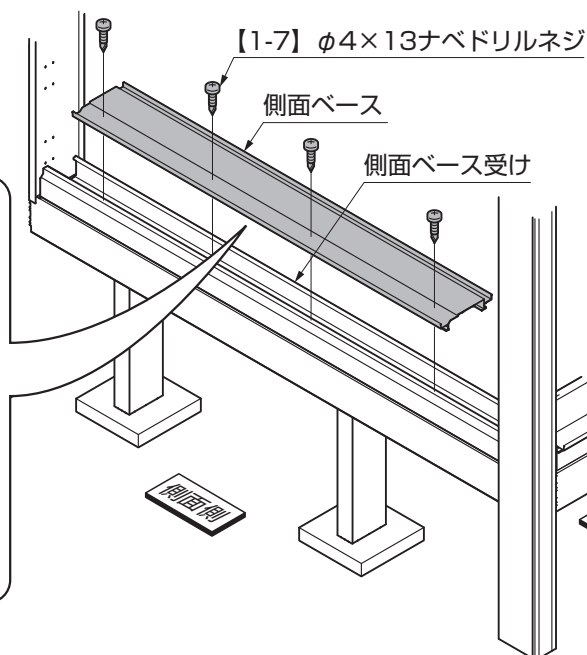


ポイント

- 側面ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。



①側面ベースを側面ベース受けに【2-1】で取付けてください。



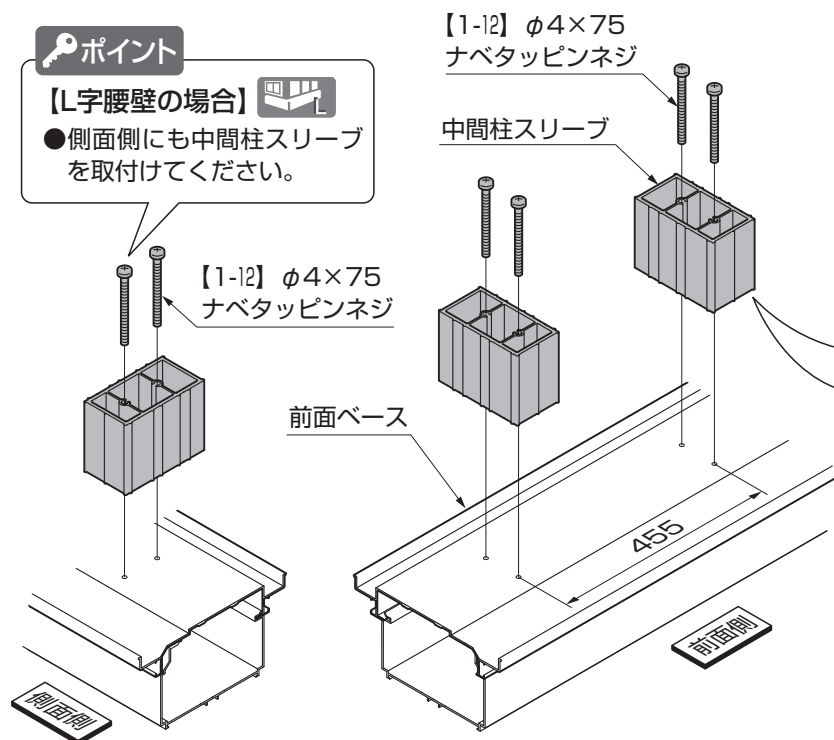
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

6. 中間柱スリーブの取付け

ポイント

【L字腰壁の場合】

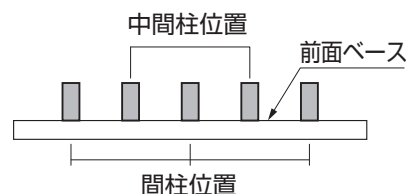
- 側面側にも中間柱スリーブを取付けてください。



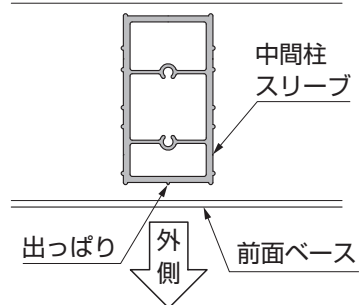
①中間柱スリーブを前面ベースに【1-12】で取付けてください。

ポイント

- 中間柱スリーブは「中間柱」「間柱」の箇所に取付けてください。

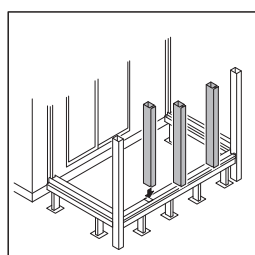


- 下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。

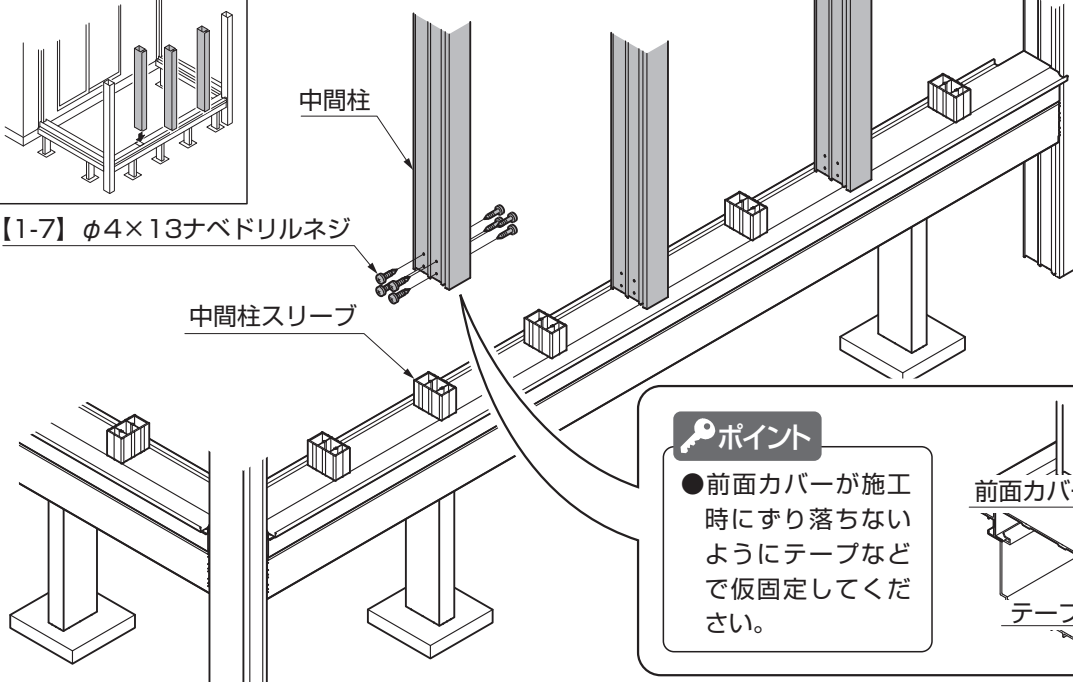


タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

7. 中間柱の建込み

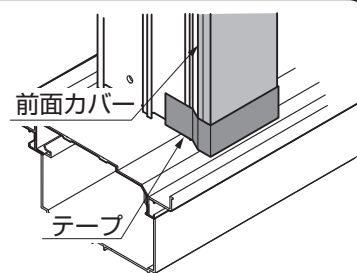


【1-7】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ



ポイント

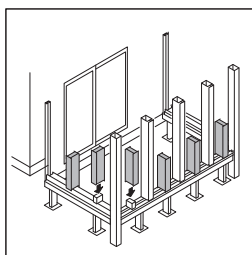
- 前面カバーが施工時にすり落ちないようにテープなどで仮固定してください。



①中間柱を中間柱スリーブに【1-7】で取付けてください。

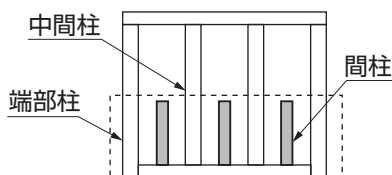
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

8. 間柱の建込み

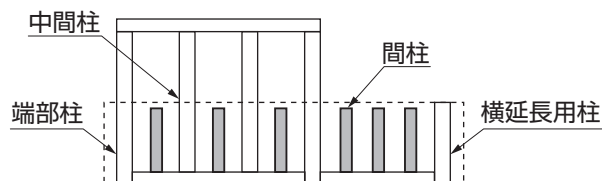


補足

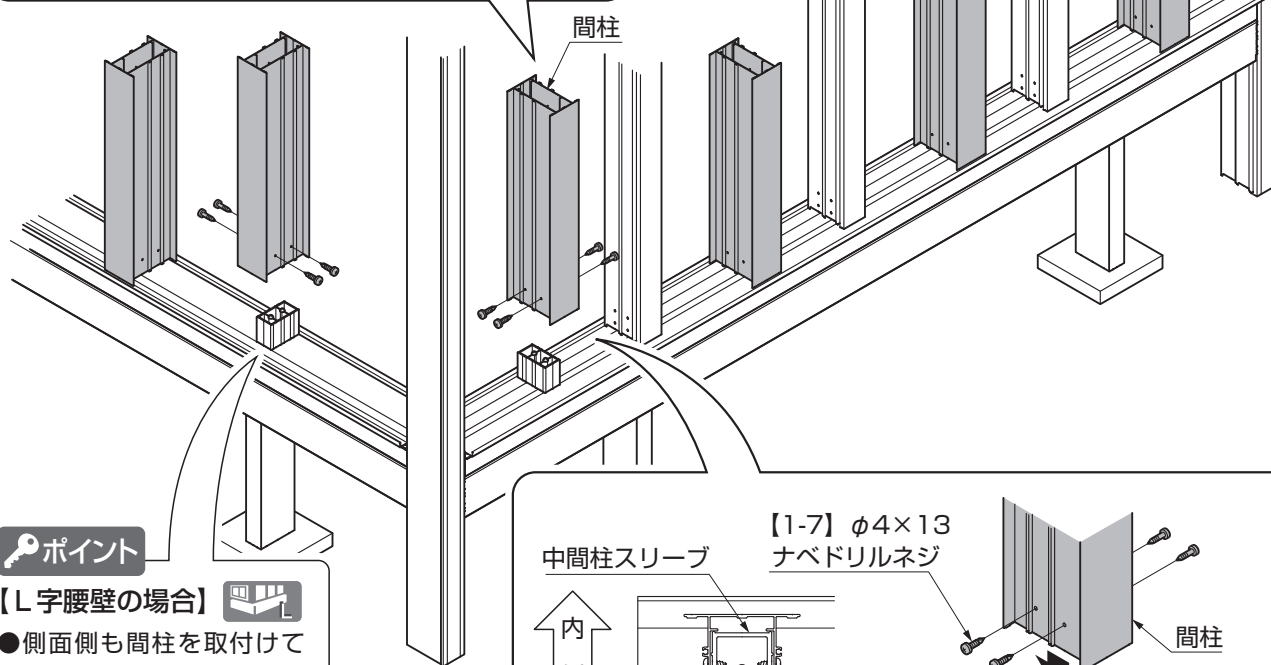
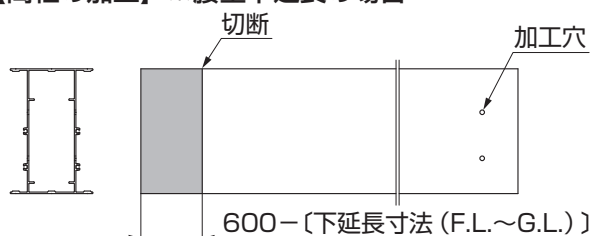
●間柱は、腰壁を施工するための補強材です。他の柱とは長さが異なります。



●腰壁横延長の場合、延長部分は間柱のみ取付きます。



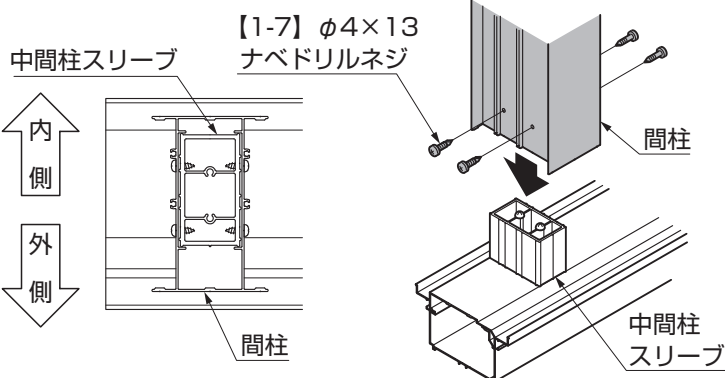
【間柱の加工】※腰壁下延長の場合



ポイント

【L字腰壁の場合】

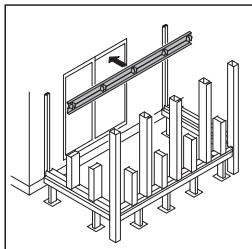
●側面側も間柱を取付けてください。



- ①間柱を加工穴のない側から加工してください。
- ②間柱を中間柱スリーブに【1-7】で取付けてください。

9. 垂木掛けの取付け

9-1 垂木掛けの取付け



補足

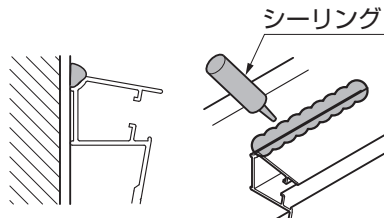
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



【積雪地域】



(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

シーリング

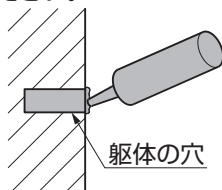
φ4

φ5

垂木掛け

ポイント

- 躯体にあけた穴には必ず、シーリングを充て込んでください。



【2-5】φ5×75
ナベタッピンネジ1種

【1-15】φ6×70
六角コーチスクリュー

【1-2】M6用平座金

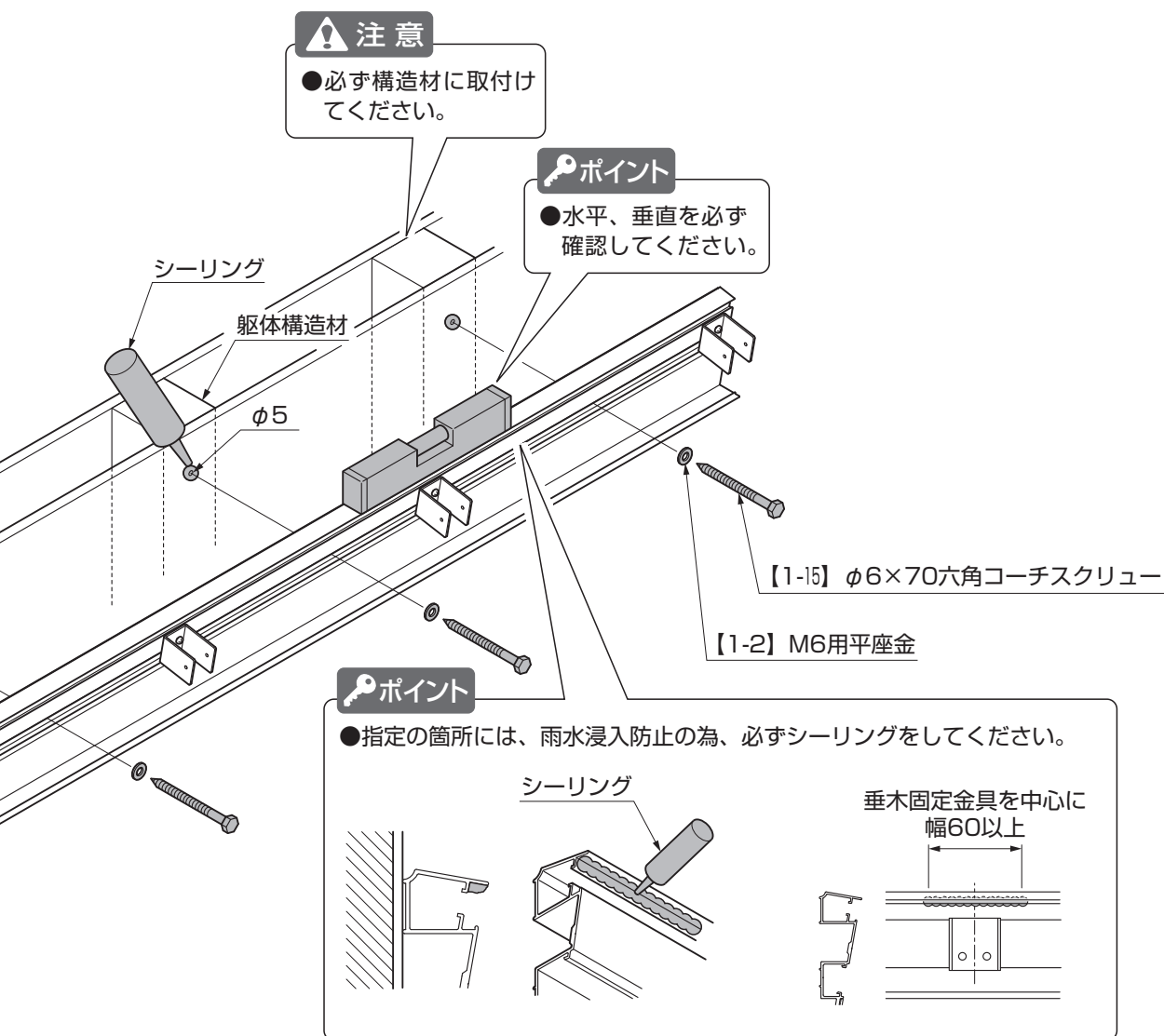
垂木掛け

【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					



【積雪地域】 (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

- ①躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】で取付けてください。

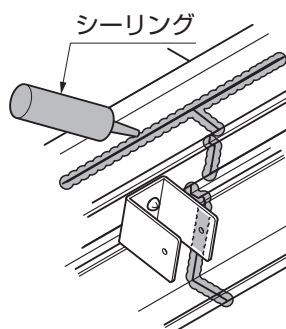
【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ①躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ5とφ4の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③垂木掛けを躯体の構造材に【1-2】、【1-15】と【2-5】で取付けてください。

9. (つづき)

9-2 連棟、垂木LED照明 **オプション**、入隅仕様の場合

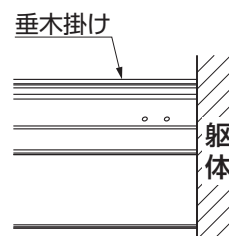
(1) 連棟の場合



ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

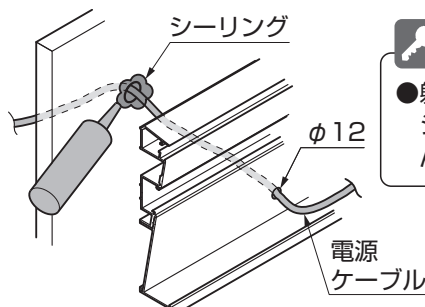
(3) 入隅仕様の場合



ポイント

- 垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。

(2) 垂木LED照明 **オプション**



ポイント

- 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。

図9-1 躯体に穴をあけて配線する場合

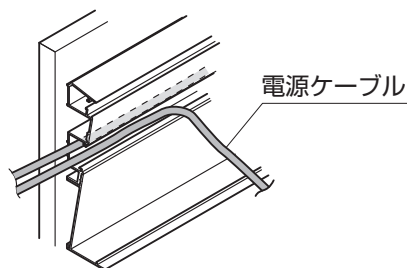


図9-2 垂木掛けの溝を利用する場合

(1) 連棟の場合

- ① 垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

(2) 垂木LED照明 **オプション**

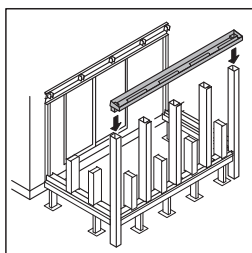
- ① 躯体に穴をあけて配線する場合は、「9 施工前の準備 2.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

- ① 垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

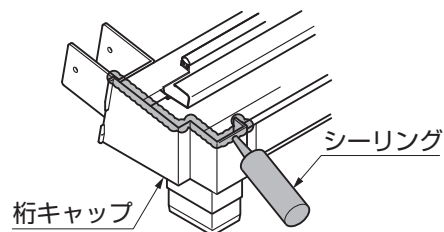
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

10. 桁の取付け



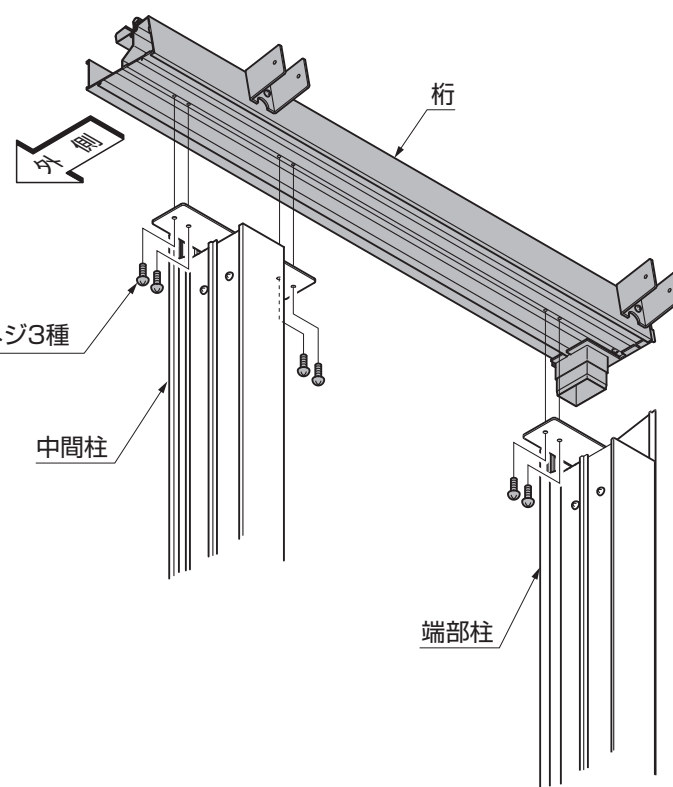
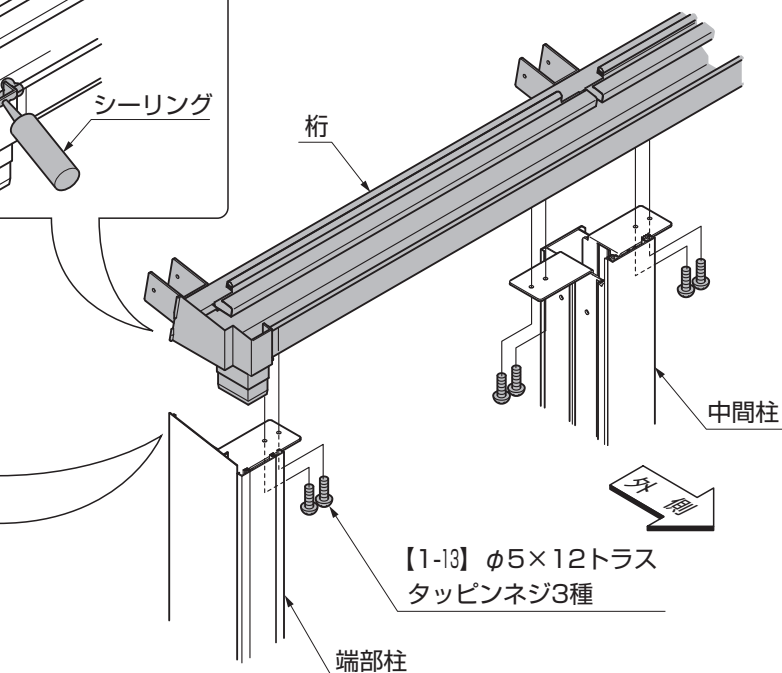
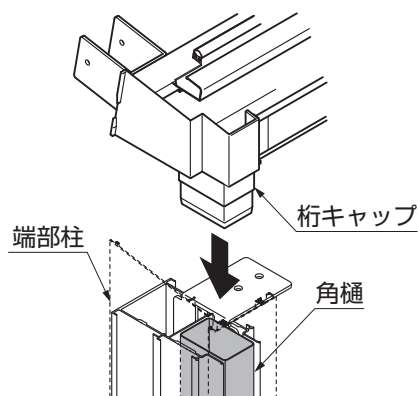
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



ポイント

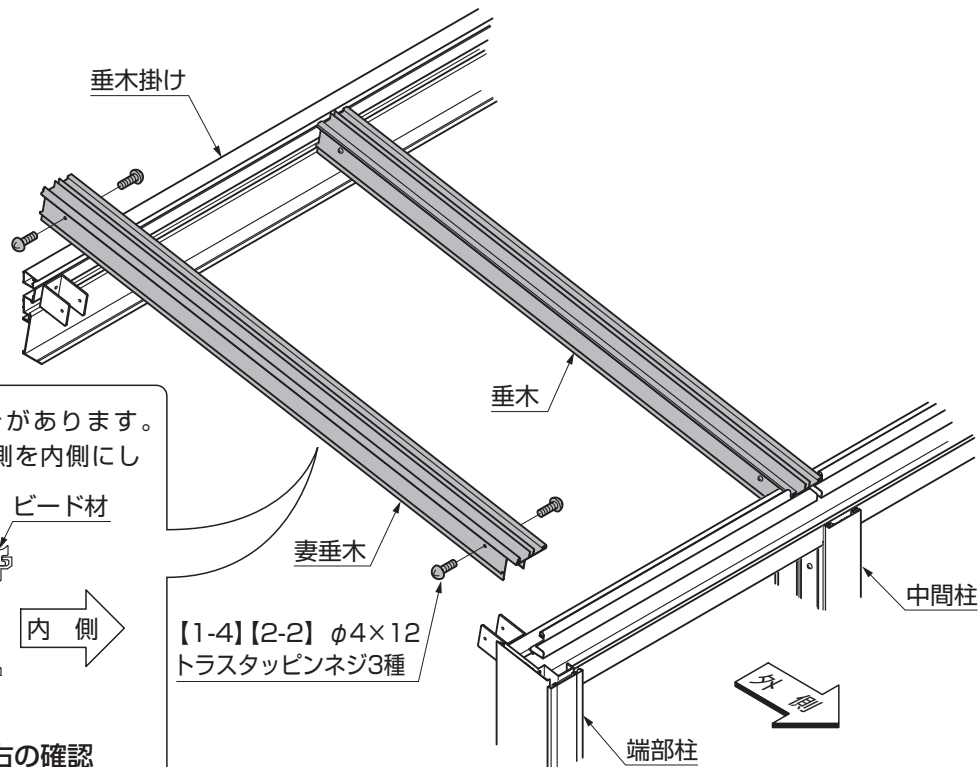
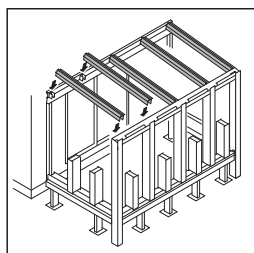
- 桁キャップを角樋に挿入してください。



- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-13】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

11. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

- 妻垂木には左右の向きがあります。ビード材が付いている側を内側にして取付けてください。

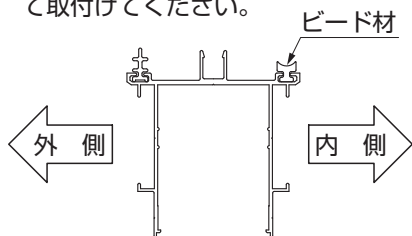
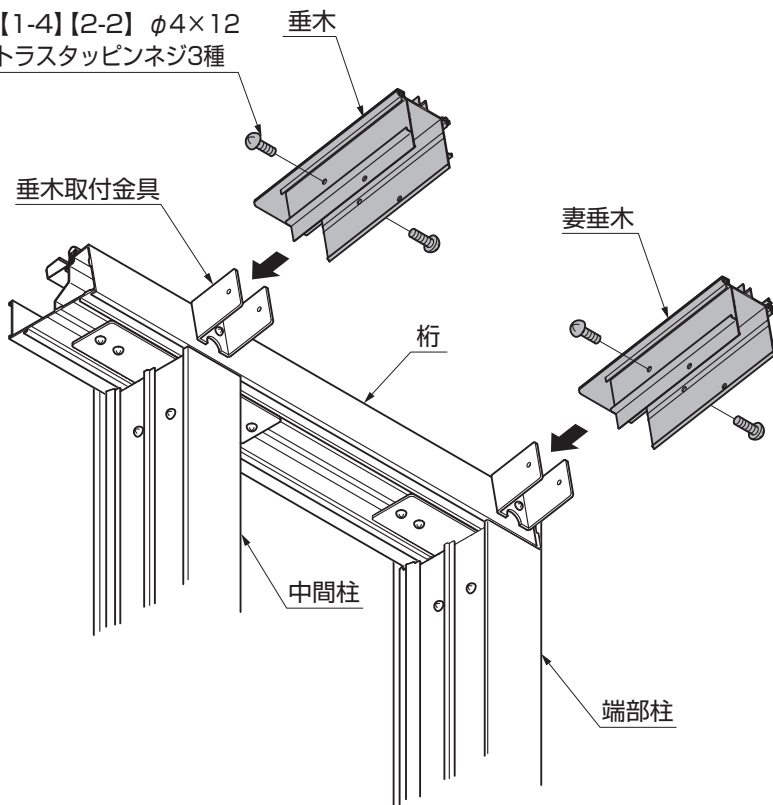


図12-1 妻垂木左右の確認

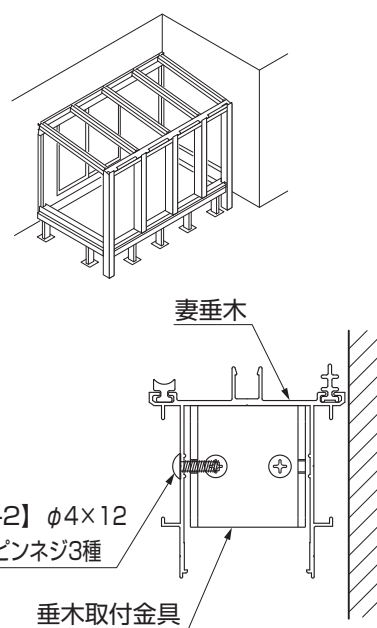
【1-4】【2-2】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ3種



ポイント

【入隅仕様の場合】

- 【1-4】を片側だけ取付けてください。



①妻垂木、垂木を垂木取付金具に【1-4】、【2-2】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

12. 中骨の取付け

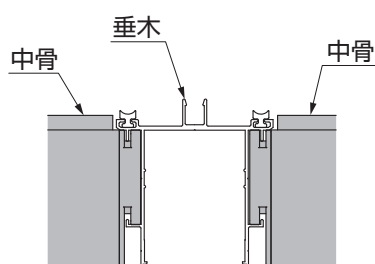
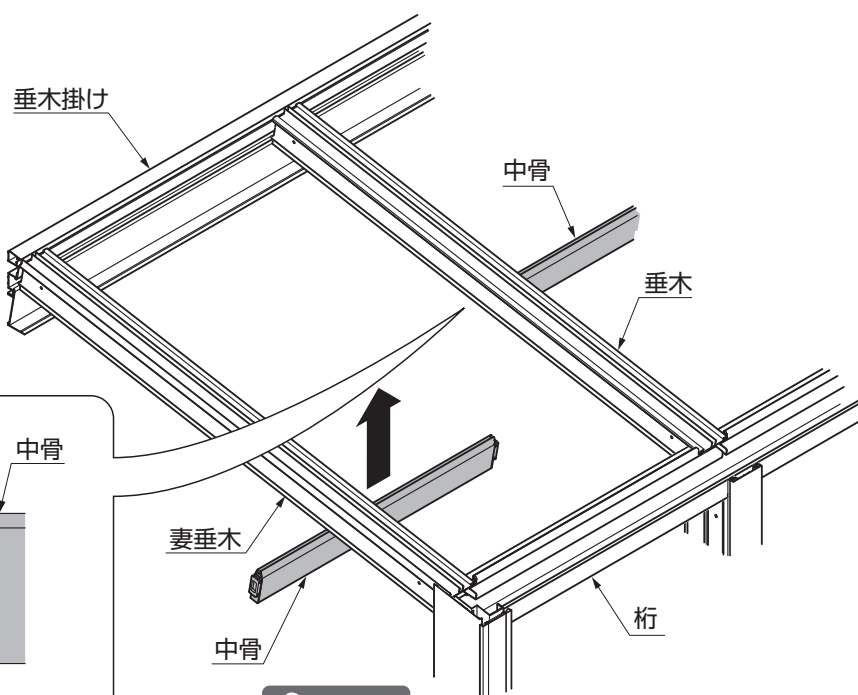
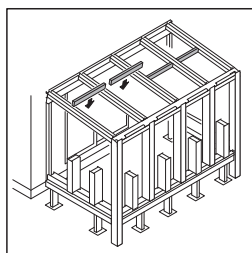


図12-1 中骨取付け位置

ポイント

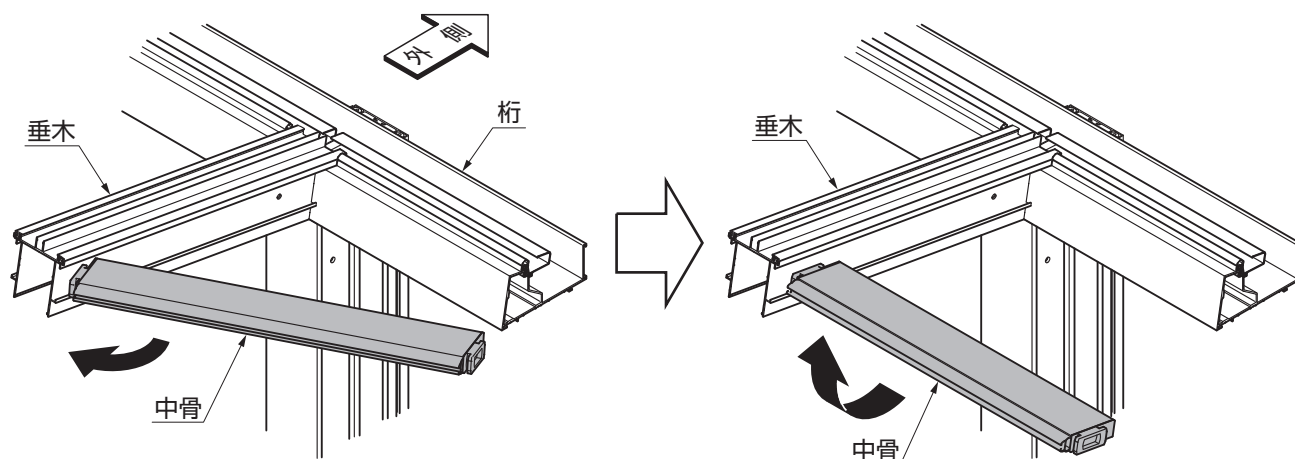
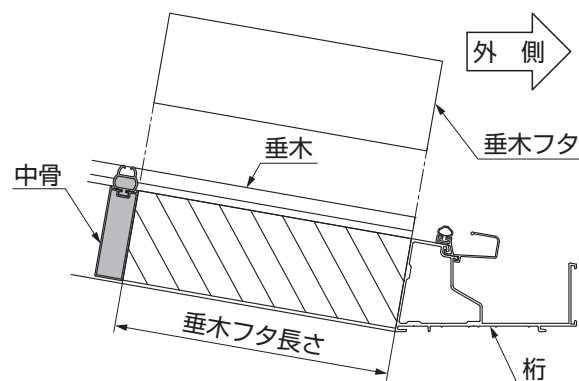
- 仕様によって中骨の本数が異なります。

表12-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	—	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	—

ポイント

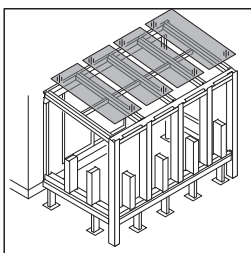
- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



- ①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

13. 屋根材の取付け

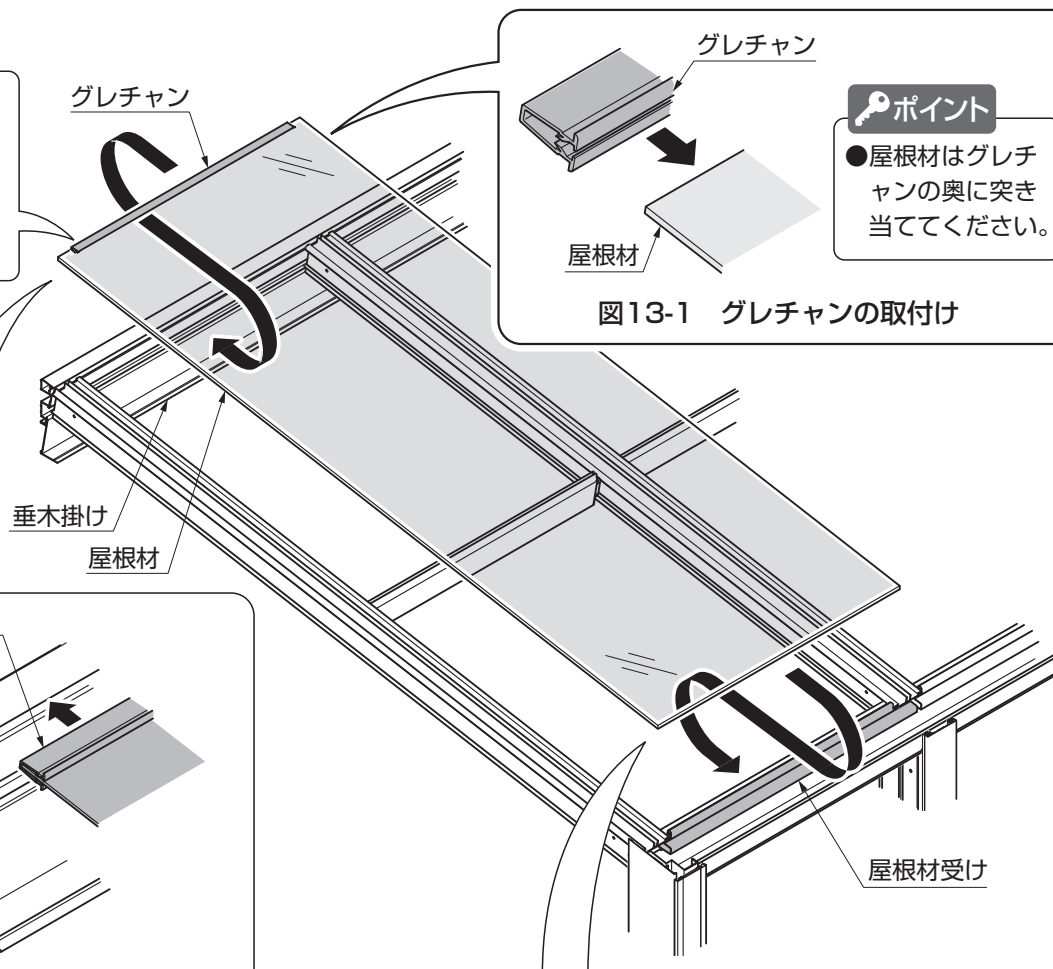


ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には耐候面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材はグレチャンの奥に突き当ててください。

図13-1 グレチャンの取付け

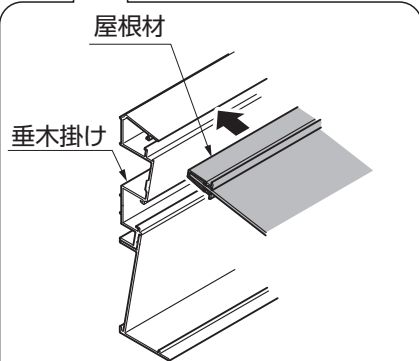
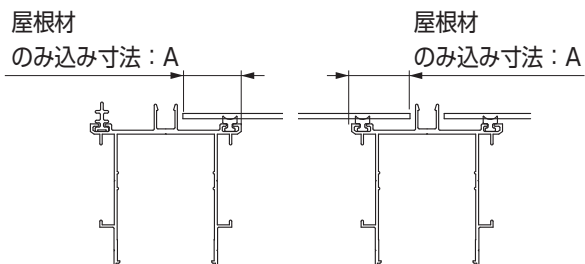


図13-2 屋根材の取付け

ポイント

- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。



ポイント

- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

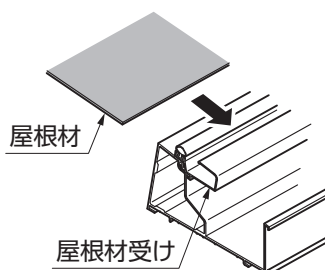
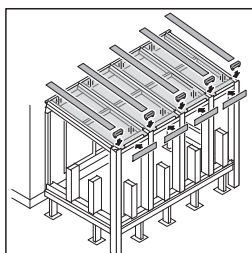


図13-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。（図13-1参照）
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。（図13-2参照）
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。（図13-3参照）

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

14. 垂木カバーの取付け

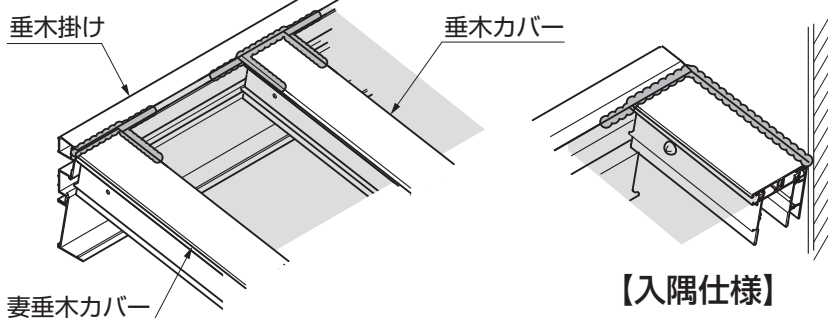


14-1 シーリング箇所一覧

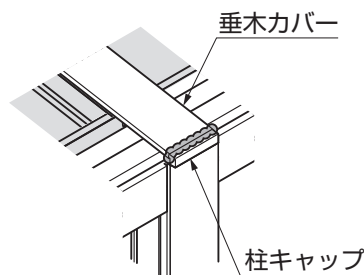
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

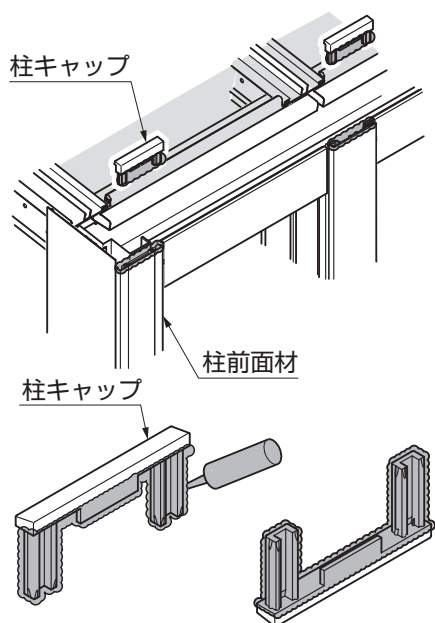
14-5 垂木カバーの取付け…(P.99)



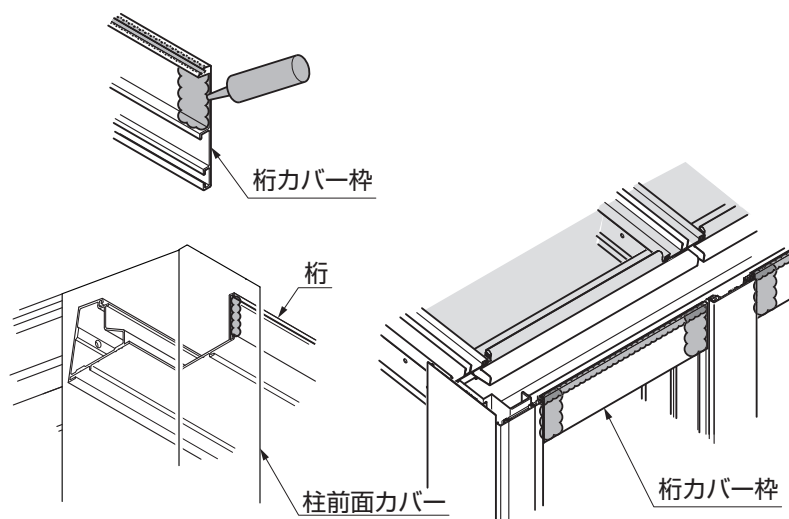
14-5 垂木カバーの取付け…(P.99)



14-3 柱キャップの取付け…(P.97)



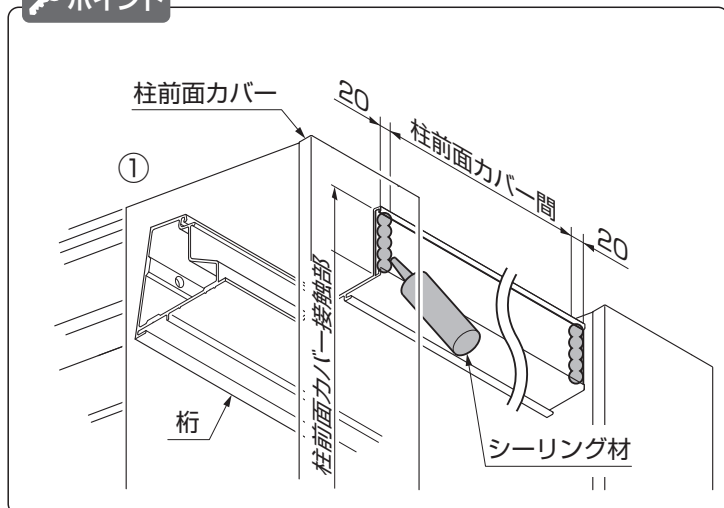
14-2 桁カバー枠の取付け…(P.96)



14. (つづき)

14-2 桁カバー枠の取付け

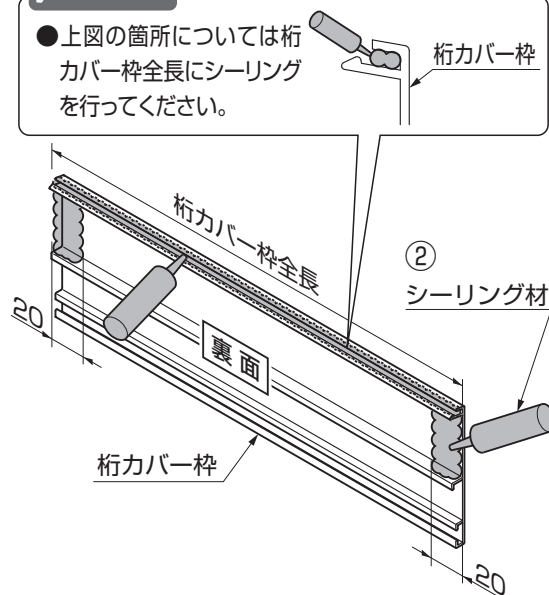
ポイント



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。

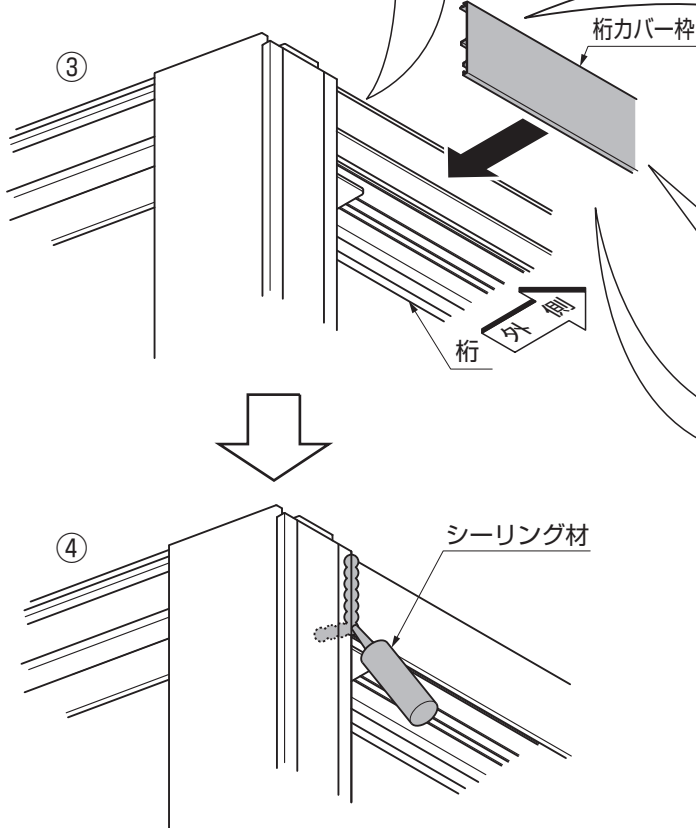
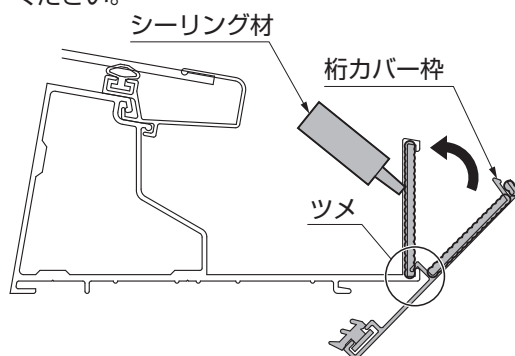


ポイント

- ガーデンルームプラスタイプのオープンテラス部分には、オープンテラス用桁カバー枠（先付ビード材無し）を取付けてください。

ポイント

- 桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



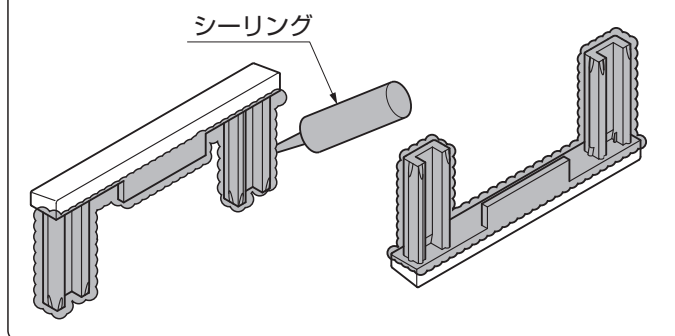
- ① 桁の柱前面カバー接触部に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ② 桁カバー枠の裏側にシーリングをしてください。(参照【桁カバー枠裏側シーリング箇所】)
- ③ 桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ④ 桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

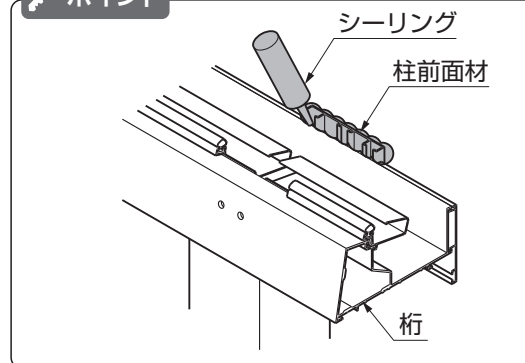
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

14-3 柱キャップの取付け

ポイント

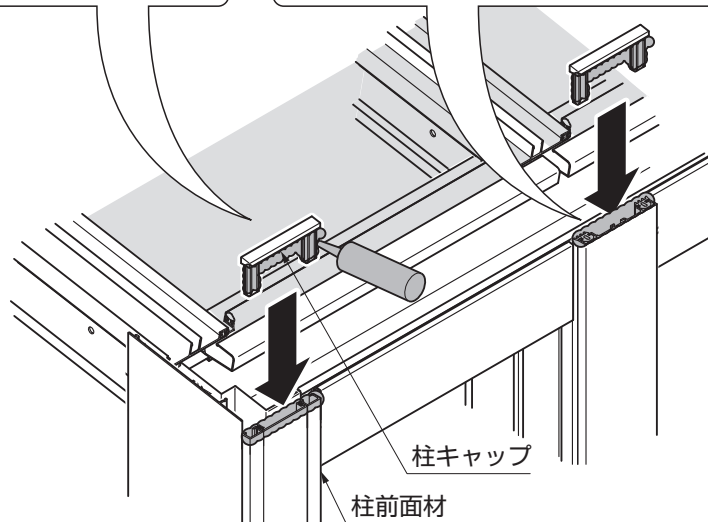


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

14-4 垂木カバー端部キャップの取付け

※積雪地域3000N仕様の作業です。

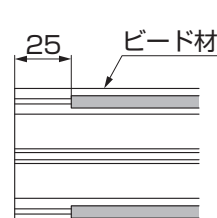
地域



ポイント

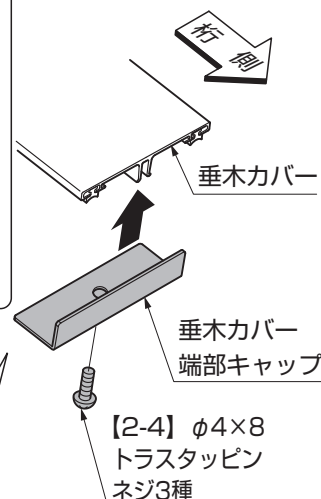
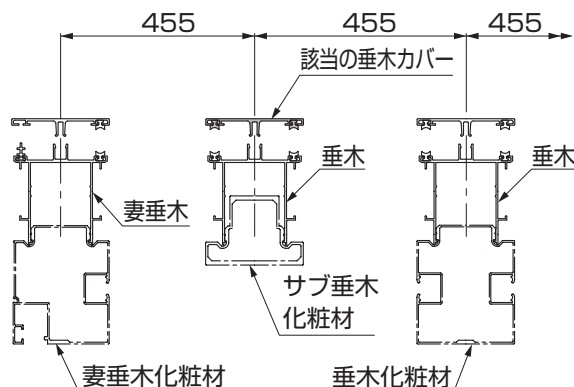
- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。

桁側



ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【2-4】で取付けてください。

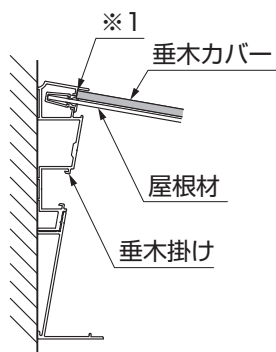
14. (つづき)

14-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

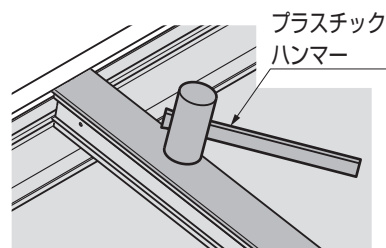
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



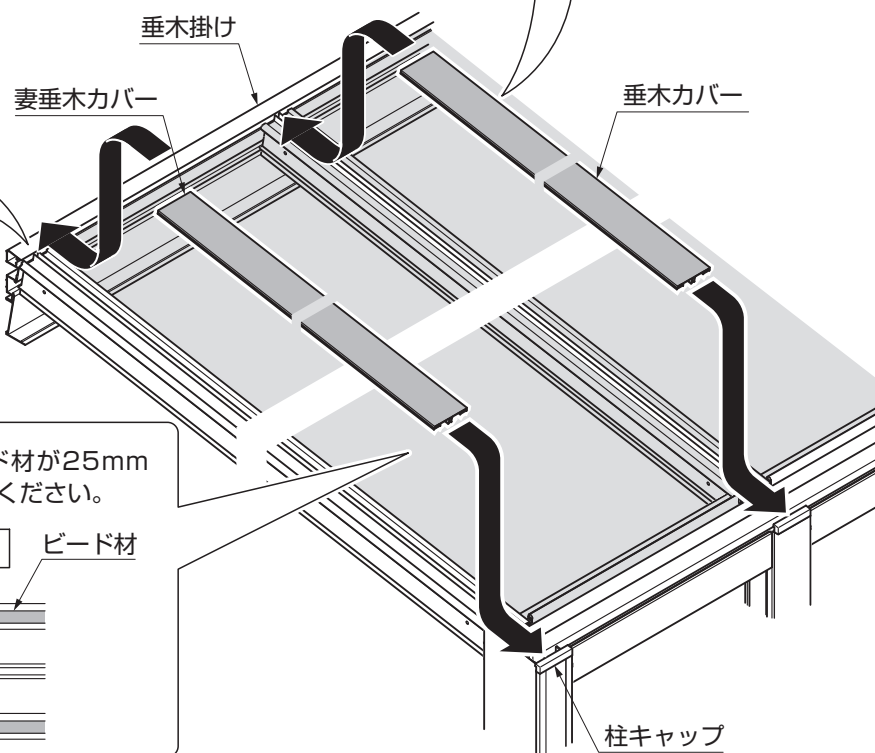
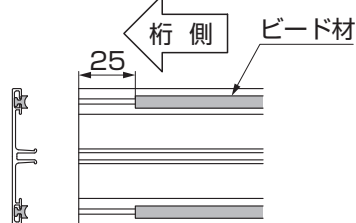
ポイント

- 部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。



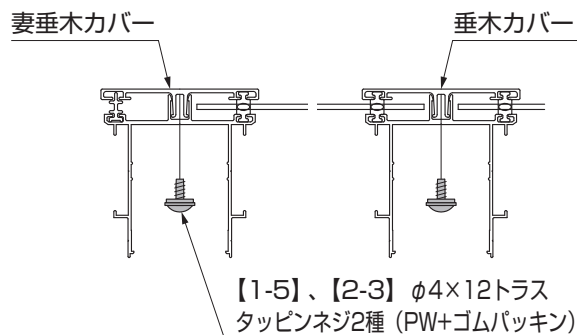
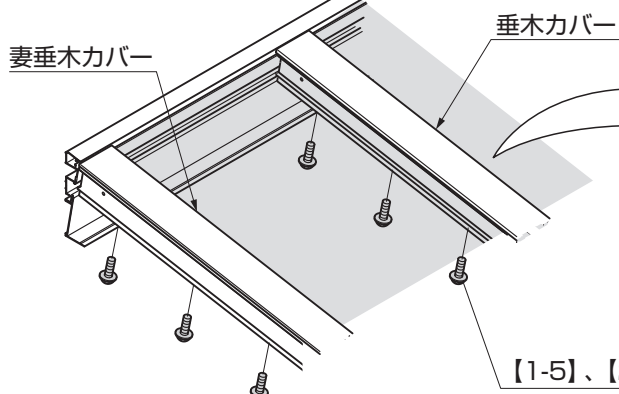
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



- ①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



【1-5】、【2-3】φ4×12トラスタッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

- ①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-5】、【2-3】で固定してください。
- ②垂木カバーを垂木に、【1-5】、【2-3】で固定してください。

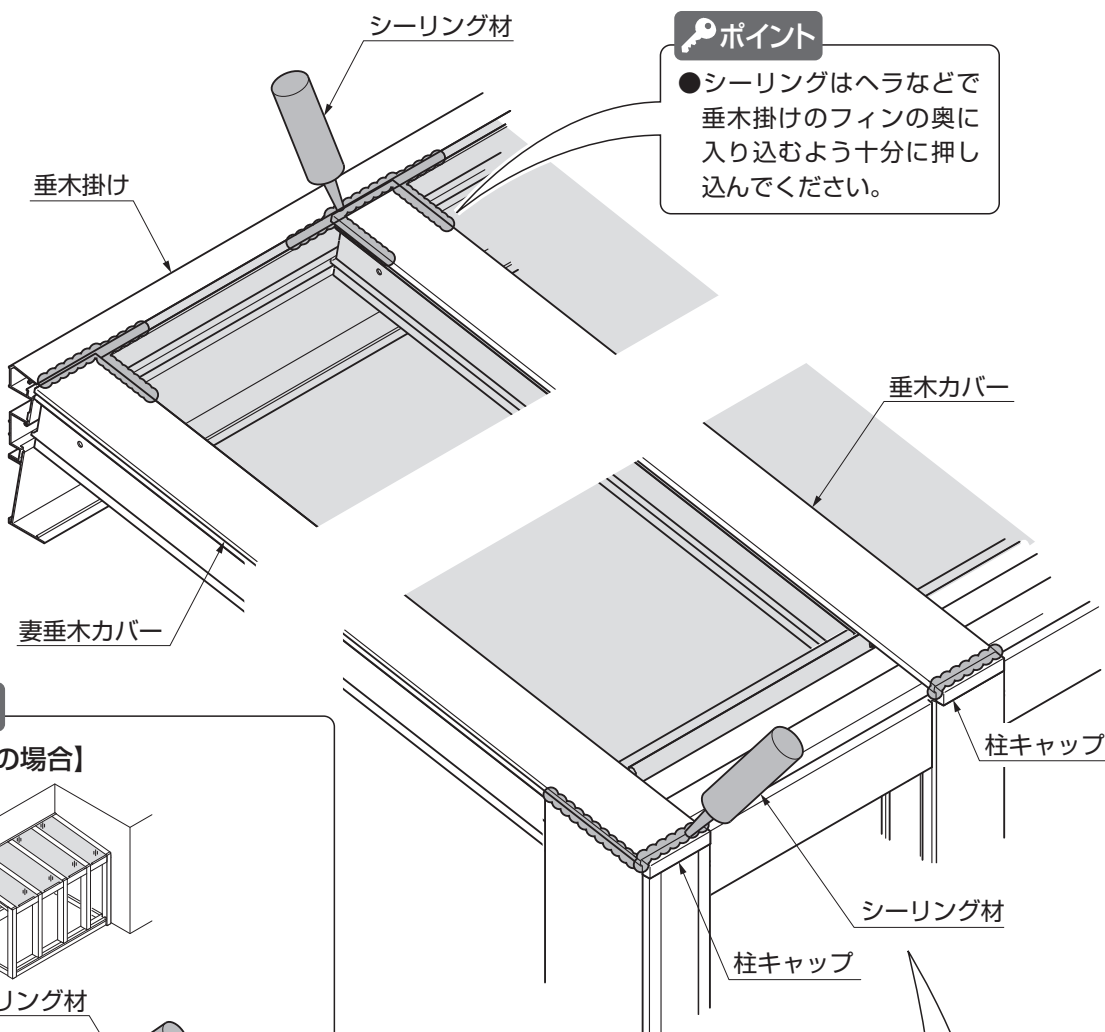
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

表15-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ドウコーニング(株)	SE960

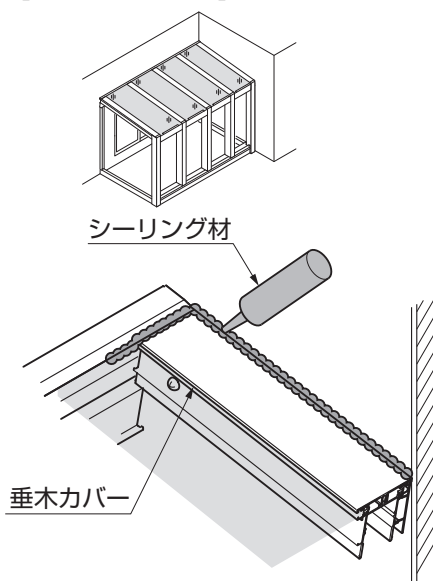


ポイント

- シーリングはヘラなどで垂木掛けのフィンの奥に入り込むよう十分に押し込んでください。

ポイント

【入隅仕様の場合】



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

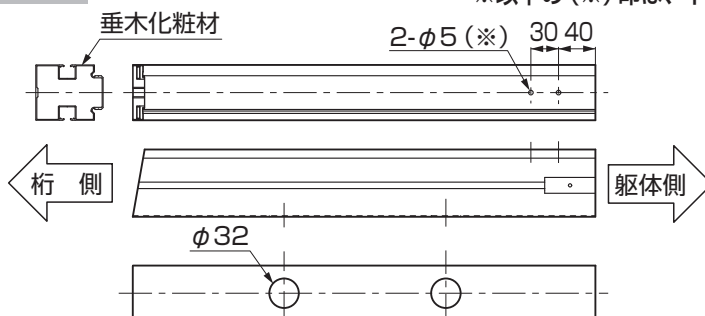
15. 垂木化粧材の取付け

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

15-1 垂木LED照明の取付け

※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

※以下の(※)印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。



図はLED照明2個使いの場合を示します。

警告

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。(コネクタ配線を除く)
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。
- 電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。(内線規定1335-7~9に準ずる) 不備があると火災・感電の原因になります。

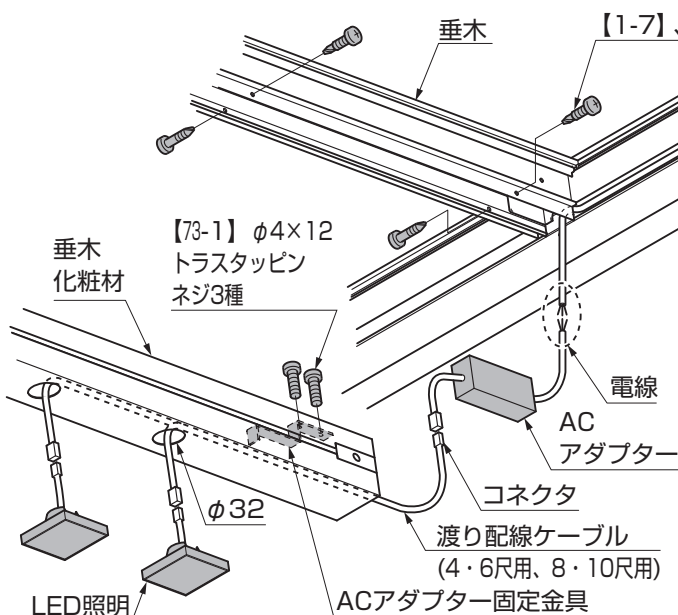


図15-1 ACアダプターで配線する場合

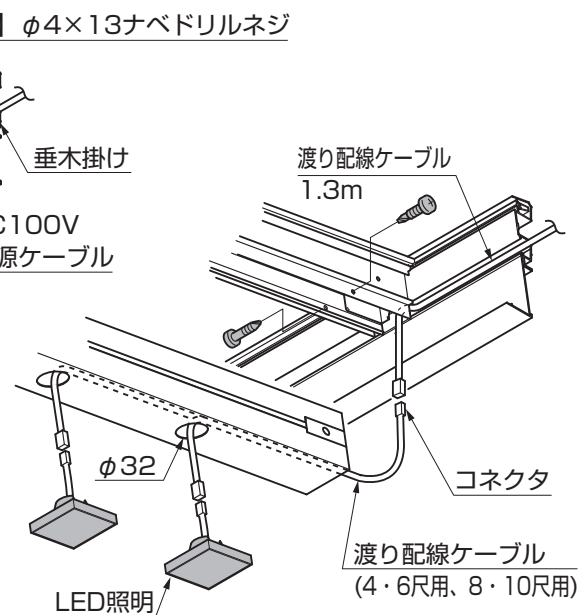
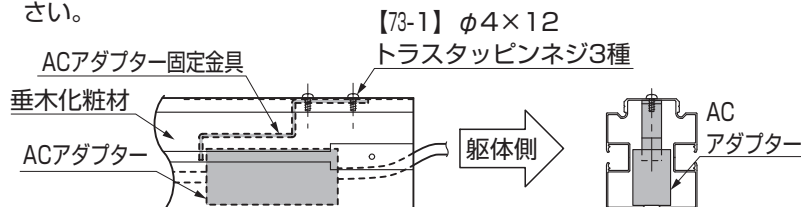


図15-2 トランス電源ユニットで配線する場合

ポイント

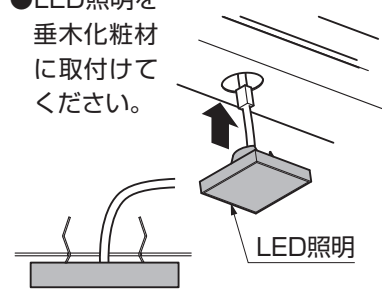
【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。



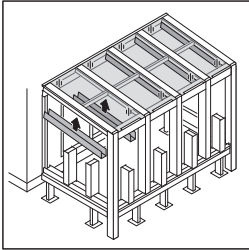
ポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



- ①垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。(※)
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【73-1】で取付けてください。(※)
- ③渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-7】、【2-1】で取付けてください。(※)
- ⑤渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

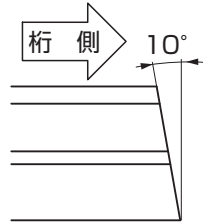
15-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



妻垂木化粧材

垂木化粧材

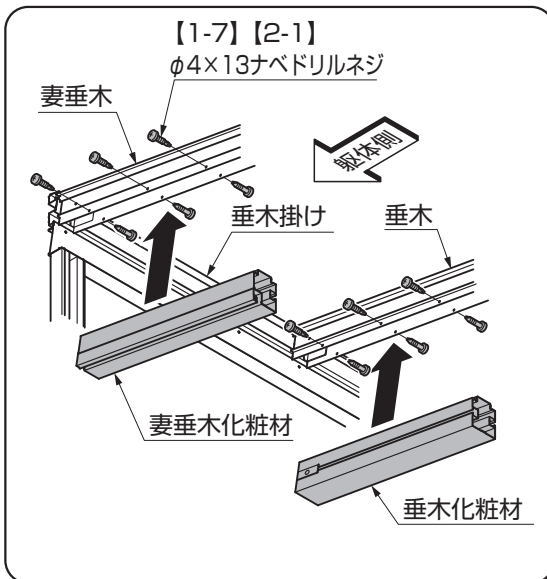
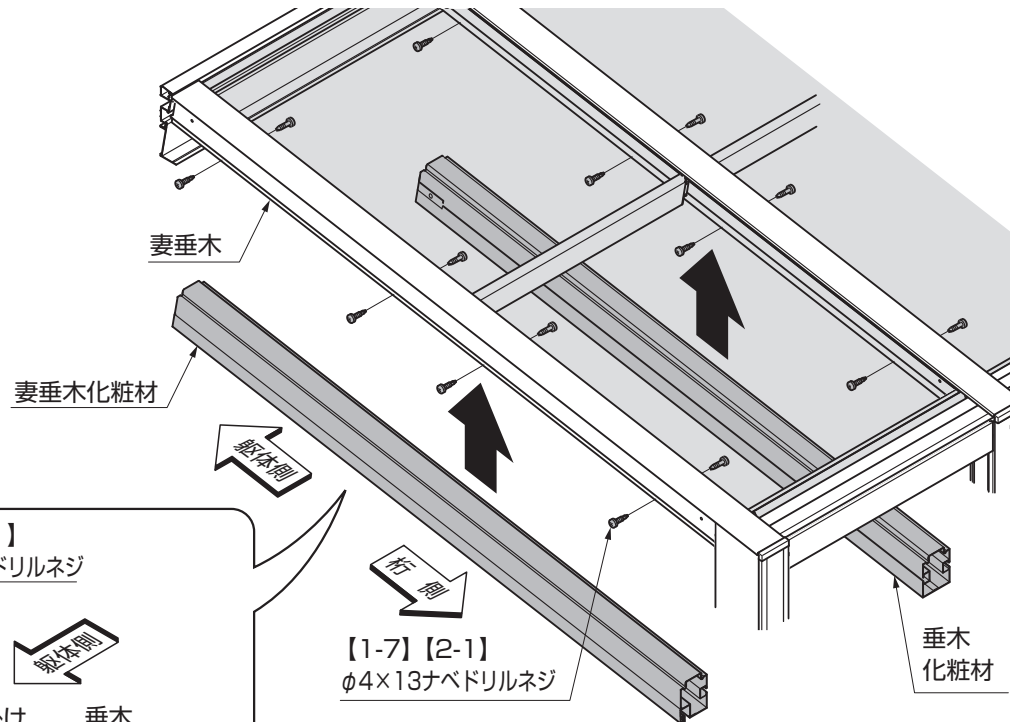
外側

【積雪地域】



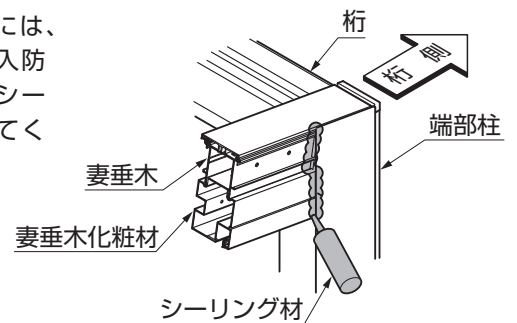
(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

- 「15-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。



ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-7】、【2-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

15. (つづき)

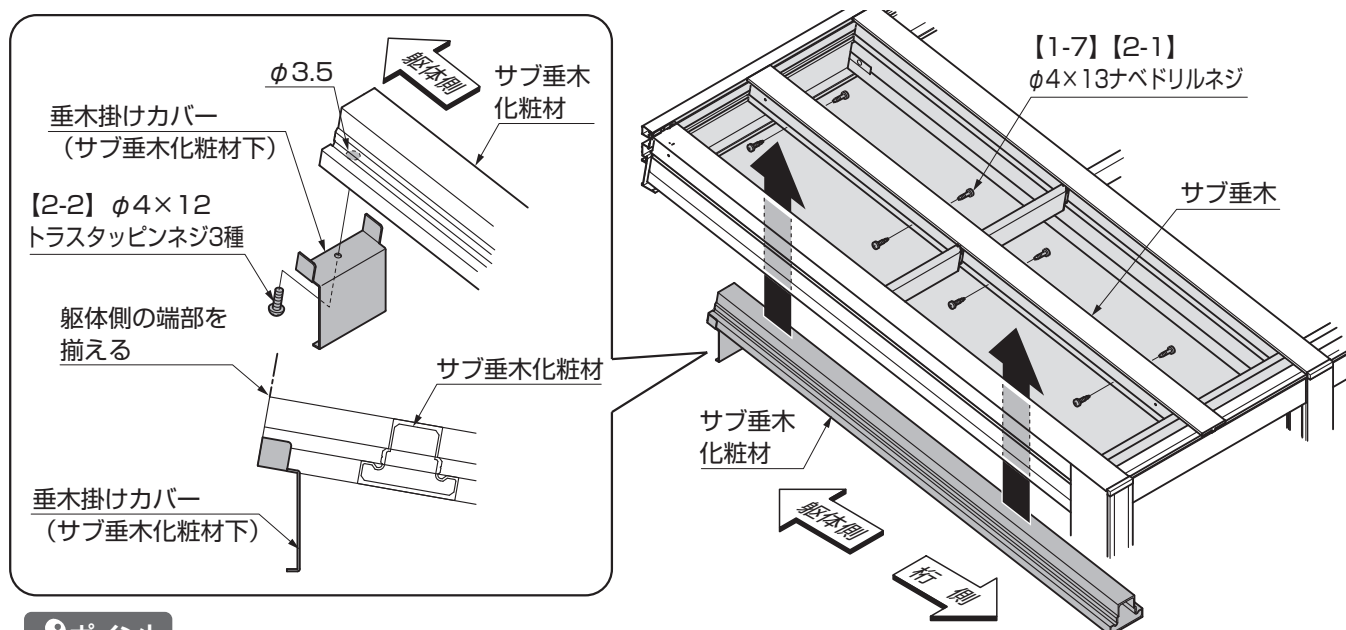
15-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合の作業です。

地域



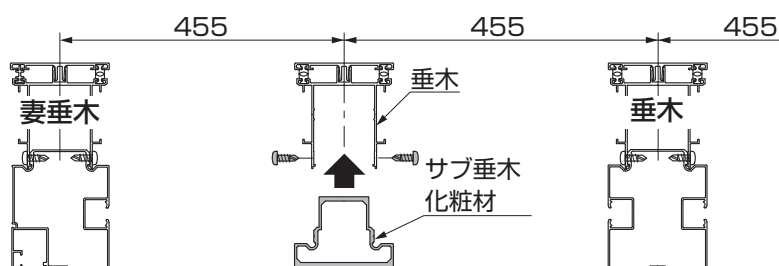
ポイント

- 前面に上げ下げ窓を取付ける場合は、サブ垂木化粧材の取付けは 18 前面開口の施工 2. 上げ下げ窓の取付け 2-6 上げ下げ窓の固定を参照し、上げ下げ窓の取付け後に行なってください。



ポイント

- サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。



- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-7】、【2-1】で取付けてください。

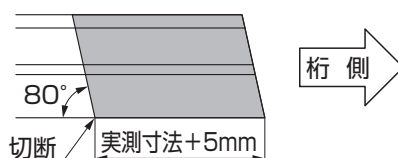
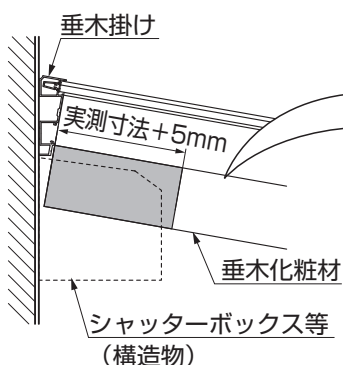
15-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工

ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

(2) キャップの取付け

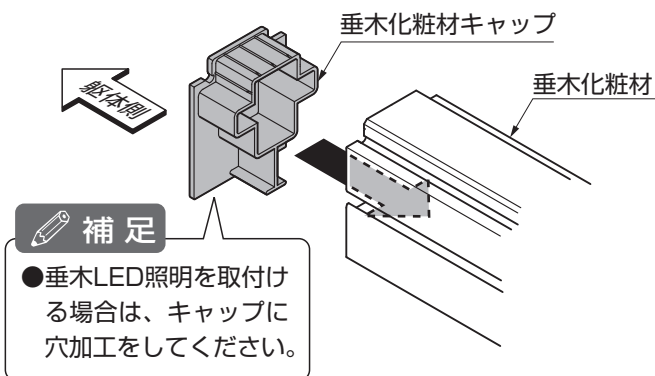


図15-3 垂木化粧材への取付け

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

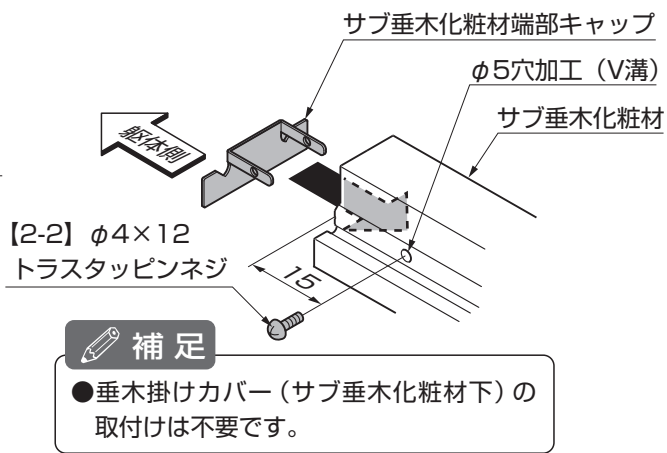


図15-4 サブ垂木化粧材への取付け

【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材端部キャップをサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。

15-5 ガーデンルームプラスタイプの場合

表15-1 ガーデンルームプラスLタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ		
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L テラス用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)
納まり図			

表15-2 ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R テラス用 (※1)
納まり図			

- ①表15-1、表15-2参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

- 各タイプの垂木化粧材 (※1) は、「【29】、【30】 妻垂木化粧材セット (右入または左入)」に梱包しています。

15. (つづき)

15-6 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

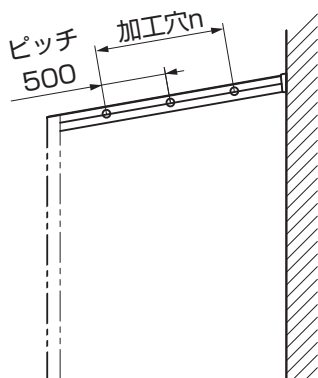
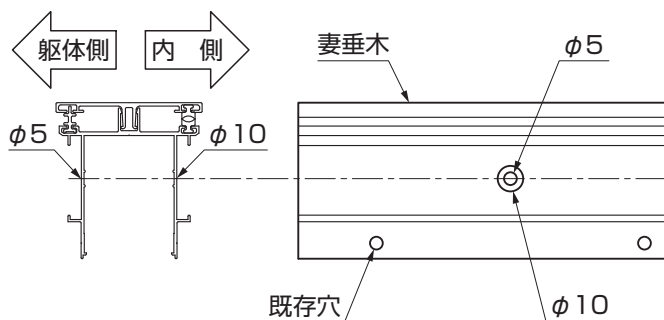


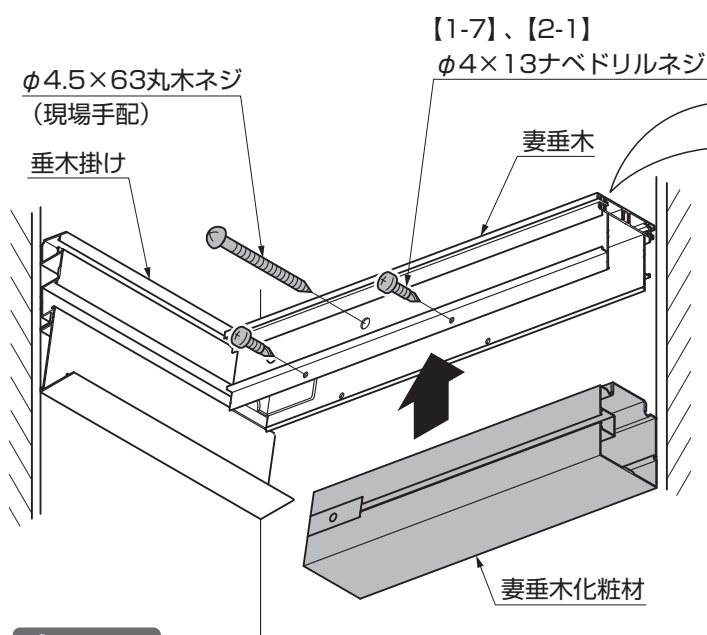
表15-2

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



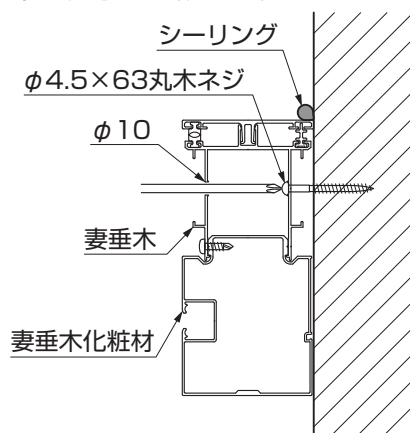
①妻垂木に $\phi 10$ 、 $\phi 5$ の穴をあけてください。

(2) 妻垂木化粧材の取付け



ポイント

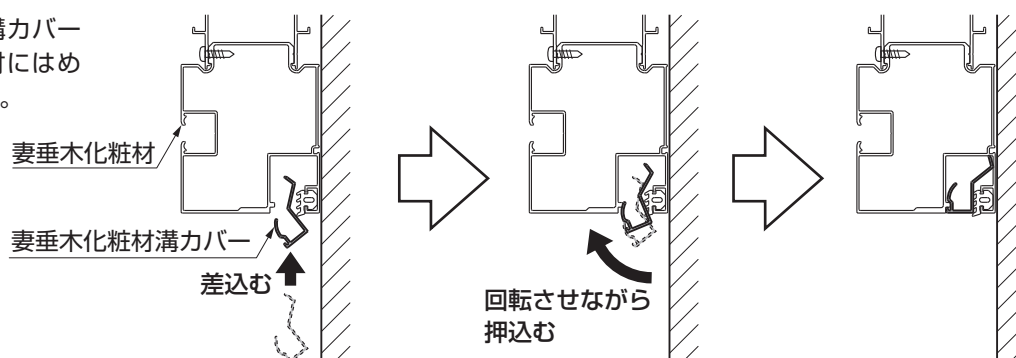
- 「 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、 $\phi 10$ の穴から「 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ」を差し込み、 $\phi 5$ の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【妻梁上部FIXがある場合】

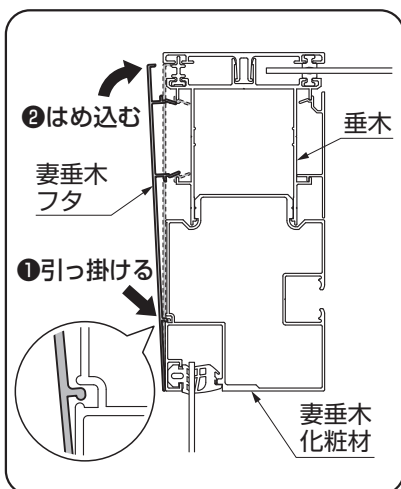
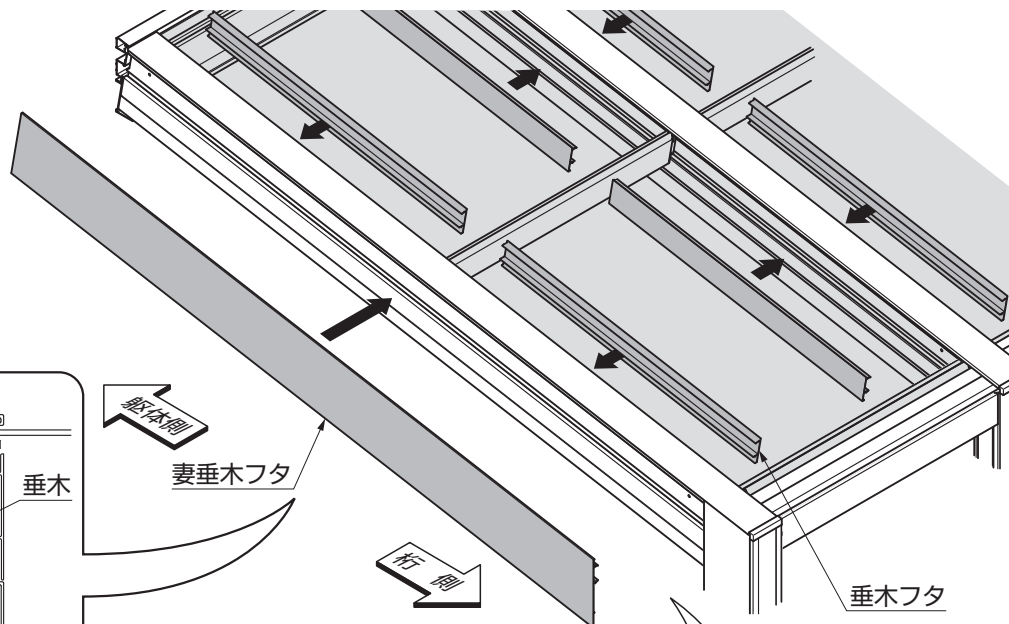
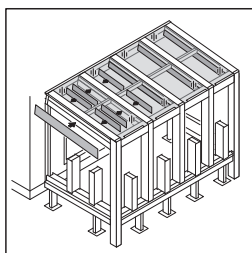
- 妻垂木化粧材溝カバーを妻垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①妻垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-7】、【2-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「 $\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ」で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

16. 垂木フタの取付け

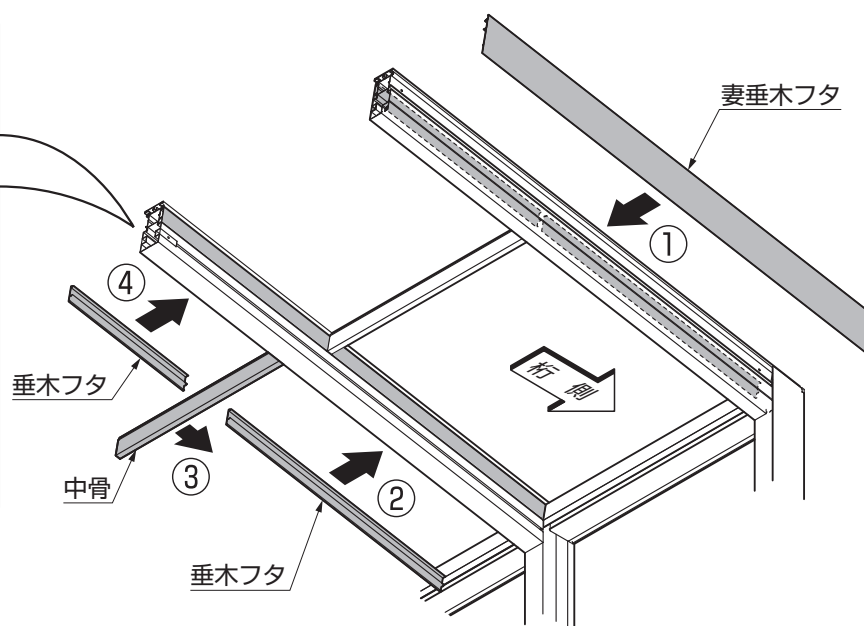
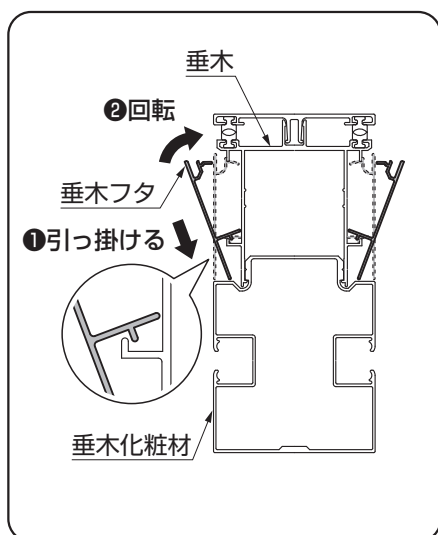


ポイント

- 妻垂木フタは端部柱端部カバーに突きあててはめ込んでください。
- はめ込みは端部から行なってください。

【ロールスクリーン、ローマンシェードを取付ける場合】

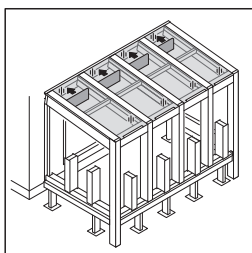
「E377 ロールスクリーン取付説明書」「E376 ローマンシェード取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。



- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

17. 垂木掛けカバーの取付け



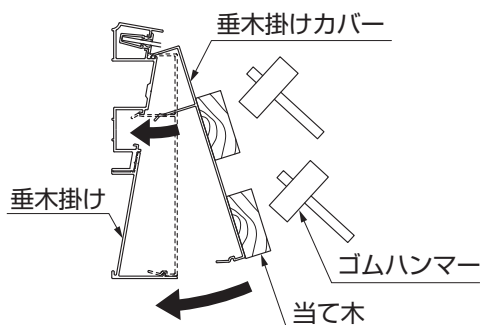
垂木掛け

垂木掛けカバー

躯体

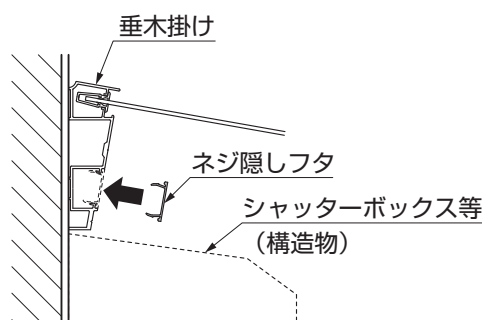
垂木掛け

垂木掛けカバー



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、ネジ隠しフタを使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。

E269

・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)



E414

17.垂木掛けカバーの取付け（本手順）

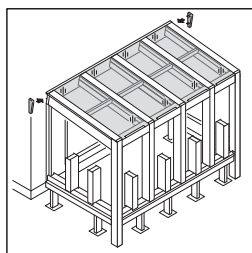
- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

- 確実にはめ込むように、当て木とゴムハンマーなどで叩いてはめ込んでください。
- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

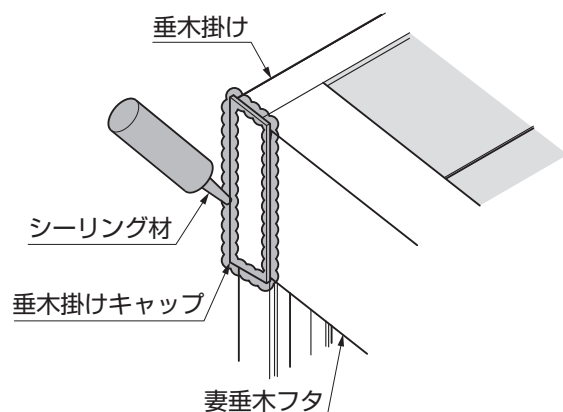
18. 垂木掛けキャップの取付け



垂木掛けキャップ

ポイント

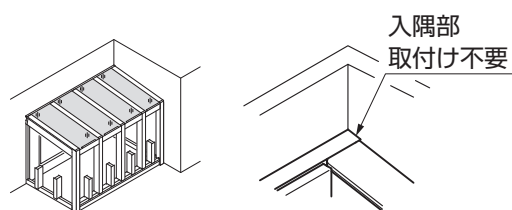
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

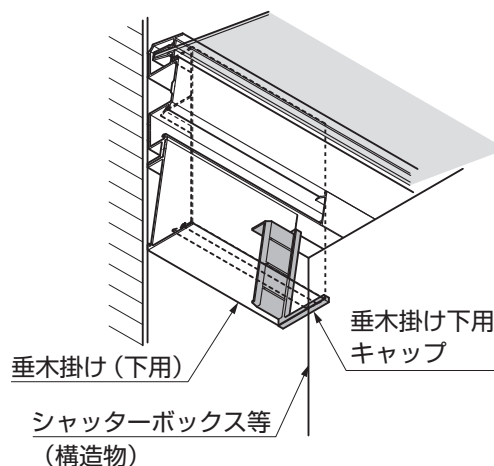
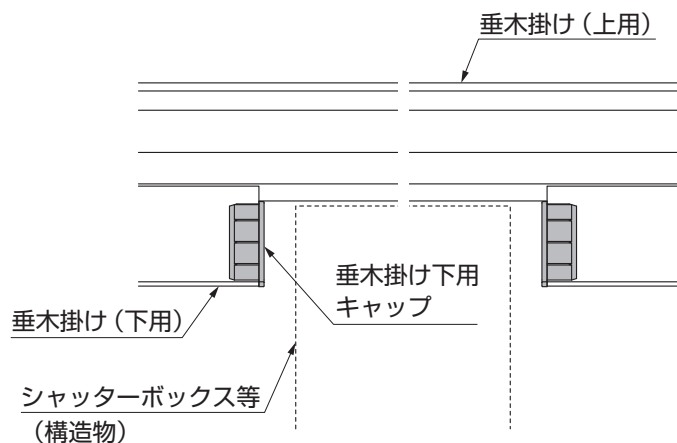
【入隅仕様の場合】

- 入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け（下用）に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

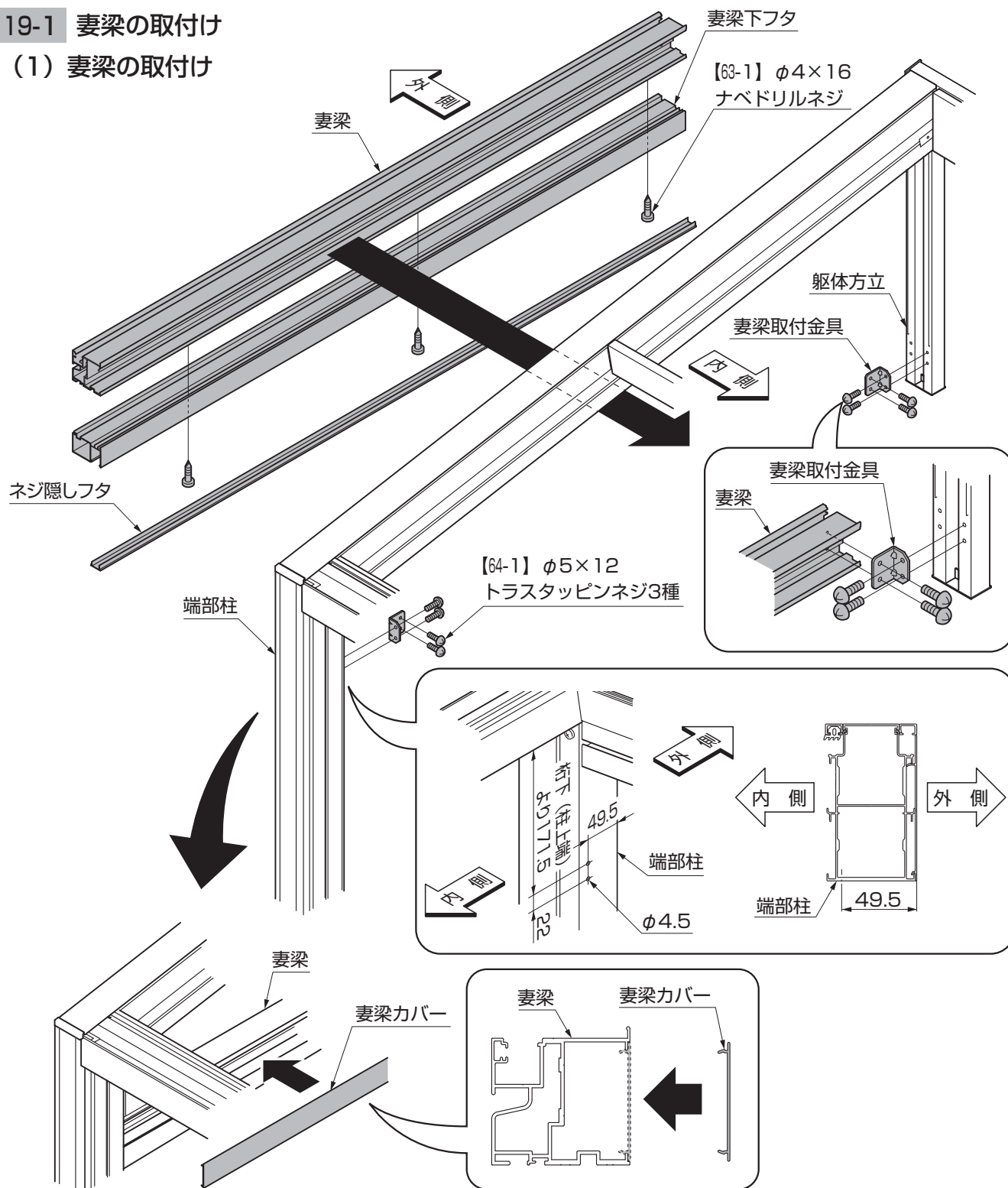
19. 妻梁上部FIXの取付け

※サイドスルータイプで妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
ST					

19-1 妻梁の取付け

(1) 妻梁の取付け



- ① 端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ② 妻梁取付金具を端部柱、躯体方立に【64-1】で取付けてください。
- ③ 妻梁を妻梁取付金具に【64-1】で取付けてください。
- ④ 妻梁下フタを妻梁に【63-1】で取付けてください。
- ⑤ ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
- ⑥ 妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

(2) 妻梁上部FIX方立の取付け

※出幅10尺の場合の作業になります。

妻梁上部FIX取付金具

【64-2】φ4×13
ナベドリルネジ

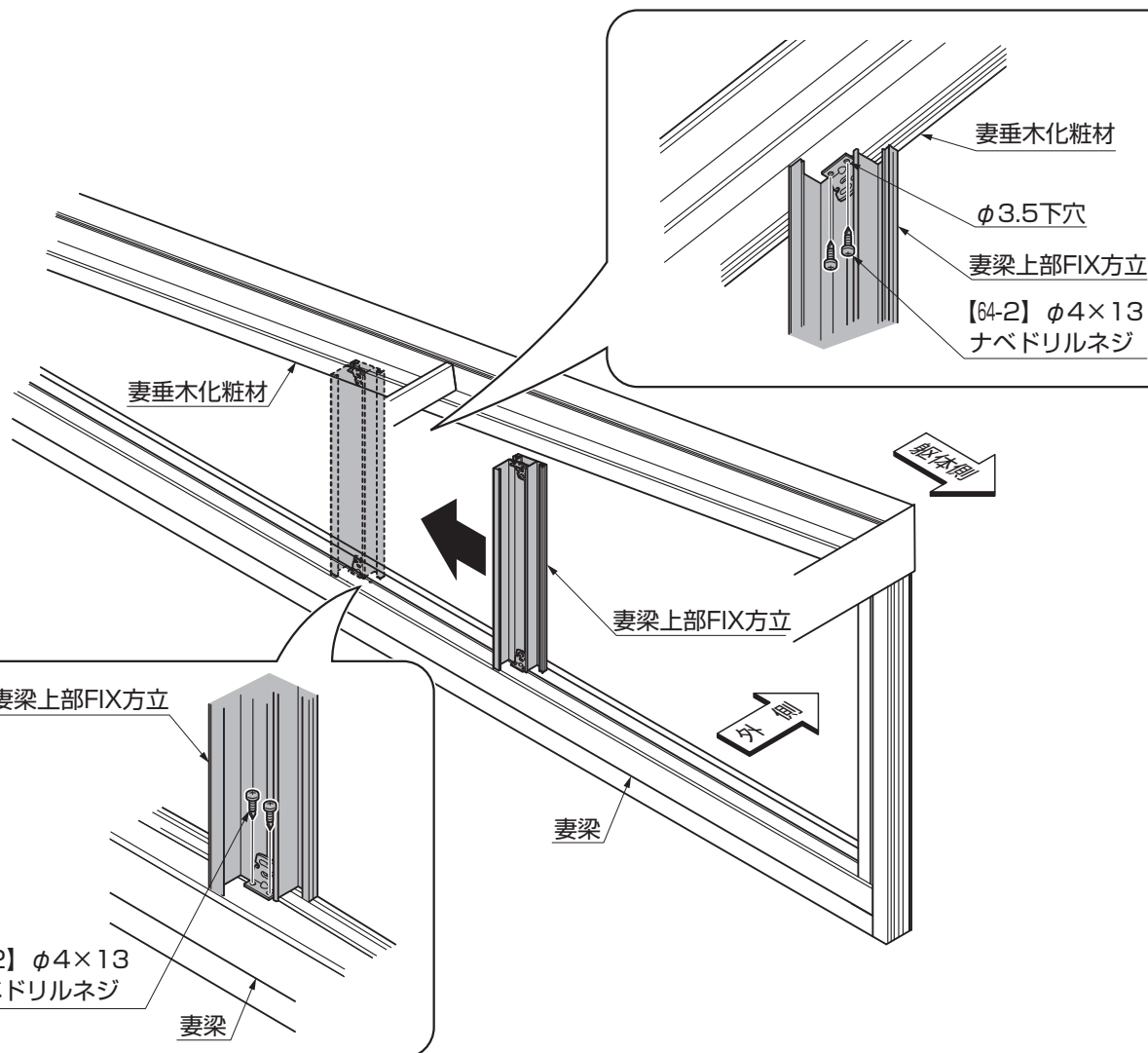
妻梁上部FIX方立

ポイント

- 妻梁上部FIX取付金具は妻梁上部FIX方立の切断角度と合わせて取付けてください。

妻梁上部FIX方立

妻梁上部FIX取付金具



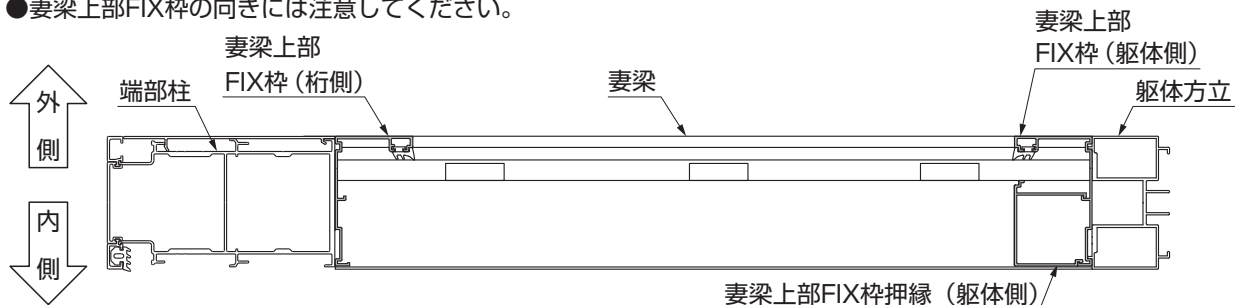
- ①妻梁上部FIX取付金具を妻梁上部FIX方立上下に【64-2】で取付けてください。
- ②躯体側から妻梁上部FIX方立を挿入し、下部の妻梁上部FIX取付金具を妻梁に【64-2】で取付けてください。
- ③上部の妻梁上部FIX取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【64-2】で取付けてください。

19. (つづき)

19-2 妻梁上部FIX枠の取付け

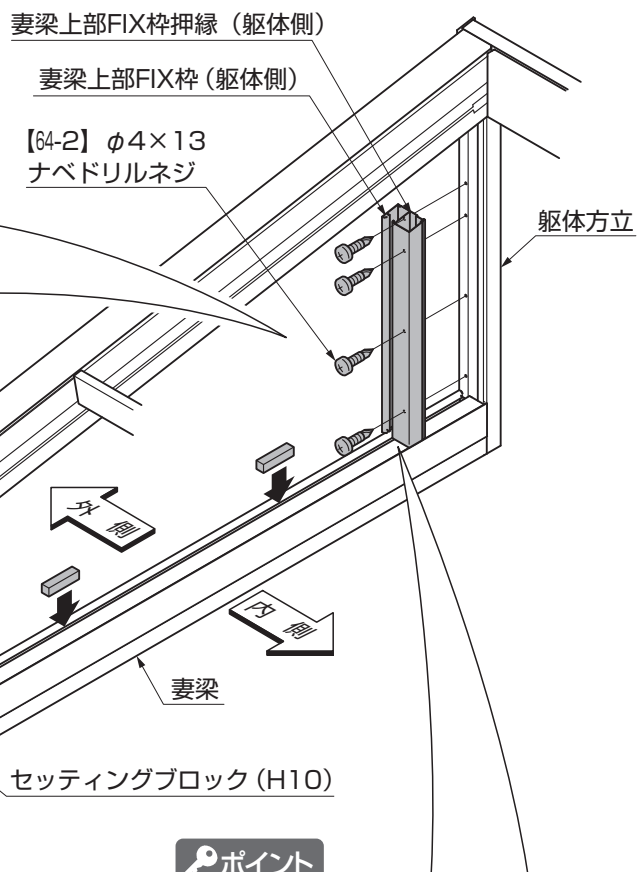
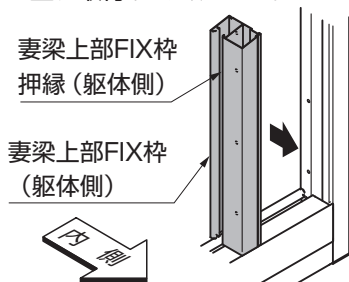
ポイント

- 妻梁上部FIX枠の向きには注意してください。



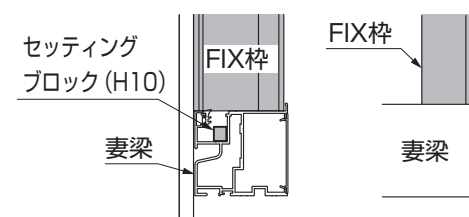
ポイント

- 躯体側の妻梁上部FIX枠は妻梁上部FIX枠押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



ポイント

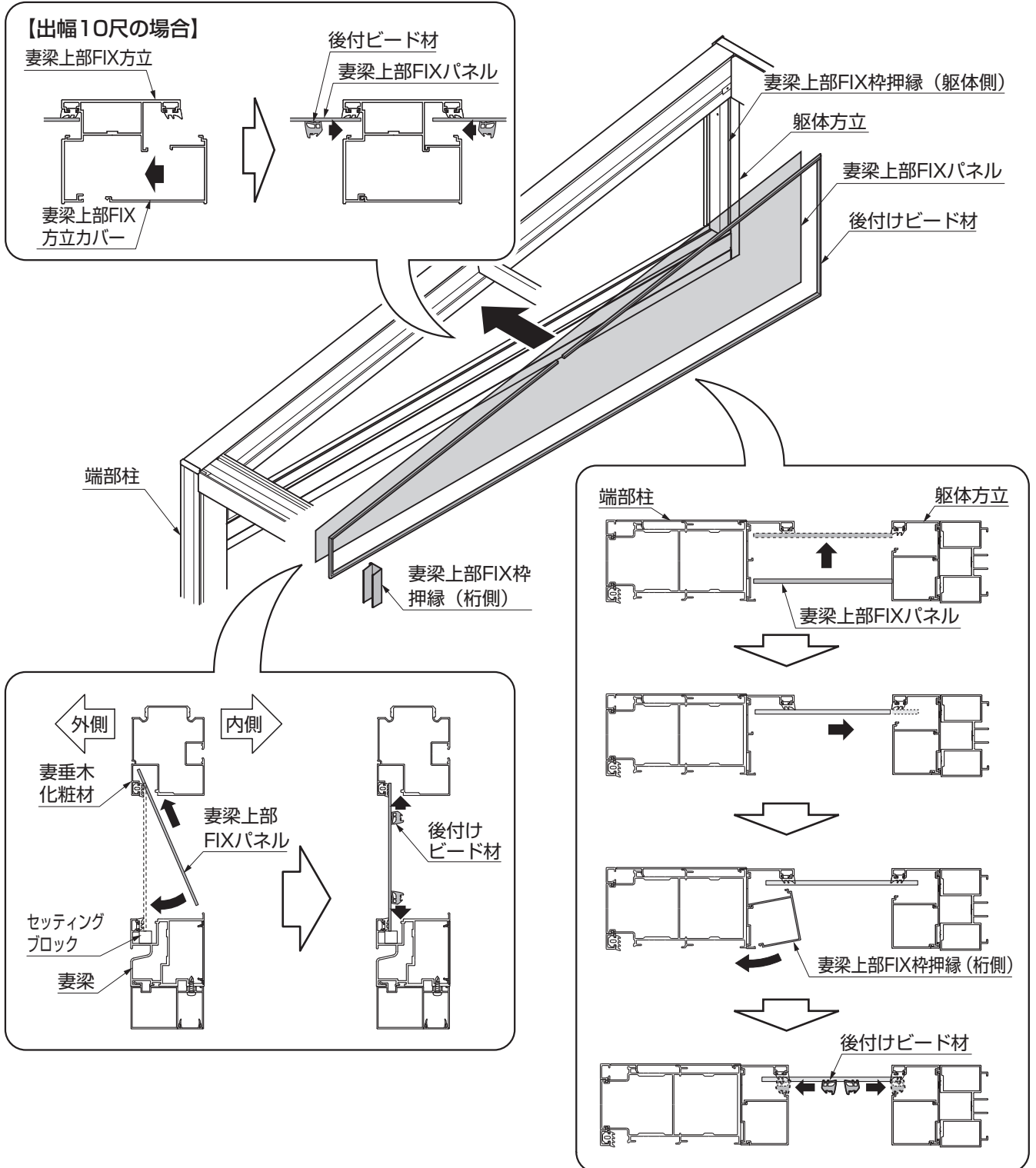
- 妻梁に乗せるようにして取付けてください。



[64-2] φ4×13ナベドリルネジ

- ①妻梁上部FIX枠 (桁側、躯体側ともに)、妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に [64-2] で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

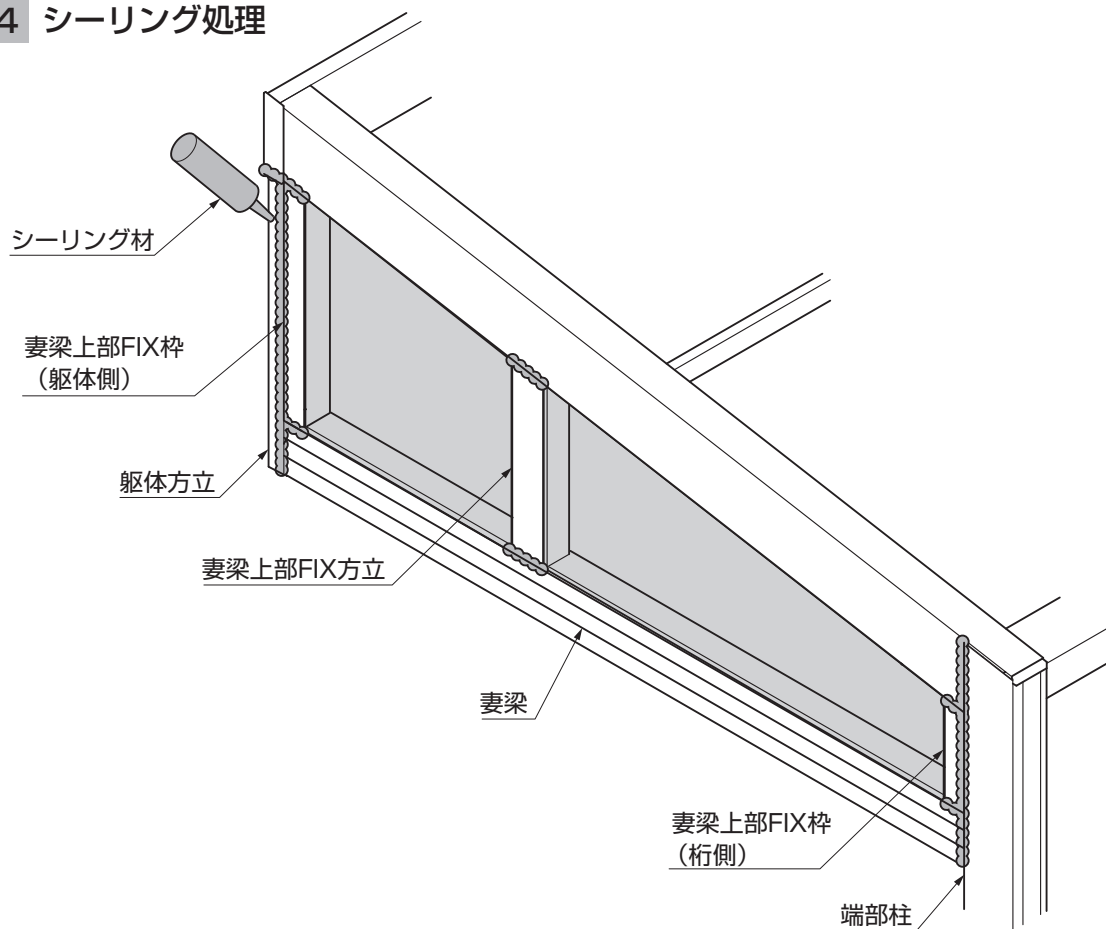
19-3 妻梁上部FIXパネルの取付け



- ①妻梁上部FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、軒側、躯体側の妻梁上部FIX枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ②妻梁上部FIX枠押縁を妻梁上部FIX枠に取付けてください。
- ③後付けビード材をはめ込んでください。

19. (つづき)

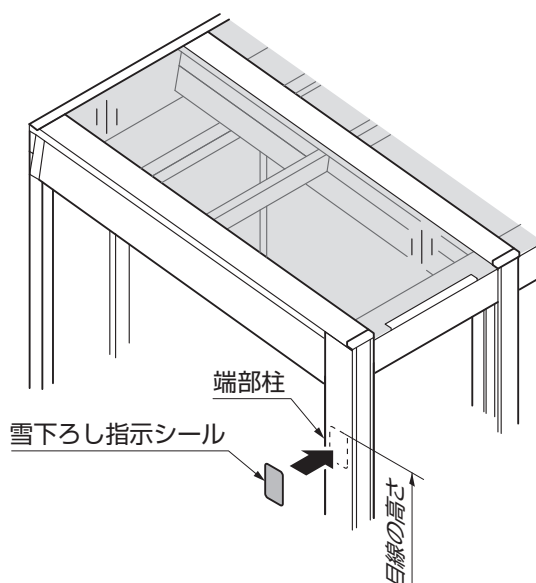
19-4 シーリング処理



①指定の箇所にシーリングをしてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

20. 雪下ろし指示シールの貼付け

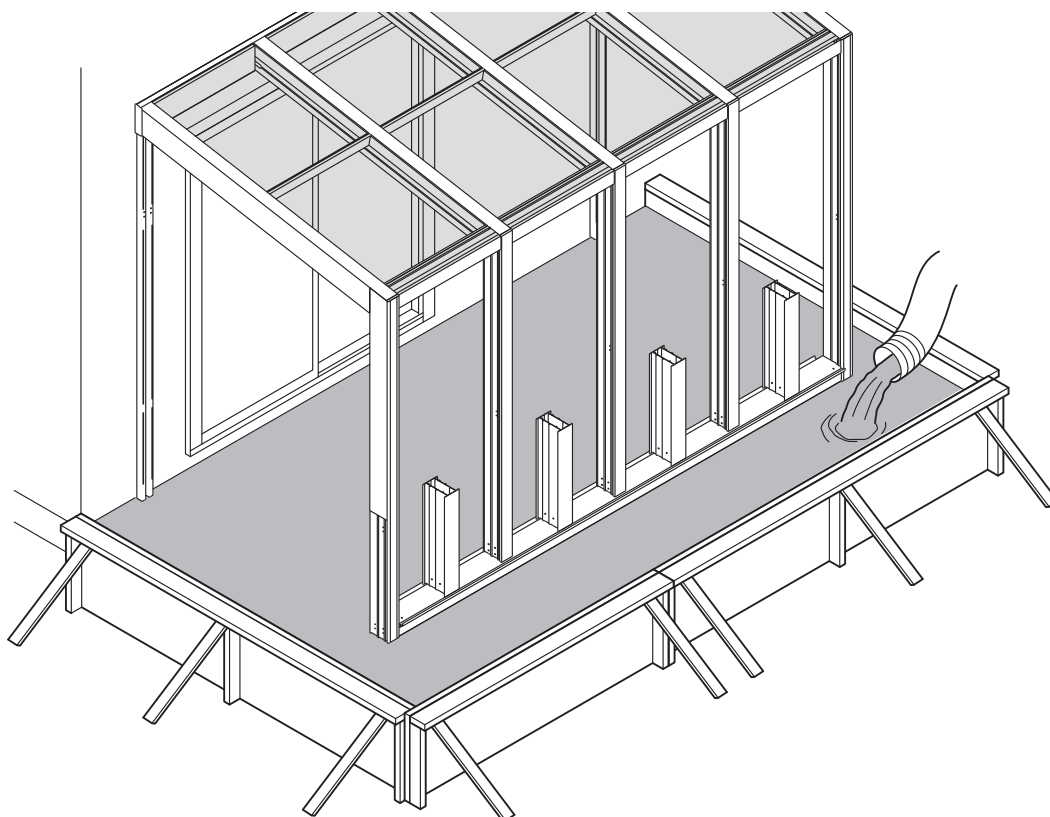


①雪下ろし指示シールを端部柱の側面（目線高さ位置）に貼付けてください。

21. コンクリートの流し込み

※土間仕様でベース材仕様の場合の作業です。

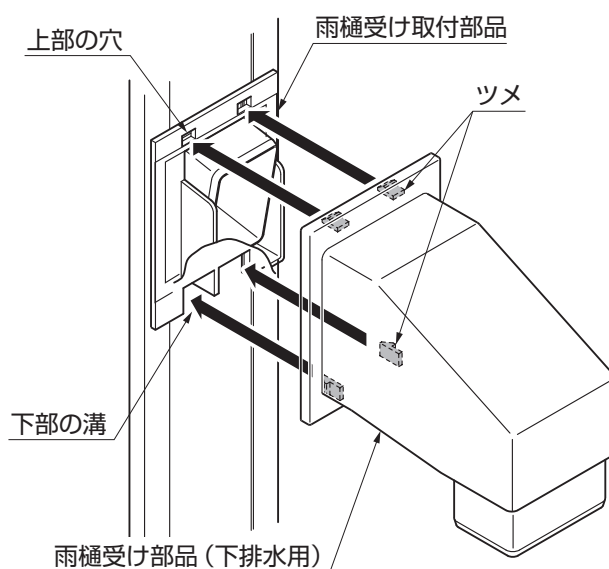
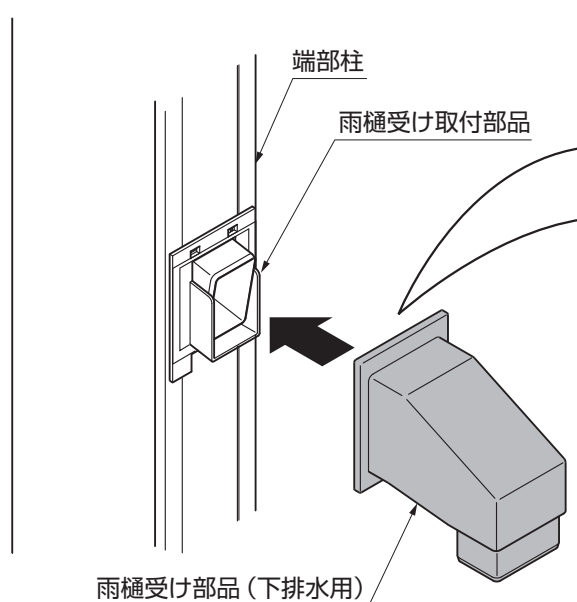
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



①土間を打設してください。

22. 雨樋の取付け

※排水位置を変更した場合の作業です。



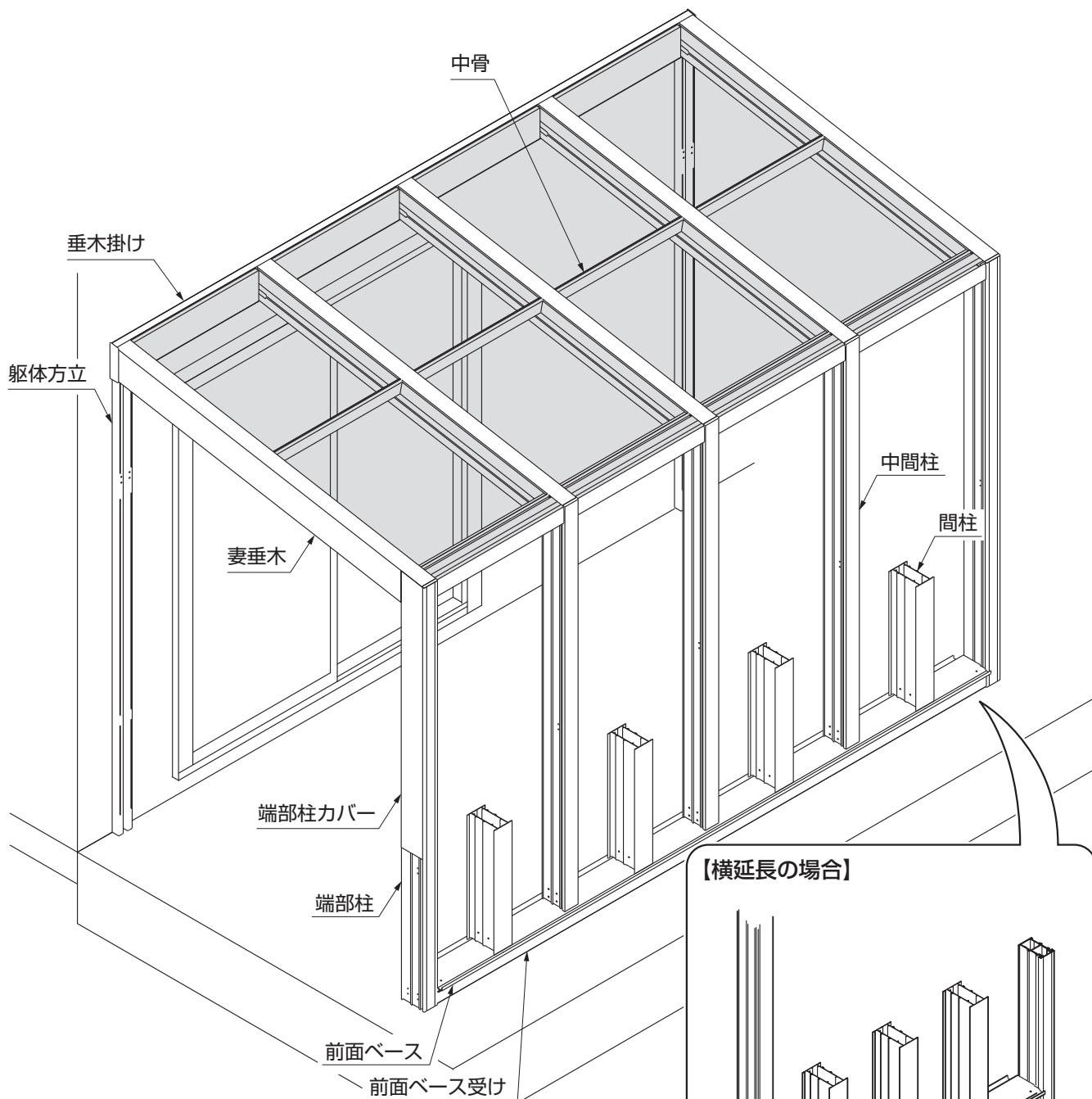
下排水の場合

①雨樋受け部品（下排水用）のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。

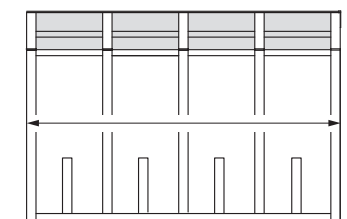
14 腰壁部の施工を行なう前に

1. 前面腰壁の場合

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



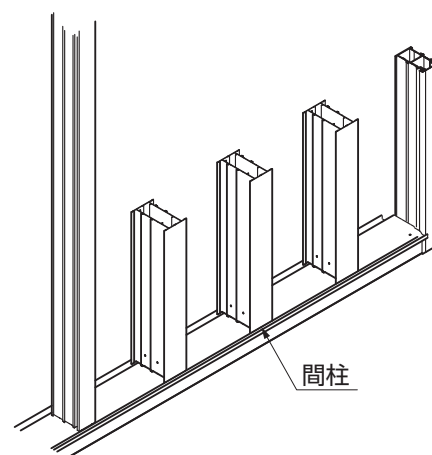
ポイント



● 「5 基本寸法」を参照して製品の柱位置を確認してください。柱位置が広がっていると笠木を取付た際に笠木の端部にすき間が生じるおそれがあります。

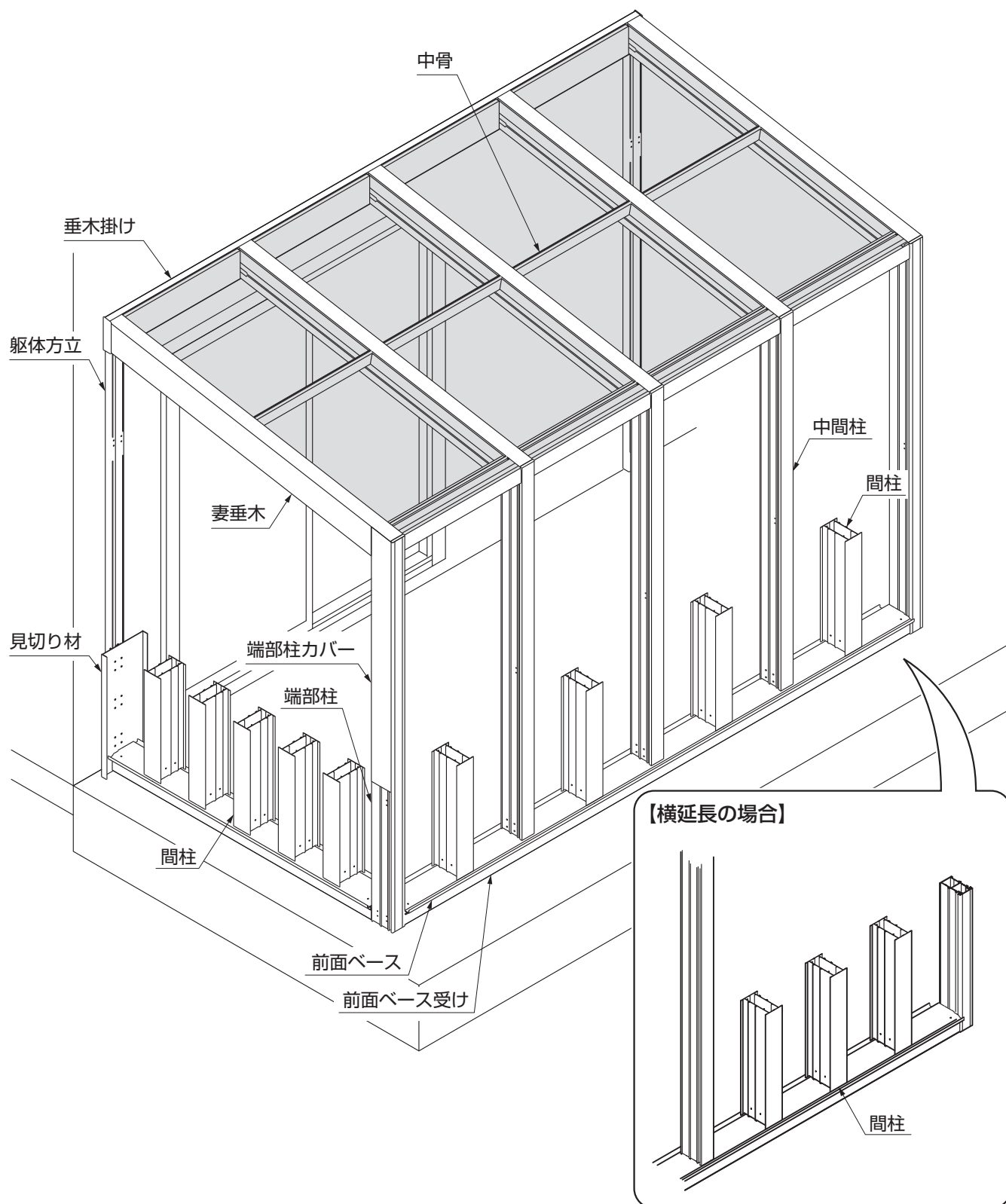
● 腰壁部の施工を行なう前にフレーム部の施工が確実に完了しているか確認してください。

【横延長の場合】



タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

2. L字腰壁の場合

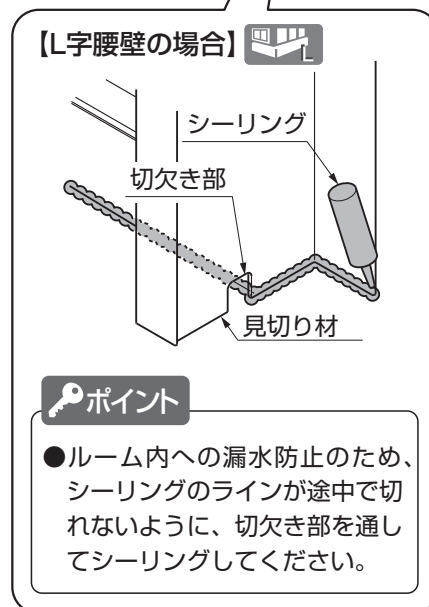
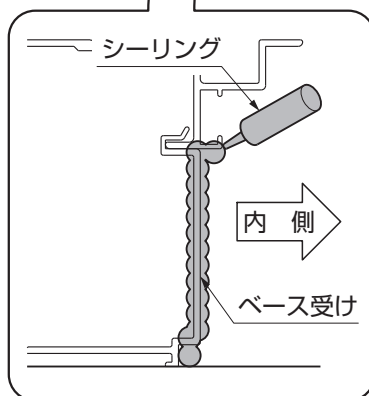
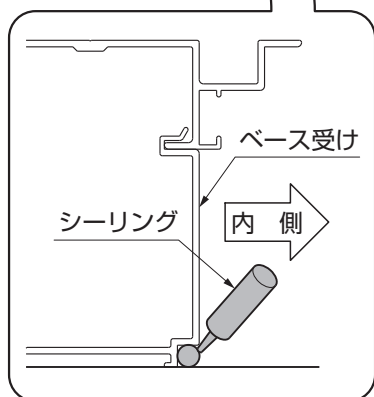
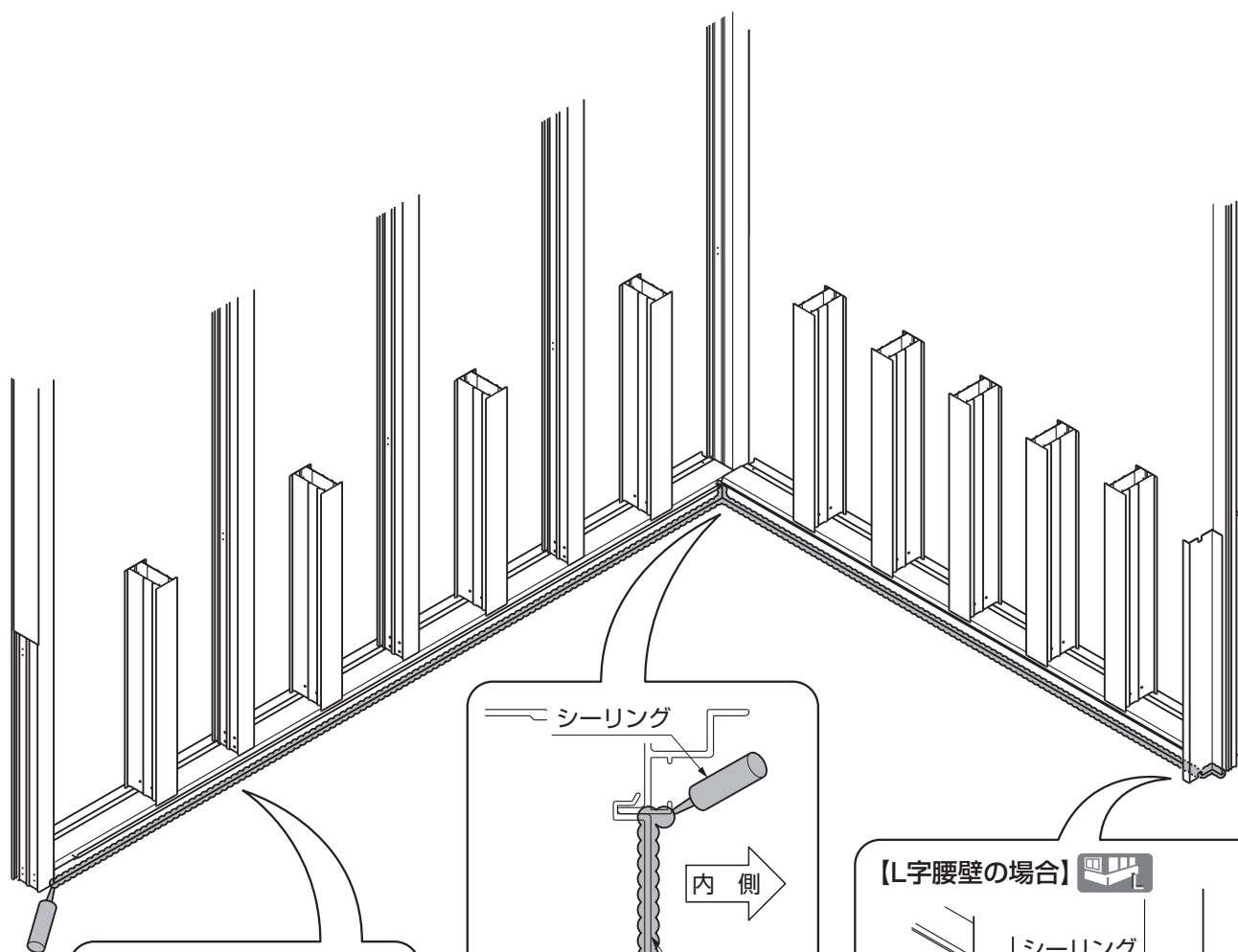


ポイント

- 腰壁部の施工を行なう前にフレーム部の施工が確実に完了しているか確認してください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

3. シーリング処理



ポイント

- ルーム内への漏水防止のため、シーリングのラインが途中で切れないように、切欠き部を通してシーリングしてください。

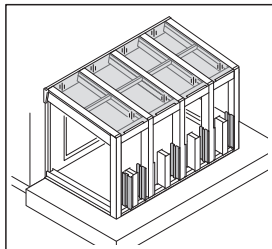
① 指定の箇所にシーリングをしてください。

15 前面腰壁の施工

※L字腰壁の場合は、130ページ以降をご覧ください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

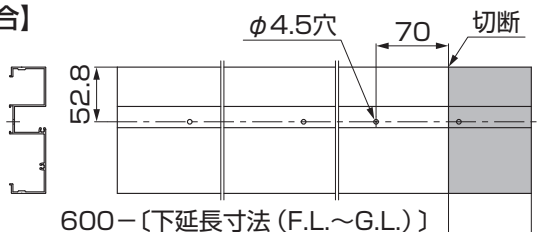
1. 柱スパーサー（中間用）の取付け



ポイント

【腰壁下延長の場合】

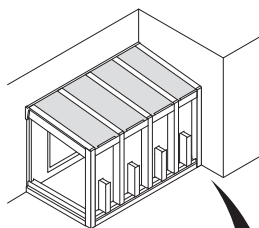
- 柱スパーサー（中間用）を加工してください。



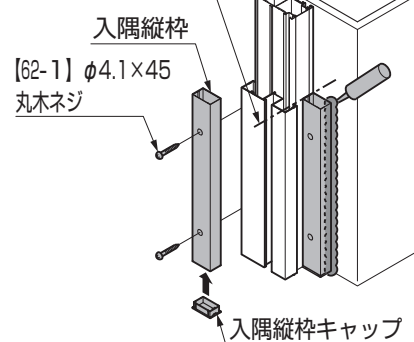
ポイント

【入隅仕様の場合】

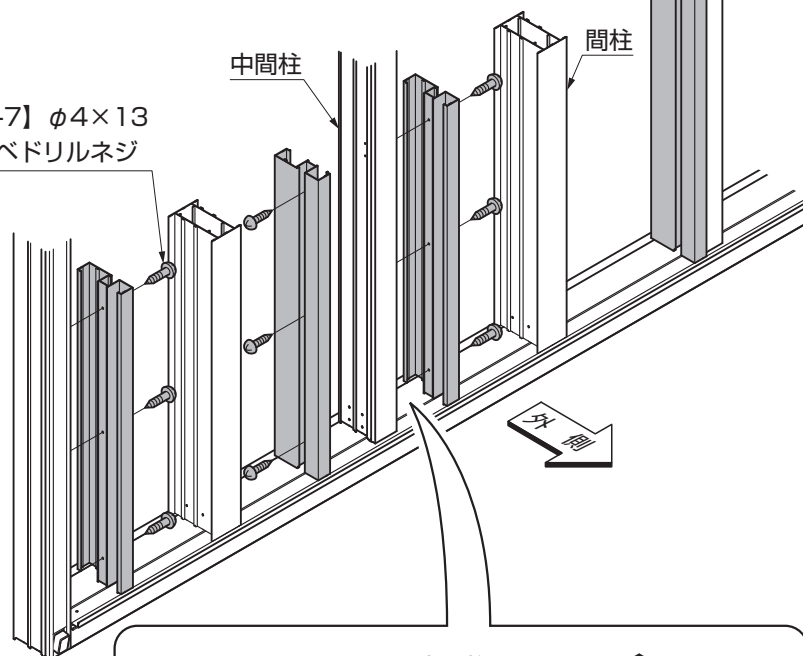
- 入隅縦枠を取付け、躯体との取合い部をシーリングしてください。



柱スパーサー（中間用）の
高さに合わせる

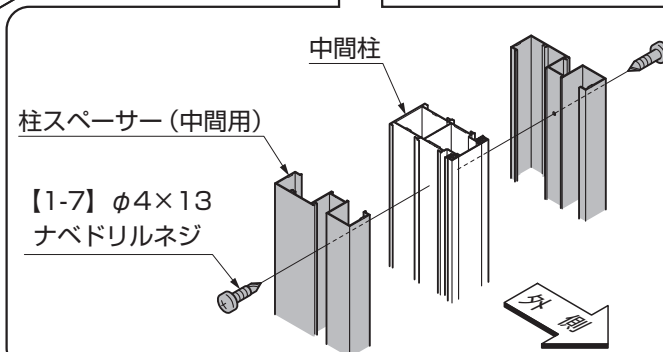


【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



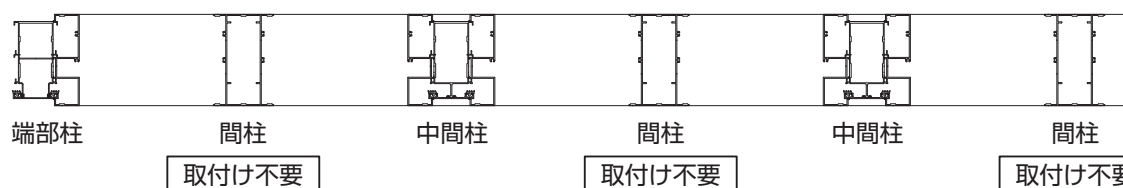
柱スパーサー（中間用）

【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ

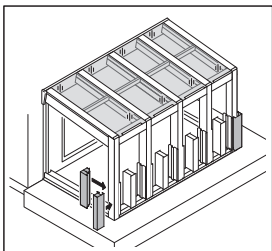


ポイント

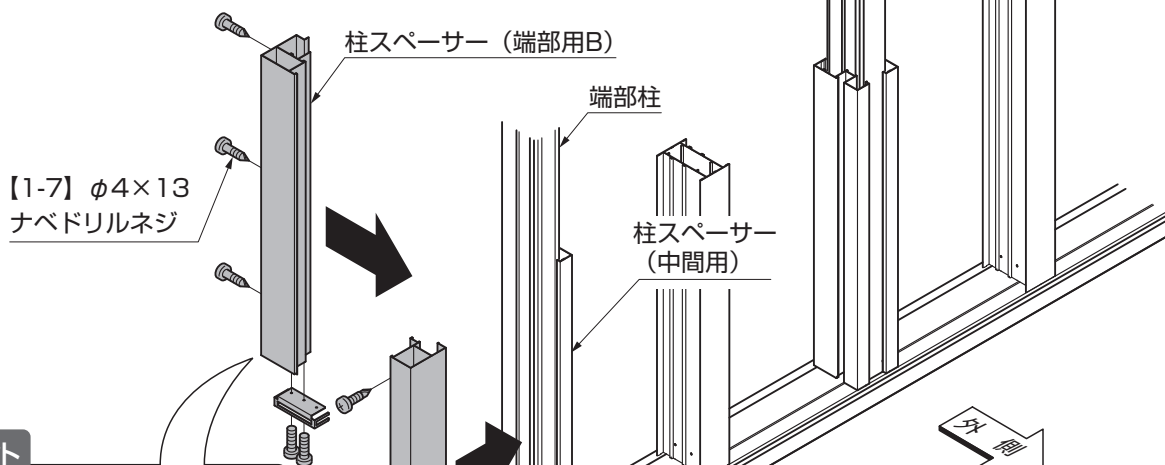
- 柱スパーサーは端部柱の内側、中間柱の両側に取付けてください。（間柱には不要です。）



①柱スパーサー（中間用）を端部柱、中間柱に【1-7】で取付けてください。

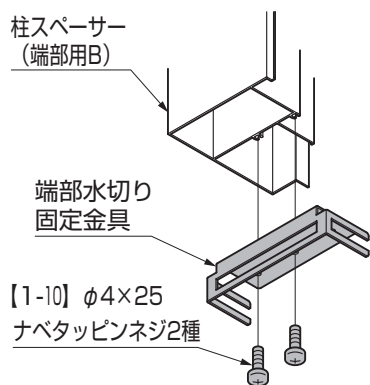


2-2 柱スペーサー（端部用）の取付け



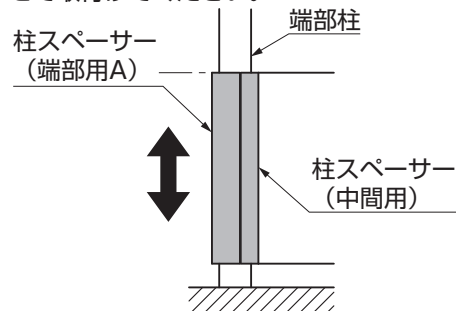
ポイント

- 端部水切り固定金具を先に取付けて下さい。



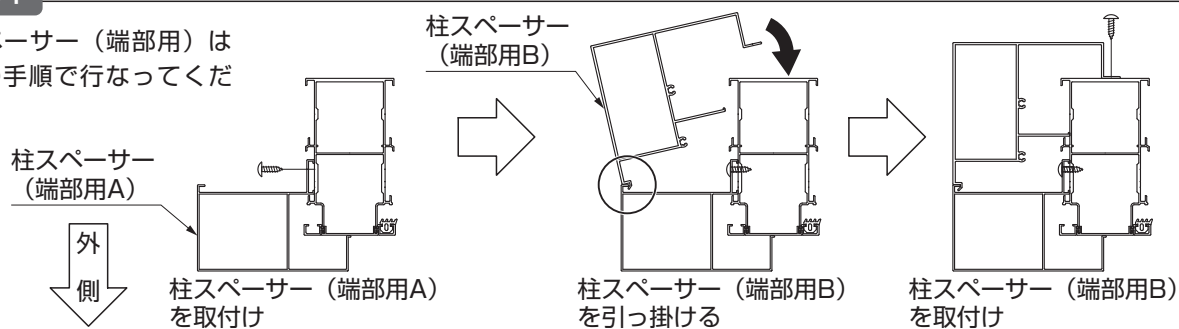
ポイント

- 柱スペーサー（中間用）の高さ位置に合わせて取付けてください。



ポイント

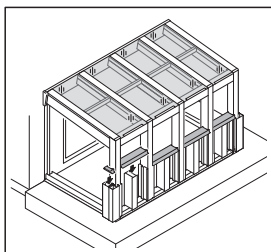
- 柱スペーサー（端部用）は右記の手順で行なってください。



- ① 柱スペーサー（端部用A）を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ② 端部水切り固定金具を柱スペーサー（端部用B）に【1-10】で取付けてください。
- ③ 柱スペーサー（端部用B）を端部柱に【1-7】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

3. 腰壁ベース材の取付け



3-1 標準仕様

【1-10】φ4×25
ナベタッピンネジ2種

腰壁ベース材

ベース材端部
排水テープ

間柱



腰壁ベース材

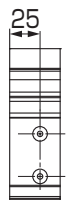
外観右

外観

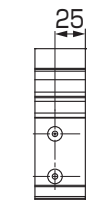
外観左

ポイント

- 端部用の腰壁ベース材は左右があります。



外観左用



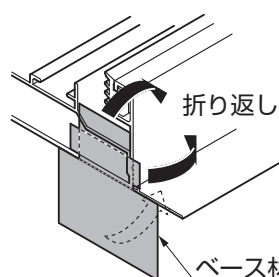
外観右用

【1-10】φ4×25
ナベタッピンネジ2種

腰壁ベース材 (端部用)

柱スペーサー
(端部用B)

外観左



折り返し

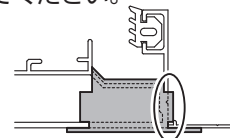
ベース材端部排水テープ

ポイント

- 腰壁ベース材 (端部用、横延長用) は貼付け不要です。

ポイント

- すき間ができないように貼付けてください。

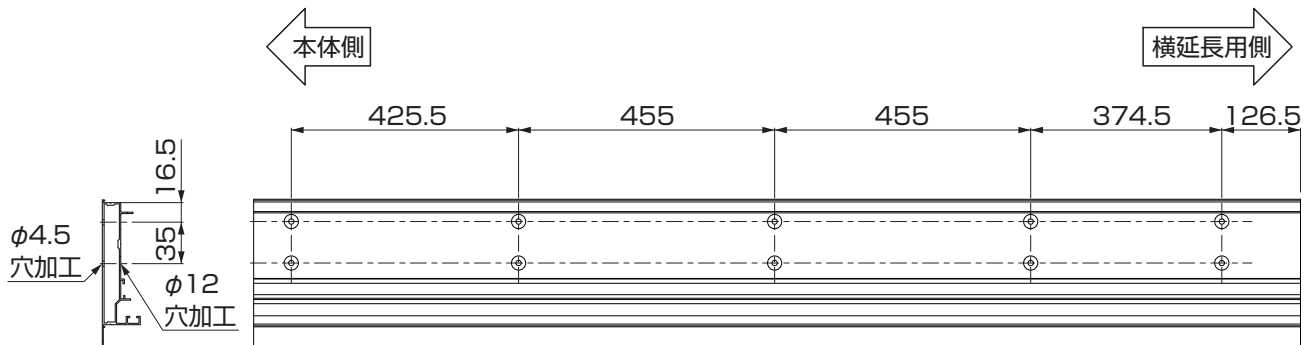


- ① ベース材端部排水テープを腰壁ベース材の両端に貼付けてください。
- ② 腰壁ベース材を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

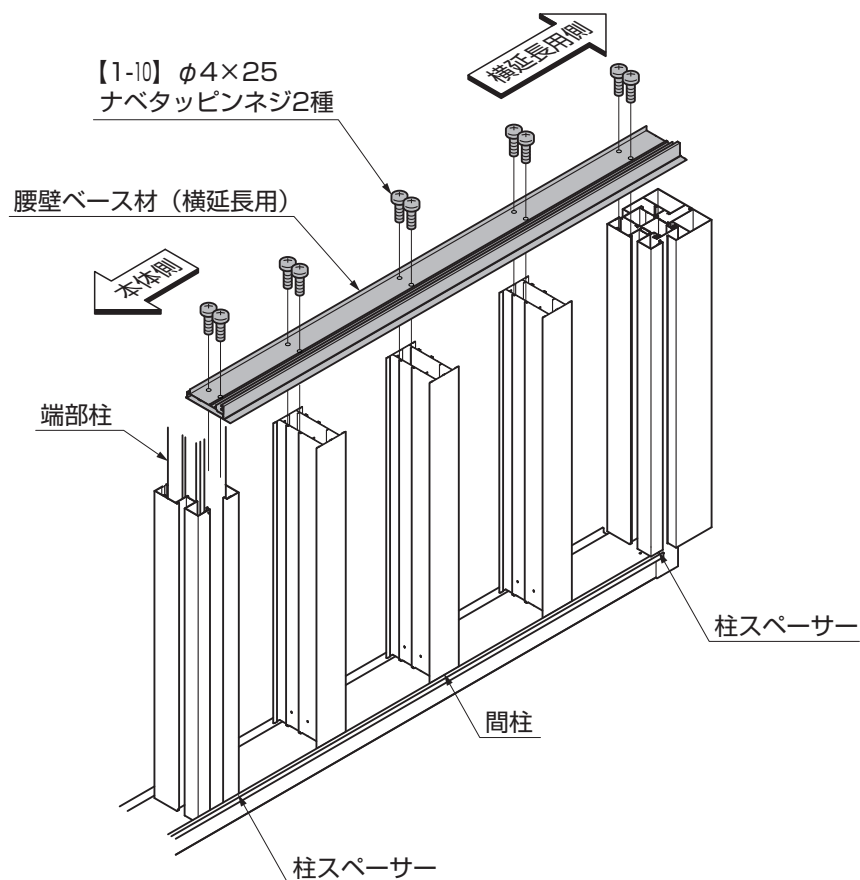
3-2 横延長

(1) 腰壁ベース材（横延長用）の加工

※本図（外観右側に横延長）と反対側に延長する場合は、対称の穴加工をしてください。



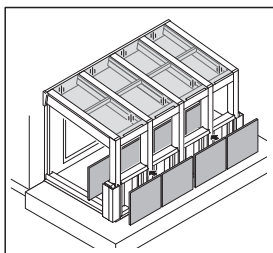
(2) 腰壁ベース材（横延長用）の取付け



①腰壁ベース材（横延長用）を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
	 前				

4. 下地ボード（前面用）の取付け

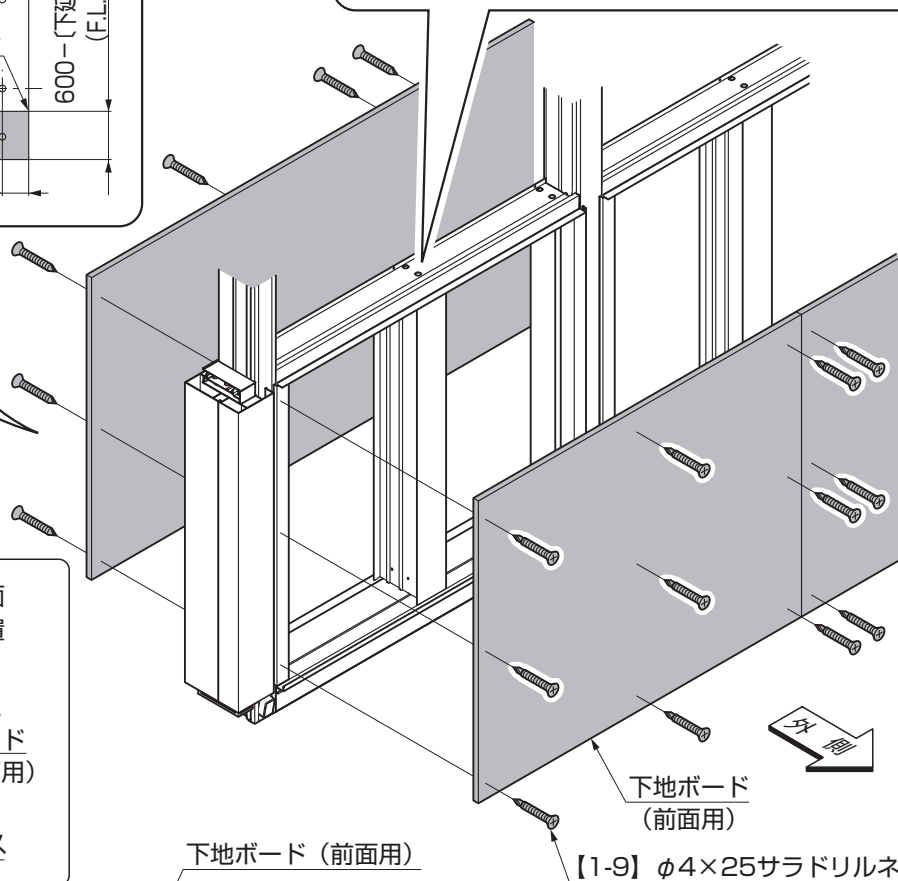
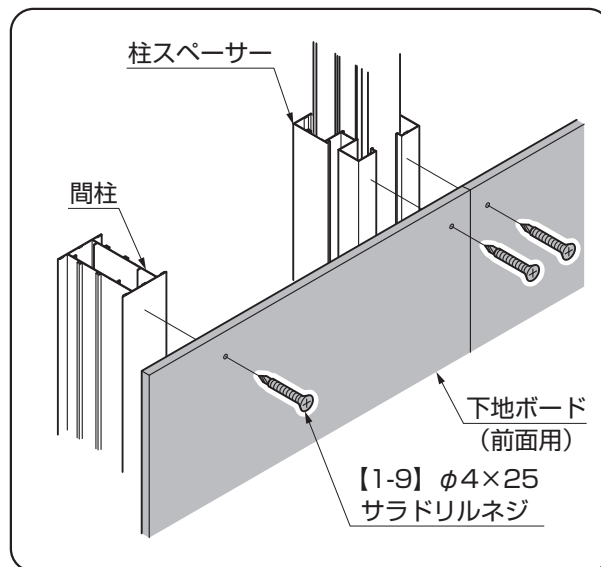
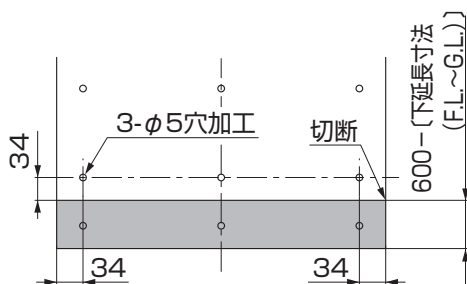


【腰壁下延長の場合】

- 下地ボード（前面用）を加工してください。

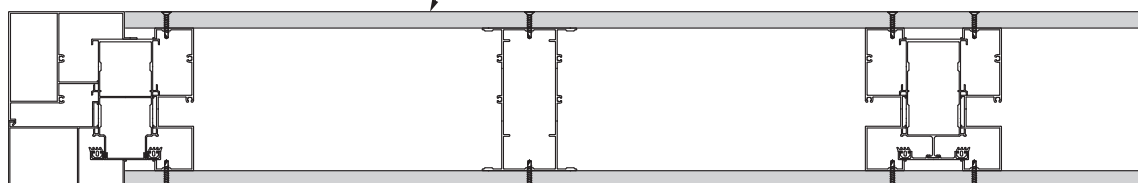
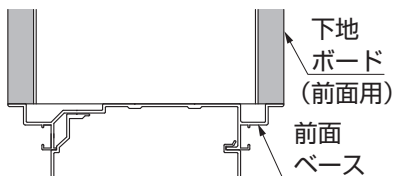
ポイント

- 切断面には必ず小口シーラーを十分に塗布してください。



ポイント

- 下地ボード（前面用）は前面ベースの上に乗せて高さ位置を合わせてください。

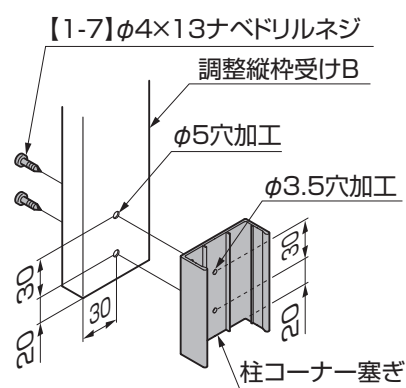
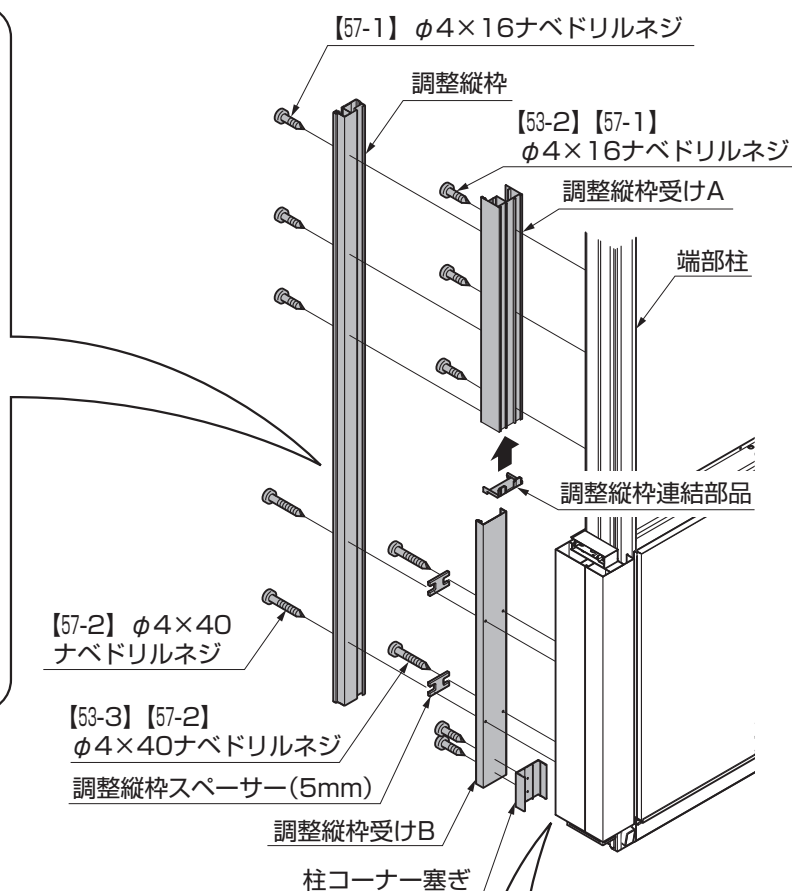
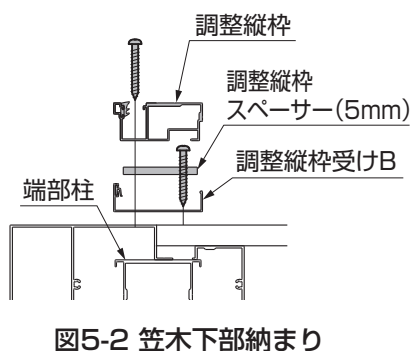
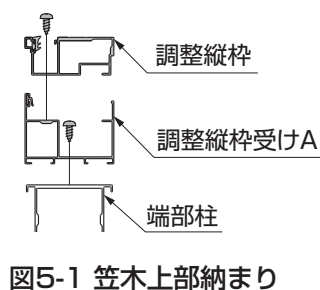
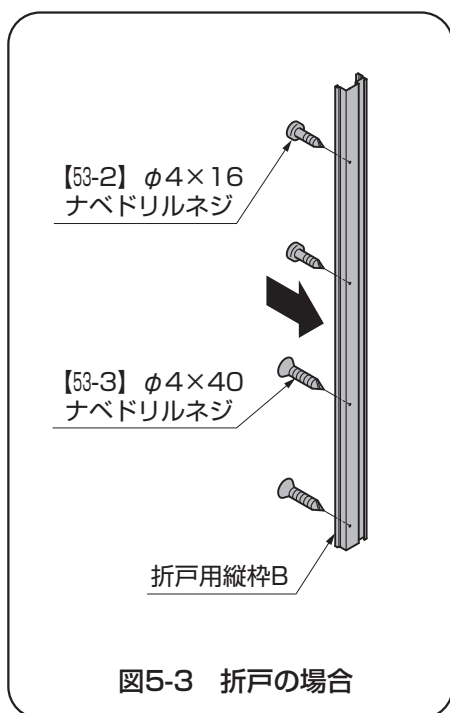


- ①下地ボード（前面用）を柱スペーサー、間柱に【1-9】で取付けてください。

5. 調整縦枠の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
GR	前				

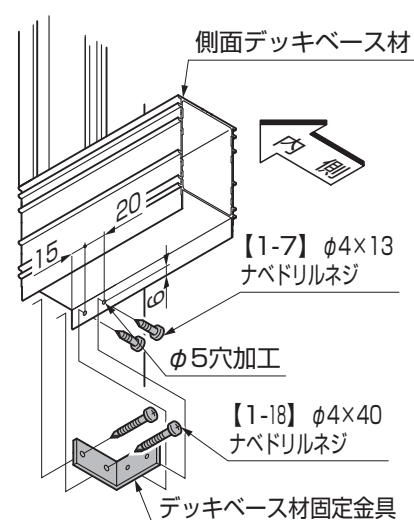


ポイント

- 腰壁下延長の場合は不要です。

図5-4 柱コーナー塞ぎの取付け

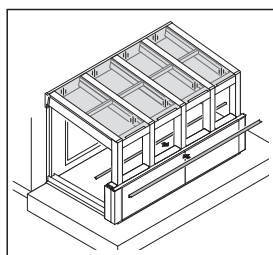
【腰壁下延長の場合】



- ①調整縦枠連結部品を調整縦枠受けAに取付けてください。
- ②調整縦枠受けAを端部柱に【53-2】、【57-1】で取付けてください。
- ③調整縦枠受けBを端部柱に【53-3】、【57-2】で取付けてください。
- ④調整縦枠を調整縦枠受けAに【53-2】、【57-1】で、調整縦枠受けBに【53-3】、【57-2】で取付けてください。

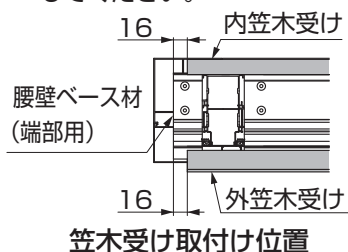
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

6. 笠木受けの取付け

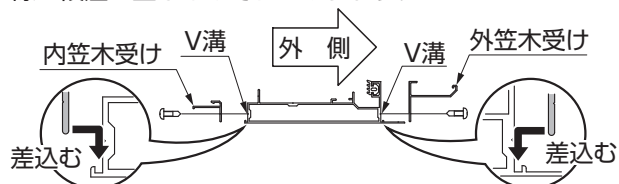


ポイント

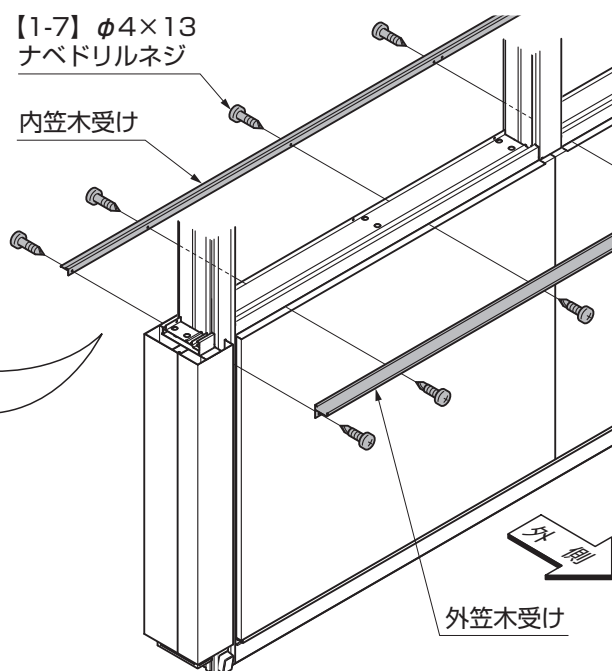
- 笠木受け取付け位置を確認してください。



- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。

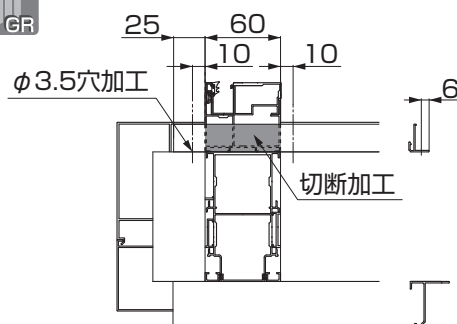


【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



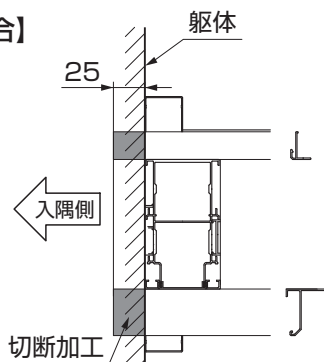
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



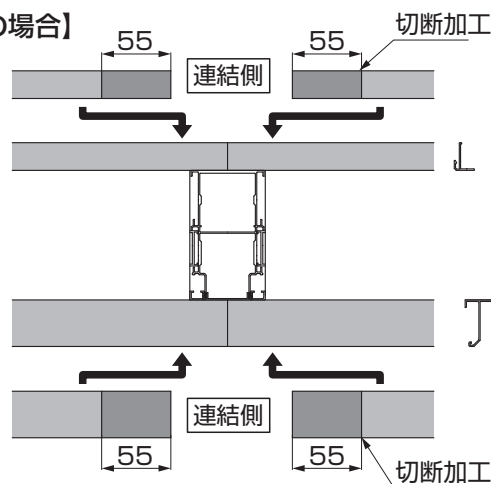
- 内笠木受けは60mmの隙間をあげ切断し、穴加工してネジ固定します。

【入隅の場合】



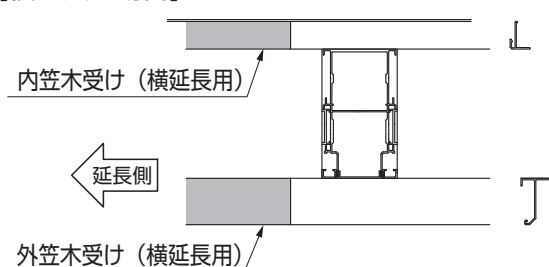
- 内笠木受け、外笠木受けを25mmずつ切断して取付けます。

【連棟の場合】



- 内笠木受け、外笠木受けを55mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】



- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

①笠木受けを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

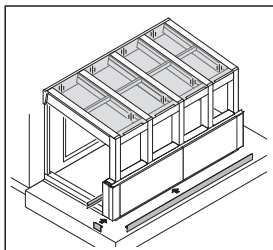
.....

.....

.....

.....

7. 水切りの取付け

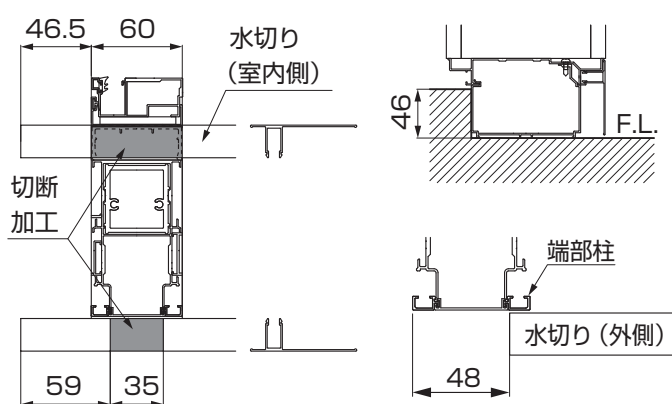


ポイント

- 部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に、各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

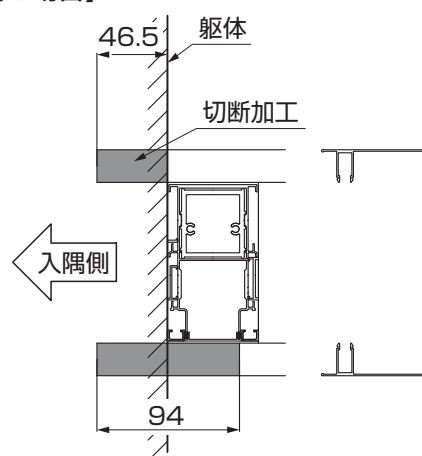
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



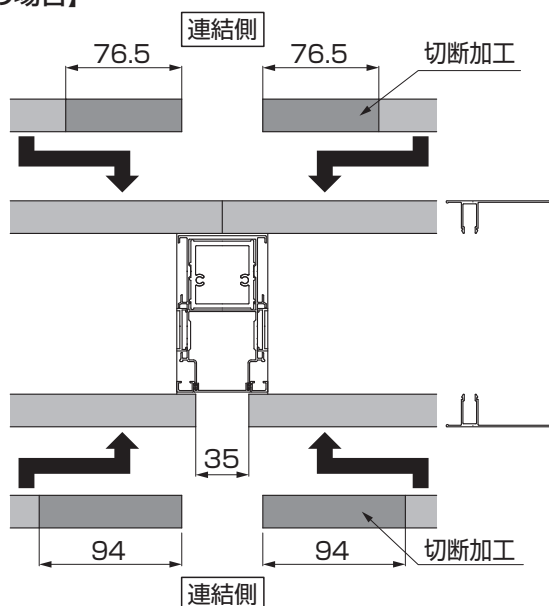
- 内側の水切りは60mmの隙間をあけ、切断加工して取付けます。また、内面立上げの場合は室内側の水切りは取付け不要です。
- 外側の水切りは端部柱外側から48mmの位置に取付けてください。

【入隅の場合】



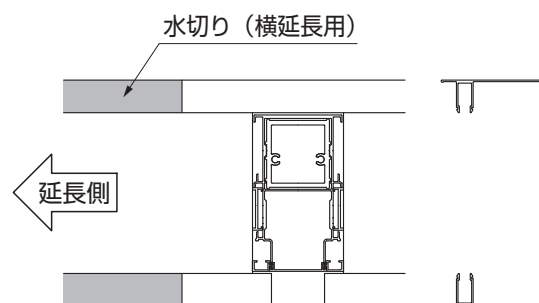
- 内側、外側の水切りをそれぞれ切断加工して取付けます。

【連棟の場合】



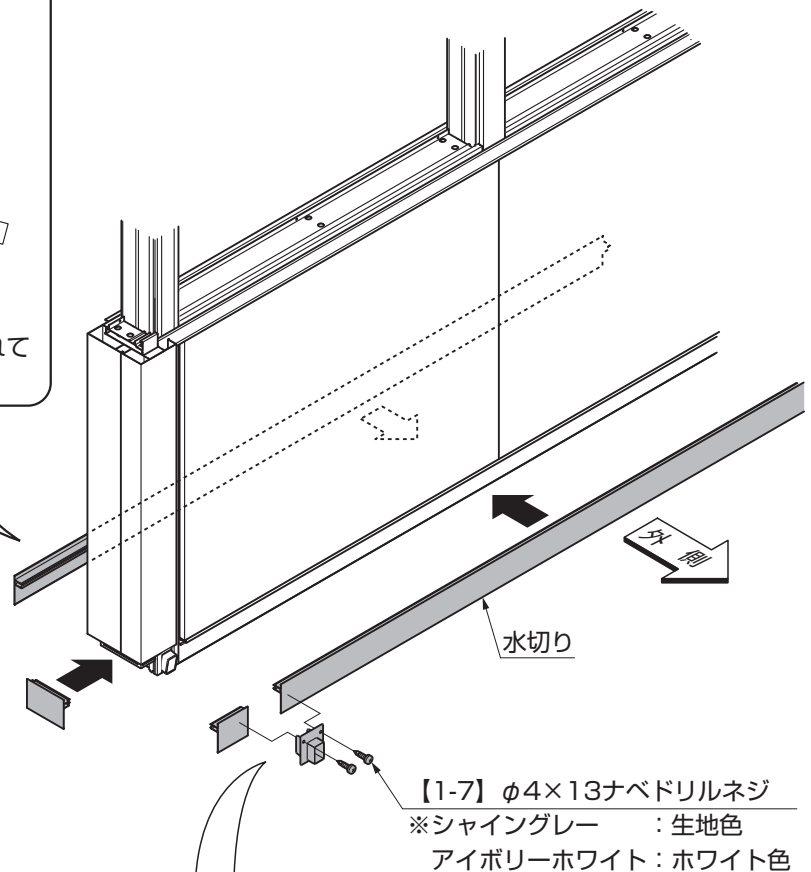
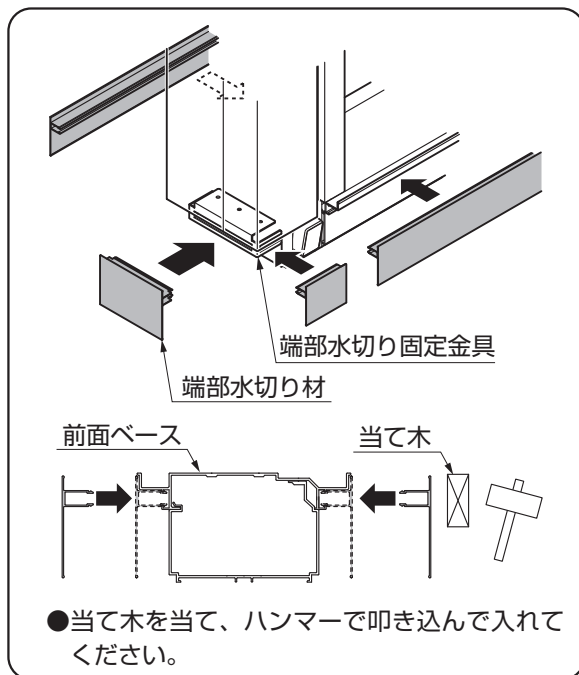
- 内側の水切りを76.5mmずつ、外側の水切りを94mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】



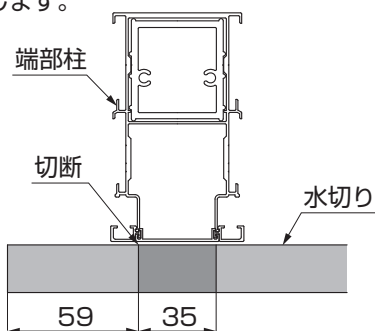
- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
	 前				

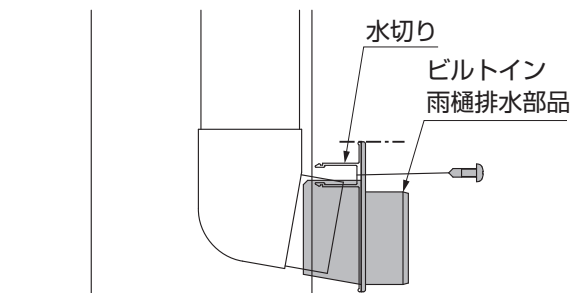


ポイント

- ビルトイン雨樋排水部品を取付けるため、端部柱の部分は35mm切断加工します。



- 水切りの高さに合わせてビルトイン雨樋排水部品を取付けてください。



- ①水切りを前面ベースに取付けてください。
- ②端部水切り材を端部水切り固定金具にはめ込んでください。
- ③ビルトイン雨樋排水部品を水切りに【1-7】で取付けてください。

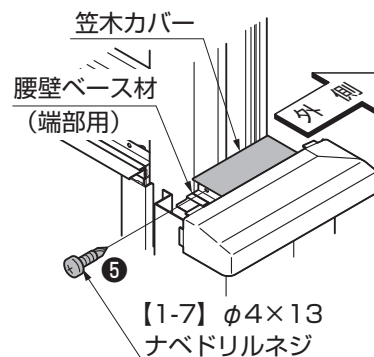
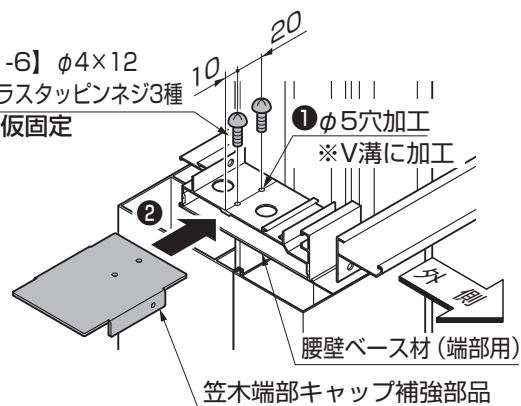
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
	 前				

8. 笠木端部キャップの取付け

ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。

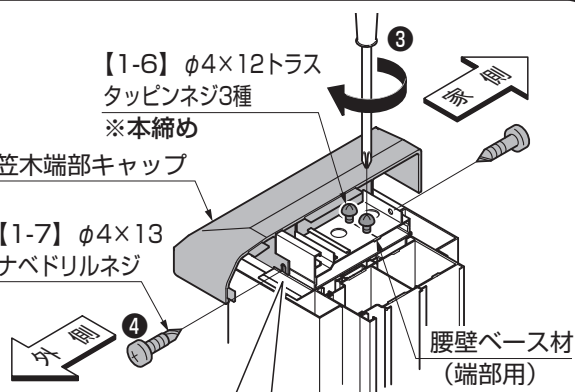
【1-6】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
※仮固定



【1-6】φ4×12トラ
スタッピンネジ3種
※本締め

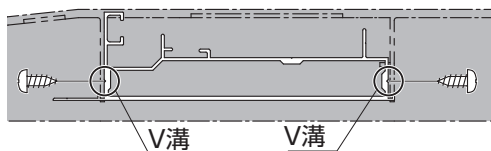
笠木端部キャップ

【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ

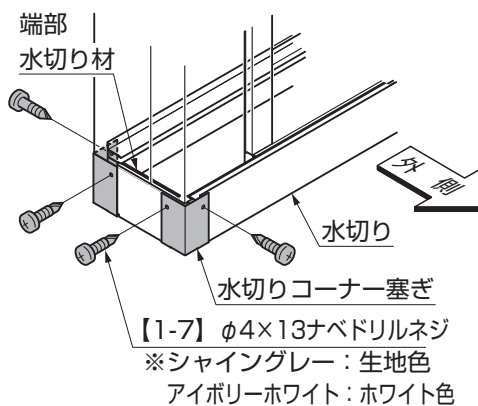
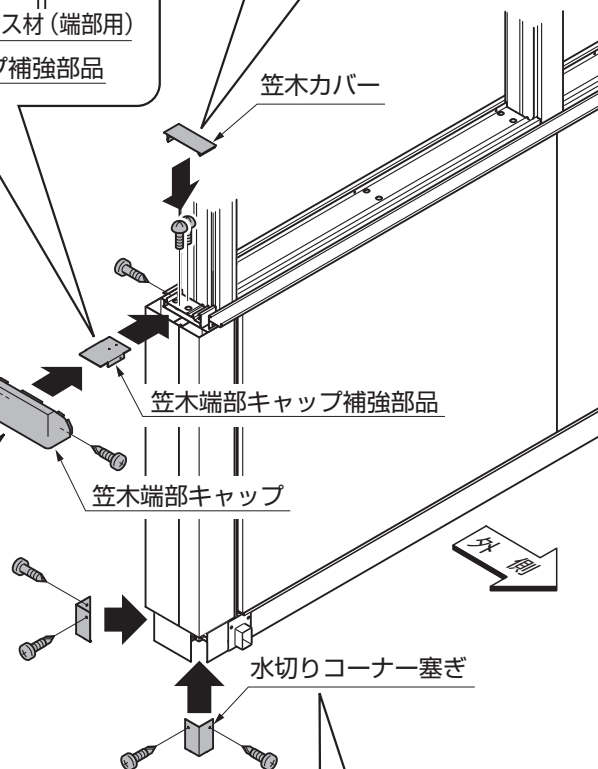


ポイント

- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようにV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。

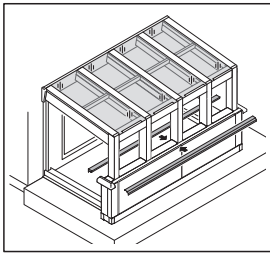


- ①腰壁ベース材 (端部用) にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材 (端部用) に挿入し、【1-6】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材 (端部用) に差込み、【1-6】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材 (端部用) に【1-7】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材 (端部用) に【1-7】で取付けてください。
- ⑥水切りコーナー塞ぎを水切りに【1-7】で取付けてください。



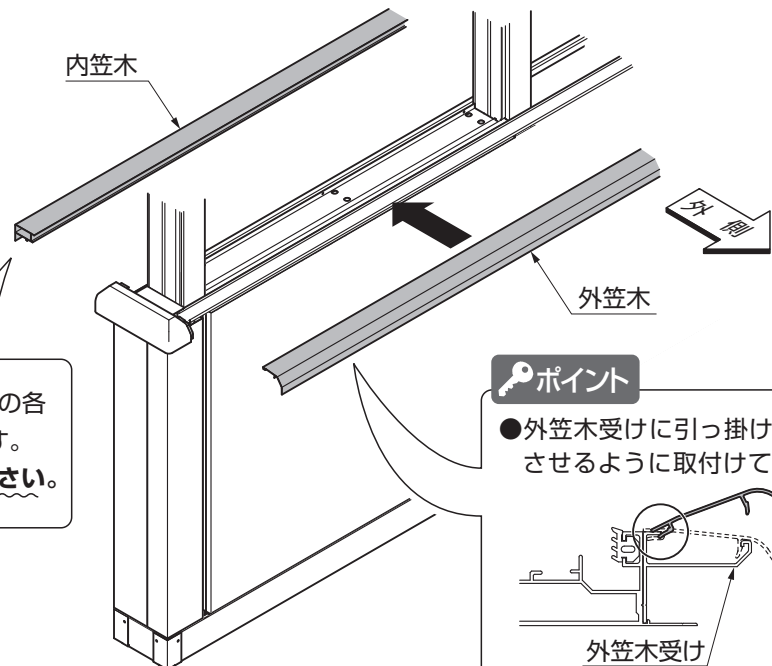
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
	 前				

9. 笠木の取付け



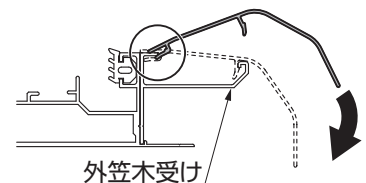
ポイント

- 内笠木は「18 前面開口の施工」の各パネル施工の際に取付けを行います。
本手順では、加工のみ行なってください。



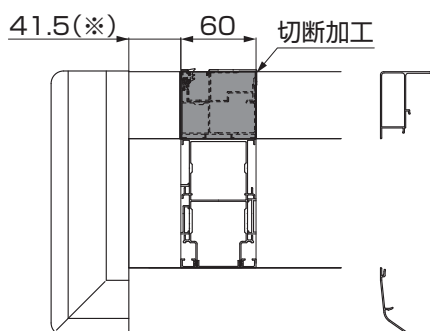
ポイント

- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



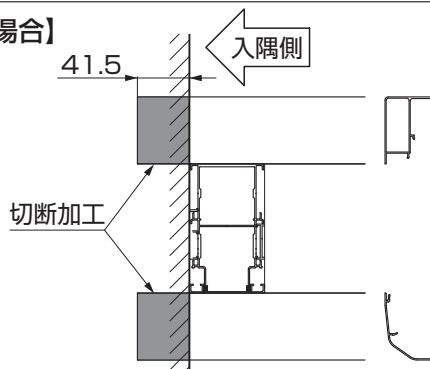
ポイント

【ガーデンルームの場合】



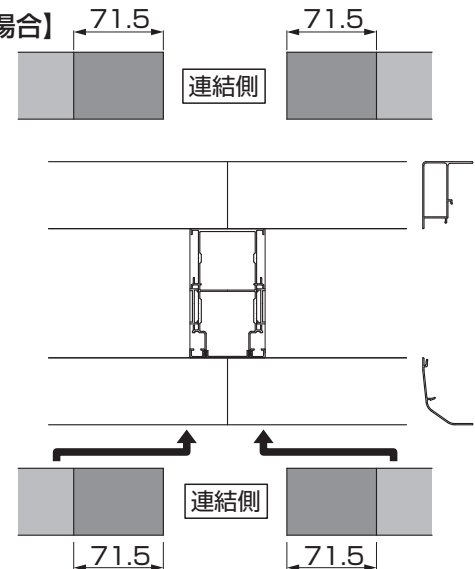
- 内笠木は60mmのすき間をあけ切断してください。
※寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。
また、端部の内笠木は内笠木受けにシーリング後、取付けしてください。

【入隅の場合】



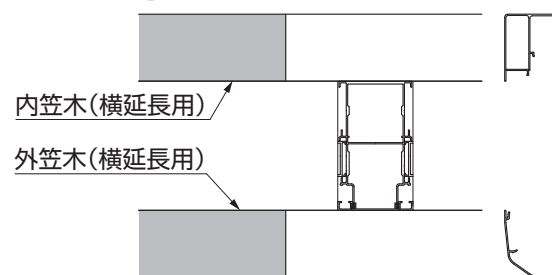
- 内笠木、外笠木は41.5mmずつ切断してください。

【連棟の場合】



- 内笠木、外笠木を71.5mmずつ切断してください。

【横延長の場合】



- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

①笠木を笠木受けに取付けてください。

16 L字腰壁の施工

本取付説明書の見方

ポイント

- L字腰壁の取付け手順は、左側にL字腰壁を施工する図を記載しています。
- 右側にL字腰壁を施工する場合は左右対称になります。
- 取付説明書の図記号は下記の内容を示します。

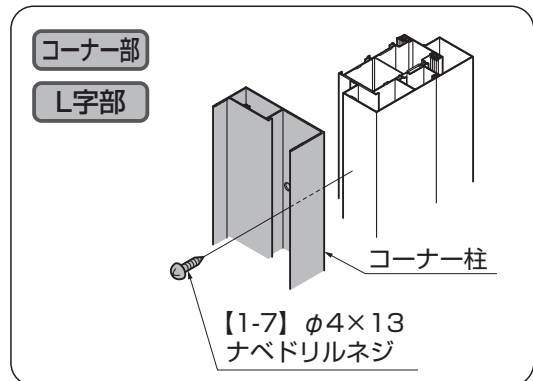
L字部 = 「L字腰壁側」の内容

コーナー部 = 「コーナー部」の内容

前面部 = 「前面腰壁側」の内容

共通 = 「L字側腰壁」「前面腰壁側」共通の内容

例：

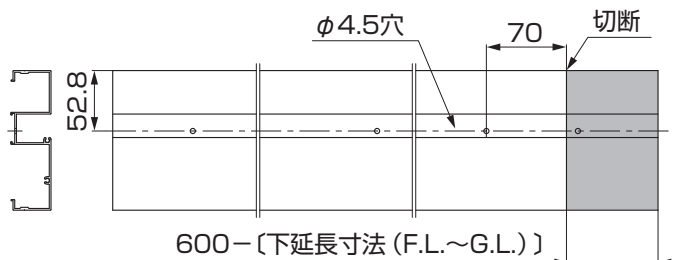


図はコーナー部のL字側の内容を示します。

1. 柱スペーサー（中間用）の取付け

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域

1-1 柱スペーサー（中間用）の加工 ※腰壁下延長の場合の作業です。

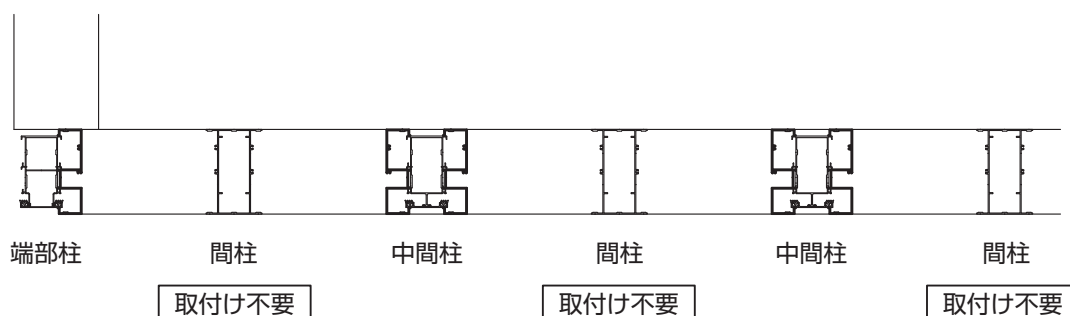


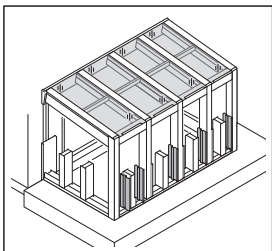
- ① 柱スペーサー（中間用）を加工してください。

1-2 取付け位置の確認

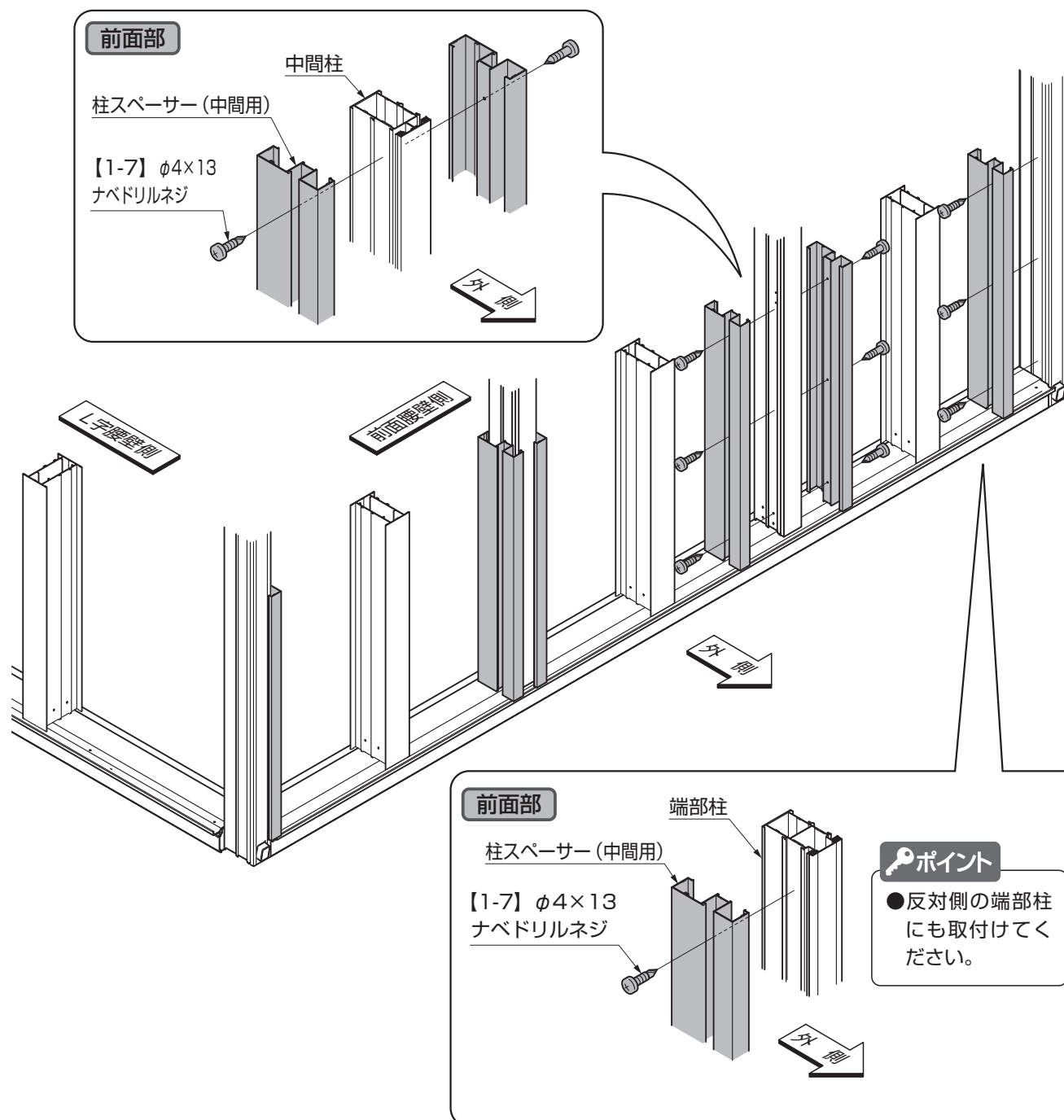
ポイント

- 柱スペーサーは前面側の端部柱、中間柱に取付けてください。（間柱には不要です。）
- 柱スペーサーの取付向きに注意して取付けてください。





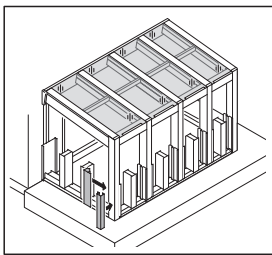
1-3 柱スペーサー（中間用）の取付け



①柱スペーサー（中間用）を端部柱、中間柱に【1-7】で取付けてください。

2. 柱スペーサー、コーナー柱の取付け

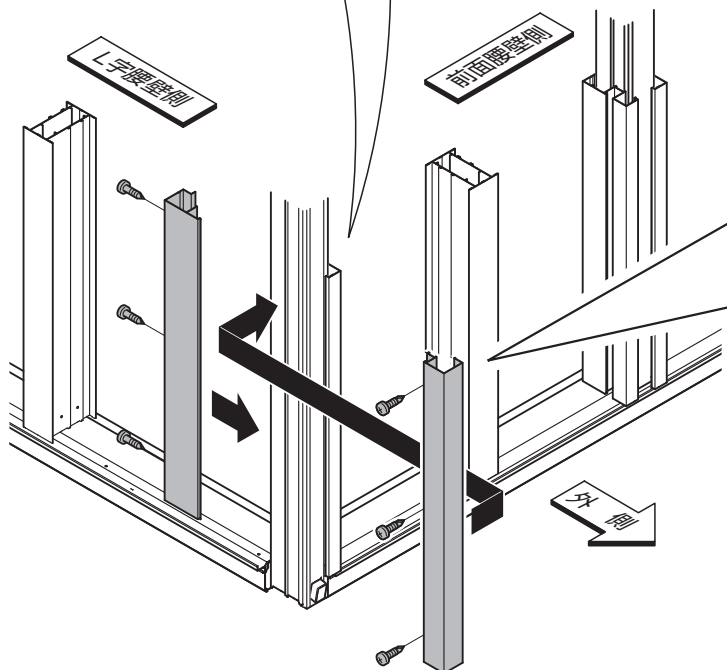
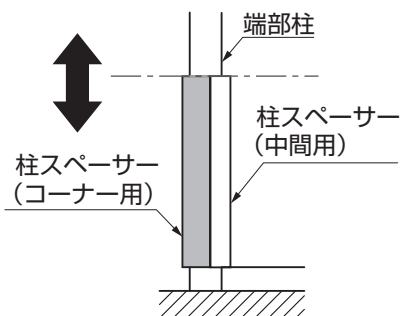
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



2-1 柱スペーサー（コーナー用）の取付け

ポイント

- 柱スペーサー（中間用）の高さ位置に合わせて取付けてください。

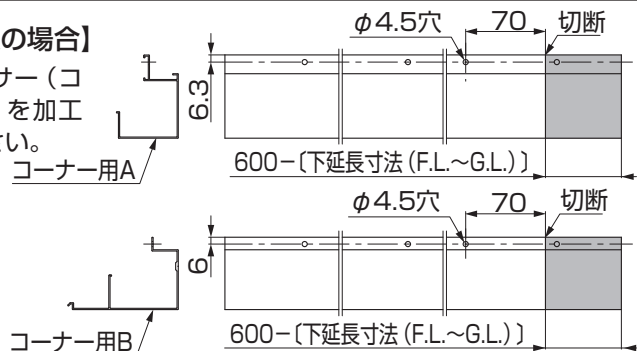


- ① 柱スペーサー（コーナー用A）を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ② 柱スペーサー（コーナー用B）を端部柱に【1-7】で取付けてください。

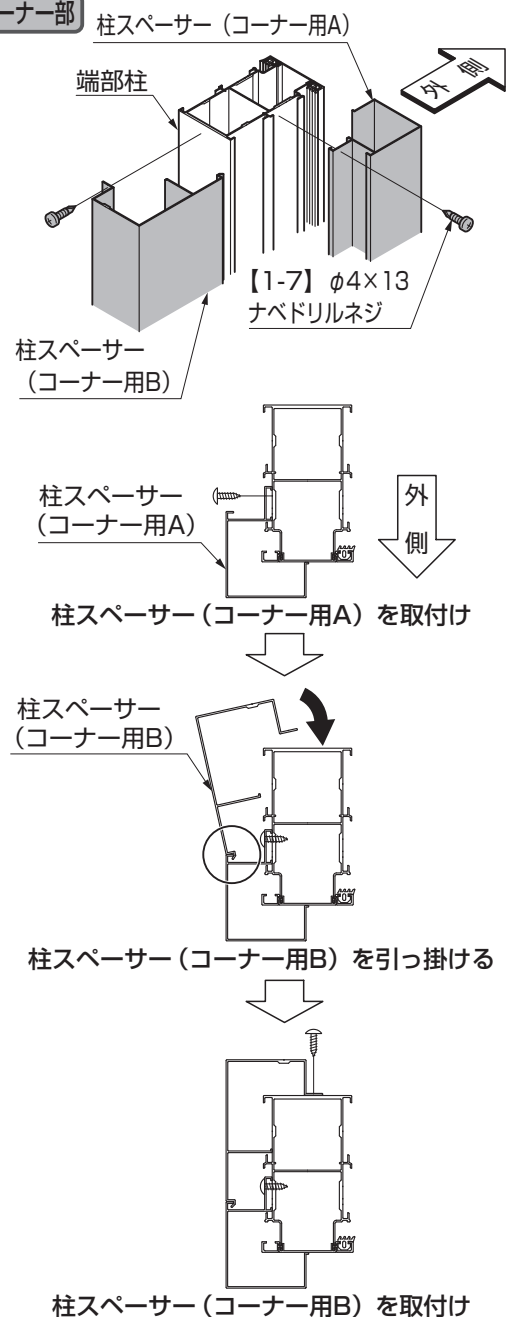
ポイント

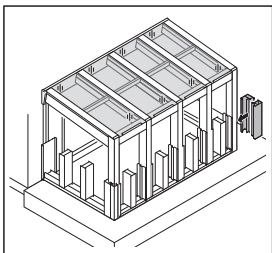
【腰壁下延長の場合】

- 柱スペーサー（コーナー用）を加工してください。



コーナー部

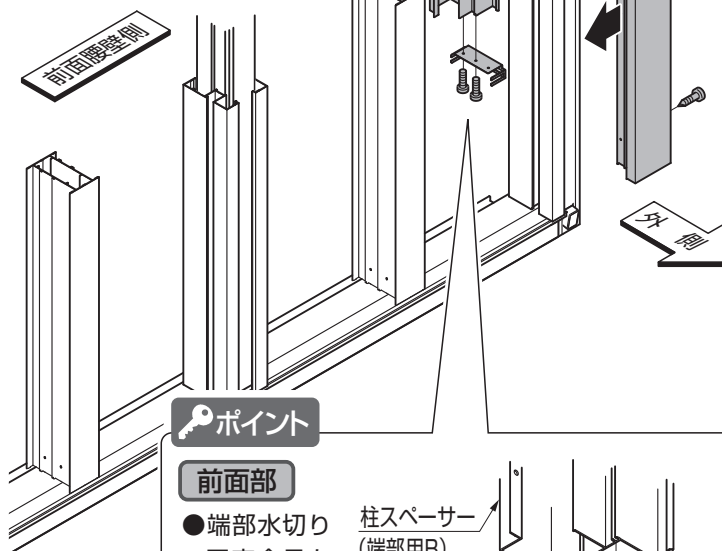
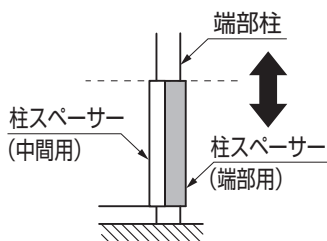




2-2 柱スペーサー (端部用) の取付け

ポイント

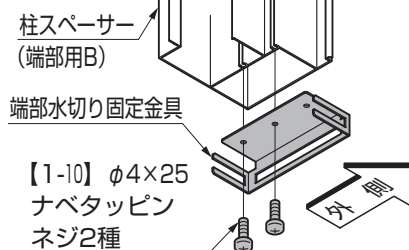
- 柱スペーサー (中間用) の高さ位置に合わせて取付けてください。



ポイント

前面部

- 端部水切り固定金具を先に取付けてください。

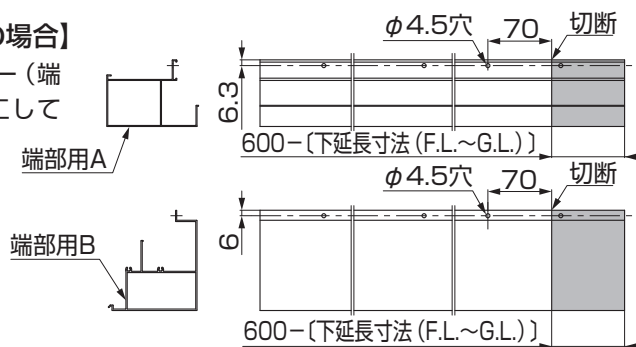


- ① 柱スペーサー (端部用A) を端部柱に【1-7】で取付けてください。
- ② 端部水切り固定金具を柱スペーサー (端部用B) に【1-10】で取付けてください。
- ③ 柱スペーサー (端部用B) を端部柱に【1-7】で取付けてください。

ポイント

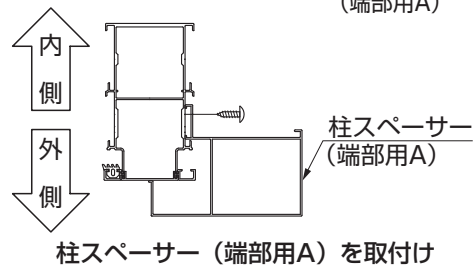
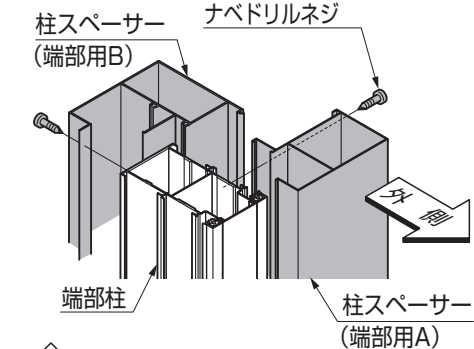
【腰壁下延長の場合】

- 柱スペーサー (端部用) を加工してください。

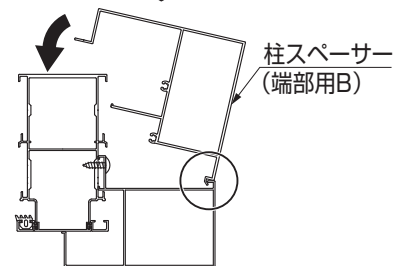


前面部

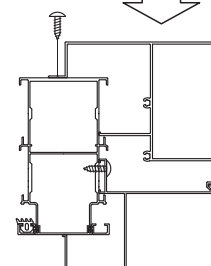
【1-7】φ4×13
ナベドリルネジ



柱スペーサー (端部用A) を取付け

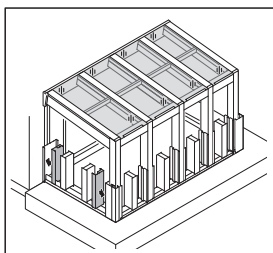


柱スペーサー (端部用B) を引っ掛ける

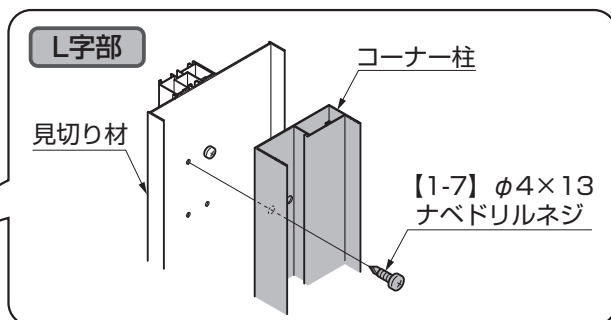


柱スペーサー (端部用B) を取付け

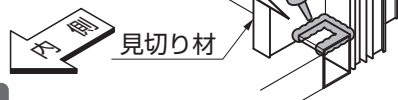
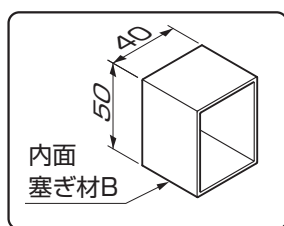
2. (つづき)



2-3 コーナー柱の取付け



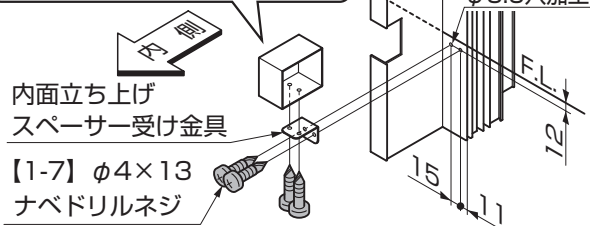
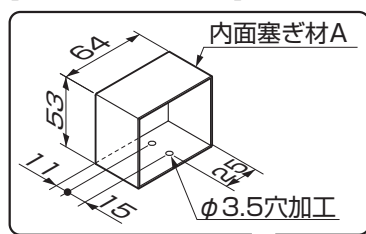
【内面立上げの場合】 ※先土間仕上げの場合



ポイント

- 内面塞ぎ材Bをはめ込み、シーリングしてください。

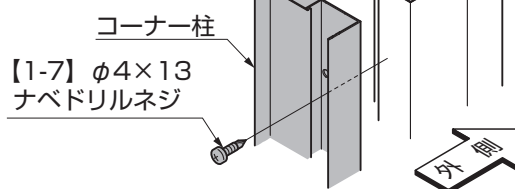
【腰壁下延長の場合】



コーナー部

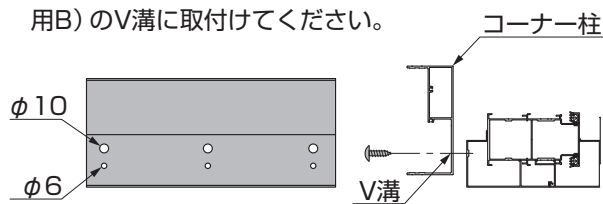
L字部

柱スペーサー
(コーナー部用B)



ポイント

- 小さな穴 (φ6) を介し、柱スペーサー (コーナー部用B) のV溝に取付けてください。



①コーナー柱を柱スペーサー (コーナー用B)、見切り材に【1-7】で取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

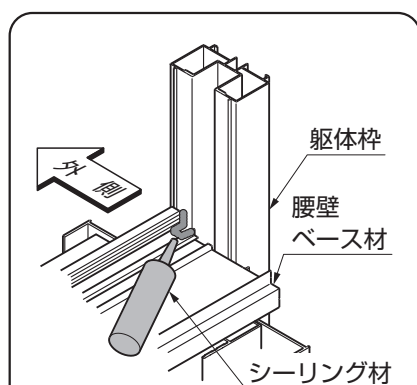
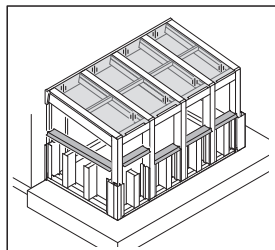
.....

.....

.....

3. 腰壁ベース材の取付け

3-1 腰壁ベース材の取付け

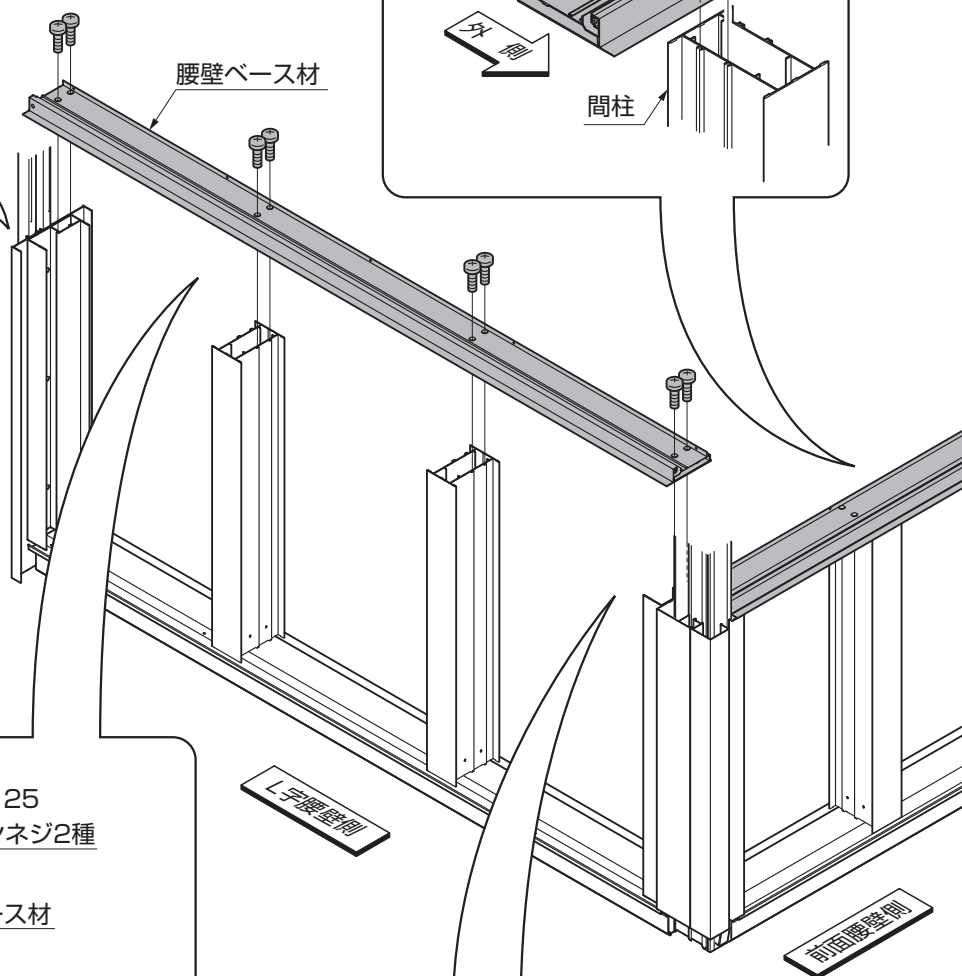
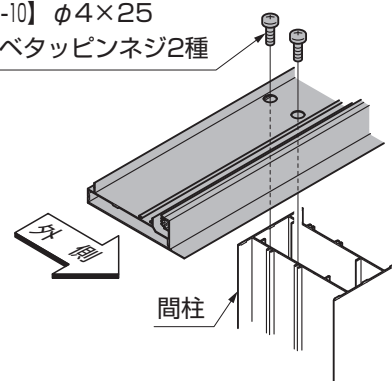


ポイント

- 腰壁ベース材と躯体方立の取合せ部にシーリングしてください。

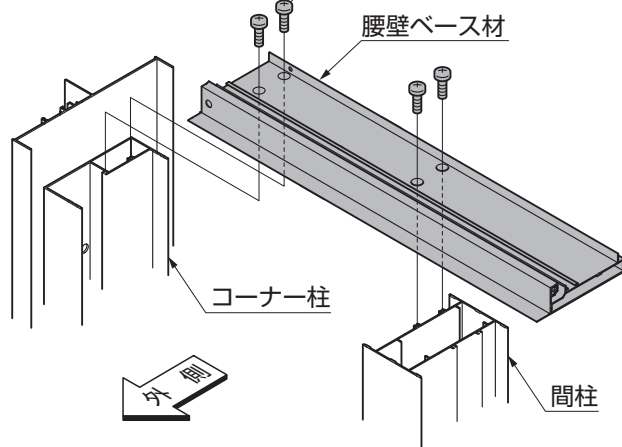
前面部

【1-10】 $\phi 4 \times 25$
ナベタッピンネジ2種



L字部

【1-10】 $\phi 4 \times 25$
ナベタッピンネジ2種



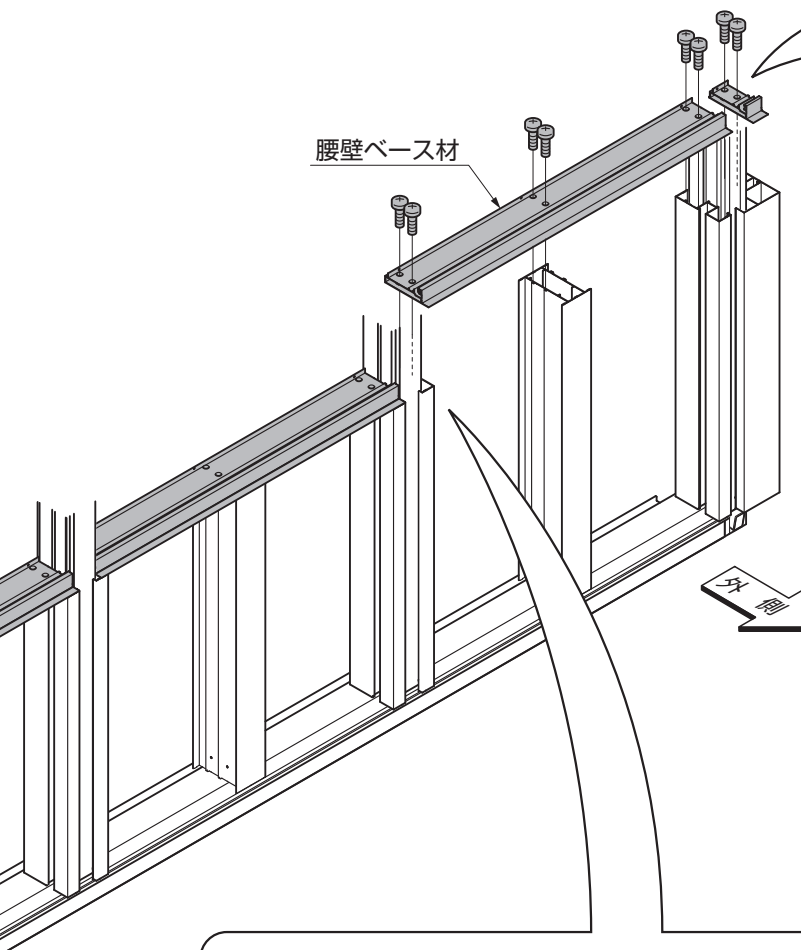
シーリング材

ポイント

- 腰壁ベース材と端部柱の取合せ部にシーリングしてください。

- ①ベース材端部排水テープを腰壁ベース材の両端に貼付けてください。
- ②腰壁ベース材を柱スペーサー、間柱に【1-10】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



前面部

【1-10】φ4×25
ナベタッピンネジ2種

腰壁ベース材（端部用）

端部柱

柱スペーサー
（端部用B）



ポイント

- 端部用の腰壁ベース材には左右があります。

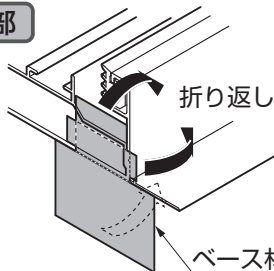


外観左用



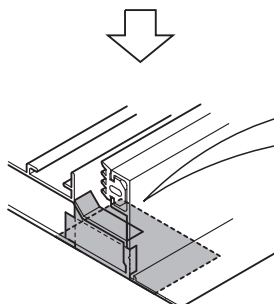
外観右用

前面部

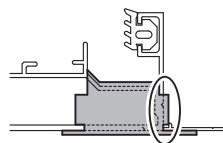


ポイント

- 腰壁ベース材（端部用、横延長用）、L字部用は貼付け不要です。



ポイント

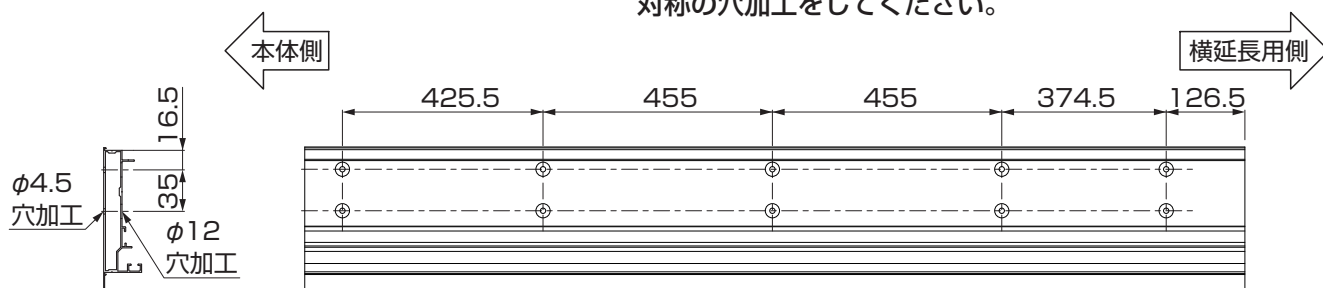


- すき間ができないように貼付けてください。

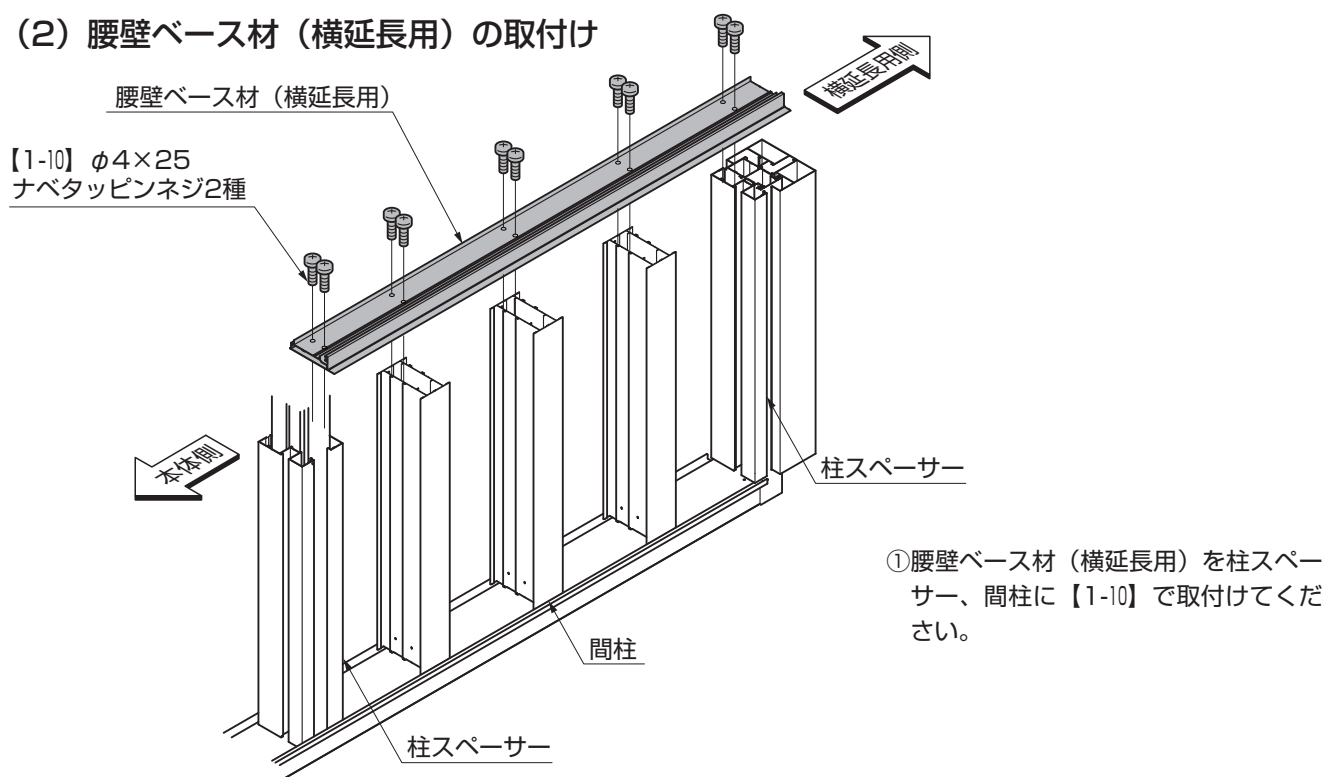
3. (つづき)

3-2 横延長

(1) 腰壁ベース材（横延長用）の加工 ※本図（外観右側に横延長）と反対側に延長する場合は、対称の穴加工をしてください。



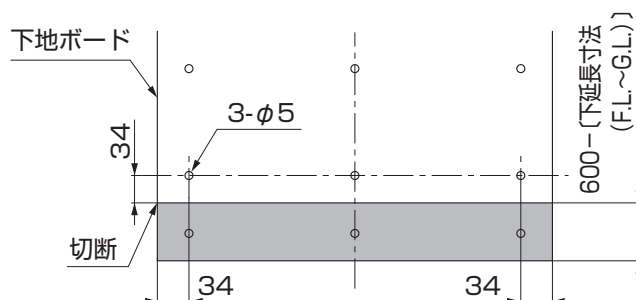
(2) 腰壁ベース材（横延長用）の取付け



4. 下地ボードの取付け

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域

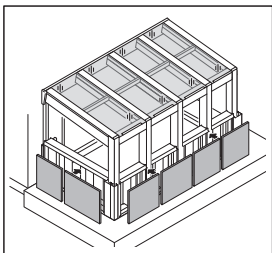
4-1 下地ボードの加工 ※腰壁下延長の場合の作業です。



① 下地ボードを加工してください。

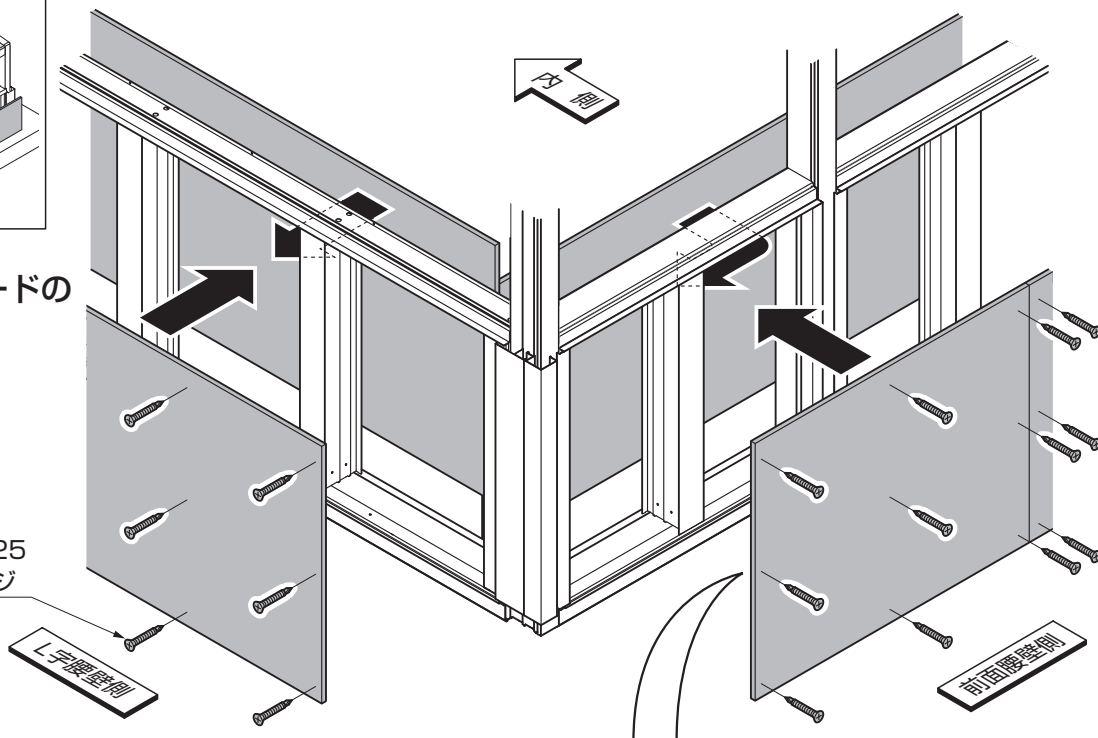
ポイント

- 切断面には必ず小口シーラーを十分に塗布してください。



4-2 下地ボードの取付け

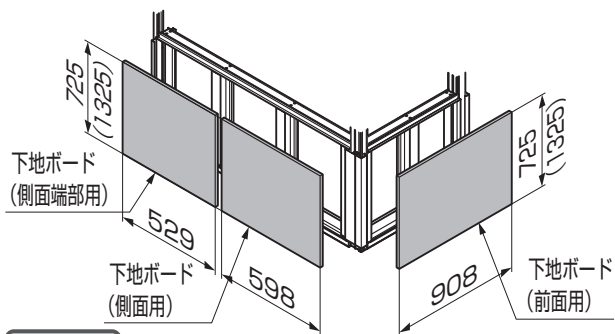
【1-9】φ4×25
サラドリルネジ



ポイント

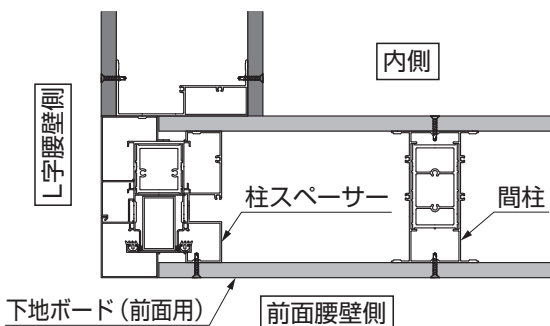
共通

- 下地ボードのサイズを確認して、それぞれの面に取付けてください。（ ）内は下延長の場合の寸法です。

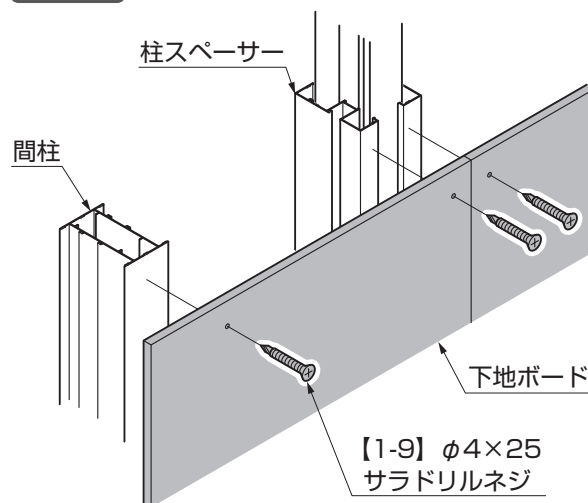


コーナー部

- 内側の下地ボードは前面側を先に取付けてからL字腰壁側を取付けてください。

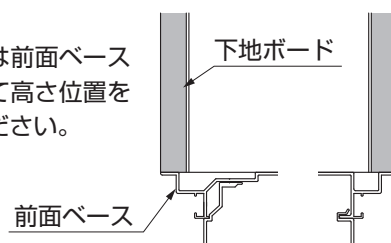


共通



ポイント

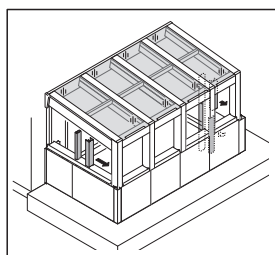
- 下地ボードは前面ベースの上に乗せて高さ位置を合わせてください。



①柱スペーサー、間柱に下地ボードを仮当てし、下地ボードを柱スペーサー、間柱に【1-9】で取付けてください。

5. 調整縦枠の取付け

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。



コーナー部

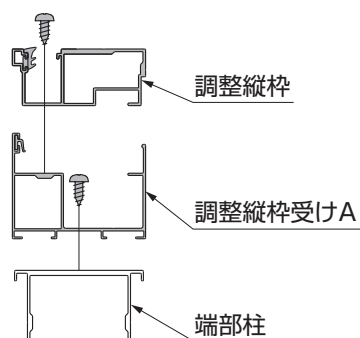


図5-1 コーナー部部納まり

前面部

【53-2】φ4×16
ナベドリルネジ

【53-3】φ4×40
ナベドリルネジ

折戸用縦枠B

図5-4 折戸の場合

【57-1】φ4×16
ナベドリルネジ

【53-2】【57-1】
φ4×16ナベドリルネジ

調整縦枠受けA

調整縦枠
連結部品

【57-2】φ4×40
ナベドリルネジ

調整縦枠

【53-3】【57-2】
φ4×40ナベドリルネジ

調整縦枠スペーサー (5mm)

調整縦枠受けB

柱コーナー塞ぎ

【56-1】φ4×16ナベドリルネジ

調整縦枠

【56-1】φ4×16ナベドリルネジ

調整縦枠受けA

L字腰壁側

前面腰壁側



5-1 コーナー部の調整縦枠の取付け

- ①調整縦枠受けAを端部柱に【56-1】で取付けてください。
- ②調整縦枠を調整縦枠受けAに【56-1】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
GR	L				

前面部

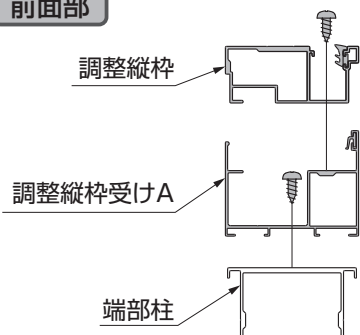


図5-2 笠木上部納まり

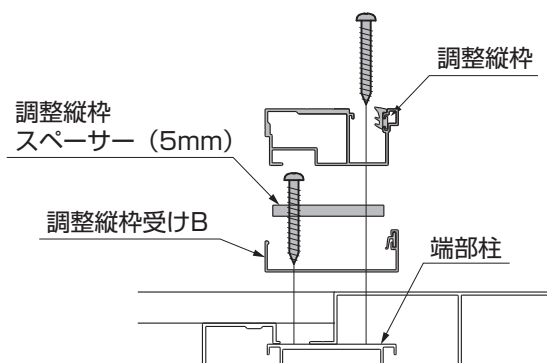


図5-3 笠木下部納まり

前面部

ポイント

- 腰壁下延長の
場合は不要です。

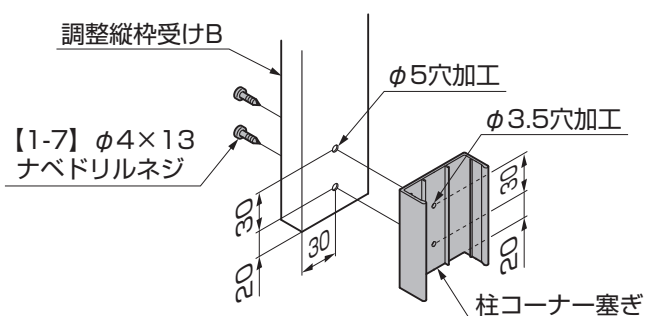


図5-5 柱コーナー塞ぎの取付け

前面部

側面デッキベース材

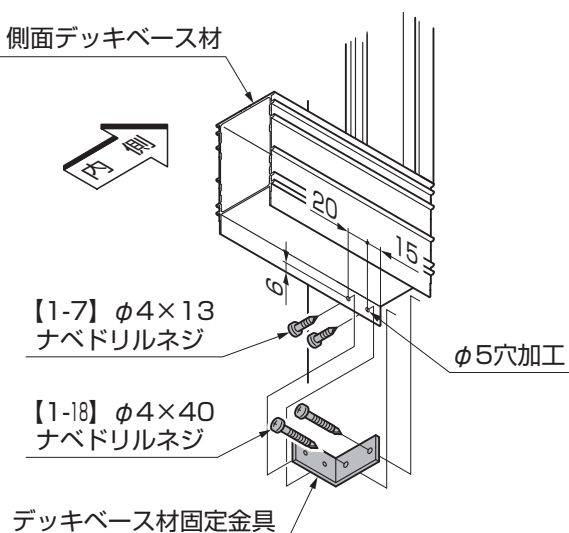
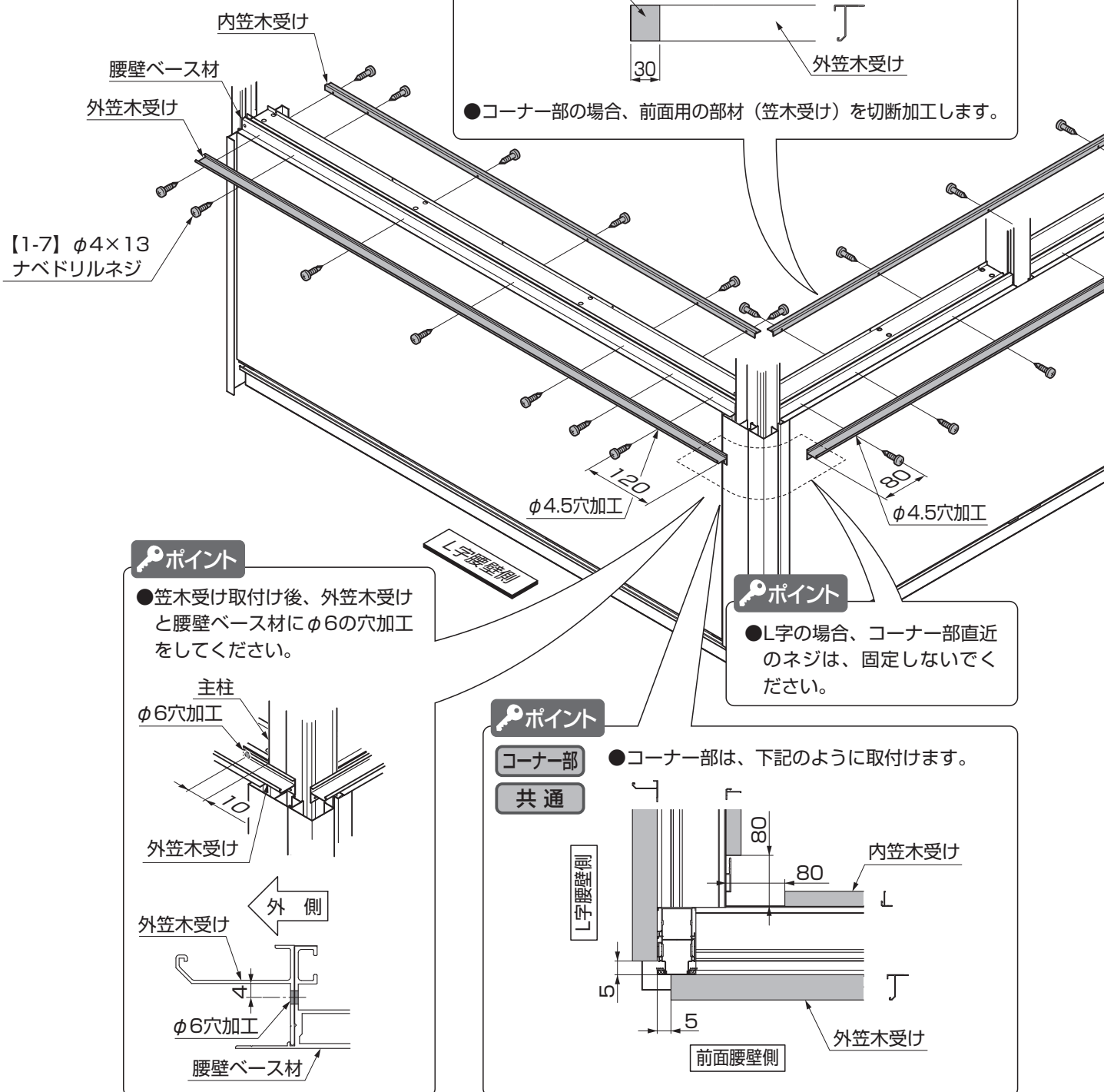
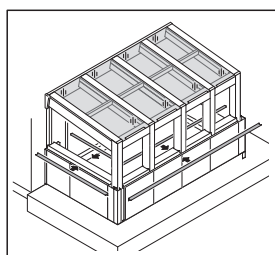


図5-6 腰壁下延長の場合

5-2 前面部の調整縦柵の取付け

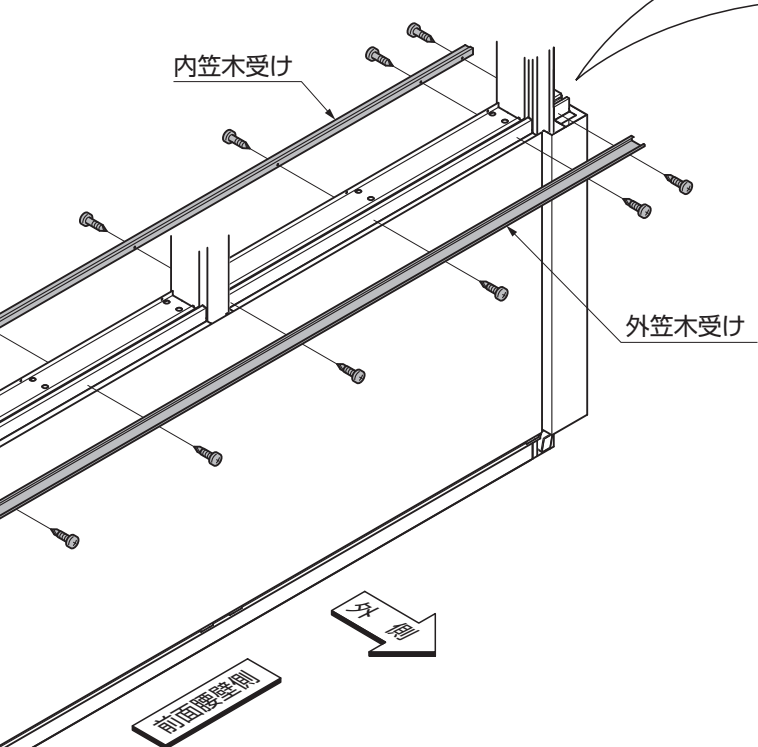
- ①調整縦柵連結部品を調整縦柵Aに取付けてください。
- ②調整縦柵受けAを端部柱に【53-2】、【57-1】で取付けてください。
- ③調整縦柵受けBを端部柱に【53-3】、【57-2】で取付けてください。
- ④調整縦柵を調整縦柵受けAに【53-2】、【57-1】で、調整縦柵受けBに【53-3】、【57-2】で取付けてください。

6. 笠木受けの取付け



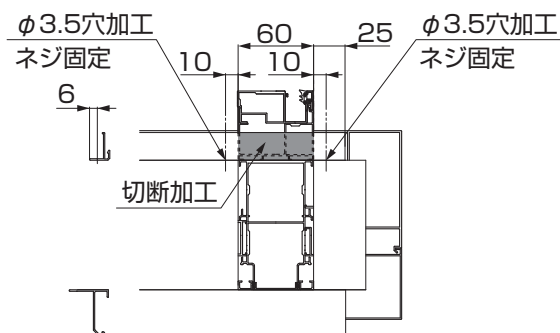
① 笠木受けを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					



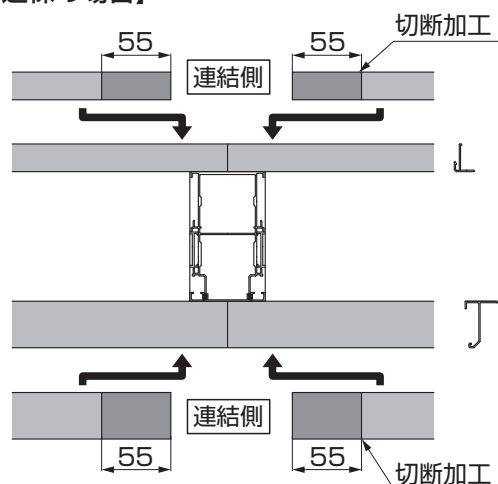
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】  GR



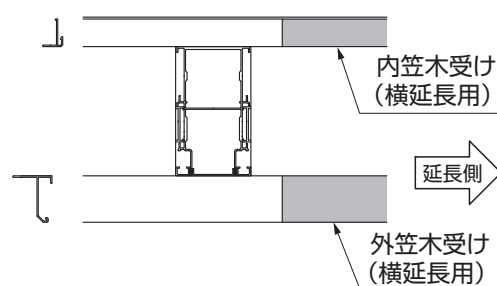
- 内笠木受けは60mmの隙間をあげ切断し、穴加工してネジ固定します。

【連棟の場合】



- 内笠木受け、外笠木受けを55mmずつ切断して取付けます。

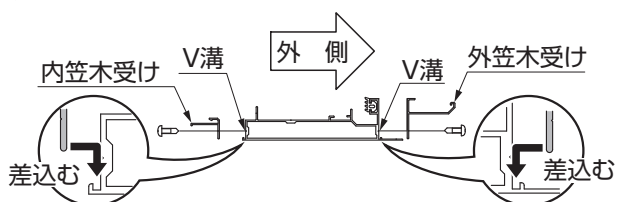
【横延長の場合】



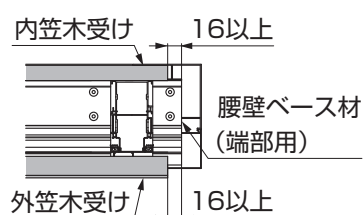
- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。



- 笠木受け取付け位置を確認してください。

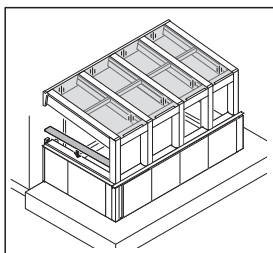


笠木受け取付け位置

7. L字部の笠木カバーの取付け

※サイドスルータイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
 ST	 L				

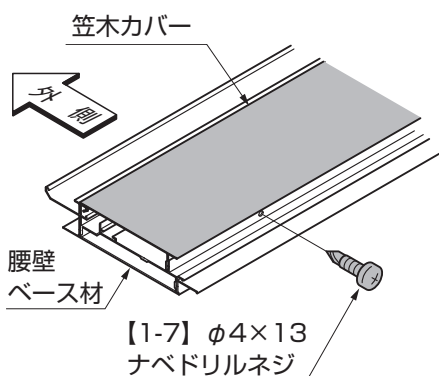


ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】 GR

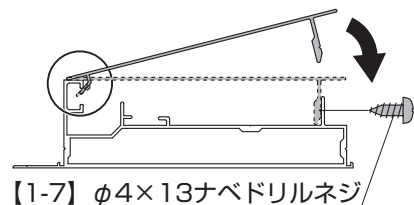
- 笠木カバーの取付けは「ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書 (E418)」にて行ないます。本手順では取付けを行なわないでください。

L字部



ポイント

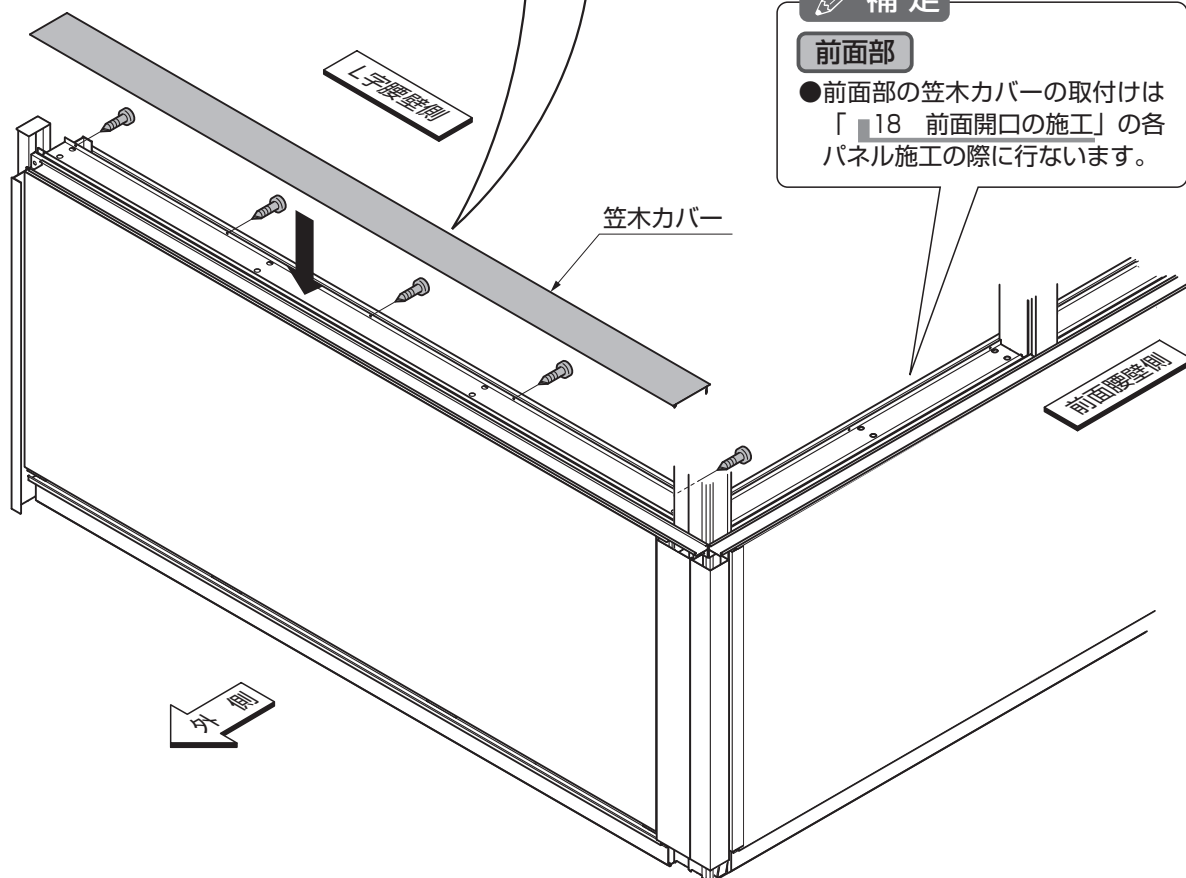
- 腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



補足

前面部

- 前面部の笠木カバーの取付けは「 18 前面開口の施工」の各パネル施工の際に行ないます。



①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-7】で取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

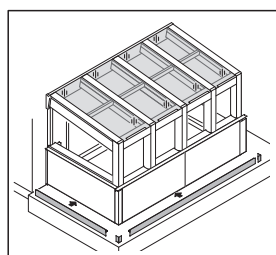
.....

.....

.....

.....

8. 水切りの取付け

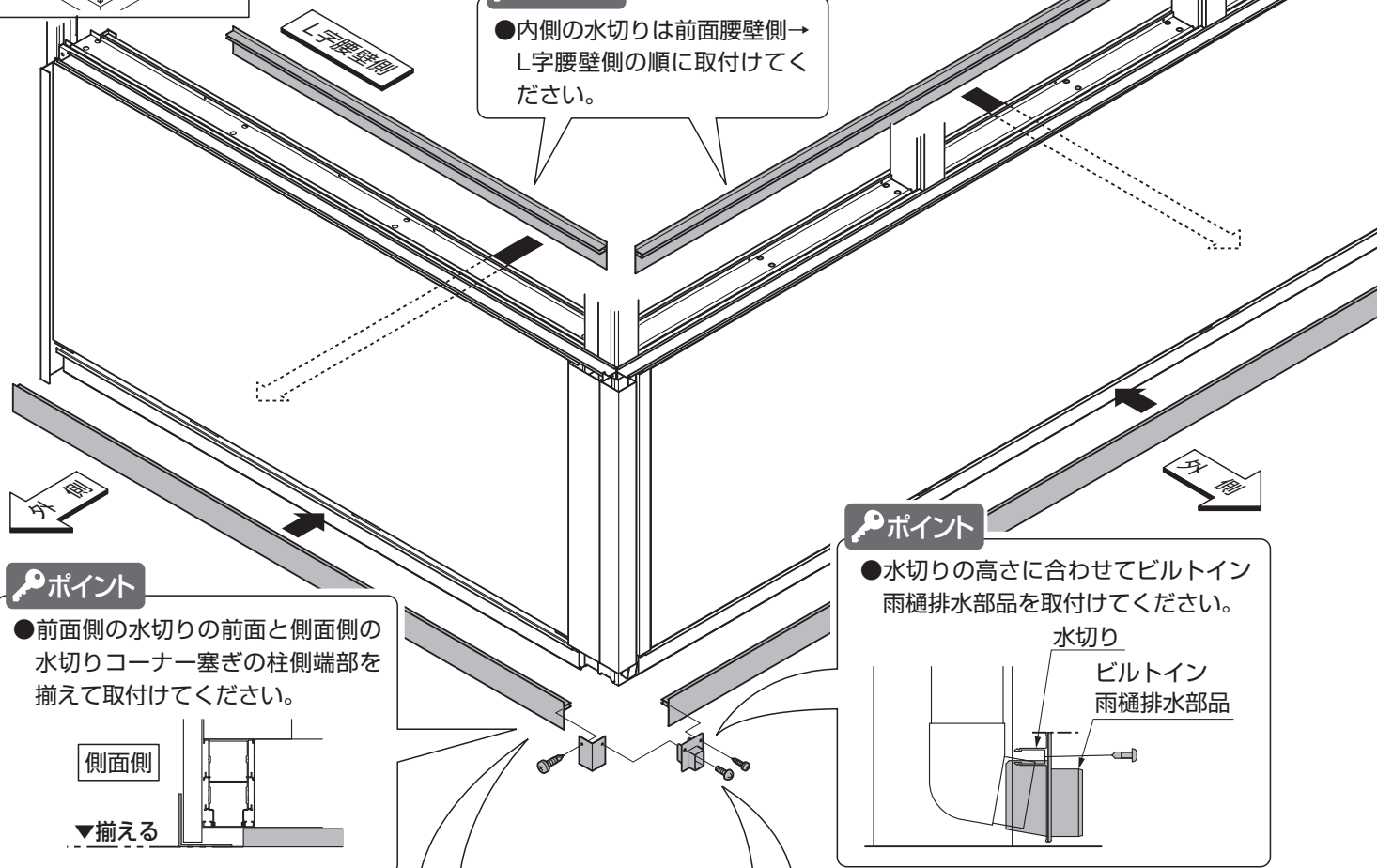


ポイント

- 部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

ポイント

- 内側の水切りは前面腰壁側→L字腰壁側の順に取付けてください。



ポイント

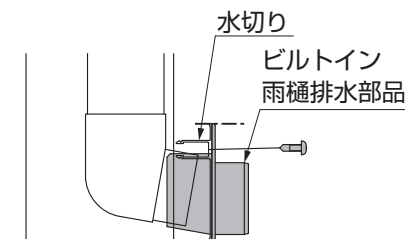
- 前面側の水切りの前面と側面側の水切りコーナー塞ぎの柱側端部を揃えて取付けてください。

側面側

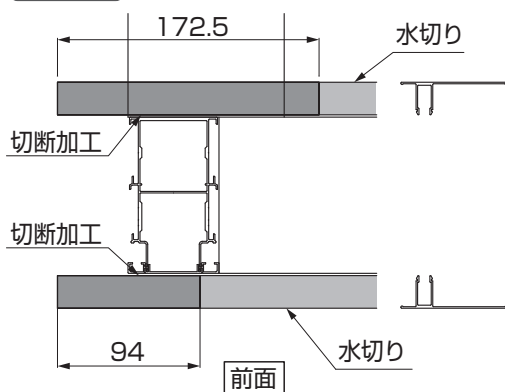
▼揃える

ポイント

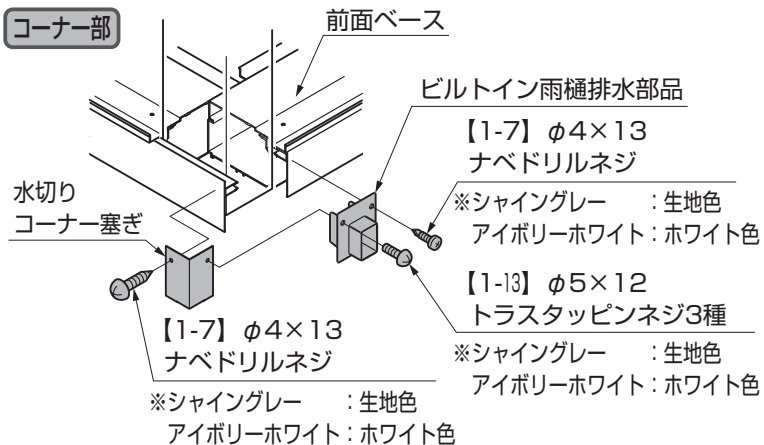
- 水切りの高さに合わせてビルトイン雨樋排水部品を取付けてください。



コーナー部

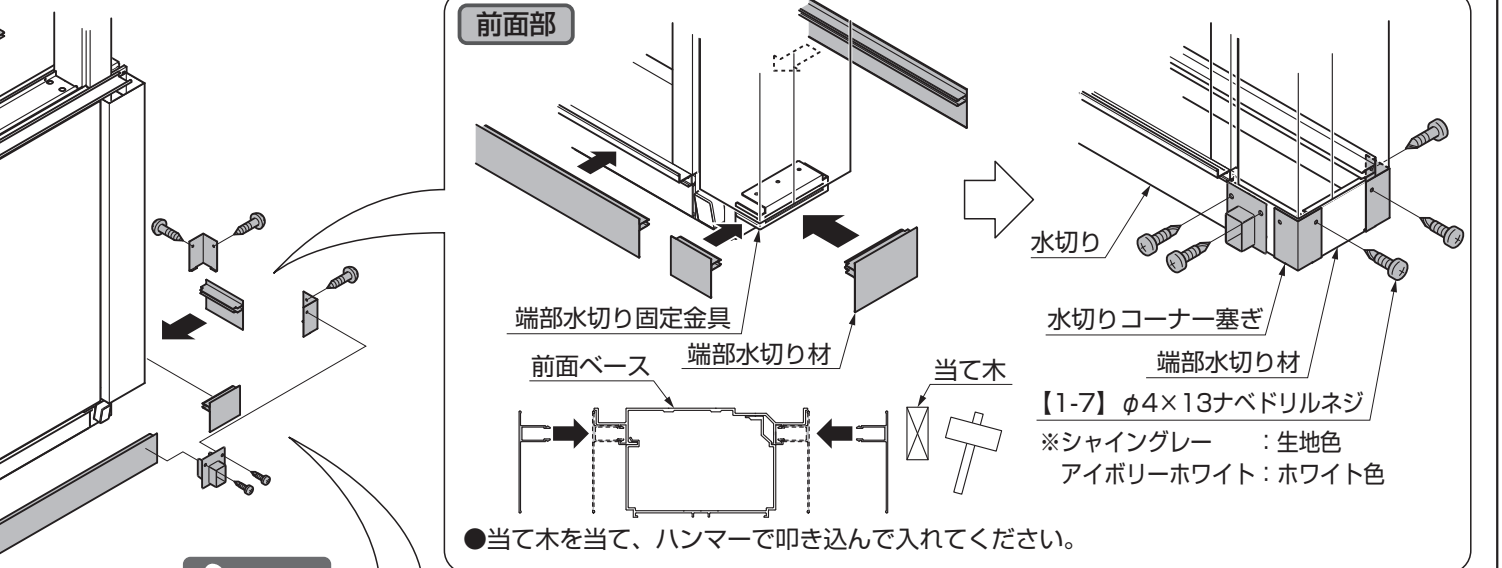


コーナー部



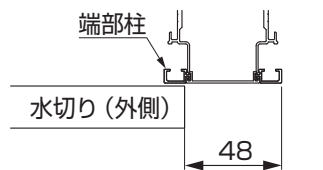
- ①水切りを前面ベースに、端部水切り材を端部水切り固定金具に取付けてください。
- ②水切りコーナー塞ぎを水切りに【1-7】で取付けてください。
- ③ビルトイン雨樋排水部品を水切りと水切りコーナー塞ぎに【1-7】 【1-13】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

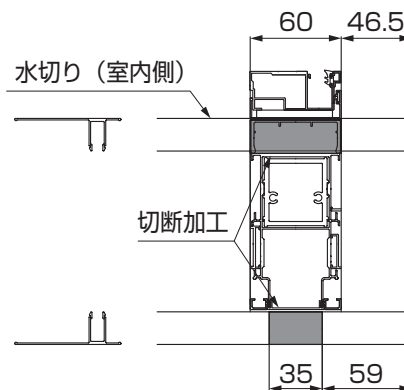


ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】

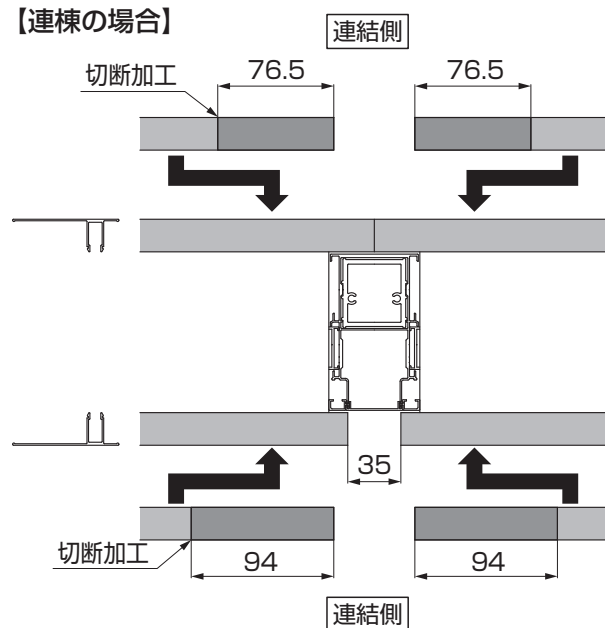


- 外側の水切りは端部柱外側から48mmの位置に取付けてください。



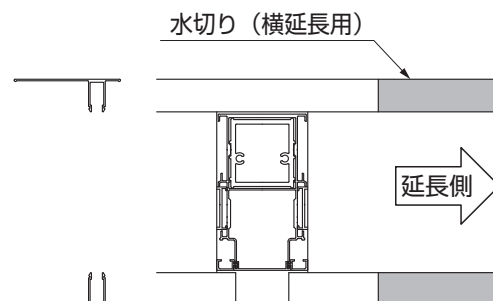
- 内側の水切りは60mmの隙間をあけ、切断加工して取付けます。また、内面立上げの場合は室内側の水切りは取付け不要です。

【連棟の場合】



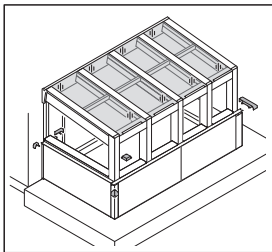
- 内側の水切りを76.5mmずつ、外側の水切りを94mmずつ切断して取付けます。

【横延長の場合】



- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

9. キャップ類の取付け

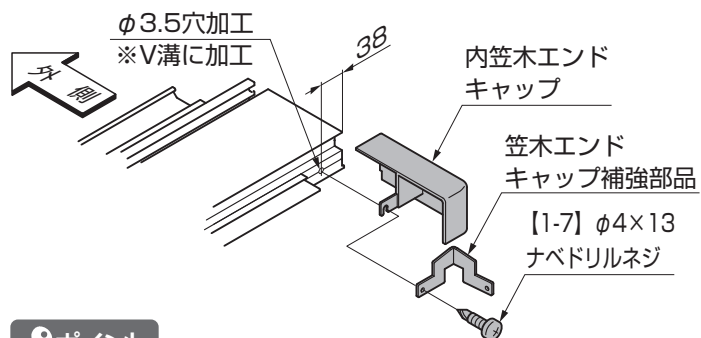


ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。

L字部

【サイドスルータイプの場合のみ】



ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



- 内笠木エンドキャップは、開口部取付後の作業になります。

L字部

外笠木エンドキャップ

φ3.5穴加工
※V溝に加工

38

外側

笠木エンド
キャップ補強部品

【1-7】φ4×13ナベドリルネジ

※サイドスルータイプ
のみ取付け

【笠木エンドキャップの取付け】

- ①腰壁ベース材にφ3.5の穴加工をし、笠木エンドキャップと笠木エンドキャップ補強材を【1-7】で取付けてください。

【笠木コーナーキャップの取付け】

- ①外笠木コーナーキャップを外笠木受けに当てがい、φ5の写し穴加工をしてください。
- ②外笠木コーナーキャップと笠木コーナーキャップ補強部品を外笠木受けに【1-6】で取付けてください。

【笠木端部キャップの取付け】

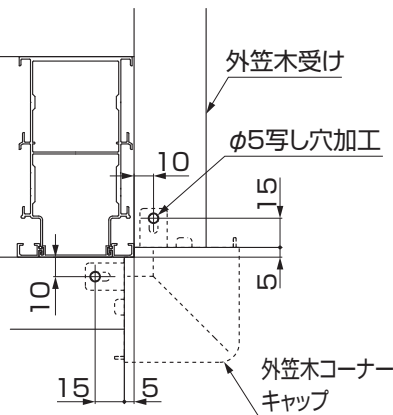
- ①腰壁ベース材（端部用）にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材（端部用）に挿入し、【1-6】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材（端部用）に差込み、【1-6】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材（端部用）に【1-7】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材（端部用）に【1-7】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

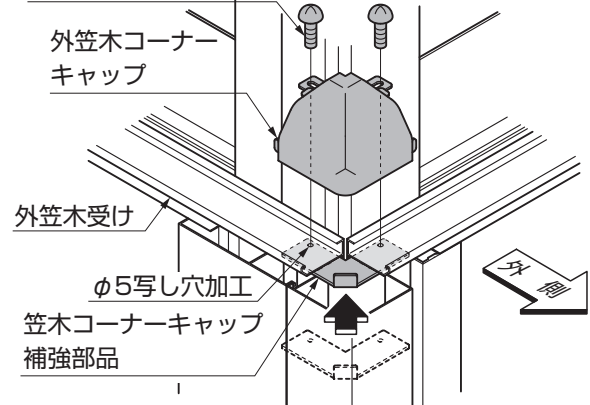
コーナー部

ポイント

- 外笠木コーナーキャップを当てて、穴加工位置を出してください。



【1-6】φ4×12トラス タッピンネジ3種



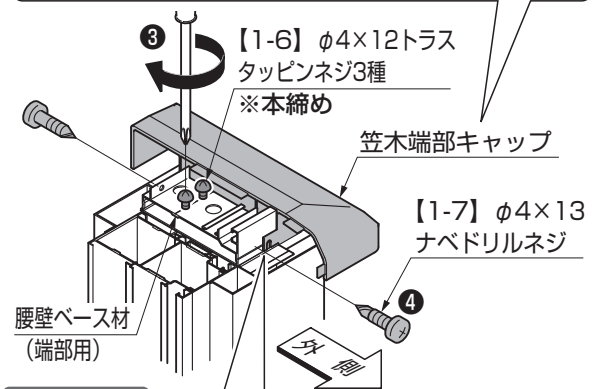
腰壁ベース材

前面腰壁側



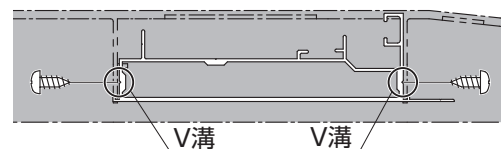
ポイント

- 笠木端部キャップは腰壁ベース材（端部用）につき当てて取付けてください。

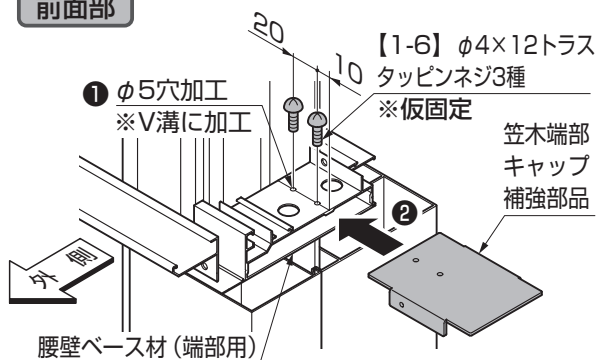


ポイント

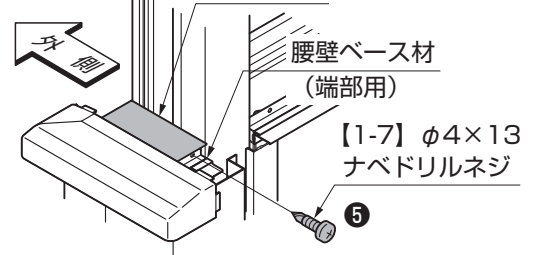
- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようにV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。



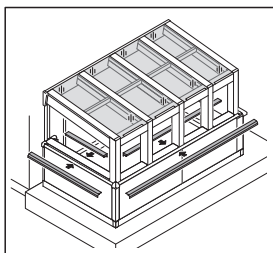
前面部



笠木カバー



10. 笠木の取付け



ポイント

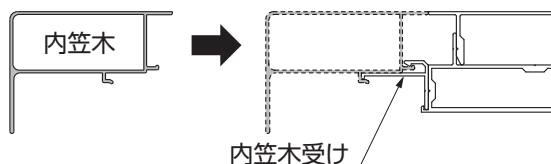
- 部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

ポイント

L字部

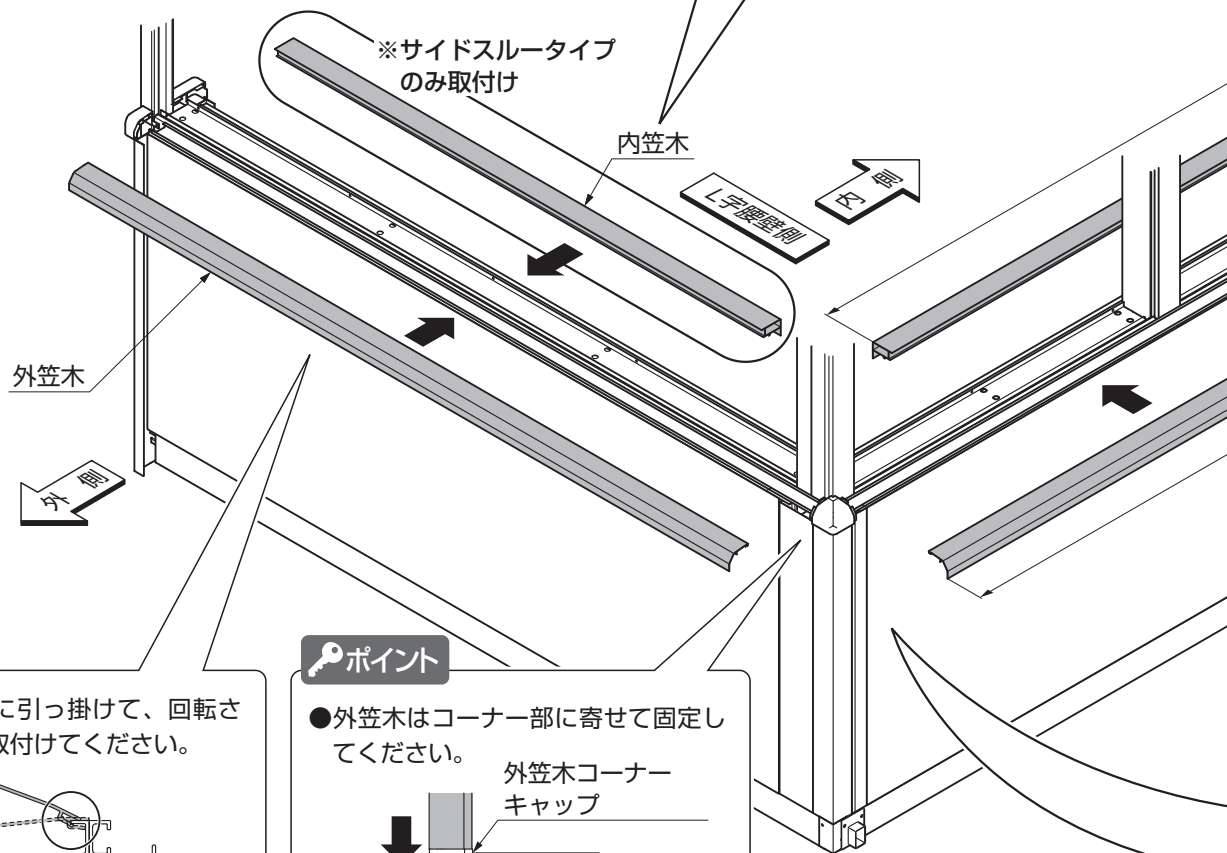
【サイドスルータイプの場合】 ST

- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。



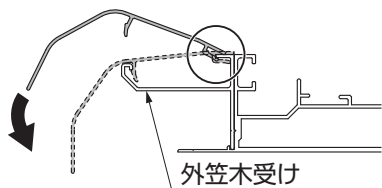
【ガーデンルームタイプの場合】 GR

- 内笠木の取付けは「ココマⅡ 側面 開口部 取付 説明書 (E418)」にて行ないます。本手順では取付けを行なわないでください。



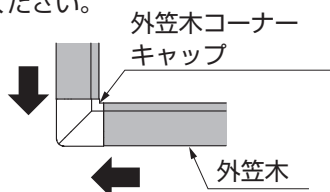
ポイント

- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



ポイント

- 外笠木はコーナー部に寄せて固定してください。



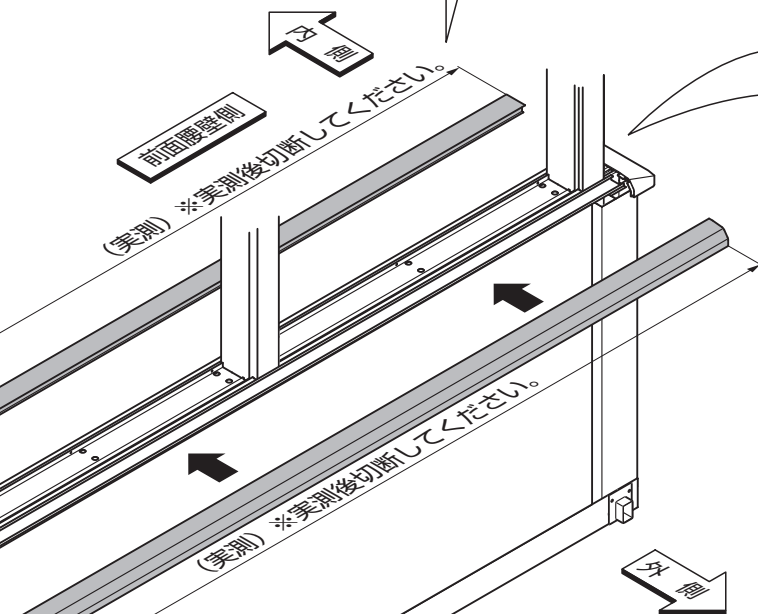
① 笠木を笠木受けに取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

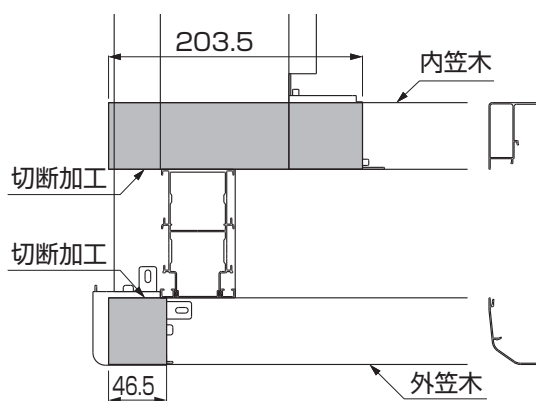
ポイント

前面部

- 前面部の内笠木は「18 前面開口の施工」の各パネル施工の際に取付けを行ないます。
本手順では、加工のみ行なってください。

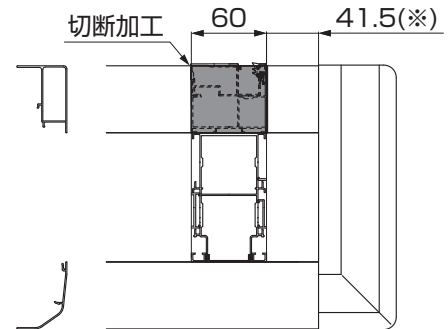


コーナー部



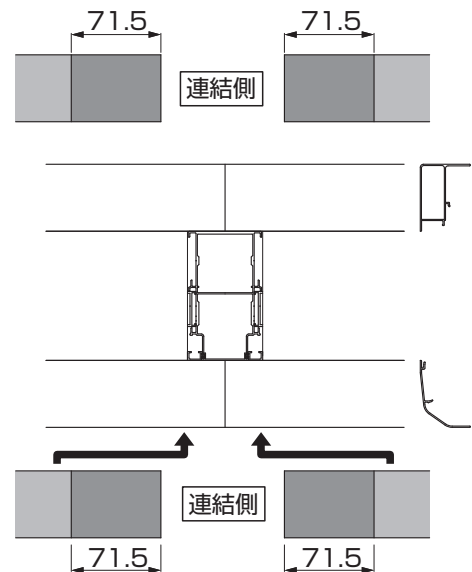
ポイント

【ガーデンルームの場合】



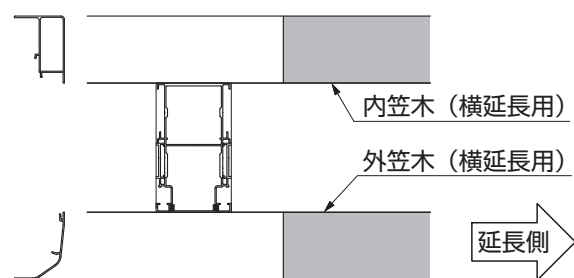
- 内笠木は60mmのすき間をあけ切断してください。
※寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。
また、端部の内笠木は内笠木受けにシーリング後、取付けてください。

【連棟の場合】



- 内笠木、外笠木を71.5mmずつ切断してください。

【横延長の場合】



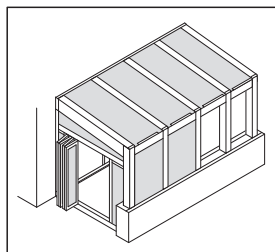
- 単体の部材に継ぎ足して取付けます。

17 ガーデンルームプラスタイプのカバーの施工

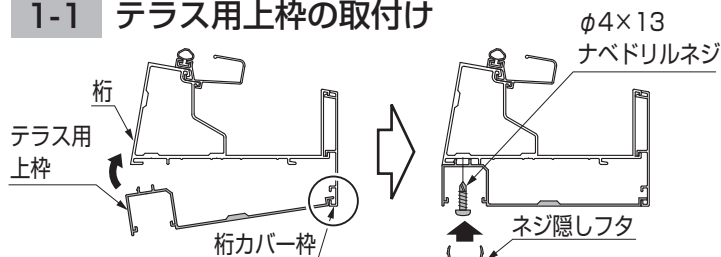
1. テラス用上枠、柱カバー、笠木カバーの取付け

※ガーデンルームプラスタイプでオープンテラスを接続する場合、オープンテラス部分のスパンを施工する手順です。

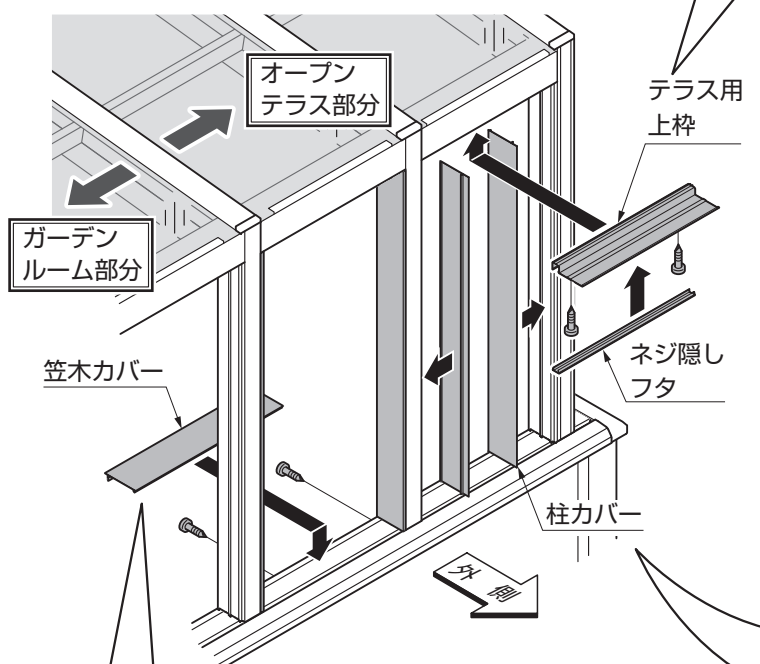
タイプ	腰壁	床	土間	地域
GR				



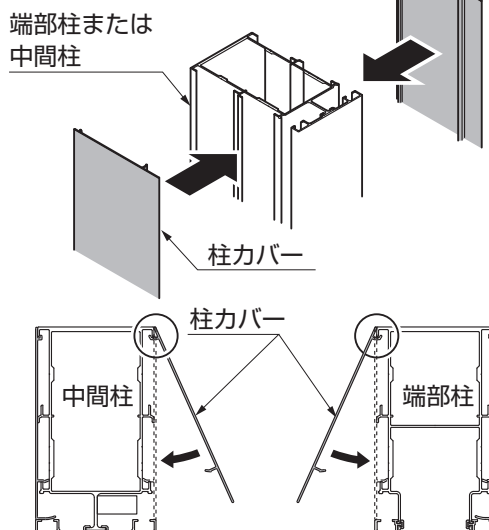
1-1 テラス用上枠の取付け



- ① テラス用上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ② ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。



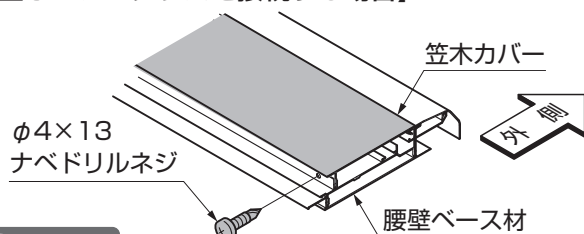
1-2 柱カバーの取付け



- ① 柱に柱カバーをはめ込んでください。

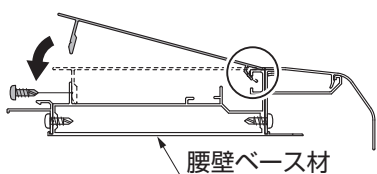
1-3 笠木カバーの取付け

【腰壁オープンテラスを接続する場合】



ポイント

- 腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

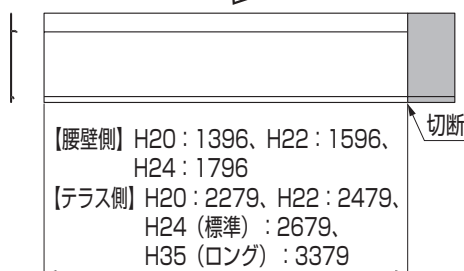
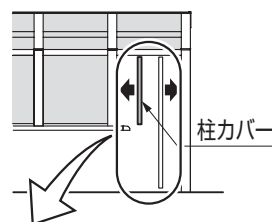


- ① 笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

ポイント

【基本オープンテラスを接続する場合】

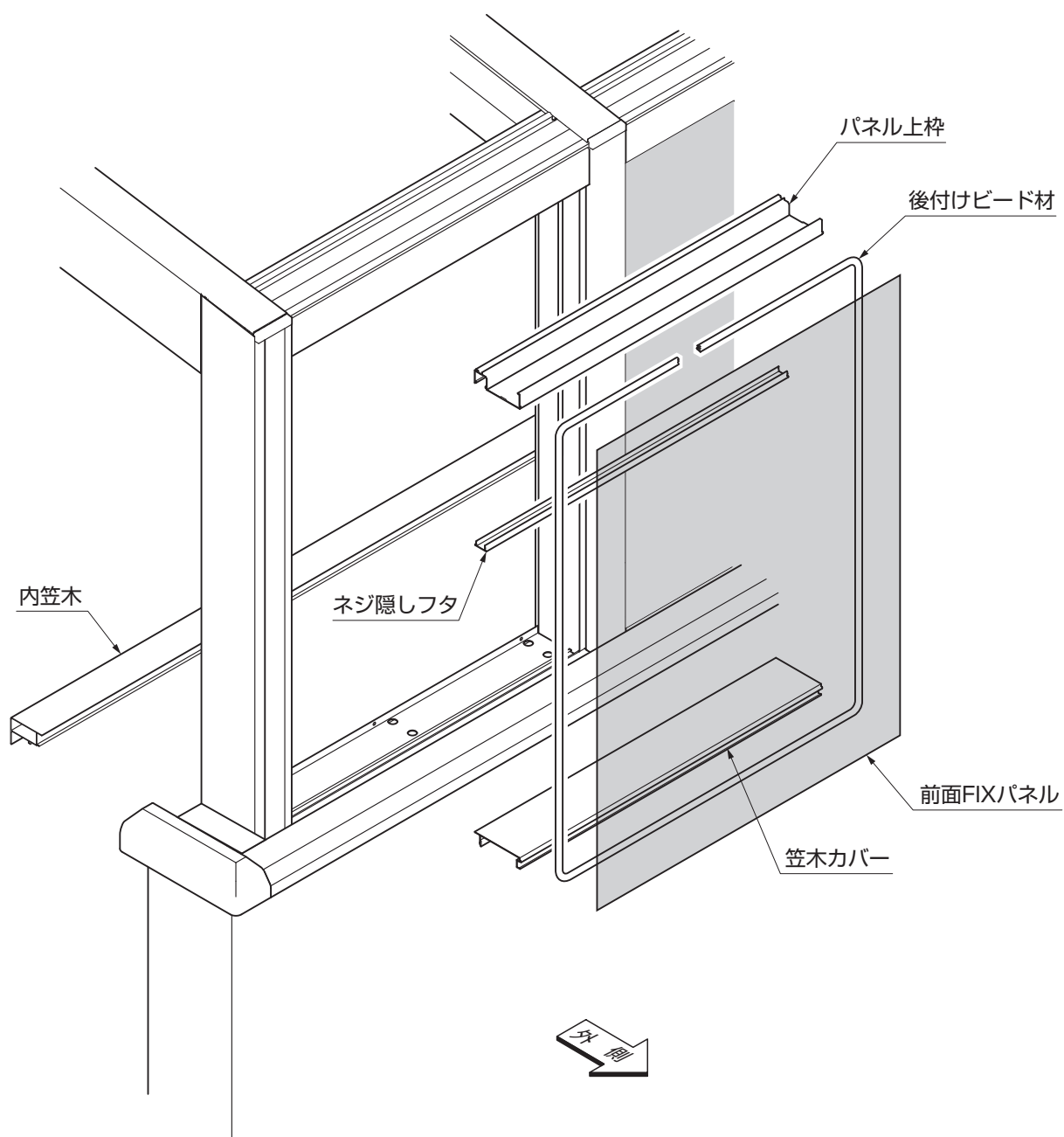
- 図の位置の柱カバーは必要に応じて切断の上、取付けてください。



18 前面開口の施工

1. 腰壁FIXパネルの取付け

1-1 各部の名称



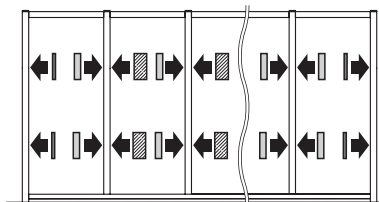
1. (つづき)

1-2 セッティングブロックの取付け

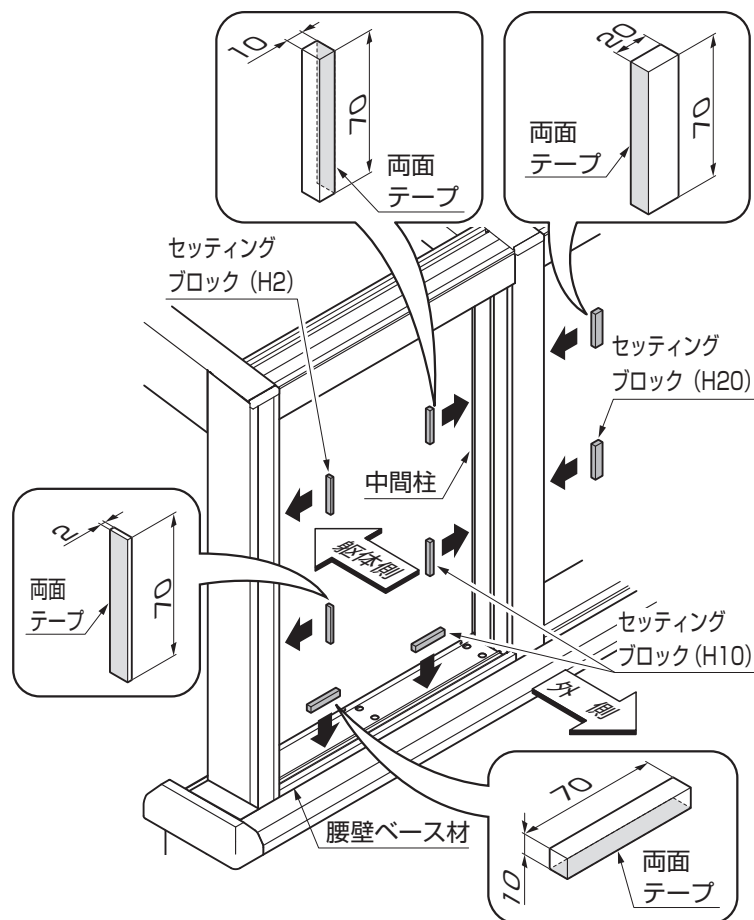
- ①セッティングブロック (H10) を腰壁ベース材及び中間柱に取付けてください。
- ②セッティングブロック (H20) を中間柱に取付けてください。
- ③セッティングブロック (H2) を端部柱に取付けてください。

ポイント

- 柱に取付けるセッティングブロックは、下図のようにしてください。

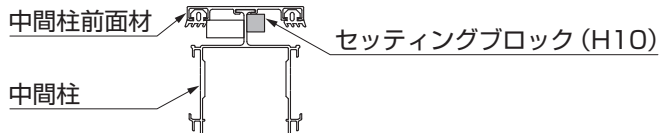


- | : セッティングブロック (H2)
- || : セッティングブロック (H10)
- ▨ : セッティングブロック (H20)

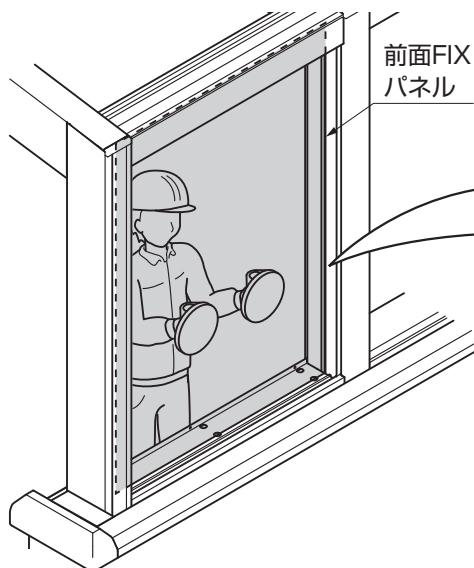


ポイント

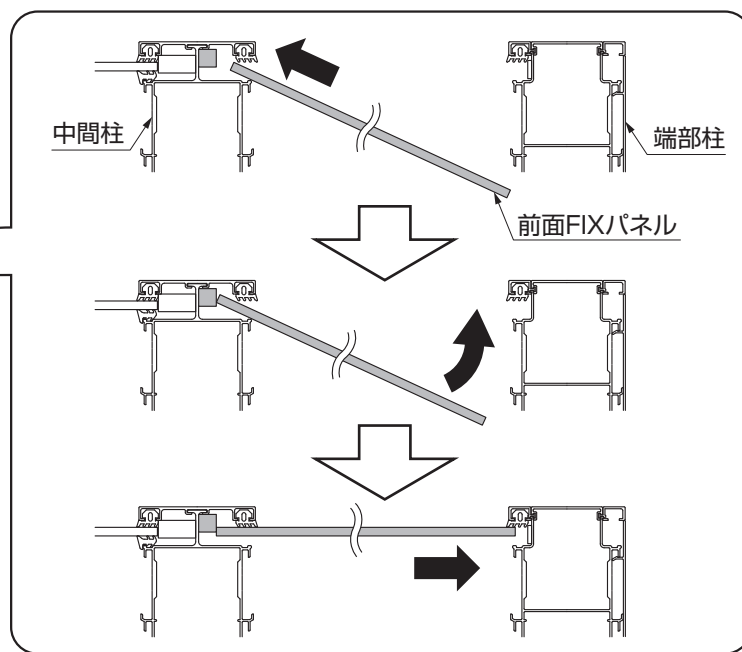
- セッティングブロック (H10) は中間柱前面材側にに取り付けて下さい。
中間柱前面材側にに取り付けていない場合は前面FIXパネルが取り付け出来ない恐れがあります。



1-3 前面FIXパネルの取付け

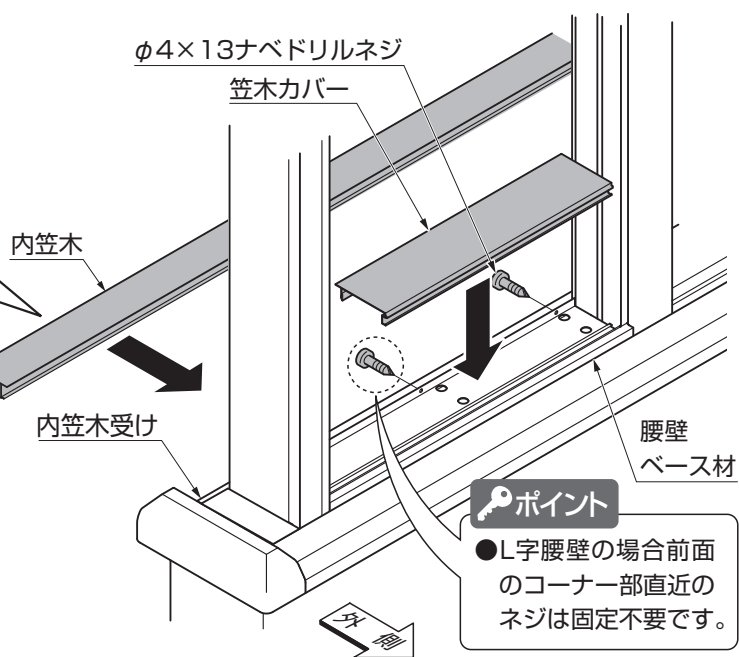
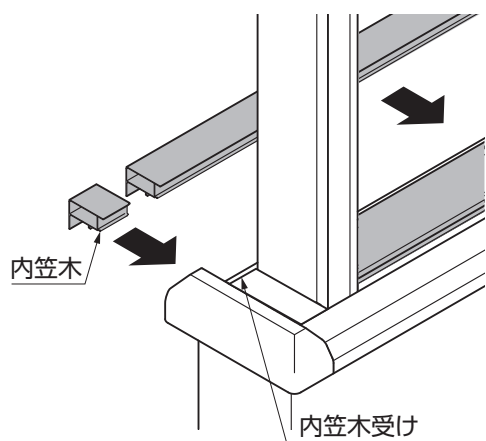


- ①前面FIXパネルをはめ込んでください。



1-4 笠木カバー、内笠木の取付け

【ガーデンルームタイプの場合】



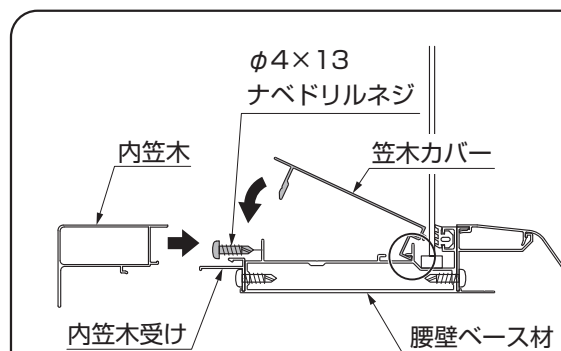
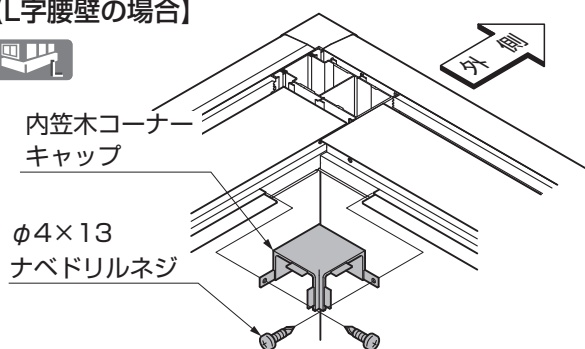
ポイント

【L字腰壁の場合】



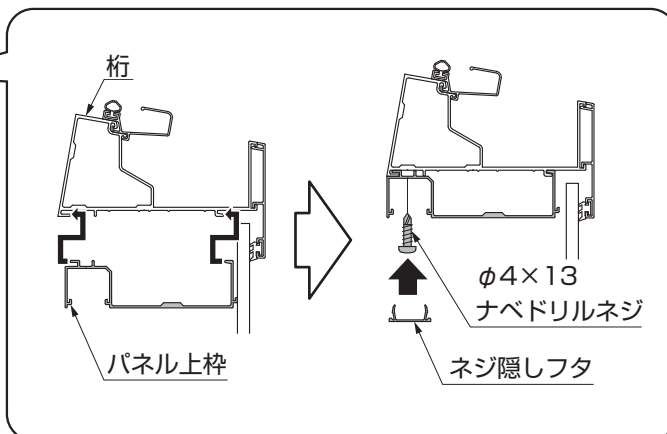
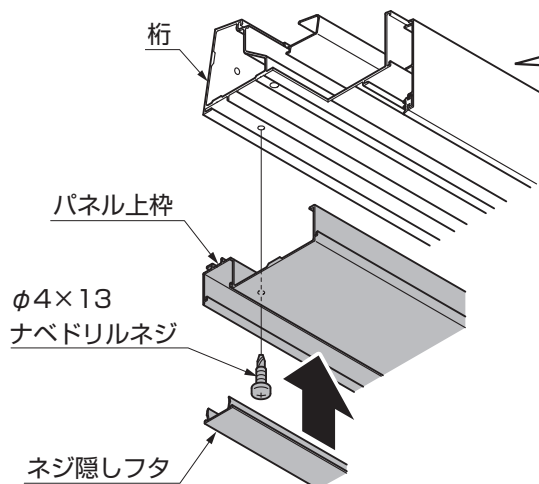
内笠木コーナー
キャップ

φ4×13
ナベドリルネジ



- ①笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ②内笠木を内笠木受けにはめ込んでください。

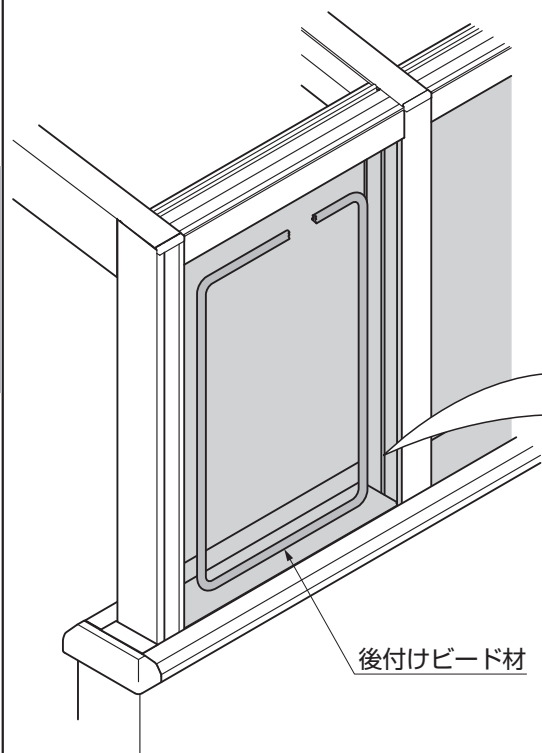
1-5 パネル上枠の取付け



- ①パネル上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをパネル上枠にはめ込んでください。

1. (つづき)

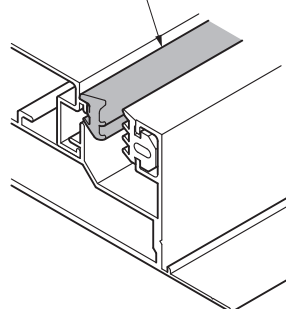
1-6 後付けビード材の取付け



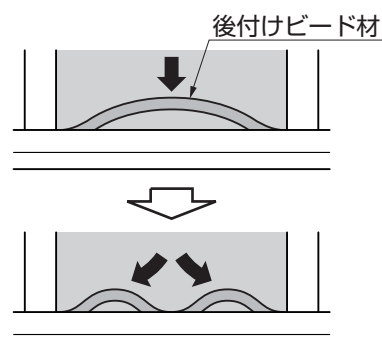
ポイント

●後付けビード材には、取付ける向きがあります。

後付けビード材

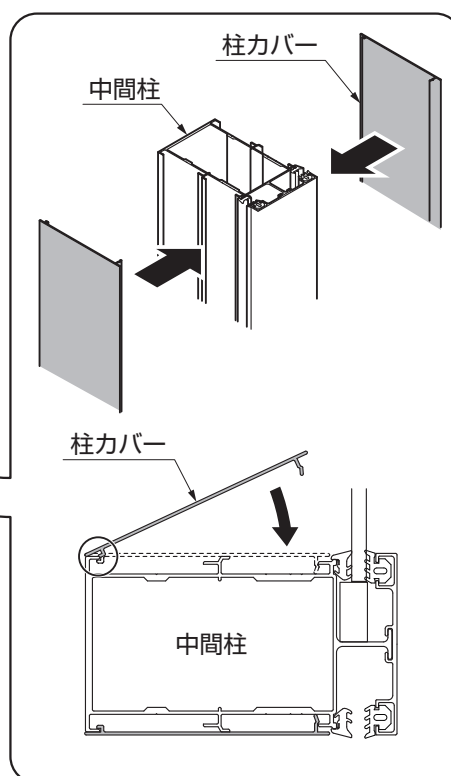
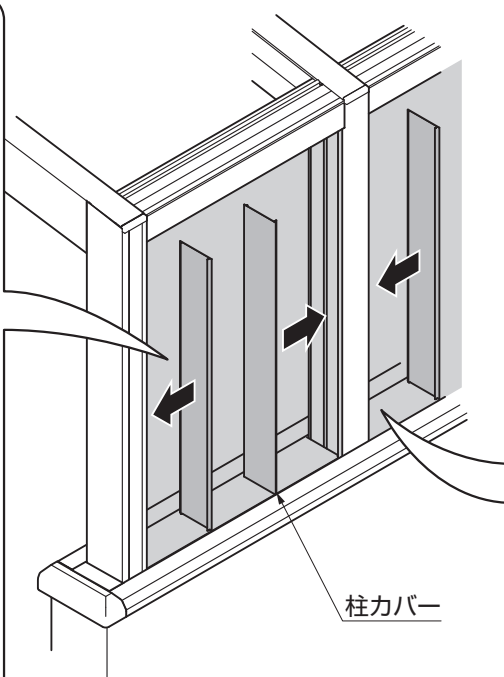
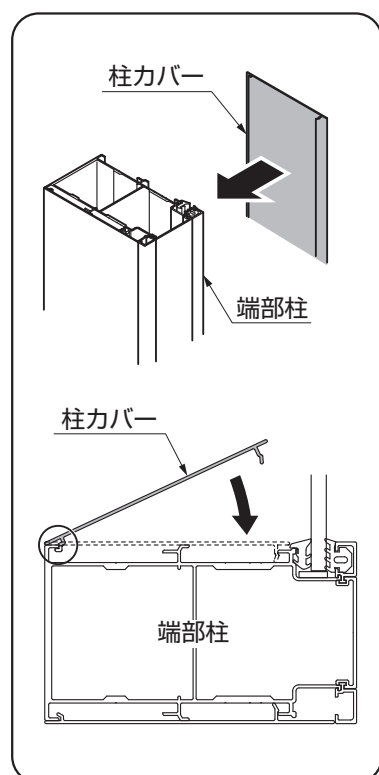


●中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、たるみ部分の中心から広げるように押込んでください。



①後付けビード材を押込んでください。

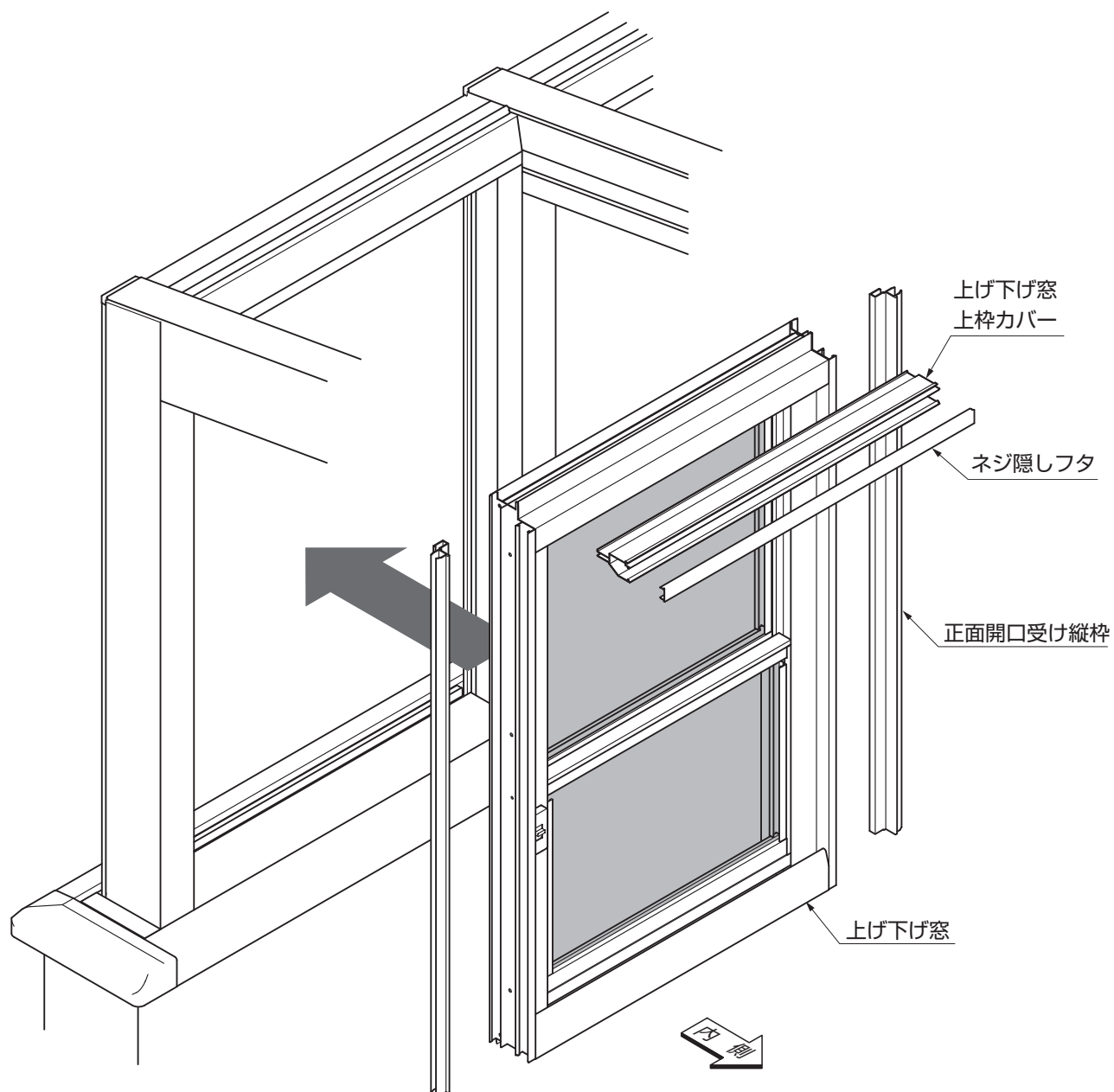
1-7 柱カバーの取付け



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

2. 上げ下げ窓の取付け

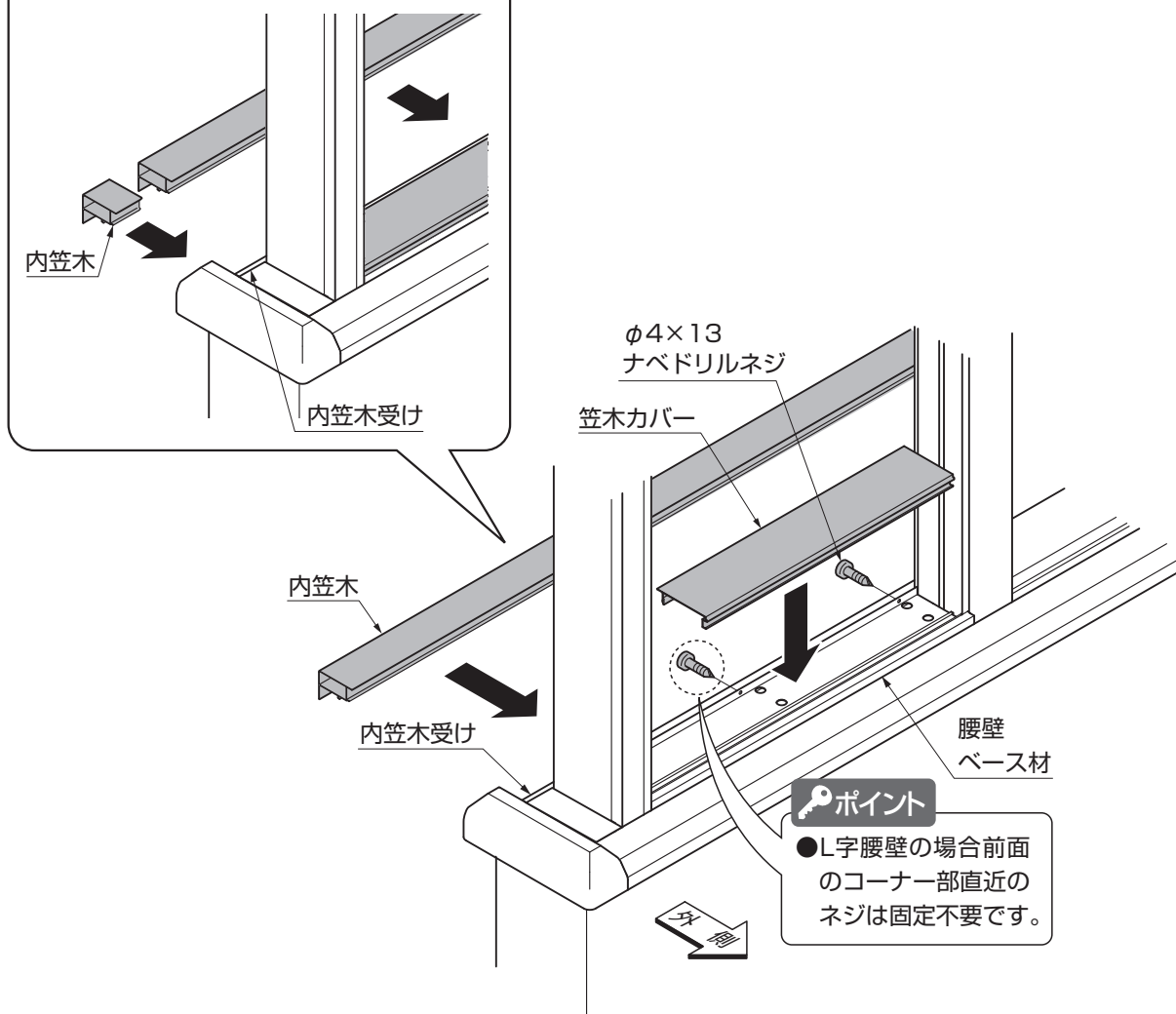
2-1 各部の名称



2. (つづき)

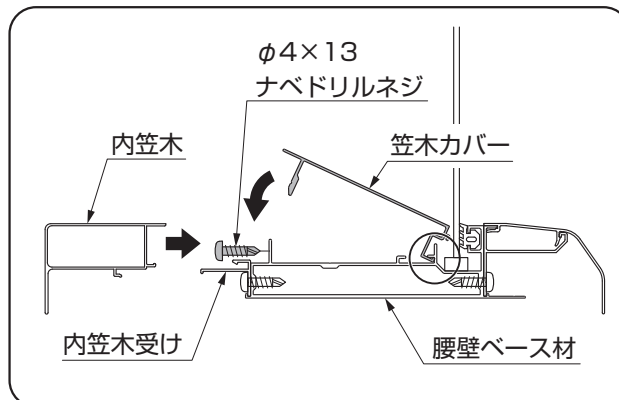
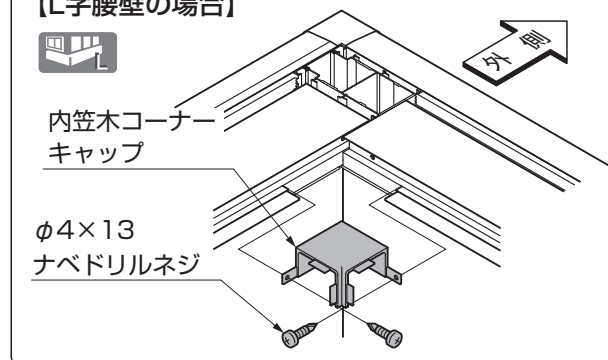
2-2 カバーの取付け

【ガーデンルームタイプの場合】



ポイント

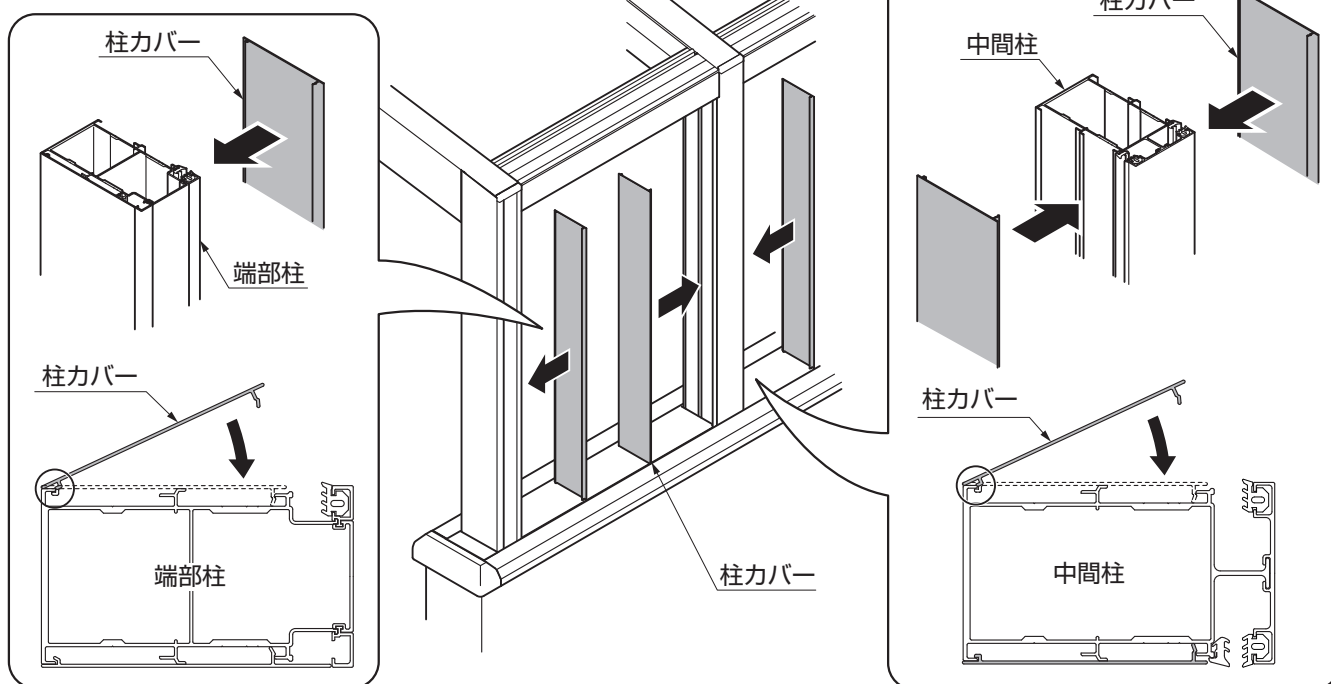
【L字腰壁の場合】



① 笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

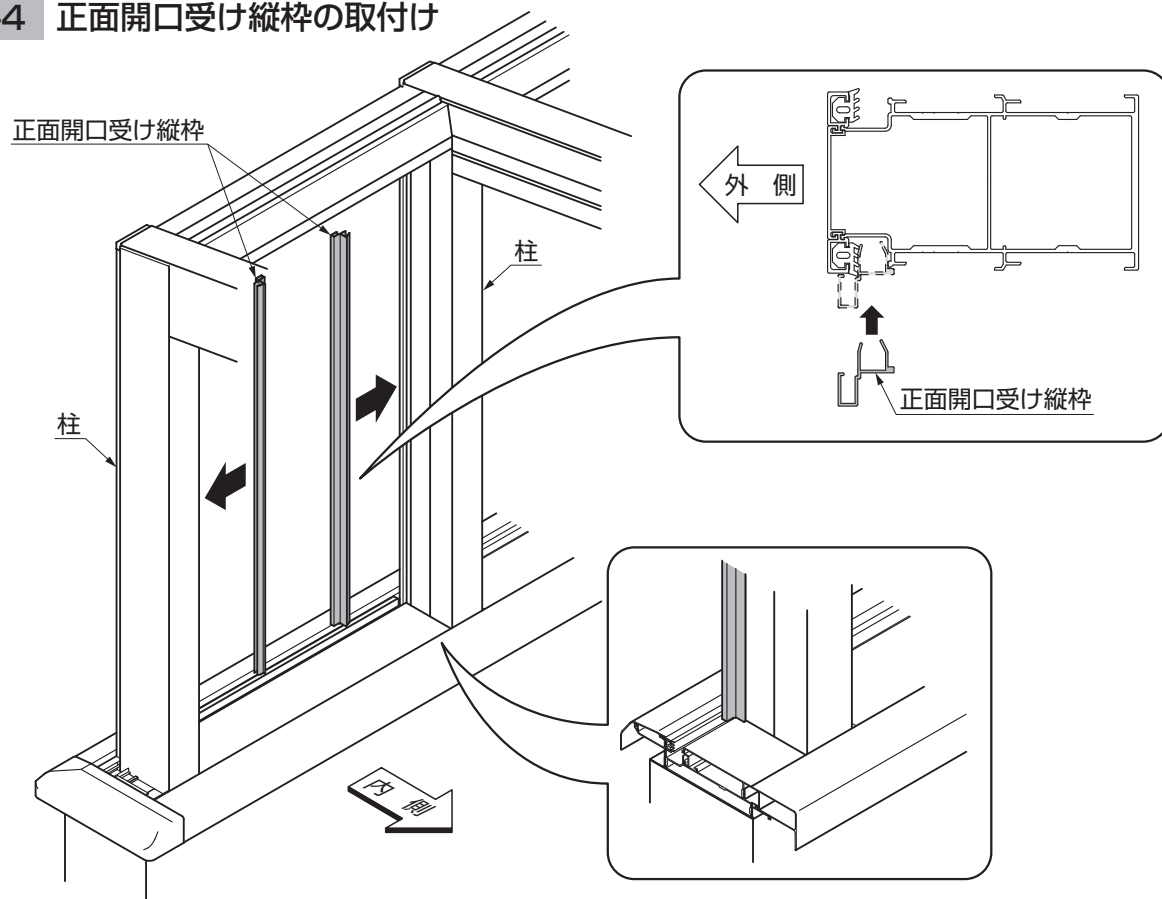
② 内笠木を内笠木受けにはめ込んでください。

2-3 柱カバーの取付け



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

2-4 正面開口受け縦枠の取付け



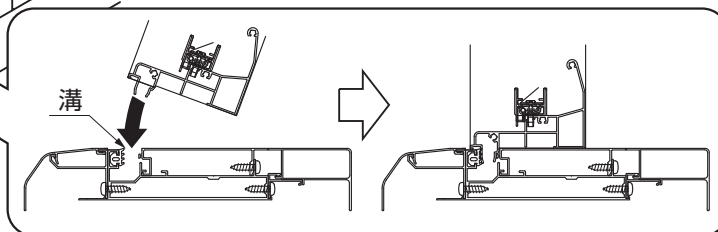
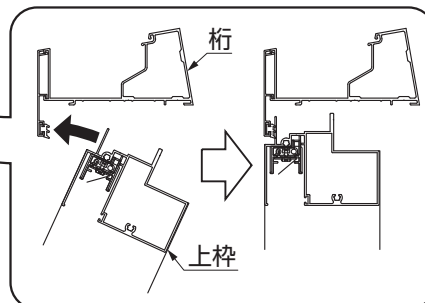
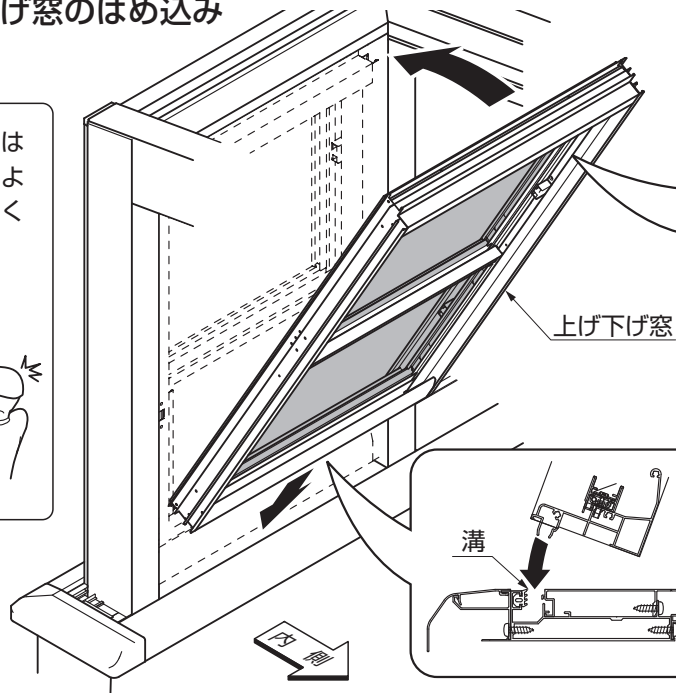
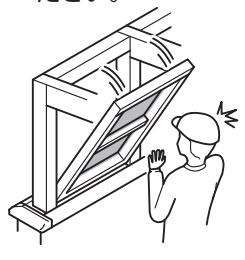
①正面開口受け縦枠を柱にはめ込んでください。

2. (つづき)

2-5 上げ下げ窓のはめ込み

⚠ 注意

- はめ込んだ後は落ちてこないように注意してください。



- ① 上げ下げ窓の下枠をベース溝に差込みながらはめ込んでください。

2-6 上げ下げ窓の固定

【61-1】φ4×40
サドドリルネジ

上げ下げ窓
上枠カバー

ネジ隠しフタ

【61-2】φ4×35
ナベドリルネジ

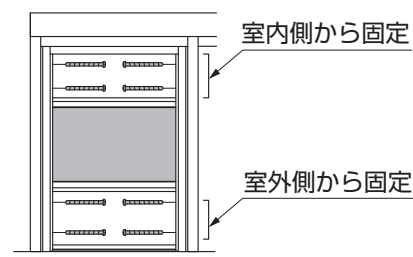
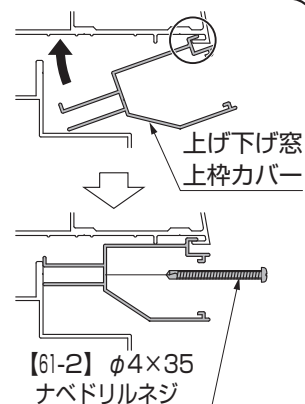
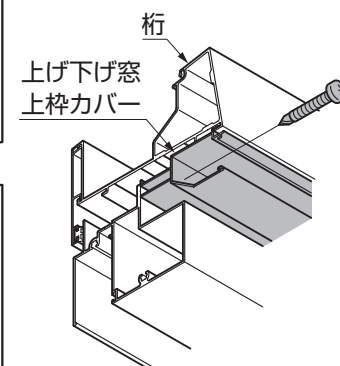
中間柱

上げ下げ窓

端部柱

🔑 ポイント

- 上げ下げ窓の固定は上げ下げ窓を開けた状態で一体の網をさけて【61-1】を取付けてください。



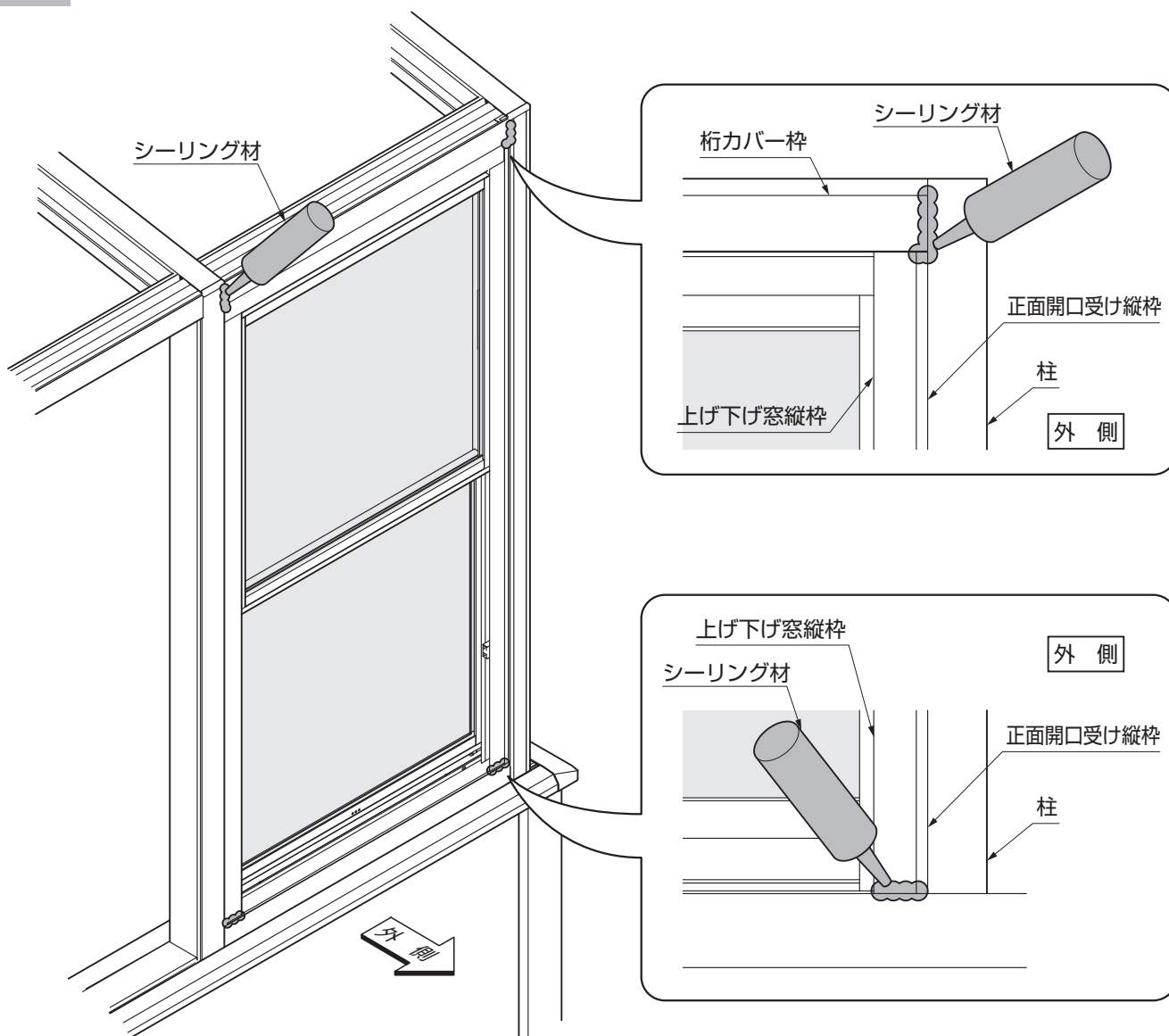
- ① 上げ下げ窓を【61-1】で柱に取付けてください。
- ② 上げ下げ窓上枠カバーを桁に引っ掛けて、上げ下げ窓に【61-2】で取付けてください。
- ③ ネジ隠しフタを上げ下げ窓上枠カバーに取付けてください。

🔑 ポイント

- 積雪地3000N（100cm相当）仕様の場合、手順③の後にサブ垂木を取付けてください。（詳細は本取説

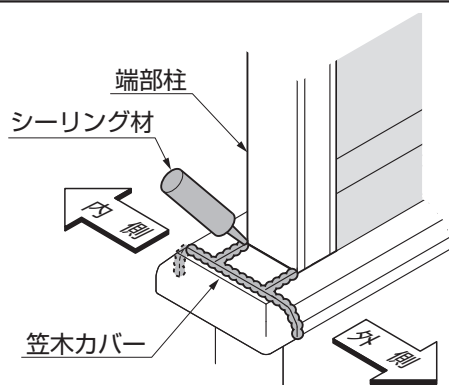
13 フレーム施工 15-3 サブ垂木化粧材の取付を参照してください。）

2-7 シーリング処理（上げ下げ窓の場合）



①シーリング処理をしてください。

3. シーリング処理



①指定の箇所にシーリングをしてください。

ポイント

- シーリングを塗布する際はマスキングテープを使用し、平滑になるようへらなどを使用して仕上げてください。

19 タイルの張付け

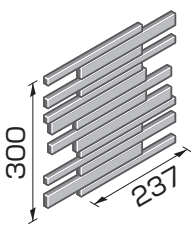
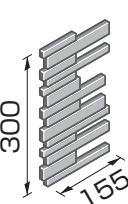
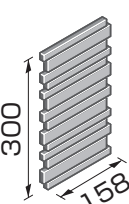
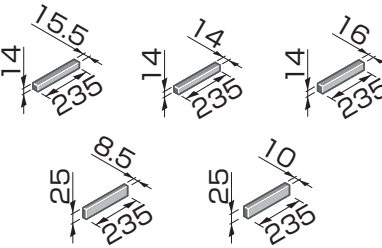
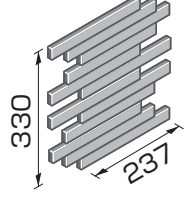
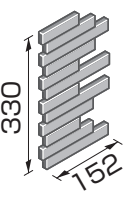
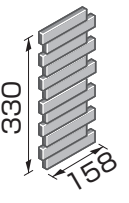
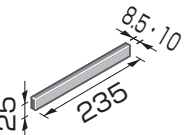
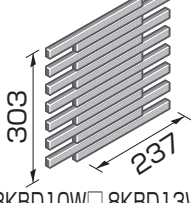
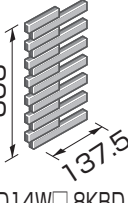
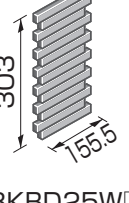
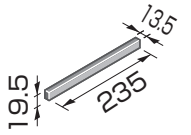
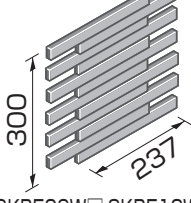
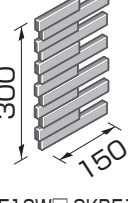
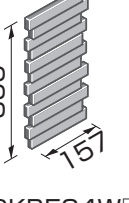
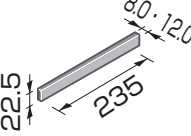
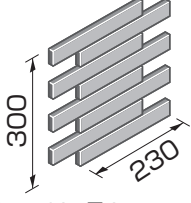
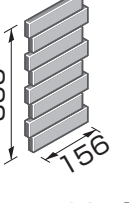
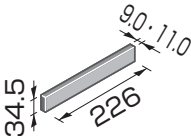
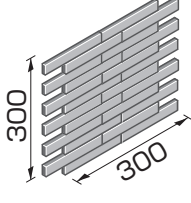
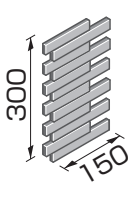
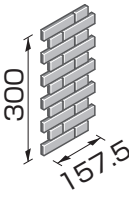
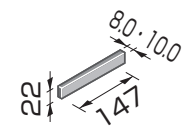
ポイント

【カウンターテーブルを取付ける場合】

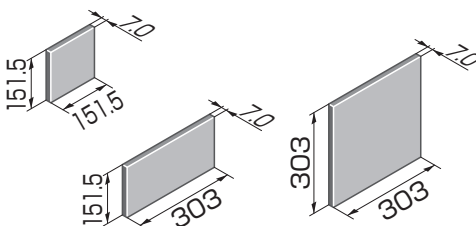
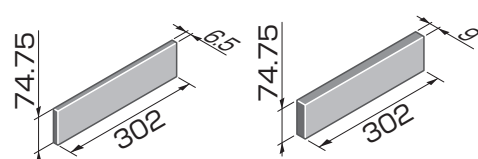
「E378 カウンターテーブル取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

1. 梱包明細表

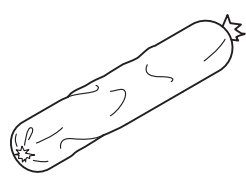
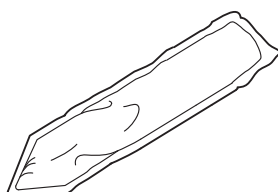
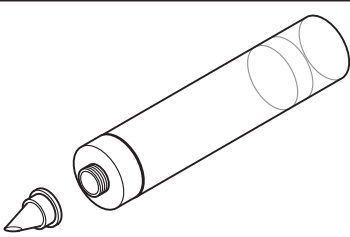
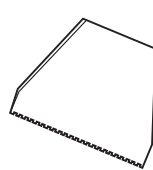
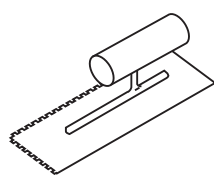
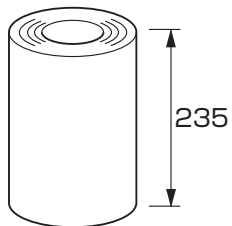
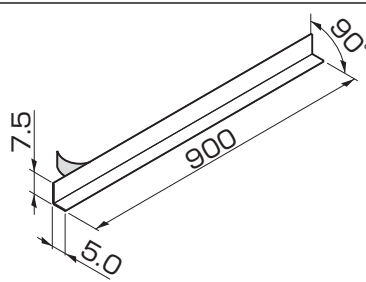
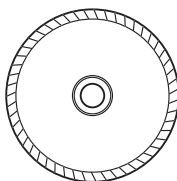
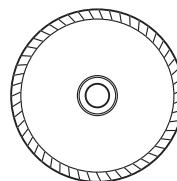
※寸法は目地共寸法です。(調整用平のみ実寸法)

商品名	標準平ユニット	出幅用平ユニット	小口面ユニット	調整用平
ルミノス 目地幅 縦：2mm 横：3mm 商品コード	 8KBG08W□, 8KBG11W□	 8KBG13W□, 8KBG15W□	 8KBG26W□	 8KBG27W□
寂雅楽(さびうた)Ⅱ 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm 商品コード	 8KBC08W□, 8KBC09W□	 8KBC10W□, 8KBC11W□	 8KBC27W□	 8KBC28W□
細割りボーダー (標準割面) 目地幅 縦：2mm 横：2.1mm 商品コード	 8KBD10W□, 8KBD13W□	 8KBD14W□, 8KBD16W□	 8KBD25W□	 8KBD26W□
サイモン 目地幅 縦：2mm 横：2.5mm 商品コード	 8KBE09W□, 8KBE12W□	 8KBE13W□, 8KBE17W□	 8KBE24W□	 8KBE25W□
メルヴィオコリーナ 目地幅 縦：4mm 横：3mm 商品コード	 8KBH08W□, 8KBH11W□	 8KBH15W□, 8KBH18W□	 8KBH23W□	 8KBH24W□
セラヴィオR 目地幅 縦：3mm 横：3mm 商品コード	 8KBJ09W□, 8KBJ12W□	 8KBJ13W□, 8KBJ14W□	 8KBJ22W□	 8KBJ24W□

エコカラットプラス ※寸法は実寸法です。

商品名		商品名	
ストーンⅡ 異形状セット		ラフウォーツ	
商品コード	8KBX01V□	商品コード	8KBY01V□

施工部材形状一覧

商品名	外装用弾性接着剤	エコカラット用接着剤	
商品コード	8KBQ01ZZ	8KBR01ZZ	
材質	変成シリコン系 1kgアルミパック	アクリルエマルション系 1kg樹脂パック	
形状			
商品名	接着剤用アダプターノズルセット	3mmクシ目ヘラ	3mmクシ目コテ
商品コード	8KBQ05ZZ	8KBQ06ZZ	8KBQ07ZZ
材質	PE	PE	ステンレス
形状			
商品名	ジョイントテープ (幅235)	ガイド定規	
商品コード	8KBQ08ZZ	8KBQ14ZZ	
材質	ブチルゴム系	ガルバニウム鋼板 (ブチルゴム系両面テープ付)	
形状			
商品名	タイル用切断刃 (105F)	エコカラット用切断刃	
商品コード	8KBQ10ZZ	8KBR02ZZ	
材質	直径：φ105	直径：φ80	
形状			

2. 施工フロー

ポイント

- 仕上げ材は「はるかべタイル仕上げ」と「エコカラット仕上げ」があります。



はるかべ



エコカラット

「エコカラット仕上げ」はガーデンルームタイプの屋内面のみに施工できます。

はるかべタイル仕上げ

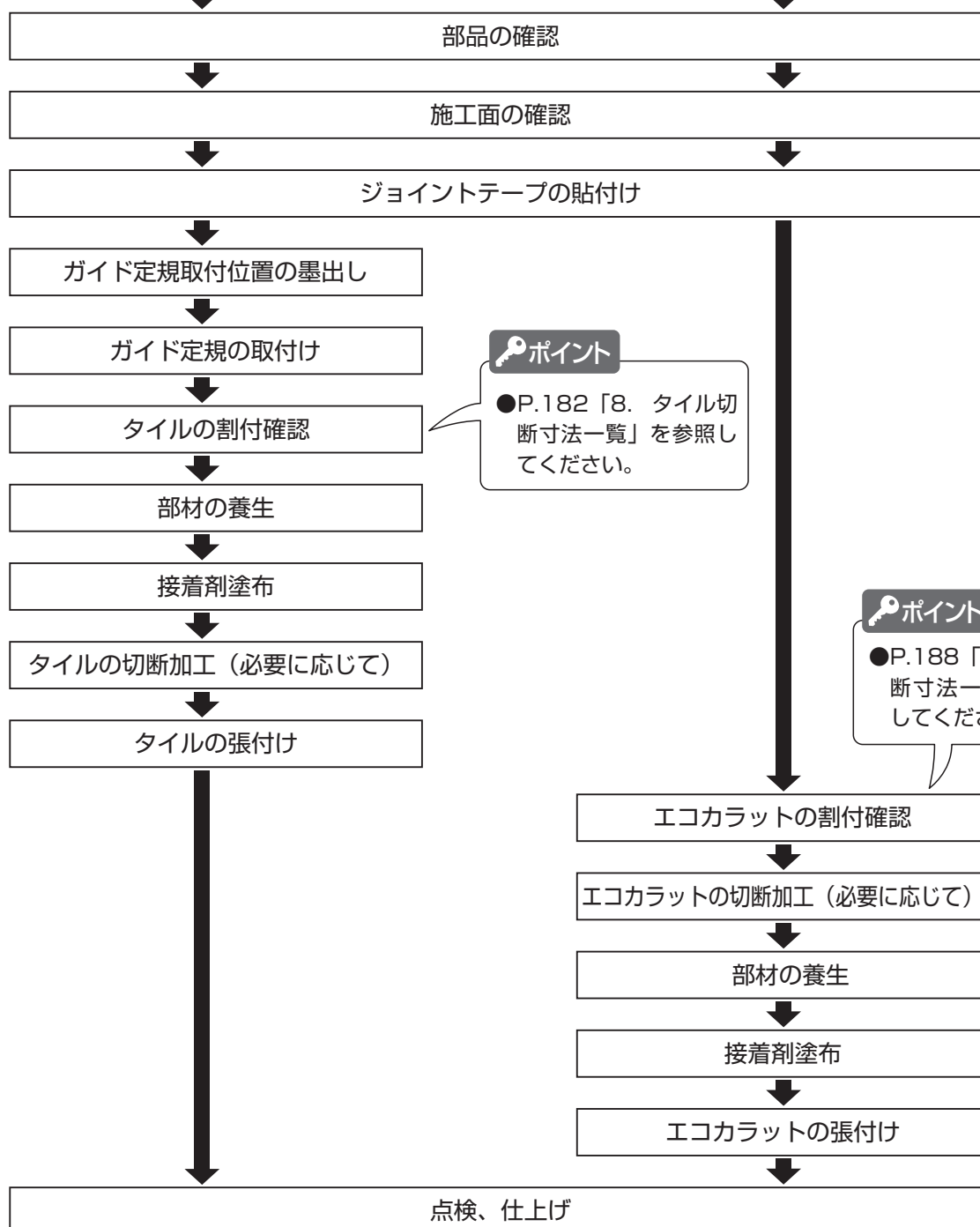


はるかべ

エコカラット仕上げ



エコカラット



ポイント

- P.182「8. タイル切断寸法一覧」を参照してください。

ポイント

- P.188「8. タイル切断寸法一覧」を参照してください。

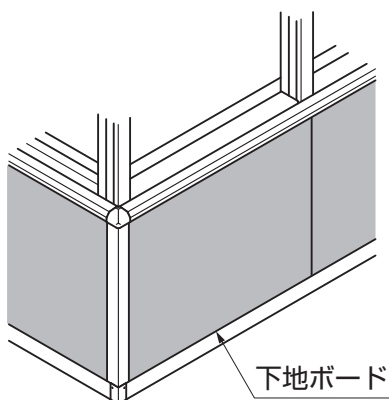
3. 施工面の確認



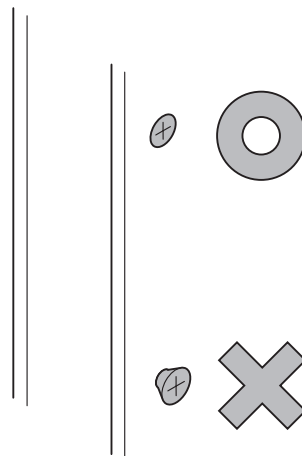
ポイント

●下地ボードが下記の条件になっているか確認してください。
確認できたら ☒ を入れてください。

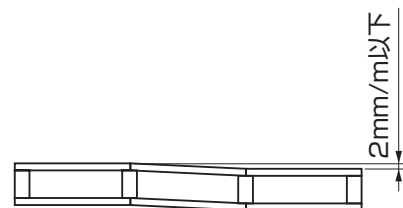
☐ 所定の下地ボードが取付いているか？



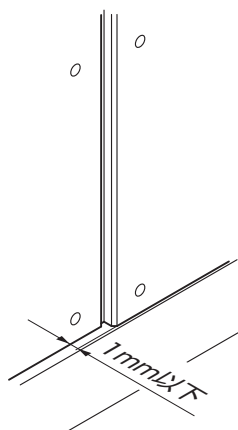
☐ 取付ネジ頭が突出していないか？



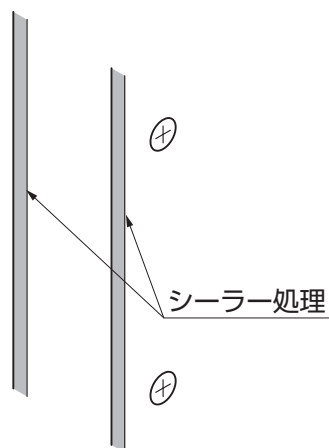
☐ 表面の不陸は2mm/m以下か？



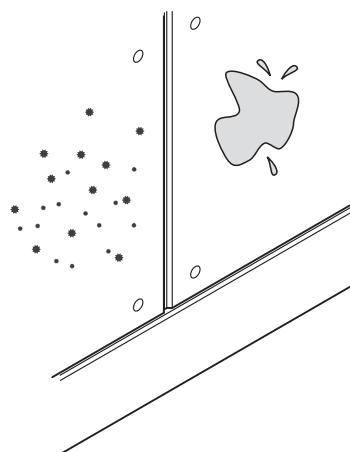
☐ 下地ボード間の段差は1mm以下か？



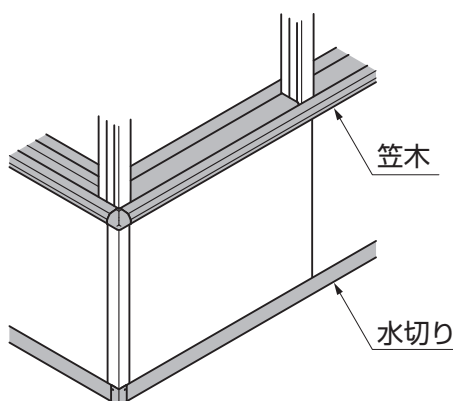
☐ 切断小口面はシーラー処理されているか？
※下地ボードを現場切断した場合のみ



☐ 表面にゴミやホコリ、水濡れはないか？



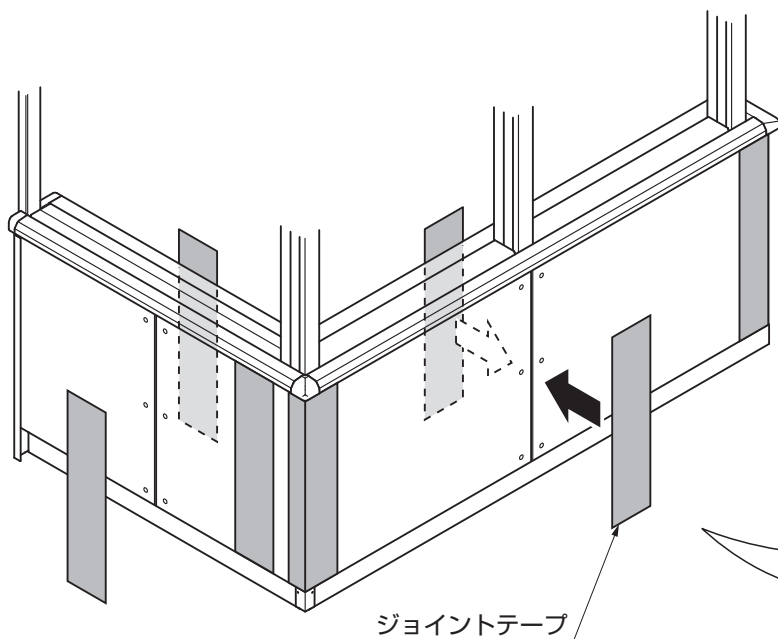
☐ 取付け部品の施工が完了しているか？
(笠木、土台水切りなど)



4. ジョイントテープの貼付け

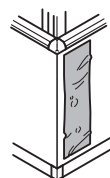


4-1 ジョイントテープ貼付け前の確認

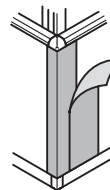


ポイント

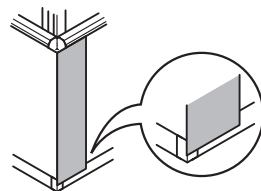
●貼付けの際は、シワや空気が入らないようにしてください。



●テープ同士を重ねて貼付けしないでください。



●下地ボードからはみ出さないように貼付けてください。



補足

●あらかじめ高さに合わせてカットしておくとう作業しやすいです。

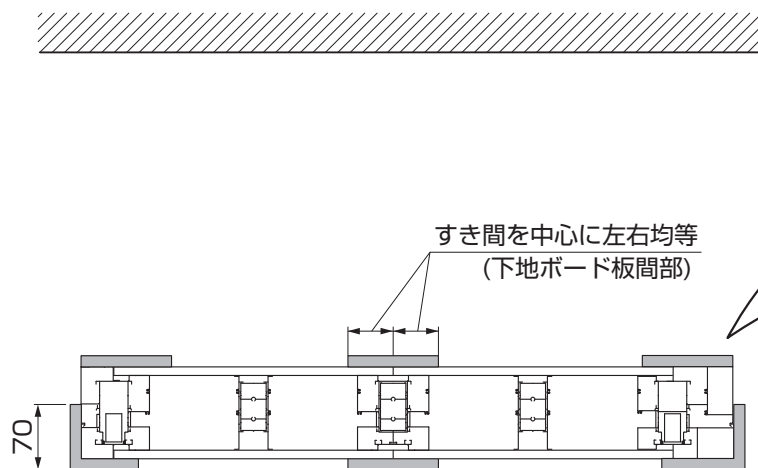
表4-1 テープ必要数量一覧

(単位：mm)

	出幅			間口				
				1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
前面腰壁仕様 (基本タイプ)	4尺～ 10尺		必要長さ	4350	5800	7250	8700	10150
			カット枚数	725×6枚	725×8枚	725×10枚	725×12枚	725×14枚
前面腰壁仕様 (入隅タイプ)	4尺～ 10尺		必要長さ	2900	4350	5800	7250	8700
			カット枚数	725×4枚	725×6枚	725×8枚	725×10枚	725×12枚
L字腰壁仕様	4尺		必要長さ	5800	7250	8700	10150	11600
			カット枚数	725×8枚	725×10枚	725×12枚	725×14枚	725×16枚
	6尺		必要長さ	7250	8700	10150	11600	13050
			カット枚数	725×10枚	725×12枚	725×14枚	725×16枚	725×18枚
	8尺		必要長さ	8700	10150	11600	13050	14500
			カット枚数	725×12枚	725×14枚	725×16枚	725×18枚	725×20枚
	10尺		必要長さ	10150	11600	13050	14500	15950
			カット枚数	725×14枚	725×16枚	725×18枚	725×20枚	725×22枚

4-2 ジョイントテープ貼付け位置

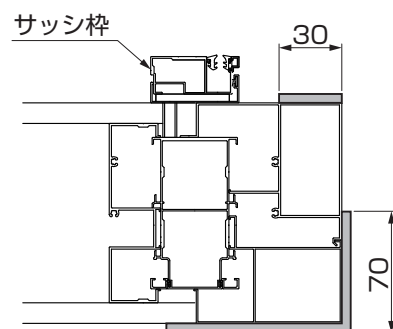
前面腰壁仕様



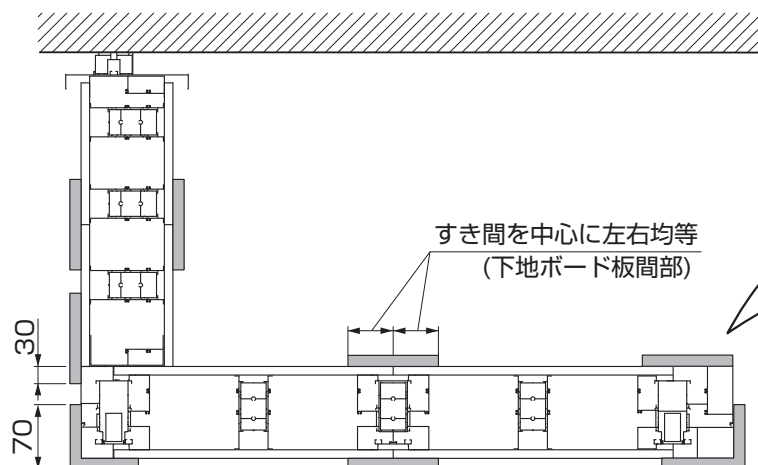
【ガーデンルームタイプの場合】

ポイント

- ジョイントテープを30mmカットしてください。



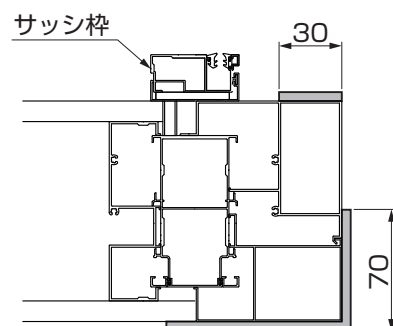
L字腰壁仕様



【ガーデンルームタイプの場合】

ポイント

- ジョイントテープを30mmカットしてください。



①ジョイントテープを貼付けてください。

5. はるかベタイルの施工



5-1 ガイド定規取付位置の墨出し

ポイント



●ガーデンルームタイプの屋内面をエコカラット仕上げにする場合、屋内面に墨出しは行なわないでください。

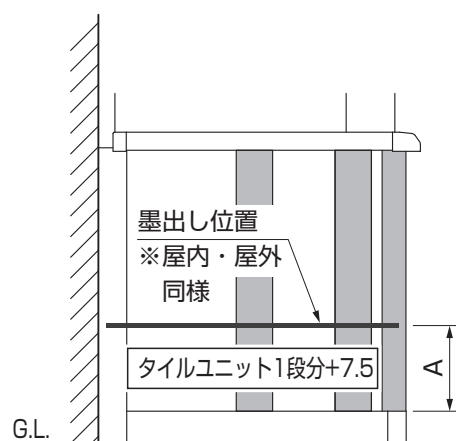


図5-1 L字

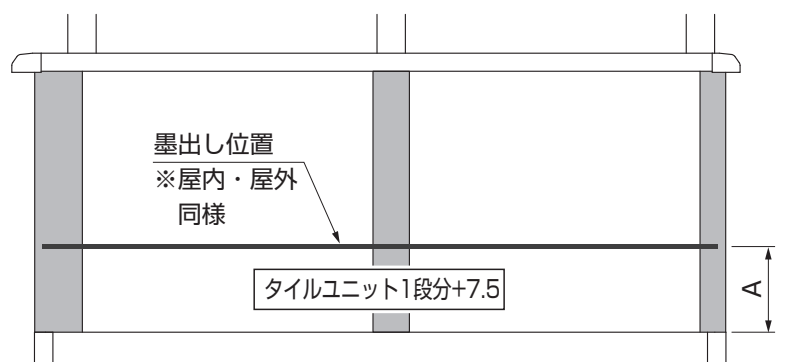


図5-2 前面

表5-1 墨出し位置

	A		A
ルミノス	307.5	サイモン	307.5
寂雅楽Ⅱ	342.5	メルヴィオ コリーナ	312.5
細割ボーダー	315.5	セラヴィオR	307.5

補足

●ガイド定規を使用しない場合は、A寸法を以下の数値で墨出しをしてください。

表5-2 墨出し位置(ガイド定規を使用しない場合)

	A		A
ルミノス	300	サイモン	300
寂雅楽Ⅱ	335	メルヴィオ コリーナ	305
細割ボーダー	308	セラヴィオR	300

①下地ボードに墨出ししてください。

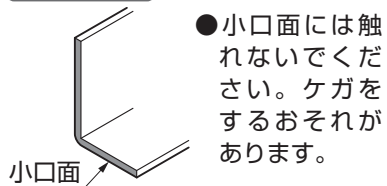
5-2 ガイド定規の取付け

ポイント



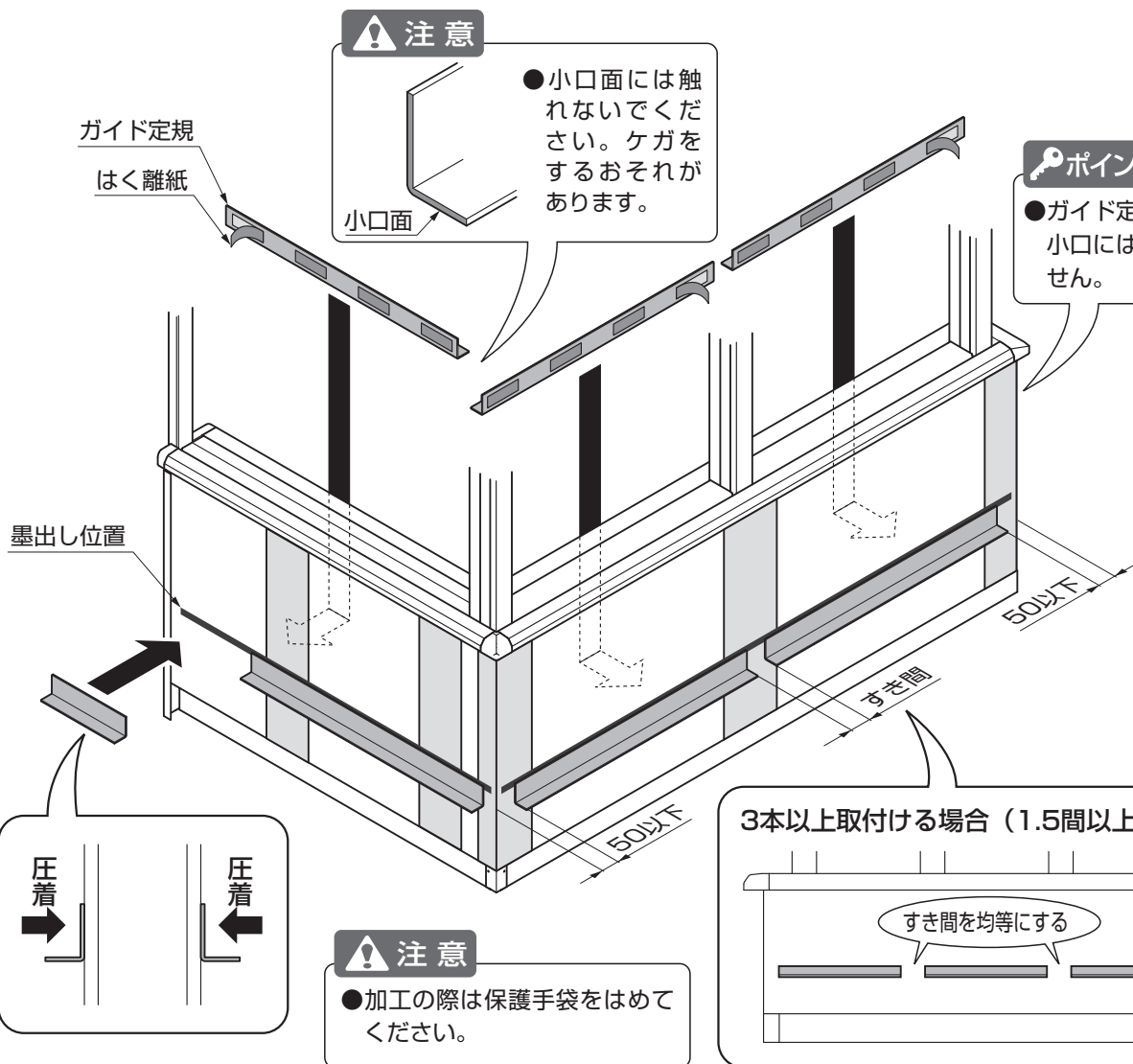
- ガーデンルームタイプの屋内面をエコカラット仕上げる場合、屋内面にガイド定規は取付け
ないでください。

注意



ポイント

- ガイド定規は腰壁
小口には取付けま
せん。



注意

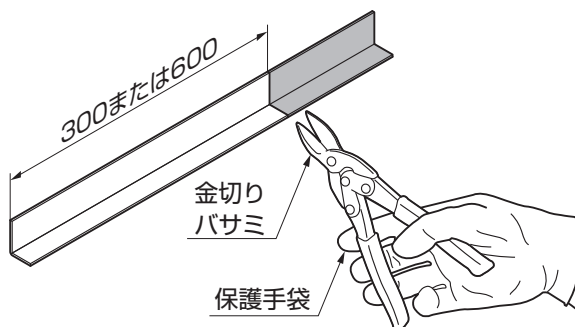
- 加工の際は保護手袋をはめて
ください。

補足

- L字腰壁仕様の出幅には以下の本数を取付けてください。

表5-3 ガイド定規取付本数

	屋外側	屋内側
4尺	1本+300mm加工品	1本
6尺	2本	1本+600mm加工品
8尺	2本+600mm加工品	2本+300mm加工品
10尺	3本+300mm加工品	3本



- ①ガイド定規を下地ボードに張付けてください。

5. (つづき)

5-3 タイルの割付確認

①「8. タイル切断寸法一覧」を参照し、各タイルの張り位置を確認してください。

5-4 部材の養生

①接着剤が笠木等の部材に付着しないように養生してください。

5-5 タイルの張付け

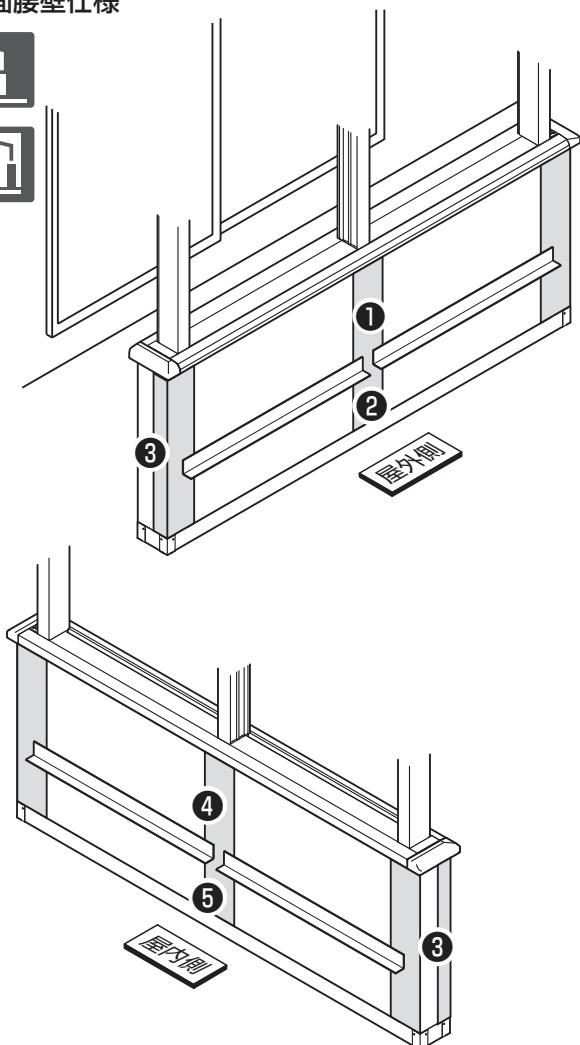
(1) 接着剤塗布～タイル張付け順序の確認

ポイント

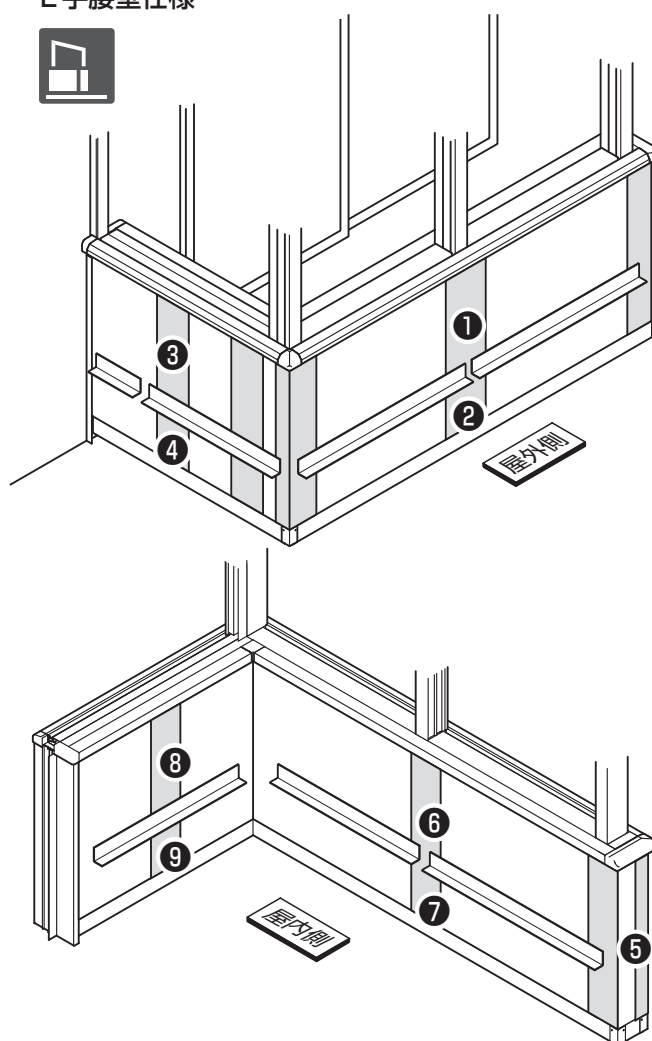
●記載されている順番ごとに「接着剤の塗布」～「タイルの張付け」を行ないます。

順 番	①	②		⑨	参照ページ
工 程	接着剤塗布 タイルの切断加工 タイル張付け	接着剤塗布 タイルの切断加工 タイル張付け		接着剤塗布 タイルの切断加工 タイル張付け	「(3) 接着剤塗布：壁面塗付け」(P.172) 「(4) 接着剤塗布：クシ目立て」(P.173) 「(5) タイルの切断加工」(P.173) 「(6) タイルの張付け」(P.174)

前面腰壁仕様



L字腰壁仕様



(2) 接着剤塗布～タイル張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

- 接着剤を塗布してからタイルの張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。

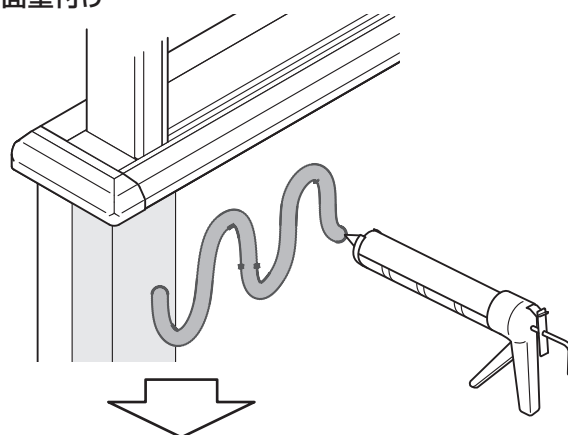


30min

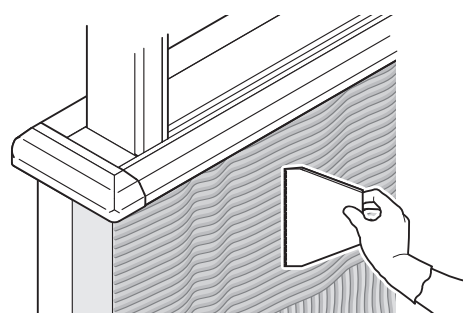


60min

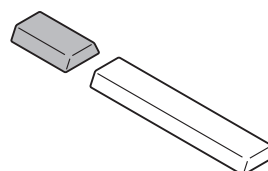
接着剤塗布：壁面塗付け



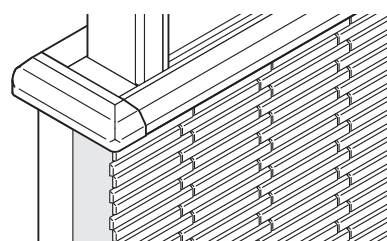
接着剤塗布：クシ目立て



タイルの切断加工（必要に応じて）



タイルの張付け・目地直し



5. (つづき)

5-5 つづき

(3) 接着剤塗布：壁面塗付け

⚠ 注意

- 作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

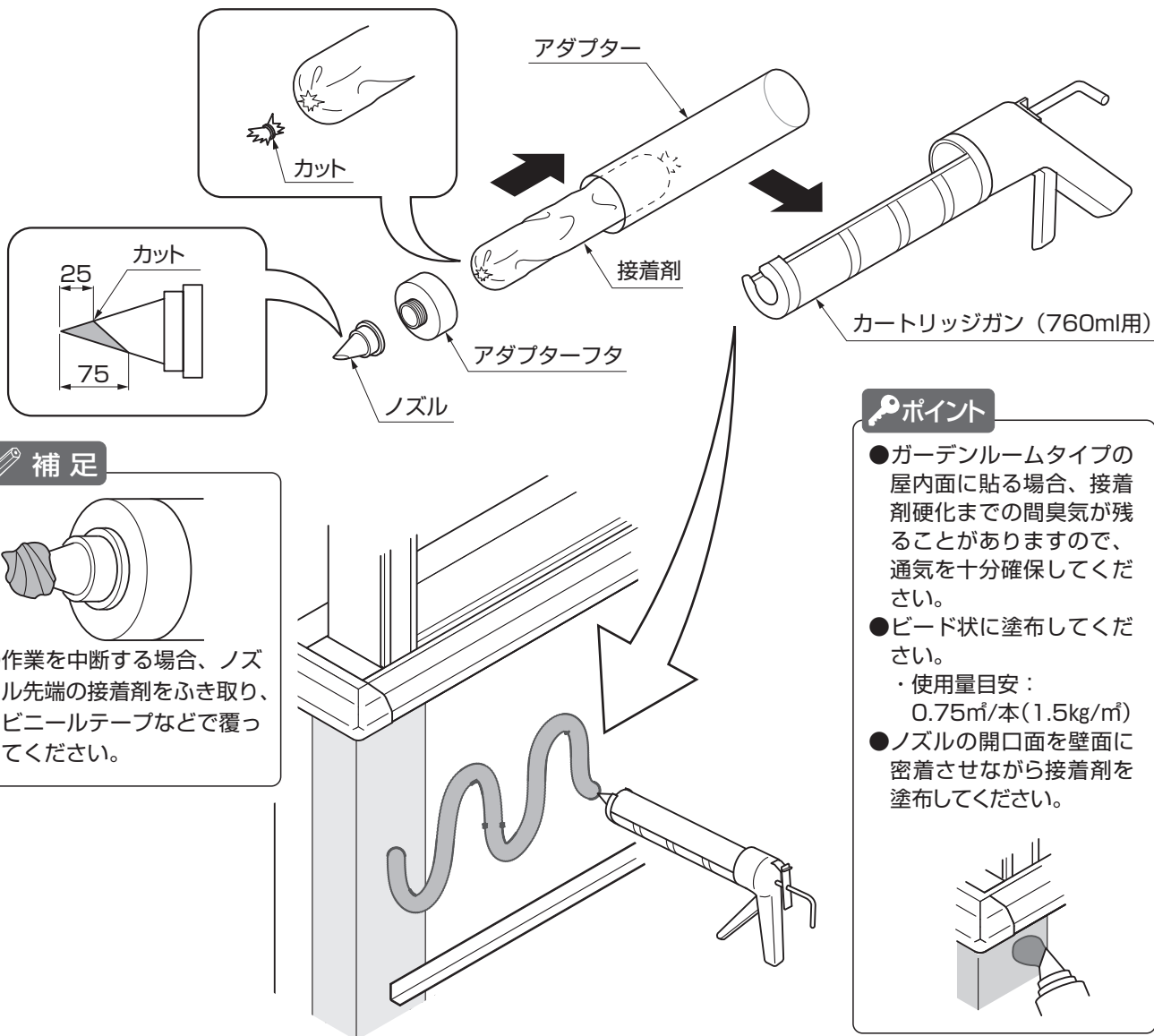
🔑ポイント

- 接着剤塗布からタイルを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。



30min

60min

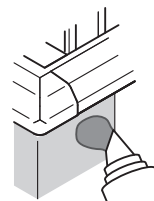


✎ 補足

- 作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

🔑ポイント

- ガーデンルームタイプの屋内面に貼る場合、接着剤硬化までの間臭気が残ることがありますので、通気を十分確保してください。
- ビード状に塗布してください。
・使用量目安：
0.75㎡/本(1.5kg/㎡)
- ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。

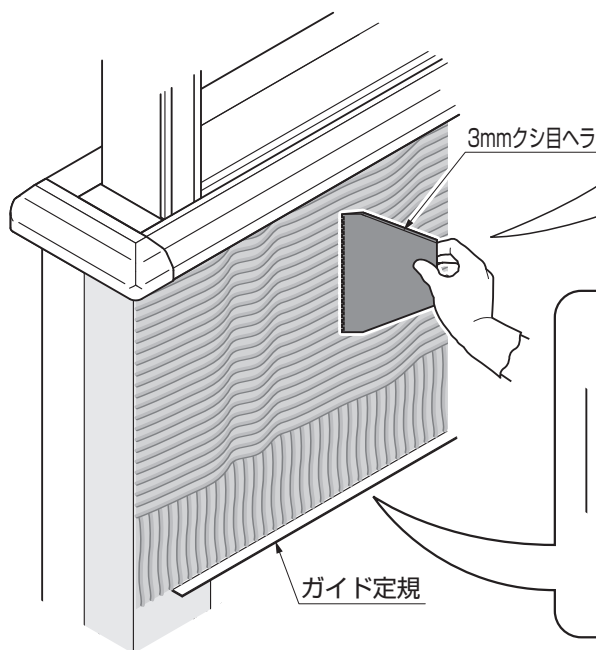


- ①ノズルの先端をカットしてください。
- ②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
- ③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。
- ④接着剤を下地ボードに塗布してください。(以降②～④を繰り返してください。)

(4) 接着剤塗布：クシ目立て

ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。



ポイント

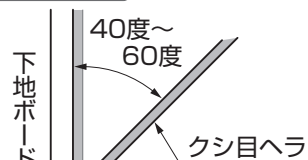


図5-3 ガイド定規上側

図5-4 ガイド定規下側

- ①3mmクシ目ヘラ（または3mmクシ目コテ）を使用し、接着剤面にクシ目を立ててください。

ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

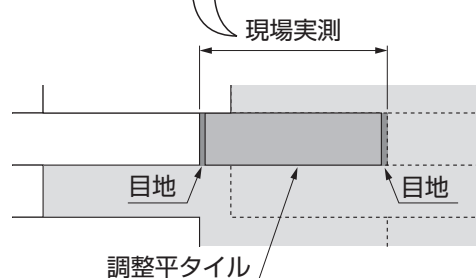
(5) タイルの切断加工 ※加工が必要な場合の作業です。

ポイント

- 「8. タイル切断寸法一覧」も併せて参照してください。

ポイント

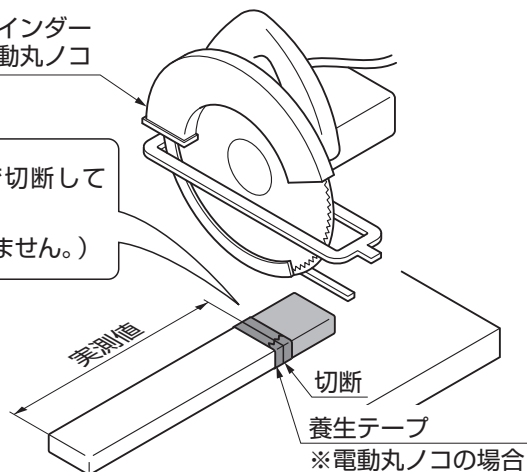
- タイル同士の目地幅、他部材とのすき間（1～2mm）を含め実測してください。



電動グラインダー
または電動丸ノコ

ポイント

- 乾式切断で切断してください。（水湿しはしません。）



注意

- タイルの切断面は鋭利になっているので触れないでください。ケガをするおそれがあります。

- ①加工が必要な場合はタイルを切断してください。

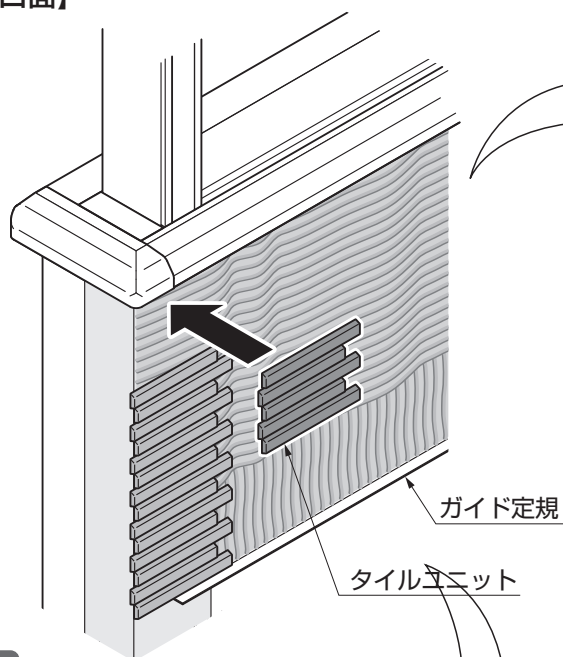
5. (つづき)

5-5 つづき

(6) タイルの張付け

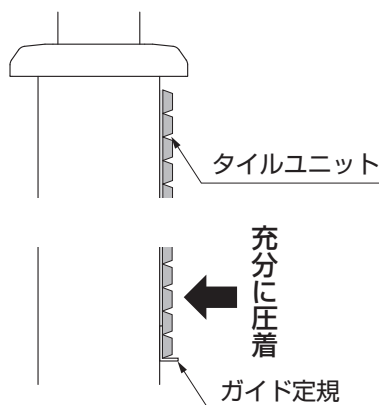
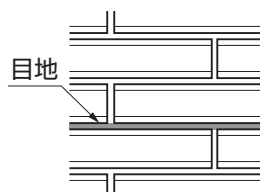
※各仕様における各タイルの割付けについては「8. タイル切断寸法一覧」を参照してください。

【腰壁間口面】



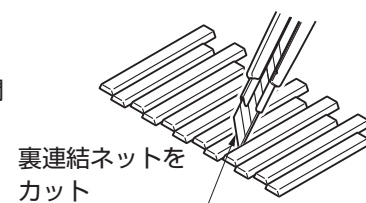
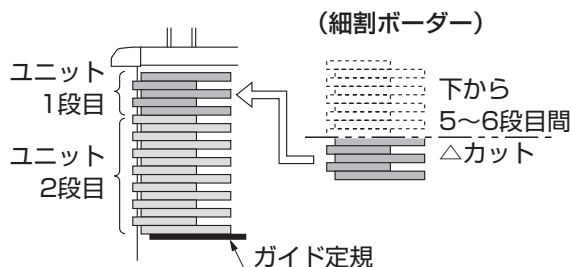
ポイント

- タイルユニットごとに目地幅を確保して張付けてください。

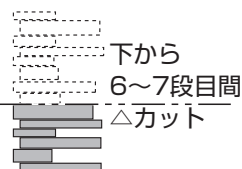


補足

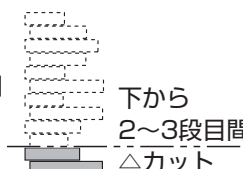
- 笠木の下に取付けるタイルユニット（1段目）はカットしてから張付けます。



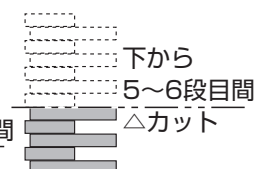
(ルミノス)



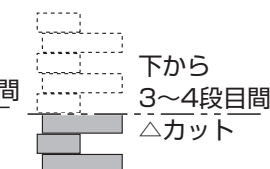
(寂雅楽Ⅱ)



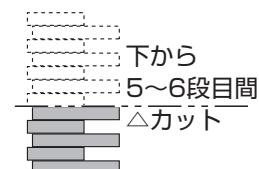
(サイモン)



(メルヴィオコリーナ)



(セラヴィオR)

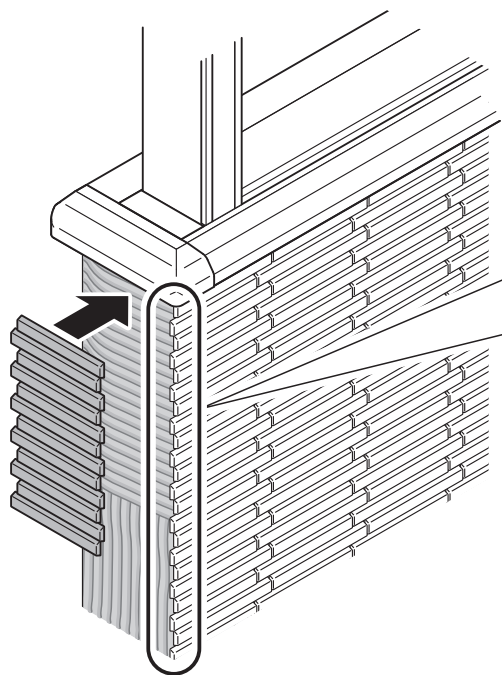


①タイルユニットを張付けてください。

ポイント

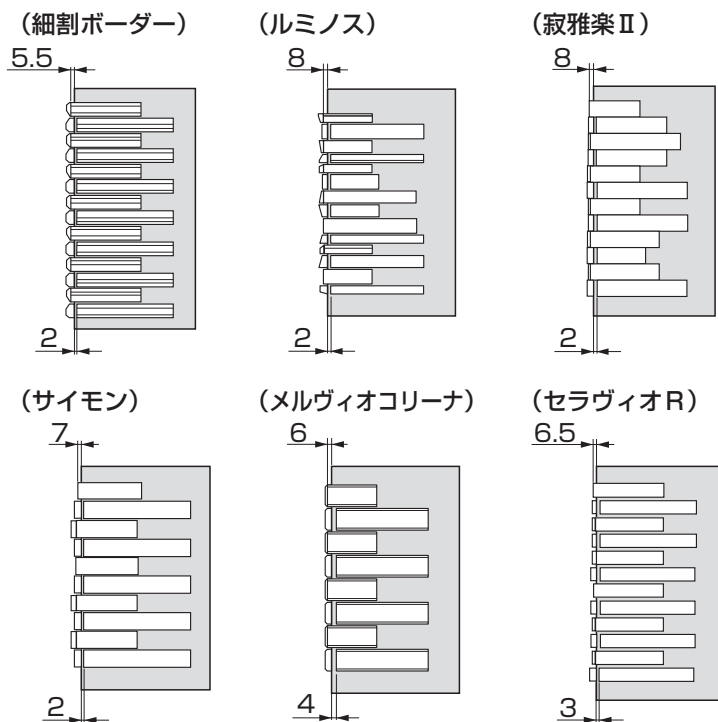
- タイルは1枚ずつ充分に圧着してください。（充分に圧着しないとタイルがずれる場合があります。）
- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は接着剤の塗りすぎであるため、再度クシ目ヘラ（コテ）でかき取ってください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。
- ガイド定規を使用してP.57記載の推奨品以外のタイルを施工する場合、厚さの小さいタイルではガイド定規付近で不陸が目立つ場合がありますので、施工の際には接着剤の塗り厚や圧着方法に十分注意してください。

【出隅部】



補足

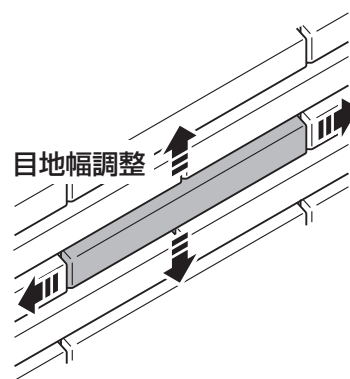
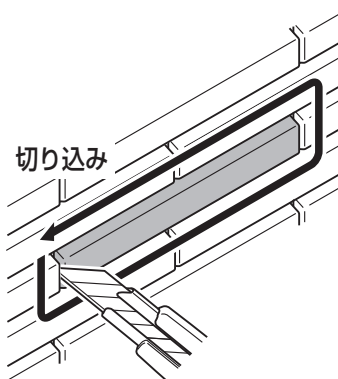
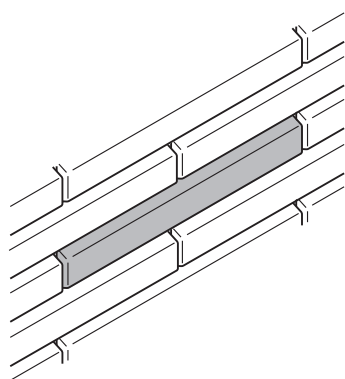
●タイルが突き付けとならないように目地幅を確保して張付けてください。



(7) 目地直し

ポイント

●指定の作業時間内で作業を完了させてください。



- ①タイル周囲の目地に切り込みを入れてください。
- ②タイルの目地幅を調整してください。

6. エコカラットの施工



※ガーデンルームタイプの屋内面を
エコカラット仕上げにする場合の作業です。

6-1 エコカラットの割付確認

- ①「8. タイル切断寸法一覧」も併せて参照し、エコカラット張り位置を確認してください。

6-2 部材の養生

- ①接着剤が笠木等の部材に付着しないように養生してください。

6-3 エコカラットの切断加工 ※加工が必要な場合の作業です。

ポイント

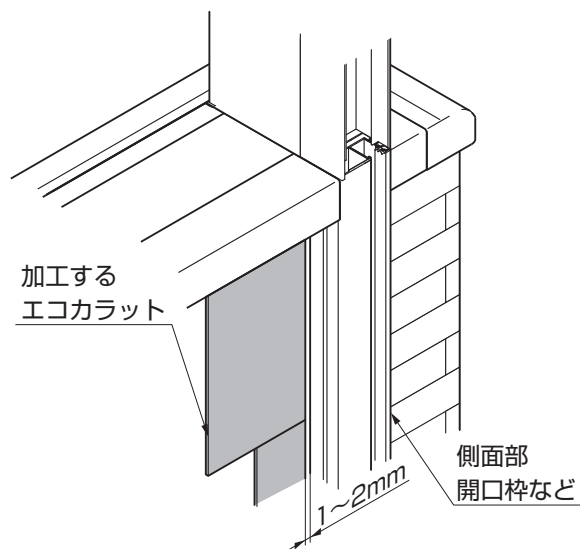
- 「8. タイル切断寸法一覧」も併せて参照してください。

- 接着剤塗布後に切断作業をする場合、塗布→切断→張付け・目地直しを20分以内で終わってください。



20min

- 他部材との取り合い部は、1～2mmのすき間をあけて採寸してください。



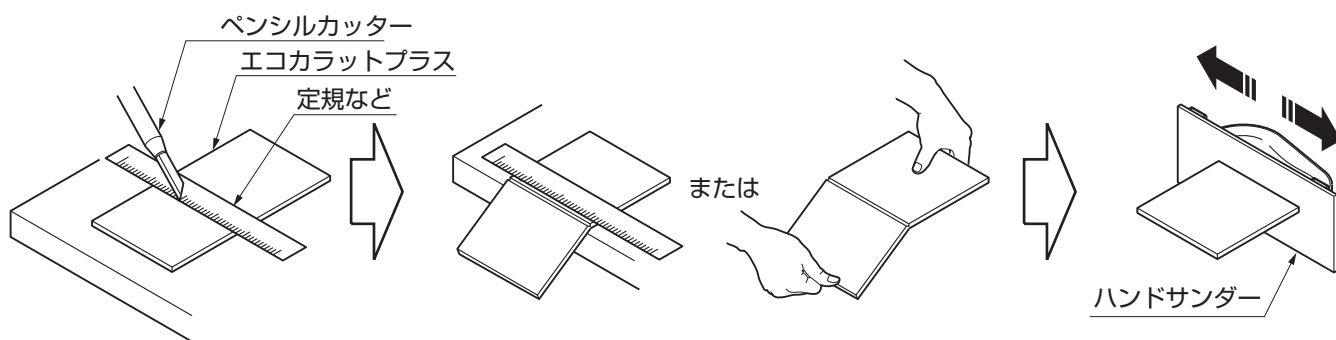
ポイント

- 接着剤塗布後に切断作業をする場合、
塗布→切断→張付け・目地直しを
20分以内で終わってください。



20min

●カッター、工具類使用時



●電動丸ノコ、グラインダー使用時

電動グラインダーまたは
電動丸ノコ

※エコカラット用切断刃
に付け替える

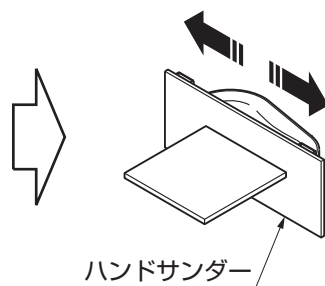
ポイント

- 乾式切断で切断して
ください。
(水湿しはしません。)

養生テープ

※電動丸ノコの場合
エコカラットプラス

切断



- ① 切断が必要な場合はエコカラットプラスを切断してください。

6. (つづき)

6-3 つづき

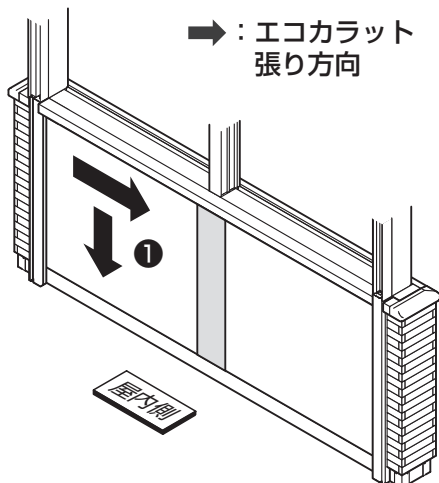
(3) 接着剤塗布～エコカラット張付け順序の確認

ポイント

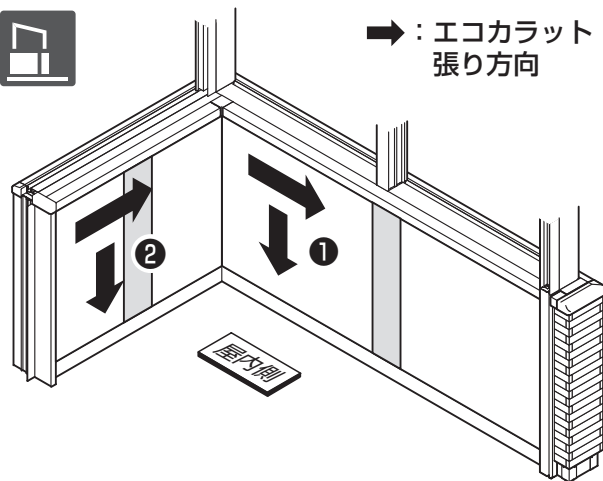
●記載されている順番ごとに「接着剤の塗布」～「エコカラットの張付け」を行ないます。

順 番	①	②	参照ページ
工 程	接着剤塗布 エコカラット張付け	接着剤塗布 エコカラット張付け	「(5) 接着剤塗布：壁面塗付け」 (P.179) 「(6) 接着剤塗布：クシ目立て」 (P.179) 「(7) エコカラットの張付け」 (P.180)

前面腰壁仕様



L字腰壁仕様



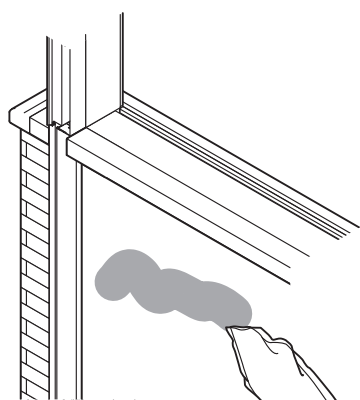
(4) 接着剤塗布～エコカラット張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

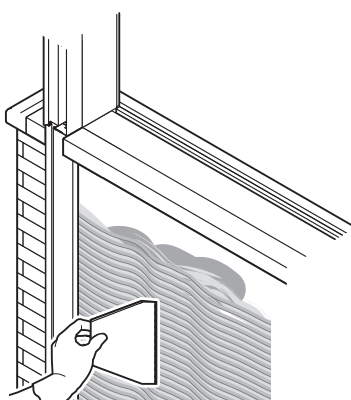
- 接着剤を塗布してからエコカラット張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。



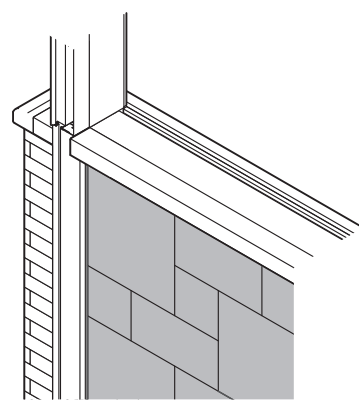
20min



接着剤塗布：壁面塗付け



接着剤塗布：クシ目立て



エコカラット張付け・目地直し



20min

(5) 接着剤塗布：壁面塗付け

⚠ 注意

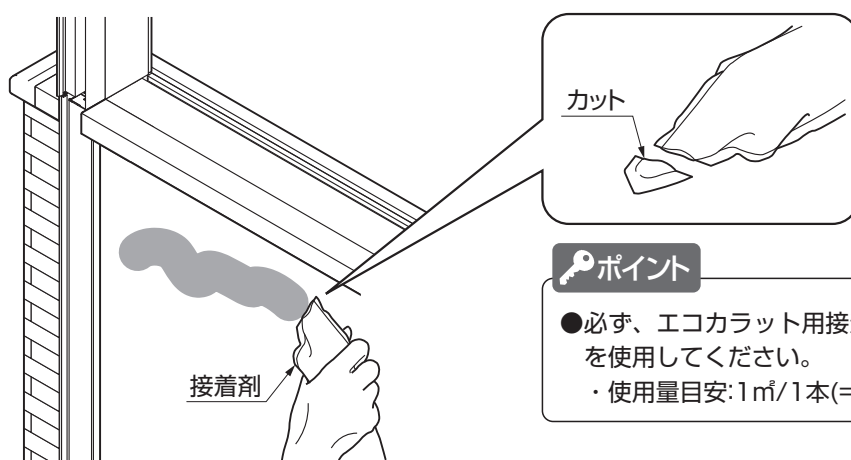
- 作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

🔑 ポイント

- 接着剤塗布からエコカラットを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行ってください。



20min



🔑 ポイント

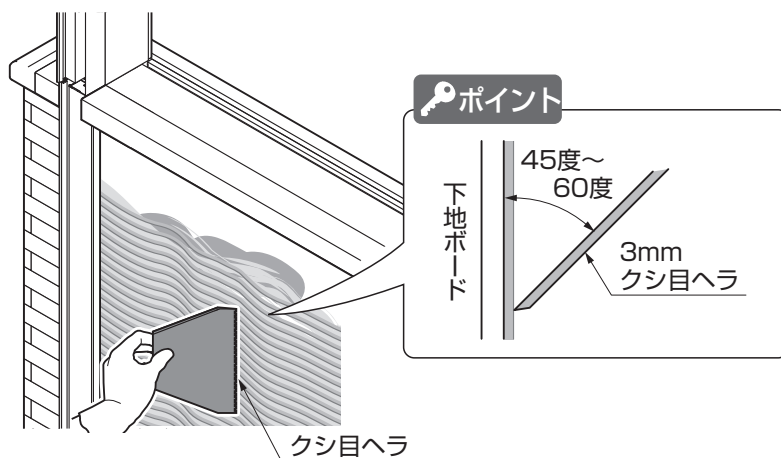
- 必ず、エコカラット用接着剤（8KBR01ZZ）を使用してください。
・使用量目安:1㎡/1本(=1kg)

- ①接着剤の先端をカットしてください。
- ②手で絞り出しながら、壁面に直接塗り付けてください。

(6) 接着剤塗布：クシ目立て

🔑 ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。



🔑 ポイント

45度～60度
3mm
クシ目ヘラ

🔑 ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

- ①3mmクシ目ヘラ（または3mmクシ目コテ）を使用し、接着剤面にクシ目を立ててください。

6. (つづき)

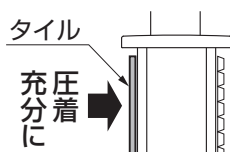
6-3 つづき

(7) エコカラットの張付け

ポイント

【タイルの張付け】

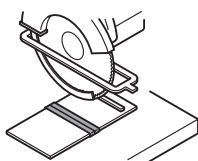
- タイルは1枚ずつ十分に圧着してください。



十分に圧着しないとタイルがずれる場合があります。

【切断加工品を張付ける場合】

- 切断面が目立たないように、向きに注意して張付けてください。



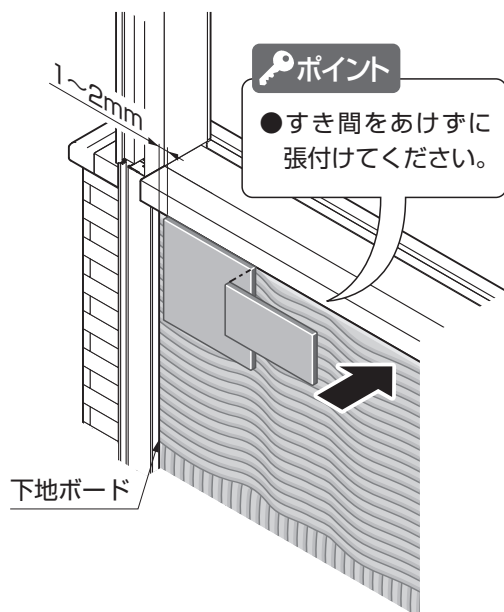
- ・側面開口部 : 側面開口部側に向ける
- ・腰壁下端部 : 下側に向ける
- ・入隅部 : 入隅側に向ける

【タイル表面に接着剤が付着した場合】

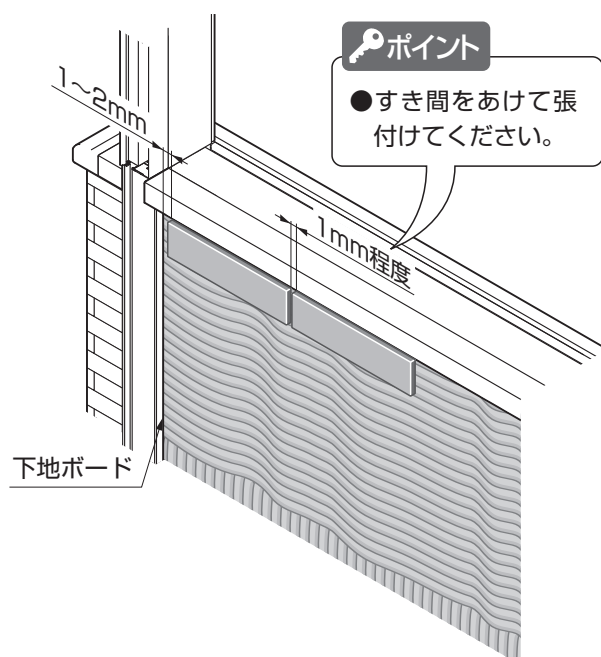
- 接着剤が硬化する前にただちに除去してください。



ストーンⅡ を施工の場合



ラフウォーツ を施工の場合



①エコカラットを張付けてください。

ポイント

- 最上段のエコカラットは下地ボードの上端に合わせます。
- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は接着剤の塗りすぎであるため、再度クシ目ヘラ（コテ）でかき取ってください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。

7. 点検・仕上げ



はるかべ

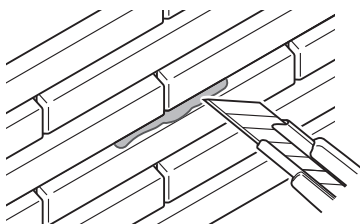


エコカラット

ポイント

- 接着剤が硬化後、仕上りの点検を行なってください。
- 図はタイルで示していますが、エコカラットも同様です。

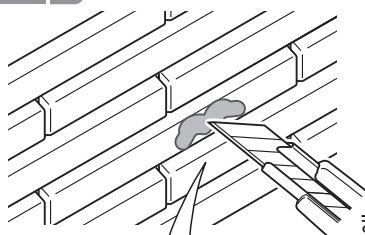
- タイル目地部からの接着剤のはみ出しを除去する



- 表面に付着した接着剤を除去する



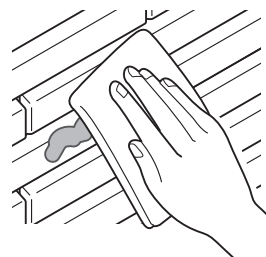
はるかべ



砂消しゴム

または

取れない場合は…



溶剤
(アセトン、シンナー)

ポイント

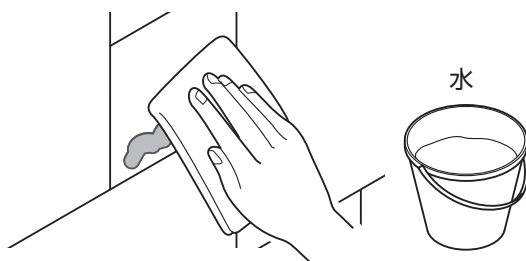
- 表面をキズ付けないようにしてください。

ポイント

- 他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。



エコカラット



水

ポイント

- 接着剤が硬化する前に固く絞った布で拭取ってください。
- 拭き残した部分が硬化してしまった場合は、家庭用洗剤を吹きかけ、ティッシュや布で擦り取ってください。

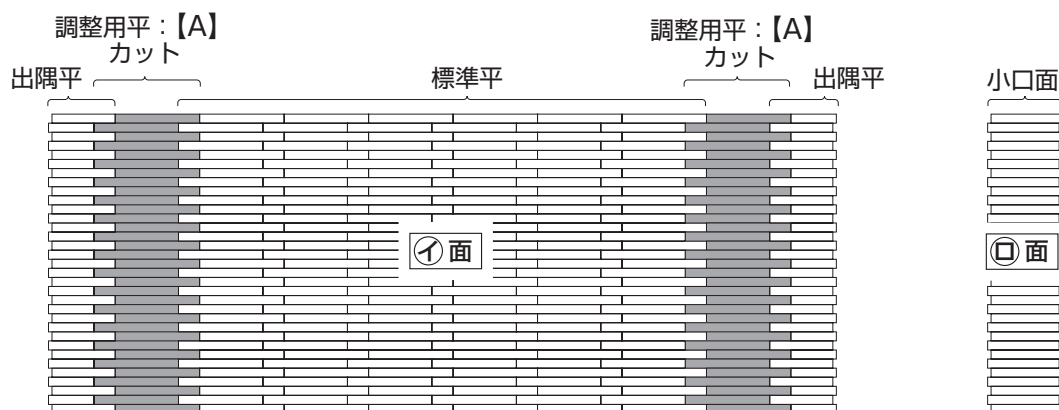
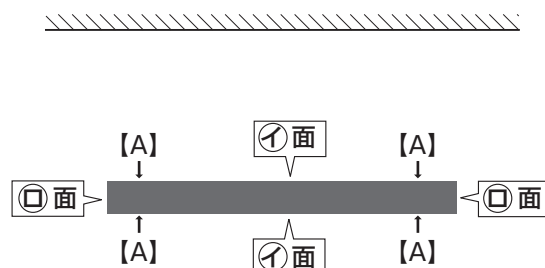
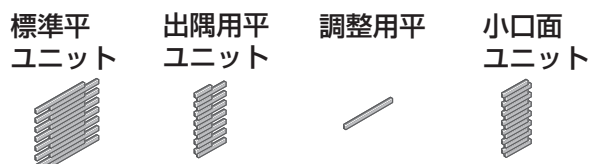
8. タイル切断寸法一覧

※図は「細割ボーダー」を代表例として記載しています。

8-1 前面腰壁 サイドスルータイプ

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

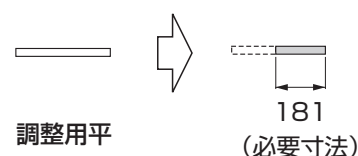


間口面	1.0間 〔A〕	1.5間 〔A〕	2.0間 〔A〕	2.5間 〔A〕	3.0間 〔A〕
ルミノス	182	163	144	125	225
寂雅歌Ⅱ	184	165	146	127	226
細割ボーダー	181	162	143	124	223
サイモン	181	162	143	124	223
コリーナ	202	197	192	187	182
セラヴィオR	130	135	140	145	75

ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

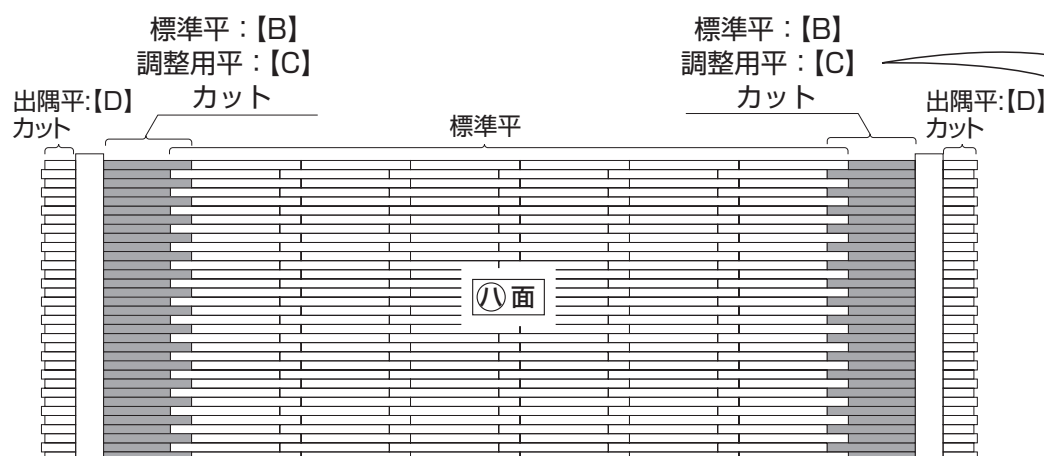
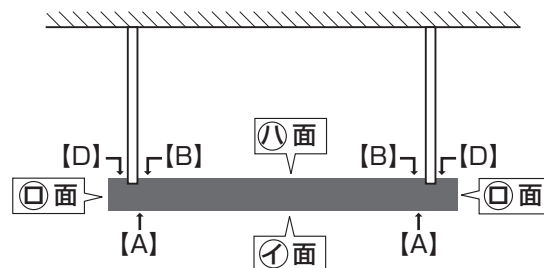
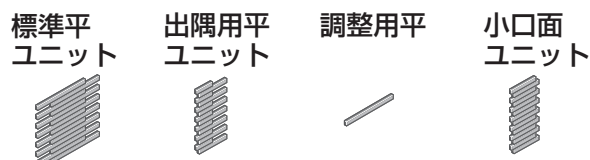
例：1.0間 細割ボーダー
「〔A〕箇所」の場合



8-2 前面腰壁 ガーデンルームタイプ

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。



ポイント

- セラヴィオRの場合は〔標準平〔B〕〕と〔調整用平〔C〕〕の切断が必要です。

間口面	1.0間				1.5間				2.0間			
	[A]	[B]	[C]	[D]	[A]	[B]	[C]	[D]	[A]	[B]	[C]	[D]
ルミノス	182	207	—	76	163	188	—	76	144	169	—	76
寂雅歌Ⅱ	184	206	—	76	165	187	—	76	146	168	—	76
細割ボーダー	181	188	—	73	162	169	—	73	143	150	—	73
サイモン	181	201	—	75	162	182	—	75	143	163	—	75
コリーナ	202	225	—	74	197	220	—	74	192	215	—	74
セラヴィオR	130	226	26/76	74	135	231	31/81	74	140	236	36/86	74

間口面	2.5間				3.0間			
	[A]	[B]	[C]	[D]	[A]	[B]	[C]	[D]
ルミノス	125	148	—	76	225	131	—	76
寂雅歌Ⅱ	127	149	—	76	226	130	—	76
細割ボーダー	124	131	—	73	223	231	—	73
サイモン	124	144	—	75	223	125	—	75
コリーナ	187	210	—	74	182	205	—	74
セラヴィオR	145	241	41/91	74	75	246	46/96	74

ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。
- 例：①面 1.0間 細割ボーダー「〔A〕箇所」の場合

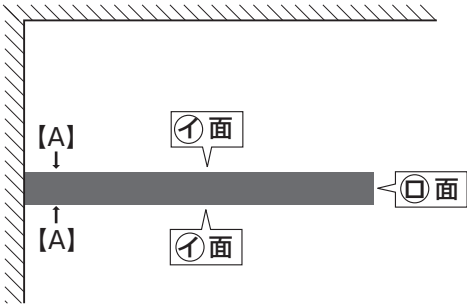


8. (つづき)

8-3 入隅腰壁 サイドスルータイプ

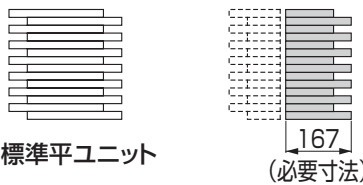
ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。



ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。
- 例：①面 1.0間 細割ボーダー
「〔A〕箇所」の場合



間口面	〔A〕				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ルミノス	185	147	—	308	270
寂雅歌Ⅱ	185	147	—	308	270
細割ボーダー	167	129	—	—	250
サイモン	177	139	—	300	262
コリーナ	226	221	211	201	191
セラヴィオR	315	325	335	345	—

8-4 入隅腰壁 ガーデンルームタイプ

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

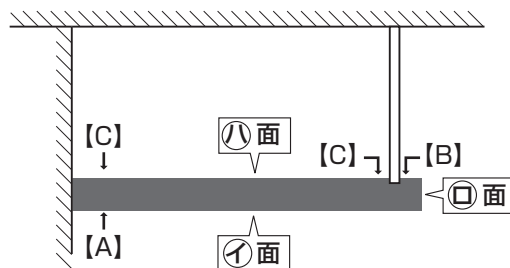
標準平
ユニット



出隅用平
ユニット



小口面
ユニット

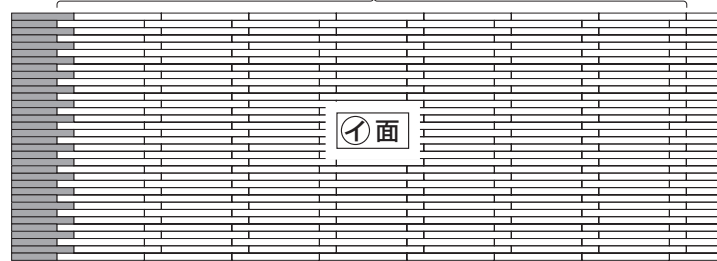


標準平：〔A〕
カット

標準平

出隅平

小口面

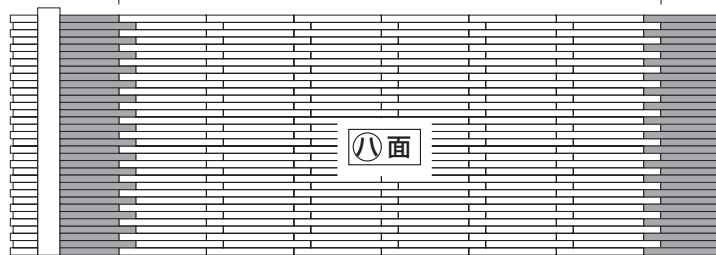


出隅平：〔B〕
カット

標準平：〔C〕
カット

標準平

標準平：〔C〕
カット



間口面	1.0間			1.5間			2.0間			2.5間			3.0間		
	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕
ルミノス	185	76	222	147	76	203	—	76	184	308	76	165	270	76	146
寂雅歌Ⅱ	185	76	221	147	76	202	—	76	183	308	76	164	270	76	145
細割ボーダー	167	73	203	129	73	184	—	73	165	—	73	146	250	73	127
サイモン	177	75	216	139	75	197	—	75	178	300	75	159	262	75	140
コリーナ	226	74	—	221	74	—	211	74	—	201	74	225	191	74	220
セラヴィオR	315	74	166	325	74	246	335	74	176	345	74	256	—	74	186

8. (つづき)

8-5 L字腰壁 サイドスルータイプ

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

標準平
ユニット



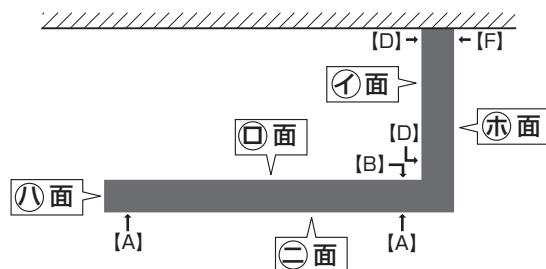
出隅用平
ユニット



調整用平
ユニット



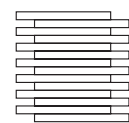
小口面
ユニット



ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

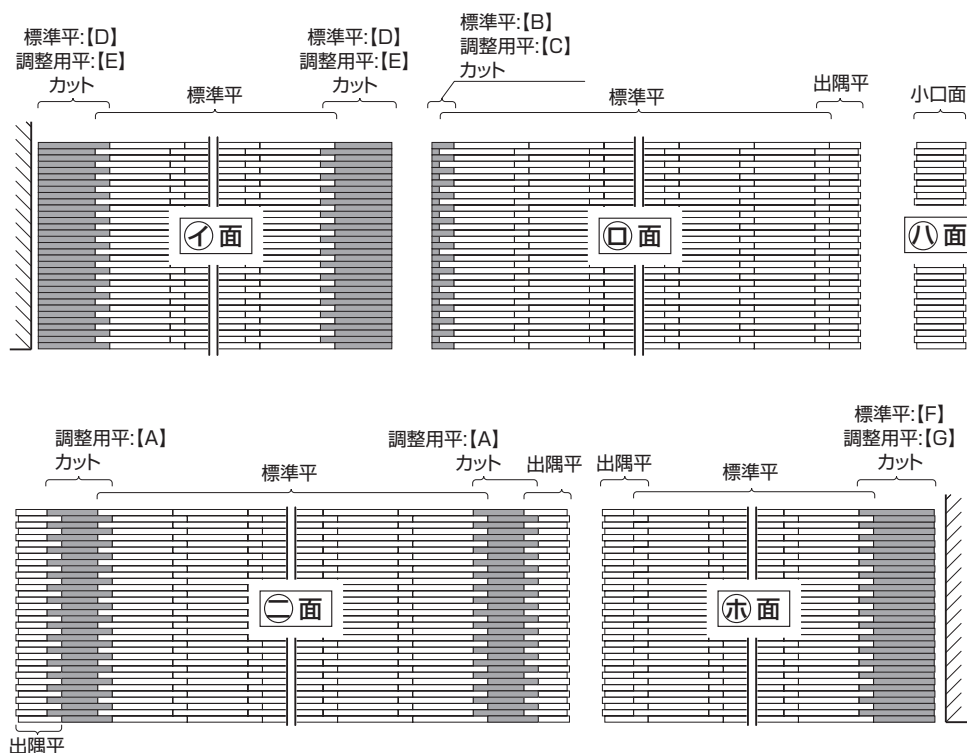
例：①面 1.0間 細割
ボーダー「〔D〕箇所」
の場合



標準平ユニット



223
(必要寸法)



間口面	1.0間			1.5間			2.0間			2.5間			3.0間		
	屋外側	屋内側		屋外側	屋内側		屋外側	屋内側		屋外側	屋内側		屋外側	屋内側	
	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕	〔A〕	〔B〕	〔C〕
ルミノス	159	-	5/15/88	140	287	40/50	121	249	12	102	211	-	201	173	-
寂雅歌Ⅱ	160	-	8/18/43/53/78/88	141	287	5/15/40/50	122	249	12	222	211	-	203	173	-
細割ボーダー	158	-	23/68	139	267	30	120	229	-	219	191	-	200	153	-
サイモン	157	-	10/80	138	279	42	119	241	-	219	203	-	200	165	-
コリーナ	178	134	-	173	-	46/124	168	-	36/114	163	-	26/104	158	-	16/94
セラヴィオR	107	218	-	112	228	-	117	238	-	122	248	-	127	258	-

出幅面	4尺				6尺			8尺				10尺			
	屋内側		屋外側		屋内側	屋外側		屋内側		屋外側		屋内側		屋外側	
	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]
ルミノス	143	18/28/101	257	10/18	159/211	146	－	143	33/43/116	272	25/35	159/226	－	161	－
寂雅歌Ⅱ	140	27/37/62/72/97/107	257	10/20	186	146	－	131	－	270	25/35	194	－	161	－
細割ボーダー	223	－	237	－	167	126	－	230	－	252	15	175	－	141	－
サイモン	235	－	249	12	180	138	－	125	－	264	27	188	－	153	－
コリーナ	134	－	282	52	204	192	－	159	－	－	24/102	－	36/114	242	12
セラヴィオR	131	－	276	－	131	276	－	131	－	276	－	131	－	276	－

8-6 L字腰壁 ガーデンルームタイプ

ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル切断寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。
- 記号〔A〕の数字は、下表に対応しています。

標準平
ユニット



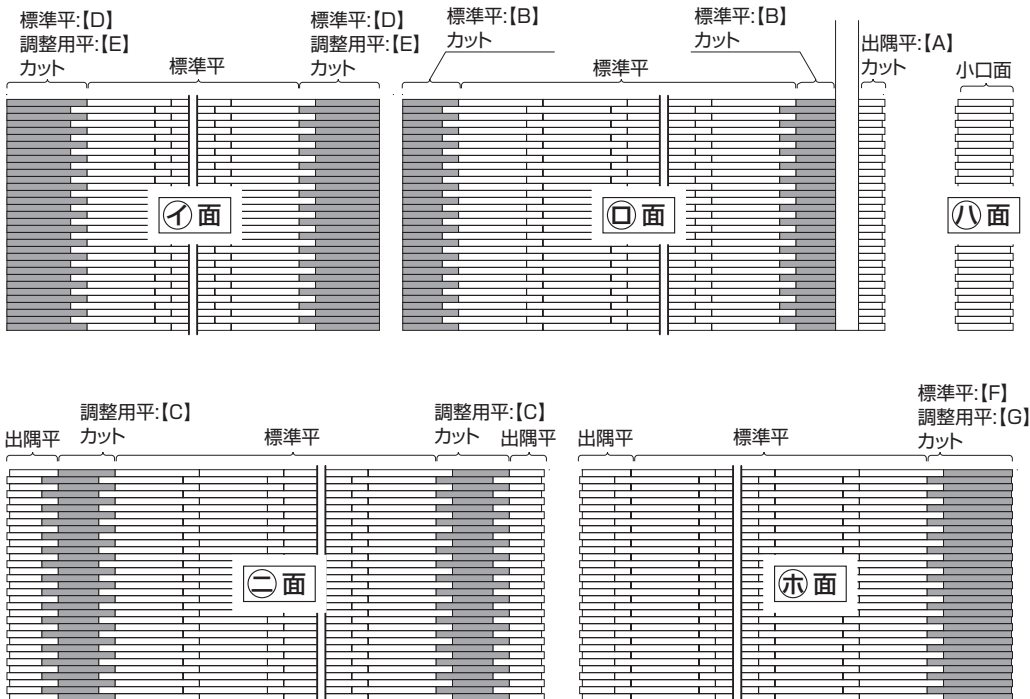
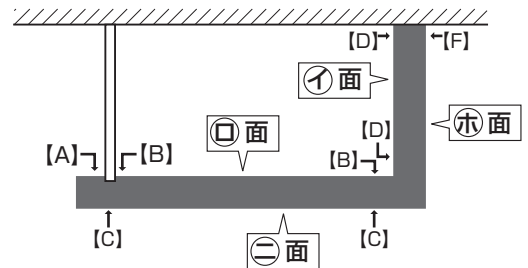
出隅用平
ユニット



調整用平



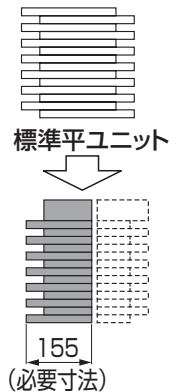
小口面
ユニット



ポイント

- 記載の表では必要寸法を示します。

例：細割ボーダー
「〔B〕箇所」
の場合



間口面	共通	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間		3.0間	
		屋内側	屋外側	屋内側	屋外側	屋内側	屋外側	屋内側	屋外側	屋内側	屋外側
		[A]	[B]	[C]	[B]	[C]	[B]	[C]	[B]	[C]	[B]
ルミノス	76	174	159	155	140	136	121	235	102	216	201
寂雅歌Ⅱ	76	172	160	153	141	134	122	234	222	215	203
細割ボーダー	73	155	158	136	139	117	120	217	219	198	200
サイモン	75	167	157	148	138	129	119	229	219	210	200
コリーナ	74	191	178	186	173	181	168	176	163	171	158
セラヴィオR	74	118	107	273	112	128	117	283	122	138	127

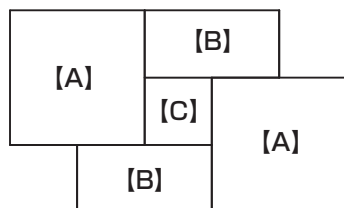
出幅面	4尺				6尺			8尺				10尺			
	屋内側		屋外側		屋内側	屋外側		屋内側		屋外側		屋内側		屋外側	
	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]	[D]	[E]	[F]	[G]
ルミノス	143	18/28/101	257	10/18	159/211	146	—	143	33/43/116	272	25/35	159/226	—	161	—
寂雅歌Ⅱ	140	27/37/62/72/97/107	257	10/20	186	146	—	131	—	270	25/35	194	—	161	—
細割ボーダー	223	—	237	—	167	126	—	230	—	252	15	175	—	141	—
サイモン	235	—	249	12	180	138	—	125	—	264	27	188	—	153	—
コリーナ	134	—	282	52	204	192	—	159	—	—	24/102	—	36/114	242	12
セラヴィオR	131	—	276	—	131	276	—	131	—	276	—	131	—	276	—

8. (つづき)

8-7 エコカラットプラス (ストーンⅡ)

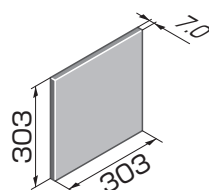
ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル必要寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。

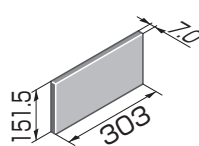


【ストーンⅡ基本パターン】

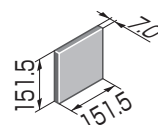
●ストーンⅡの種類



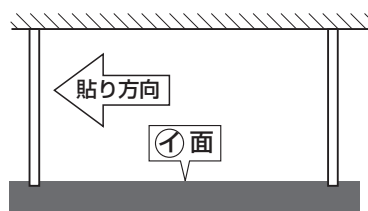
【A】



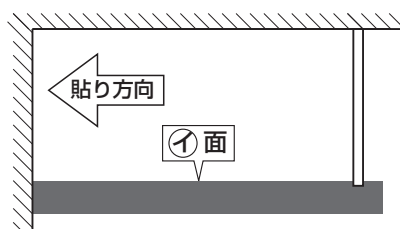
【B】



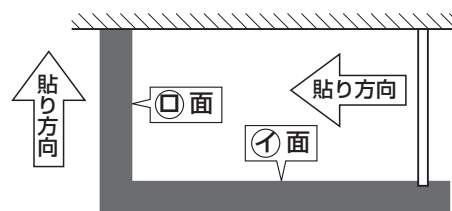
【C】



前面腰壁



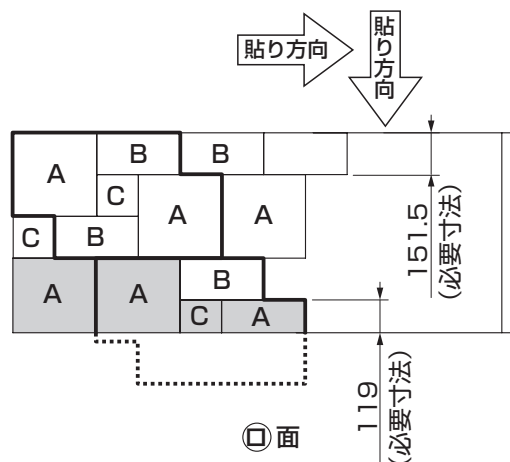
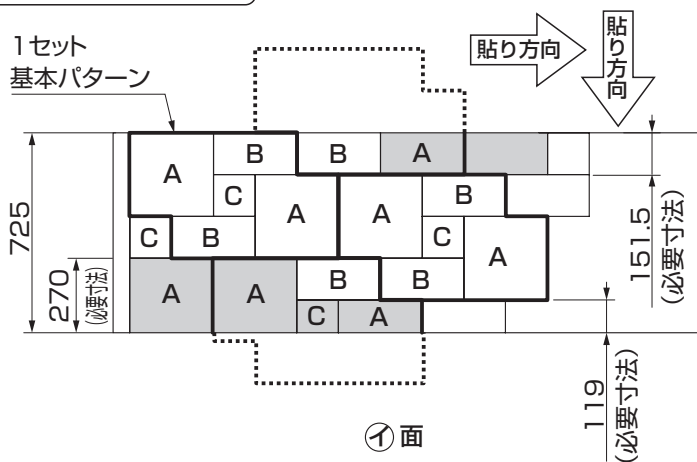
入隅腰壁



L字腰壁

ポイント

- が切断必要なタイルになります。



ポイント

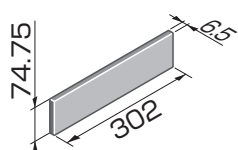
- 基本パターンで張り付けてください。
- エコカラットプラスの基本パターン (A、B、C) を矢印の方向へ繰り返して割り付けてください。

8-8 エコカラットプラス（ラフクォーツ）

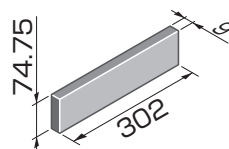
ポイント

- 本ページでは、タイルを割付ける際のタイル必要寸法を示します。
- 記載寸法は目安になります。寸法を実測して切断してください。

【ラフクォーツの種類】



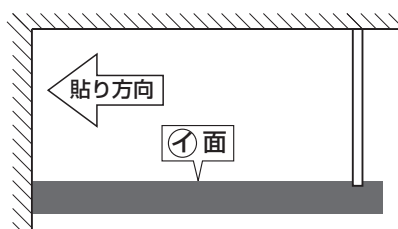
[A]



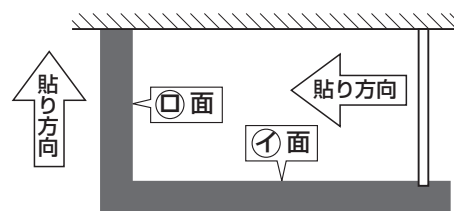
[B]



前面腰壁



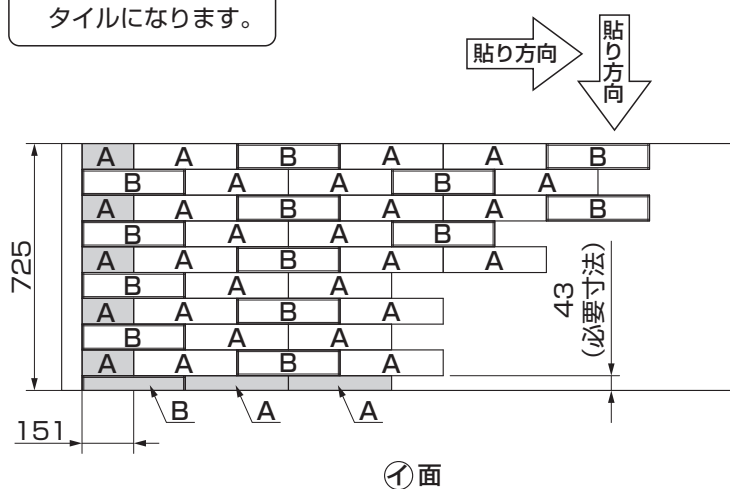
入隅腰壁



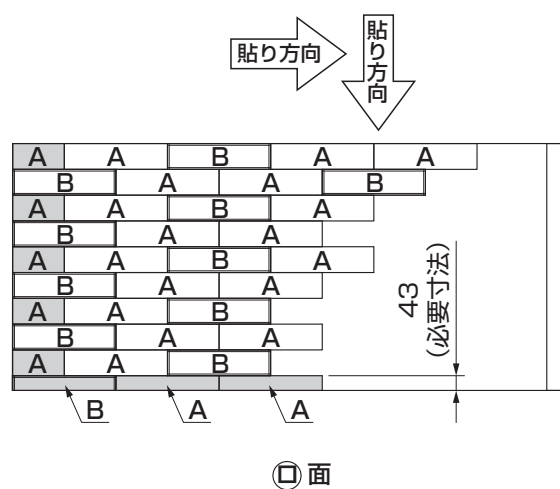
L字腰壁

ポイント

- が切断必要なタイルになります。



①面



㊦面

ポイント

- 基本パターンで張り付けてください。
- エコカラットプラスの基本パターン（A、B）を矢印の方向へ繰り返して割り付けてください。

9. 施工が完了したら

ポイント

●本取付説明書での施工が完了したら、次の工程を確認して、参照する取付説明書の施工を行ってください。

タイプ		略 図	参照取付説明書
サイドスルー タイプ ST	前面腰壁タイプ 前		【施工終了】 本ページにて施工は終了になります。
	L字腰壁タイプ L		
ガーデンルーム タイプ GR	前面腰壁タイプ 前		ココマII -側面 開口部編- 取付説明書 (E418) ●引き続き「側面 開口部」の施工を行ってください。 【施工終了】
	L字腰壁タイプ L		

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

19

タイルの
張付け

